注意／Attention.

ここに掲載されているシラバスは、

2023 年 4 月 4 日時点の内容です。

最新版は学務情報システムでご確認

ください。

The syllabuses listed here are current

as of April 4 2023 Please check the

Student Affairs Information System

for the latest version.

中級ミクロ経済学特論/Intermediate Microeconomics

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 １講時.前期 木曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO501J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織、財政金融、医療福祉、国際経済、および環境経済などの応用分野を研究する学生にミクロ経済学の基礎的事項を習得してもらいます。授業は、講義と演習セッションからなり、演習セッションでは主として講義の理解を深めるための問題演習などを行います。

It is an aim that the students will understand a microeconomics theory described in the standard textbook of the graduate school and acquire a skill for reading the scientific papers in each applied field, such as the industrial organization, public finance and international economics. In addition, it is an aim that the students will obtain the technical knowledge by solving some problems in the textbooks.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学院での研究に必要なミクロ経済学の基礎的な知識と分析能力を身につけること、とくに将来　修士論文作成にあたって、独力で受講生が専攻する分野の文献サーベイができる程度の学力をつけることが到達目標です。
It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers in each field by an own effort, when the student writes master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
講義と並行して問題演習を行います。

第 1 回 序章　授業で使用する記号、数学的定理について
第 2 回 選好、効用関数、および効用最大化と需要
第 3 回 宿題解説と問題演習(その１)
第 4 回 需要の変化と財の分類および交換の理論
第 5 回 宿題解説と問題演習(その 2)
第 6 回 双対性アプローチとスルツキー方程式
第 7 回 宿題解説と問題演習(その 3)
第 8 回 消費理論のまとめ
第 9 回　費用と供給および生産技術と費用
第 10 回 宿題解説と問題演習(その 4)
第 11 回 生産要素の需要
第 12 回 宿題解説と問題演習(その 5)
第 13 回 短期費用と長期費用
第 14 回 宿題解説と問題演習(その 6)
第 15 回 費用関数の性質
第 16 回 宿題解説と問題演習(その 7)
第 17 回 企業理論のまとめ
第 18 回　市場均衡と市場調整
第 19 回　宿題解説と問題演習(その 8)
第 20 回 交換経済および生産経済における競争均衡
第 21 回 宿題解説と問題演習(その 9)
第 22 回 資源配分の効率性と厚生経済学の基本定理
第 23 回 宿題解説と問題演習(その 10)
第 24 回 余剰分析および数量指数と物価指数
第 25 回 宿題解説と問題演習(その 11)
第 26 回 不完全競争　独占
第 27 回 宿題解説と問題演習(その 12)
第 28 回 不完全競争　寡占
第 29 回 宿題解説と問題演習(その 13)
第 30 回 市場の理論のまとめ

1. Preference and Consumer Choice; 2. Demand Functions;
3. Production and Cost; 4. Competitive Markets and Monopoly;
5. General Equilibrium and its Basic Welfare Properties.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業のなかでの小テストの成績(50%)と宿題レポートの成績(50%)により決定します。小テスト受験時と宿題レポート作成時

において、教科書、参考書および自筆ノートを参照して良いが、宿題の問題自体に関する他の人との相談、他人のレポート等を参考にすることは厳禁します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

新版　ミクロ経済学	武隈慎一	新生社	2016	978-4-88384-239-1	教科書
演習ミクロ経済学　第２版	武隈慎一	新生社	2017	978-4-88384-249-0	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

十分な予習が必要です。復習は宿題レポート作成で行なってください。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
学部レベルのミクロ経済学（ミクロ経済分析）や経済経営数学の学力を前提にするので、受講生は事前に準備して下さい。また、問題演習のプレゼンを重視する授業形式の必要性から、参加者は 30 名以内に制限します。そのため、受講希望者は第 1 回目の講義に必ず出席してください。不確実性、期待効用やゲーム理論の内容は後期開講の「上級ミクロ経済学」にて取り扱う予定です。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　yvx2cse
である。

上級ミクロ経済学特論/Advanced Microeconomics

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時.後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO502J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済学の諸分野において、ゲーム理論は経済のモデル化や分析のために必要不可欠な分析ツールとなっている。本講義では、非協力ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を解説する。

[In many fields of economics, game theory has become an important analytical tool for modeling and analyzing the economy. In this course, the basic framework of non-cooperative game theory and its application to economics will be explained.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
非協力ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を理解する。

[The students should understand the basic framework of non-cooperative game theory and its application to economics.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Google Classroom のクラスコードは fmgtwa6 です。この授業についての情報は、Google Classroom を通じてお知らせします。不明な点がある場合は、遠慮なく私宛に電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）をお送りください。

The class code of Google Classroom is fmgtwa6. More information on this course will be provided via Google Classroom. Please feel free to contact me via e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp.

1-2　ゲーム理論のイントロダクション
3-4　戦略形ゲーム
5-6　支配戦略、ナッシュ均衡
7-8　経済学への応用：複占モデル
9-10　経済学への応用：共有地の悲劇
11-12　混合戦略
13-14　展開形ゲーム
15-16　バックワード・インダクション
17-18　経済学への応用：交渉モデル
19-20　サブゲーム完全均衡
21-22　繰り返しゲーム
23-24　オークション
25-26　シグナリングゲーム
27-28　ゲーム理論のトピックス１
29-30　ゲーム理論のトピックス２

[1-2　Introduction
3-4　Strategic form games
5-6　Dominant strategies, Nash equilibria
7-8　Duopoly model
9-10　Tragedy of commons
11-12　Mixed strategies
13-14　Extensive form games
15-16　Backward induction
17-18　Bargaining model
19-20　Subgame perfect equilibria
21-22　Repeated games
23-24　Auction
25-26　Signaling games
27-28　Topics on game theory 1
29-30　Topics on game theory 2]

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（小テスト、宿題、報告等）と理解度確認セッションの成績によって評価する。状況により、平常点（小テスト、宿題、報告等）のみによって評価する場合がある。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前に資料が配布された場合は読んでおくこと。授業中に行った練習問題の復習をすること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
連絡先：ohseto@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：金曜日　16:20-17:20

中級マクロ経済学特論/Intermediate Macroeconomics

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時.前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO503J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に、動学マクロ経済モデルの解法の習得及び様々なモデルの学習を目的とする。このコースでは、数学、特に微分を多用する。これにより、マクロ経済学のより深い理解を目指す。

２．学修の到達目標/Goal of study：
このコースを通して、以下の習得を主に目指す。
1.経済全体のメカニズム、および、総生産、雇用、賃金、利子率がどのように決まるかが、説明できる。
2.基本的なモデル（経済成長、消費と貯蓄、景気循環など）を根底にある要因を描写できる。
3.政府の政策や、外的ショックの経済への効果を厳密に評価できる。
4,今、話題になっている諸問題(コロナウィルス)と経済モデルを用いて、分析できる。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下の内容を取り扱う予定である。

（１）マクロ経済学の潮流
（２）一般均衡モデル(静学)の解法
（３）ソローの成長モデル
（４）最適成長モデル
（５）内生的経済成長モデル
（６）消費-貯蓄モデル
（７）動学的一般均衡モデル
（８）景気循環(RBC) モデル
（９）貨幣経済
（１０）世代重複(OLG) モデル
（１１）労働サーチとマッチング
（１２）コロナウィルスの経済分析

※時間があれば、その他の重要なトピックを扱う予定である。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
講義は日本語で行う。但し、スライドは英語を使用する。
受講者が提出する課題、および理解度確認セッションは英語で出題するが、解答は、英語でも日本語でもどちらでも構わない。

６．成績評価方法/Evaluation method：
試験（80%）と課題提出（20%）。試験は、学期中、理解度確認期間の２回、実施する。課題は、ほぼ全てのトピックの最後に問題を課し、提出を求める。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hill	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
The ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom にスライドを事前にアップする予定である。

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
課題を通して、各トピックの本質を理解してもらう。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

コロナウィルスの感染リスクを考慮し、オンデマンドで授業を展開することもありうる。

また、数値計算の課題は、出さない。

上級マクロ経済学特論/Advanced Macroeconomics

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時.後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO504J, 単位数/Credit(s)：4

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
今日、大学院レベルのマクロ経済学において標準的な理論モデルと見做されている動学的確率的一般均衡モデル（Dynamic Stochastic General Equilibrium Models. 以下、DSGE モデル）について解説するとともに、実習を通じてその手法を習得する。

This lecture aims to explain the DSGE models, which are now regarded as a standard tool for analyzing business cycles.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・ 動学最適化の考え方・方法を習得する。
・ DSGE に分類されるマクロモデルから得られる主要結果を理解する。
・ 数値解析の分析手法を習得する。

Students are expected to master the following:
1. methods of dynamic optimization
2. results obtained from DSGE models
3. methods of numerical analysis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は対面方式で実施する。授業に関するより詳細な情報や教材は Google Classroom を通じて提供するので、履修を考えている人は Google Classroom の上級マクロ経済学特論のページを授業開始前にチェックしておくこと（クラスコード：iifdnoga)。
i
Classes will be conducted in real-time remotely using Google Meet. Detailed information and teaching materials will be provided through Google Classroom (class code: ifdnoga).

授業では、以下の内容を講義する。
1. DSGE モデルとは？
2. 動学最適化
（ア）不確実性のない場合
（イ）不確実性のある場合
3. 非貨幣的な DSGE モデル
4. 貨幣的な DSGE モデル
また、講義とは別に、MATLAB を用いたコンピューター実習を実施する予定である。

Contents:
1. What is the DSGE model?
2. Dynamic optimization with or without uncertainty
3. Non-monetary DSGE models
4. Monetary DSGE models

Students will have not only lectures but also practical training using MATLAB.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
筆記試験とほぼ毎回課される宿題の提出状況によって評価する。
Students will be evaluated based on the results of homework and closed-book examination.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The ABCs of RBCs: An Introduction to Dynamic Macroeconomic Models	George McCandless	Harvard University Press	2008	978-0-674-02814-2	参考書
Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle: An Introduction to the New Keynesian Framework and Its	Jordi Gali	Princeton University Press	2015	978-0-691-16478-6	参考書

Applications, 2nd ed.					
動学マクロ経済学へのいざない	蓮見亮	日本評論社	2020	978-4535559493	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgwOTU3NTUy

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
理解を確実にするためにほぼ毎回宿題を課する予定である。

Homework will be assigned to every class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業には数値計算ソフトMatlabとそのアドインであるDynareをインストールしたノートパソコンを持参すること.。

Students must bring a note PC with MATLAB and Dynare to class.

中級計量経済学特論Ⅰ/Intermediate Econometrics Ⅰ

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO505E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to probability theory and statistics for economists. The course will cover fundamental knowledge of probability and statistics for the preparation of subsequent econometrics courses. Simple R programs will be used and taught.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of probability and statistics, especially in conducting economic data analysis. Good command of knowledge covered in this course will also facilitate studying other economic courses.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Foundation of Probability (Hansen Chapter 1)
- Random outcomes and events
- Probability measure
- Conditional probability and independence

Random Variables and Univariate Distributions (Hansen Chapter 2)
- Random variables: discrete & continuous
- Distribution functions
- Moments

Important Parametric Distributions (Hansen Chapter 3 & 5)
- Discrete distributions
- Continuous distributions

Random Vectors and Multivariate Distributions (Hansen Chapter 4 & 5)
- Joint distributions
- Conditional distributions
- Independence and correlation
- Conditional expectation

Sampling Theory and Statistics (Hansen Chapter 6)
- Population, random sample, and statistics
- Sampling distribution of statistics

Law of Large Numbers and Central Limit Theory (Hansen Chapter 7 & 8)
- Asymptotic limits & LLN
- Convergence in distribution & CLT

Parameter estimation and evaluation (Hansen Chapter 10 & 11)
- Population and distribution model
- Maximum likelihood estimation
- (Generalized) Method of Moments
- Mean squared error and best unbiased estimators

Hypothesis Testing (Hansen Chapter 13)
- Hypothesis testing related concepts

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Probability and Statistics for Economists. Hansen, Bruce E. 2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

Google Classroom: bdv36v6

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

The author's earlier draft of the book will be uploaded on google classroom.

中級計量経済学特論Ⅱ/Intermediate Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO506E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook
Wooldridge, J. M. (2016). Introductory econometrics: A modern approach, 6th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)
Basic probability & statistics for econometrics
Conditional expectation (conditional mean)
Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)
Simple & multiple regression
Gauss-Markov Assumptions
Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)
Classical linear model (CLM) Assumptions
t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)
Asymptotic normality
Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)
Robust standard error & inference
Diagnostic tests for Heteroskedasticity
Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)
Instrumental variable & 2SLS
Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)
Beta Coefficients
Functional forms
Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)
Dummy regressors
Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Assignments (30%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (40%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Introductory Econometrics: A Wooldridge Cengage Learning 2016
modern approach 5e

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: p7wm7sv
Download the text as E-Book from the library website

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

戦略と組織特論/Strategy and Organization

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN501J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本授業は、経営学の教員で担当する講義であり、それぞれの教員の研究分野に関する講義をオムニバス形式で提供する。今日、経営学の分野でどのような研究が行われているかを幅広く紹介するので、この講義を通じて受講者は、自らの研究の視野を広げてほしい。対象は修士学生であるが、学部生、博士課程、他分野の学生に対しても開かれている。

In this omnibus lecture series on strategy and organization, eight professors of different specialties deliver various themes. By introducing up-to-date academic development in each sub-field of business management, students would have a chance to broaden their perspectives when selecting and conducting their research projects. This course is designed initially for master course students, but we also welcome undergraduate students, students of the Ph.D. course, and other majors.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学関連の研究について、広く知識を得ること。
レポート作成を通じて、それぞれの分野についての理解を深めつつ、研究論文の書き方を学ぶこと。

You should understand the wide range of concurrent research developments in a business management field by the end of this course. You are required to write and submit a report for eight different sub-themes, which would help to enhance your understanding and achievement.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容、日程については下記の通りであり、対面講義で行う。
ただし変更の可能性もあるので、随時、授業内およびGoogle Classroom(ndhbae7)のアナウンスに注意を払うこと。

The contents and schedule of this class are as follows
It will be conducted through face-to-face lectures.
When there are any changes, we will announce you via the classroom.
Please pay close attention to the announcement in the Google classroom (class code: ndhbae7) as well.

＊その他、外部講師、講演会への参加を随時アナウンスをする。

10 月 2 日		
10 月 16 日	山﨑	オリエンテーション
10 月 23 日	山﨑	戦略論
10 月 30 日	山﨑	戦略論
11 月 6 日	金	国際経営
11 月 13 日	金	国際経営
11 月 20 日	福嶋	地域企業・ベンチャー
11 月 27 日	福嶋	地域企業・ベンチャー
12 月 4 日	藤本	組織論
12 月 11 日	高浦	企業倫理入門
12 月 18 日	高浦	CSR 入門
12 月 25 日	一小路	マーケティング
1 月 15 日	西出	非営利組織論
1 月 22 日	西出	非営利組織論
1 月 29 日		

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

６．成績評価方法/Evaluation method：
・各教員が課題を出し、成績評定をしたものを、単純平均し、得点とする。
・出席は必須。ただしどうしても出席できない場合は、その回の担当教員に事情を説明し、代替措置の有無について問い合わせをすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/1/c/NTg4ODgwOTkzMjQw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業の資料は各担当教員から指示および提供され、事前課題が出されることがあるので、Google Classroom でのアナウンスの内容に従うこと。
・授業で紹介されたり、興味をもった分野の論文・書籍を読むこと。
・授業で課されたレポートや宿題は必ず提出すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・第一回目のオリエンテーションには必ず参加すること（やむを得ず欠席する場合には、窓口教員：山﨑まで事前にメールで連絡すること）　(kiyohiro.yamazaki.e1@tohoku.ac.jp)。

経済史特論/Economic History

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO511J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
歴史学（外国史）の方法論

経済史研究においては、経済学の理解と歴史学の理解の両方が必要となる。本講義では、その２つのうちの歴史学の方法論に特に焦点を当てる。

Methodology of Historical Research (for Foreign History)

The study of economic history requires both an understanding on economics and an understanding on historical reserach. This course will focus specifically on the methodology of historical part of the two.

２．学修の到達目標/Goal of study：
外国史および国際関係史に関して、大学院の専門レベルでの論文作成のための実証的な歴史研究の方法を知る。

The goal is to know how to conduct empirical historical research for dissertations at the graduate level on foreign history and the history of international relations.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

講義の進め方
テキストの該当箇所について、授業前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。
第１回では要約発表はなし。ただし、受講者は第１回への出席前に、教科書の
「日本語版の読者へ」、「はじめに」、「訳者あとがき」を読了していること。
したがって、受講者は、必ず教科書を持参すること。
授業後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本講義では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、bj6pb2b

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義のイントロダクションと教科書「日本語版の読者へ」、「はじめに」、「訳者あとがき」
第２回：教科書第１章「歴史研究の理論」（１）
第３回：教科書第１章「歴史研究の理論」（２）
第４回：教科書第２章「外交史と国際関係理論」（１）
第５回：教科書第２章「外国史と国際関係理論」（２）
第６回：教科書第３章「歴史研究の批判的分析」（１）
第７回：教科書第３章「歴史研究の批判的分析」（２）
第８回：教科書第４章「文献分析で解釈を向上させる」（１）
第９回：教科書第４章「文献分析で解釈を向上させる」（２）
第１０回：教科書第５章「文書を使いこなす」（１）
第１１回：教科書第５章「文書を使いこなす」（２）
第１２回：教科書第６章「プロジェクトを始める」
第１３回：教科書第７章「書き上げる」
第１４回：討論および進度調整
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

講義の進展速度、受講者数、受講者の研究テーマなどによって、内容・進度に多少の変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class contents:.

How to proceed with the lecture.
In the first half of the class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.
Therefore, students must bring the textbook.
In the second half of the class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this class. The class code is bj6pb2b.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

国際関係史の技法：歴史研究の組み立て方	マーク・トラクテンバーグ	ミネルヴァ書房	2022年	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroomのクラスコードは、bj6pb2b

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の講義までにこのシラバスを読んでいること。（第１回の講義の際に確認します。）また、講義の際は必ず教科書を持参すること。
オフィスアワー：講義中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

（※経済史特殊講義の受講者も、必ず経済史「特論」の方のGoogle Classroom、bj6pb2b にログインして下さい。）

経営史特論/Business History

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN503J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史とは、企業がその時代に直面した経営上の問題をどのように解決したのか、また企業行動にどのような背景があり、それはいかなる成果に帰結したのかを解明する学問である。本講義では、発展途上国における産業の形成・発展・変容について、戦前日本を事例として、多様な視点で学ぶ。

Business history is the study of how companies solved the business problems they faced in their time, the background to their actions, and the results they achieved. In this lecture, we will study industries' formation, development, and transformation from various perspectives in developing countries.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1) 歴史の中で企業の果たす意義と可能性を考える。
(2) 経営環境や歴史的条件などの制約の中で、経営者の意思や主体的な選択が、歴史にどのような影響を与えたのかを学ぶ。
(3) 企業の経営戦略や組織構造が決定される要因や因果関係について理解する。

To understand the formation process of the stock company system by focusing on management's will and independent choice.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回：イントロダクション/Introduction
第 2-6 回：産業の形成/The formation of the industry
第 7-10 回：産業の発展/The development of the industry
第 11-14 回：産業の変容/The transformation of the industry
第 15 回：まとめ/Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート：40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：理解度を深めるためにも事前学習が望まれる。
復習：前回までの知識を前提として授業をすすめるため、復習は必須である。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：講義は日本語で行い、レポートは日本語か英語とする。
履修の條件：特になし
参考書：購入する必要はありません。レジュメを配布します。
連絡先：takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
BCP レベル１の場合は、「対面授業」を原則とする。
BCP レベル２以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。

参加者はGoogleクラスルームを必ず参加登録すること。
クラスコードは「v3n6ami」

Language: Japanese.
Course Requirements: None.
Reference books: No need to buy. My resume will be distributed.
Contact: takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp
Faculty website: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
For BCP level 1, face-to-face classes are the general rule.
For BCP level 2 and above, "online class" shall be the principle.
Participants must register for the Google Classroom.
The class code is v3n6ami

財務会計論特論/Financial Accounting

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ５講時.後期 月曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC501J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義の目的は、財務会計が果たす役割に関する理論的な背景を学んだうえで、実証的に検証された知見を体系的にレビューすることです。会計学を勉強する学生は一般的に企業が会計基準に基づいて財務諸表を作成するプロセスを詳細に学習しますが、財務諸表が社会においてどのように利用され、どのような経済的な影響をもたらすかといった知見を学ぶ機会は多くありません。しかしながら、そのような財務会計の機能や経済的帰結は、私たちが財務会計の意義を深く理解し、社会で扱うために有用となる知識です。財務会計の学術研究領域では、そのような知見を得るために経済学を用いた理論が展開され、それを実際の財務諸表や株価などのデータを用いて検証する研究が進められており、それらは財務会計の実証研究と呼ばれます。具体的には、企業の会計情報の公表を中心とした利害関係者や経営者の行動や、それらに対する社会的な影響が生じる仕組みを明らかにしようとしています。本講義では、財務会計やその関連領域における実証研究を中心として、現在までの多くの研究の基礎となった初期の研究をふりかえると共に、そこから発展して広がる様々な研究トピックスを取り扱います。講義においては、それぞれの研究の問題意識や理論的な背景に基づく仮説構築過程を理解し、実証的な分析結果が持つ意味や将来に向けた課題を議論します。
/ The purpose of this course is to provide a theoretical background on the function of financial accounting, reviewing systematically empirical research. While accounting students generally study the process by which companies disclose financial statements based on accounting standards, they do not have many opportunities to learn about how financial statements work and what consequence they have. Such knowledge of the functions and economic consequences of financial accounting will be significant for us to understand the usefullness of financial accounting and deal with accounting information on practice. The academic research of financial accounting has developed economic theories and examined these theories empirically based on data such as financial statements and stock prices, which are called archival research in financial accounting. Specifically, the research examine the mechanisms by which stakeholders and managers behave around the corporate disclosure of financial accounting and the mechanisms of the economic impacts on them. In this lecture, we will review the early research that provided the basis for much of the research to date, with a focus on empirical research in financial accounting and related fields. And then, we will also cover various research topics that have developed and expanded from that research. In the lectures, students will understand the process of hypothesis development based on the research question and theoretical background of each study, and discuss the implications of the empirical analysis results and issues for the future.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本講義の目標は、学生が財務会計に関する実証研究における理論的な背景やその研究成果を理解し、そこから学術的・実務的な知見を得ることです。 / The goal of this course is to understand the theoretical background and analytical results of empirical research in financial accounting and to gain academic and practical insights from it.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は対面で行います。担当教員が各回の課題とする論文を事前に指定し、受講者は指定された論文を事前に読んだうえで報告準備をして授業に参加します。授業は受講者がその内容を報告することによって進行します。報告内容に関して、背景にある考え方を理解し、結果の含意や課題となることを議論します。このとき、担当教員が受講者の理解を促すために、必要に応じて補足的な説明をすることがあります。なお、受講者の数やその理解度に応じて講義の進め方を変更する場合があります。
/ Classes will be held face-to-face. I will assign the papers for each session, and students will attend class after reading the assigned papers and preparing their presentations. The class will proceed through student presentations of the assigned papers. We will then discuss the background ideas, the implications of the results, and the questions raised by the paper. I will sometimes add supplementary explanations to facilitate student understanding and discussion. Note that the course of this lecture may change depending on the number of students and their level of understanding.

講義初回のガイダンスで各回で取り扱う論文タイトルの一覧を示します。また、受講者の関心に応じて指定する論文を変更する場合があります。教科書は使用しません。参考書は授業の中で適宜紹介しますが代表的なものを下記で示しています。第１回は講義の概要、進め方、成績評価に関するオリエンテーションを行います。第２回以降は、各回で設定するテーマに関する論文を通じて、そのテーマやトピックスについて議論し、理解を深めます。第 15 回では受講者が各自の関心のあるテーマから論文を選択して発表します。論文の探し方については事前に解説します。

第１回：オリエンテーション／Orientation
　講義内容の概要、講義の進め方、成績評価に関するオリエンテーションを行います。
第２回：資本市場研究の概観と利益と株価の関連性／Overview of capital market research; Value relevance
　財務会計の実証研究領域における、資本市場研究について概観し、財務会計の実証研究の先駆けとなった利益と株価の関連性に関する初期の研究を通じて、その含意や課題を議論します。
第３回：利益に対する投資家の反応／Event study
　財務報告に対する投資家の反応を調査するイベント・スタディに関する先行研究を通じて、その含意や課題を議論します。
第４回：財務報告の情報内容／The information contents of financial reporting
　財務報告の情報内容に関する先行研究を通じて、その含意や課題を議論します。
第５回：企業価値評価／Valuation
　企業価値評価に関する先行研究を通じて、その含意や課題を議論します。

第６回：契約理論・エイジェンシー理論にもとづく研究の概観と利益マネジメント／Overview of contracting theory and agency theory research; Earnings management
財務会計の実証研究領域における契約理論またはエイジェンシー理論をベースとした研究について概観し、利益マネジメントに関する初期の論文を通じて、その含意や課題について議論します。
第７回：財務報告における経営者の行動／Management behavior in financial reporting
経営者またはCFOに対して財務報告の品質に関する先行研究を通じて、その含意や課題について議論します。
第８回：会計発生高／Accruals
経営者の見積りや判断に応じた会計処理を含む会計発生高に対する株式市場の評価に関する先行研究を通じて、その含意や課題について議論します。
第９回：利益の持続性／Earnings persistence
利益の持続性に関する先行研究を通じて、その含意や課題について議論します。
第10回：会計上の評価／Valuation application
企業価値評価に関する会計的な測定を扱う先行研究を通じて、その含意や課題について議論します。
第11回：保守主義／Conservatism
会計利益における保守主義に関する先行研究を通じて、その含意や課題について議論します。
第12回：監査／Audit
財務報告における監査を取り扱う先行研究を通じて、その含意や課題について議論します。
第13回：不正と誤謬／Fraud and errors (Misstatement)
財務報告における不正や誤謬に関する先行研究を通じて、その含意や課題について議論します。
第14回：近年の研究トピックス（１）／Recent research topics (1)
受講者の関心にもとづいて財務会計の実証研究領域における近年の研究を取り上げ、最新の研究動向をフォローすると共にその含意と将来に向けた課題について議論します。
第15回：近年の研究トピックス（２）／Recent research topics (2)
受講者の関心にもとづいて財務会計の実証研究領域における近年の研究を取り上げ、最新の研究動向をフォローすると共にその含意と将来に向けた課題について議論します。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 / Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告とレポートによる評価（70%）と期末レポート（30%）で評価します。なお、各回で報告することと、期末レポートを提出することを成績評価の対象とする必須条件とします。レポートの詳細は初回の講義でアナウンスします。
AA（90点以上）、A（80点以上90点未満）、B（70点以上80点未満）、C（60点以上70点未満）、D（60点未満；不合格）。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Accounting Theory 8th edition	Scott, William Robert, and Patricia C O'Brien	Pearson Canada	2019		参考書
新版　財務会計の理論と実証（Financial Accounting Theory 8th edition の訳書）	太田康広・椎葉淳・西谷順平訳	中央経済社	2022	978-4502427619	参考書
Positive accounting theory	Watts, Ross L, and Jerold L Zimmerman	Prentice-Hall	1986		参考書
実証理論としての会計学（Positive accounting theory の訳書）	須田一幸訳	白桃書房	1991	978-4561360346	参考書
財務会計の機能 理論と実証	須田一幸	白桃書房	2000	978-4561360926	参考書
会計情報の有用性（体系現代会計学第３巻）	伊藤邦雄・桜井久勝編著	中央経済社	2013	978-4502484100	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本講義のクラスルームのクラスコードは「wikura4」です。
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwNzkyMTY4

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
受講者は指定された論文の内容について事前にひととおり読んでから講義に参加してください。また、報告担当となった受講者は、論文の内容を事前にまとめて発表する準備をしてください。
また、毎回の講義では受講者の全員に課題を出します。課題は対象となった論文について一定の様式を埋める形で内容を要約したレポートを提出するものです。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
財務会計に関する基本的な知識を既に修得していることを前提とします。また、統計学、経済学、ファイナンスの知識があれば、より理解がしやすくなります。また、指定する論文を読むための英語の読解力が必要です。

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記「シラバス補遺」で示す（要 東北大ID）
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1rocnH9KAKFyoYecxq07eYjBvVoIIYnN0u3r6qNGR3Oo/

管理会計論特論/Management Accounting

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ４講時.後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC502J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
講義の目的／Course Objective：
・管理会計の基礎を身につけること
・ストックとフローの概念及び扱いについて，管理会計の観点から理解すること
・会計情報が企業における意思決定や業績評価においてどのように利用されるかを理解すること
The purposes of this lecture are:
-To learn the basic knowledge of management accounting,
-To understand the notion of stock and flow from the perspective of management accounting, and
-To understand the role of non-financial information in decision making and performance evaluation.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本講義では，意思決定や業績評価の根拠となる原価情報の推定方法から，その適切な扱い方に至るまでを学習する.
講義の前半では，伝統的原価計算を前提に，原価の発生の態様から予算の作成，事後の業績評価手続の方法を学習する.
講義の後半では，部門の業績評価方法を理解し，短期的意思決定において関連情報と無関連情報を適切に分類することができるようになることを目標とする.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回：オリエンテーション／Orientation
講義の概要，進め方，成績評価方法等について説明する
第２回：管理会計の概要及び原価計算用語の確認／Foundation of management accounting
管理会計の果たす役割とその担い手について説明し，基本的な原価計算用語について確認する
第３回：CVP 分析／CVP analysis
所謂 CVP 分析と関連する分析方法について説明し，営業レバレッジ等の関連する概念について説明する
第４回：個別原価計算／Job costing
個別原価計算について説明する
第５回：活動基準原価計算／Activity-based costing
製造間接費の配賦に関する諸問題に関連して，活動基準原価計算について説明する
第６回：総合予算と責任会計／Master budget and responsibility accounting
総合予算の編成手順について概観し，責任会計と関連する諸概念について説明する
第７回：変動予算と直接費／Flexible budget and direct costs
マネジメント・コントロールの観点から，変動予算の作成方法及び直接費の予実差異の分析方法を説明する
第８回：変動予算と製造間接費／Flexible budget and overhead costs
マネジメント・コントロールの観点から，変動予算の作成方法及び製造間接費の予実差異の分析方法を説明する
第９回：直接原価計算と全部原価計算／direct costing and absorption costing
直接原価計算と全部原価計算による損益計算の方法を及びそれぞれの優劣を説明する
第 10 回：意思決定と関連情報 1／Decision making and relevant information 1
意思決定と関連・無関連情報の分類について説明し，業務意思決定について説明する
第 11 回：意思決定と関連情報 2／Decision making and relevant information 2
埋没原価や機会原価棟の概念を説明し，顧客の選別や部門の閉鎖といった問題の分析方法を説明する
第 12 回：意思決定と関連情報 3／Decision making and relevant information 3
その他様々な業務的意思決定に関する問題を説明する
第 13 回：原価の推定 1／Determining how costs behave 1
原価の推定方法，主に高低点法と回帰分析について説明する
第 14 回：原価の推定 2／Determining how costs behave 2
回帰分析についてより深く理解した後，学習曲線や経験曲線について説明する
第 15 回：理解度確認セッション／Examination
講義内容の理解を確認するために筆答考査をおこなう

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
・平常点（指定する章末問題）(40%)，理解度確認セッション（60%)で評価する.
・理解度確認セッションを１回実施する予定.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Cost Accounting: A Managerial Emphasis, the 16th ed.	Datar S. M., and M. Rajan	Pearson Education Limited	2017	978-1292211541	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

＜予習について＞
・講義はテキストの内容に沿って行うので，事前にテキストの内容を把握しておくこと．
・講義スライド等の資料はGoogle classroomに掲示するので，テキストを含め予習を行っておくこと．

＜復習について＞
・宿題を解き，テキスト中の重要語句の意味を確認すること．
・毎回の宿題については，講義の中やGoogle classroom上で指定する．

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
会計や原価計算に関する基礎的な知識を持っていること．たとえば，学部で会計学関連の科目や原価計算・管理会計の科目を履修していることが望ましい．

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記「シラバス補遺」で示す（要 東北大ID）
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1rocnH9KAKFyoYecxq07eYjBvVoIIYnN0u3r6qNGR3Oo/

ファイナンス特論/Corporate Finance

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ７講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM601J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本授業は，コーポレートファイナンスの基礎理論を紹介する．本授業では，コーポレートファイナンスにおける投資プロジェクトの意思決定，資金調達と資本構成，ペイアウト政策に関する基本的な考え方について説明する．
This course introduces basic theory of corporate finance. This course demonstrates basic concepts on corporate investment decisions, financing and capital structure, dividend policy in corporate finance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
コーポレートファイナンスにおける投資プロジェクトの意思決定，資金調達と資本構成，ペイアウト政策に関する基本的な考え方を理解する．
Students understand about basic concepts on corporate investment decisions, financing and capital structure, payout policy in corporate finance.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回：オリエンテーション／Orientation
本授業の概要，進め方，成績評価等について説明する．第２回目以降の授業計画は以下を予定している．
第２回：お金の時間価値／The Time Value of Money
異なる時点で発生するキャッシュフローの価値評価，将来価値と現在価値，複利の効果について説明する．
第３回：キャッシュフロー流列の現在価値／Present Value of a Cash Flow Stream
キャッシュフロー流列の現在価値の評価，投資の意思決定ルール，永久債と年金について説明する．
第４回：投資の意思決定法／Investment Decision Rules
NPV 法，内部収益率法，回収期間法，収益性指数法などの異なる投資の意思決定ルールを説明する．
第５回：債券評価／Valuing Bonds
債券の内容，債券価格と最終利回りの関係，スポット金利について説明する．
第６回：金利の期間構造／The Term Structure of Interest Rates
フォワードレートと金利の期間構造に関する仮説について説明する．
第７回：株式評価／Valuing Stocks
配当割引モデル，総還元モデル，割引フリーキャッシュフロー評価モデル，類似企業評価法について説明する．
第８回：リターンとリスク／Return and Risk
個別の株式の期待収益率とリスクの評価，株式の収益率の相関，株式のポートフォリオの期待収益率とリスクの評価について説明する．
第９回：ポートフォリオ選択／Portfolio Choice
安全資産と株式のポートフォリオの期待収益率とリスクの計算と効率的ポートフォリオについて説明する．
第 10 回：資本資産評価モデル／The Capital Asset Pricing Model
資本資産評価モデルにおいて，証券の期待収益率がどのように決定されるかを説明する．
第 11 回：資本コストの推定／Estimating the Cost of Capital
資本資産評価モデルを応用して、投資プロジェクトの正味現在価値を算出する際に必要となる資本コストを推定する方法について説明する．
第 12 回：市場の効率性／Market Efficiency
効率的市場仮説と企業財務の意思決定に効率的市場がもつ意味について説明する．
第 13 回：資本構成／Capital Structure
完全市場における企業の資本構成と企業価値の関係と負債の税控除が資本構成と企業価値に及ぼす影響について説明する．
第 14 回：ペイアウト政策／Payout Policy
完全市場におけるペイアウト政策と企業価値の関係について説明する．
第 15 回：理解度確認セッション／Examination
これまでの講義内容の理解を確認するために課題テストを実施する．

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッションで実施する課題テストによって評価する．

７．教科書および参考書/Textbook and references：

コーポレートファイナンス（入門編）第２版	バーク・ディマーゾ	丸善出版	2014	4621066102	参考書
コーポレートファイナンス（応用編）第２版	バーク・ディマーゾ	丸善出版	2014	4621066110	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
「教科書および参考書」に記載した図書を読み，章末問題に取り組むことを推奨する．

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:〇

産業発展論特論/Industrial Development

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO613J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
事例を通して，産業調査の方法とその背後にある認識論を学び，実態調査に基づく定性的研究法への理解を深める。

In this class, students learn industrial research methods and the epistemology behind them through case studies to deepen their understanding of qualitative research methods based on factual surveys.

２．学修の到達目標/Goal of study：
＊実態調査に基づく定性的研究法の意義と限界について理解すること。
＊産業調査に基づく研究成果の意義と限界について理解すること。
＊産業調査の計画立案と質問票作成を行うスキルを身に着けること。

*To understand the significance and limitations of qualitative research methods based on surveys of actual conditions.
*To understand the significance and limitations of research findings based on industrial surveys.
*To acquire skills in planning industrial surveys and preparing questionnaires.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本講義は，川端が過去 30 年間に実施してきた産業調査について紹介し，議論する。調査がどのような背景を持って実施されたか，調査では何を明らかにしようとしたか，調査はどのように行われたか，調査結果はどのように研究に活かされたか，調査と研究の意義と限界はどこにあったか，を受講者とともに検討する。

＜予定スケジュール＞
１．ガイダンスーー産業論における生産力と生産関係の認識
２．日本企業の製品開発調査（1992-1995）
３．日米合弁鉄鋼企業調査（1994）
４．日本企業の生産システム調査（1993-1998）
５．山西省鉄鋼業と環境問題調査（1999-2006）
６．初期産業発展論ゼミ工場調査（日産自動車，NKK，日立製作所，トヨタ自動車，デンソー，豊田自動織機）（1998-2000）
７．ベトナム国市場経済化支援計画策定調査(石川プロジェクト)（2000-2001）
８．NEU-JICA 共同研究・ベトナム開発フォーラム（VDF)によるベトナム鉄鋼業調査（2001-2007）
９．タイ鉄鋼業調査（NEU-JICA，アジア経済研究所）（2003-2008）
10．東アジア銑鋼一貫企業比較調査（科研費等）（2007-2012）
11．大連市ソフトウェア・ITES 産業調査（2010-2014）
12．東北地方自動車産業調査（2010-2016）

This lecture will introduce and discuss industrial surveys conducted by Kawabata over the past 30 years. Together with the participants, we will examine the background of the surveys, what the surveys sought to reveal, how the surveys were conducted, how the survey results were used in research, and what the significance and limitations of the surveys and research were.

Tentative schedule
1. Guidance: Recognition of productive forces and production relations in industry studies
2. Survey of Product Development in Japanese Companies (1992-1995)
3. Survey of U.S.-Japan joint venture steel companies (1994)
4. Survey on Production System of Japanese Enterprises (1993-1998)
5. Survey of the Steel Industry and Environmental Issues in Shanxi Province, China (1999-2006)
6. Survey of factories by Laboratory of Industrial Development (Nissan Motor, NKK, Hitachi, Toyota Motor, Denso, Toyota Industries (1998-2000)
7. Study on the development of a plan to support the transition to a market economy in Vietnam (Ishikawa Project) (2000-2001)
8. Survey of the Iron and Steel Industry in Viet Nam by NEU-JICA Joint Study and Vietnam Development Forum (VDF), etc. (2001-present)
9. Survey on the Iron and Steel Industry in Thailand (NEU-JICA, Institute of Developing Economies) (2003-2008)
10. Comparative Survey of Integrated Iron and Steel Companies in East Asia (2007-2012)
11. Survey of the Software and ITES Industry in Dalian City, China (2010-2014)
12. Survey of the Automobile Industry in North East Area, Japan (2010-2016)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：50 点
レポート：50 点

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本企業の研究開発システム	大阪市立大学経済研究所　明石芳彦･植田浩史編	東京大学出版会	1995	9784130401456	教科書
日本企業の生産システム	坂本清編著	中央経済社	1998	9784502348457	教科書
東アジア鉄鋼業の構造とダイナミズム	川端望	ミネルヴァ書房	2005	9784623045181	教科書
ベトナムの工業化戦略	大野健一・川端望編	日本評論社	2003	9784535552920	教科書
アジア諸国の鉄鋼業	佐藤創編	アジア経済研究所	2008	9784258045716	教科書
（雑誌論文，調査報告書は別途指定する）					

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
教科書の一部と，雑誌論文，調査報告書を予習文献に指定する。指定した文献を予習すること。入手方法についてはガイダンスで説明する。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

地域計画特論/Regional Planning

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO614J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

本年度の経済学研究科・地域計画特論（経済学部・地域計画特殊講義）は、「都市・地域計画」及び関連領域の理論と実践に関するテキストを複数取り上げ、批判的に輪講する。この分野は、建築･土木･造園等の物的計画（Physical Planning）に基礎を置くものから、観光学、行政学や政策科学、社会学、地域経済学、福祉政策的視点で研究されたものまで多様なアプローチが存在している。今回は、受講生の専門領域や関心の所在に応じてテキストを選択し、比較検討の対象としたい。さらに、現実の実践例についても適宜紹介してもらう予定であるが、今のところ（講義開始当初は)、下記の２冊の内から１つを選び輪講を始めることを考えている。

・板垣勝彦（2023)『都市行政の変貌と法』第一法規
・北原糸子（2023)『震災復興はどう引き継がれたか：関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災』藤原書店

本講義は、 Google Classroom：cfztmcw を通じて、講義関連の連絡・情報提供や資料配付・課題提示を行う。
学部講義［EB435］地域計画特殊講義でも、上位と同じ Classroom を利用する（jaaq3vj は利用しない)、

This year's Regional Planning Special Lectures will feature several textbooks on "urban and regional planning" and related topics. This field is mainly based on the physical planning of architecture, civil engineering, landscaping, and also has various connections with tourism, administration and policy science, sociology, regional economics, and welfare policy. The selection of textbooks should be based on the student's area of specialization and interest.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・都市計画・地域開発・まちづくり・地域デザイン等に関わる多様な論点と、その理論的背景を理解する
・計画実践例の展開過程を追い、計画・実施組織や方法論の特徴を、地域いぇきぶんみゃくの中で把握する
・上記の理論化と政策立案・施策実施との関係性を理解する

・ Understand various issues and theoretical backgrounds of city planning, regional development, community organization, regional design, and so on.
・ Follow the developing process of some plans, and grasp the characteristics of the planing institution and methodologies in a regional contexts.
・ Understand the relationship between the planning theory and practice.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

〇講義方法

下記の参考文献欄に示したものの他、参加者からの提案も踏まえて、初回に教科書・参考書の候補を持ち寄り、その中から選定する。各回の講義は、報告者と討論者を中心とする輪講形式で行う。報告者は文献内容の要約紹介を、討論者は内容に対するコメントと関連事例の報告をそれぞれ担当する。各回の報告担当は第２回講義開講時に決定し、報告者は発表の前週にレジメを、討論者は当日コメントを準備しておくこと。レジメ作成では、地図・統計表・その他関連資料を自ら発掘し添付することが望ましい。

〇進捗予定
・第１回　ガイダンス・テキスト選択
・第２回　参加者の研究テーマ紹介と作業分担
・第 3～13 回　報告と討論（毎回二人程度)
・第 14,15 回　総括

〇 Lecture style

In addition to those texts listed in the reference below, based on the suggestions of participants, we select textbooks at the beginning of the course. Each session will be held in a round-table manner centered on the reporter and debaters. The reporter is responsible for summarizing the contents of the literature, and the debaters are responsible for commenting on the contents and introducing supplemental cases. It is desirable to find and attach maps, statistical tables, and other related materials.

〇 Schedule
・ 1st session: Guidance and text selection
・ 2nd: Introduction of participants' research topics and work sharing
・ 3rd to 13th: Reports and discussions (about 2 people each time)
・ 14th and 15th: Review and summary

〇板垣勝彦（2023)『都市行政の変貌と法』第一法規　の場合
第１部　都市空間の再構成
　第１章　都市行政と住宅法
　第２章　用途地域規制の過去、現在、未来
　第３章　コンパクトシティの法的コントロール
　第４章　都市の駅とまちづくりにおける行政と法
　第５章　歴史と共に生きるまちづくり

第６章　道路占用許可の規制緩和と屋外都市空間の多目的利用
第７章　地下空間の公共的利用と法
第２部　都市居住の変容
第１章　新型コロナウイルスと都市生活
第２章　高齢者の住まいと地域包括ケアの法律学
第３章　高齢社会における管理不全不動産の諸問題
第４章　外国人居住と行政法
第５章　「住みこなし」の法律学
第３部　都市紛争の相貌
第１章　長期にわたる都市計画制限の見直しと損失補償
第２章　場外車券発売施設の設置と地域住民の原告適格
第３章　農地の競売と買受適格証明書
第４章　３号道路の判定と処分性
第４部　都市を支える基盤
第１章　セーフティネットとしての公営住宅
第２章　改良住宅の使用権確認等請求事件
第３章　都市公園の公告
第４章　水道コンセッションと保障責任
第５章　工業用水道の廃止負担金
第６章　内水氾濫と国家賠償――下水道と河川管理の交錯――

○北原糸子（2023）『震災復興はどう引き継がれたか：関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災』
第Ⅰ部　「近代復興」の起点・継承・その終焉
―関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災
序 関東大震災と東日本大震災をつなぐ昭和三陸津波
第１章 昭和三陸津波　東北の震災近代復興
第２章 昭和三陸津波　リーダーの存在と復興への道
第３章　「近代復興」の終焉・東日本大震災――その起点・関東大震災からの系譜
第Ⅱ部 関東大震災の社会史
はじめに
序章 メディアが捉えた震災
第１章 関東大震災の救護と復興計画
第２章 震災地の罹災者・東京――救護の力
第３章 バラック設置から閉鎖まで
第４章 地方へのがれる避難民
第５章 震災義捐金を活かす
終章 帝都復興計画の行方
第Ⅲ部 関東大震災・資料篇
１ 関東大震災における避難者の動向――「震災死亡者調査票」の分析を通して
２ 関東大震災における下賜金について

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論（講義への貢献 50%）と、レポート（学期末他 50%）により評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

都市行政の変貌と法	板垣勝彦	第一法規	2023	978-4474091825	候補
震災復興はどう引き継がれたか：関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災	北原糸子	藤原書店	2023	978-4865783766	候補
まちづくりの統計学	宇都宮浄人	宇都宮浄人	2022	978-4761528065	昨年度採用
産業政策のつくり方	大野健一	有斐閣	2013	978-4641164185	
地域再生の失敗学	飯田・木下・川崎・入山ほか	光文社新書	2016	978-4334039158	
都市縮小時代の土地利用計画：多様な都市空間創出へ向けた課題と対応策	浅野・海道・中西・秋田ほか	学芸出版社	2017	978-4761540920	
都市をつくりかえるしくみ	門性をつなぐ参画のしくみ研究会編	彰国社	2016	978-4395320813	
まちづくりとしての地域包括ケアシステム：持続可能な地域共生社会をめざして	辻哲夫・田城孝雄・内田要編	東京大学出版会	2017	978-4130511421	
災害復興法学	岡本正	慶応義塾大学出版会	2014	978-4766421637	
復興の空間経済学：人口減少時	藤田昌久・浜口伸明・	日本経済新聞	2018	978-	

代の地域再生　　亀山嘉大　　4532134785

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・報告者は担当箇所を要約し、発表前週の講義修了時にレジメを印刷・配布すること。
・討論者は前週に配られたレジメを予習し、コメント等を準備しておくこと。
・他の参加者は、レジメ読了の上、講義に参加すること。

〇その他の参考図書
・日本建築学会編（2004～）『まちづくりの方法』まちづくり教科書シリーズ 1～10、丸善
・日本建築学会編（2014）『コンパクト建築設計資料集成：都市再生』、丸善
・伊藤智章　(2016)『地図化すると世の中が見えてくる』、ベレ出版
・Adam Sheppard

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
特に履修の条件はない。オフィスアワーは相談の上決定する。講義内容や文献等に関して質問がある場合は、事前にメール（s.masuda@tohoku.ac.jp）で連絡の上、研究室（川内南・経済学研究棟 513 号室）まで。

人材マネジメント論特論/Human Resource Management

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN604J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業では、人的資源管理について、歴史的な形成過程から今日の仕組みや課題などを幅広く取り上げる。現代企業の人材マネジメントを理解するためには、歴史的およびグローバルな視点から考察することが肝要である。そこで、この授業では様々な視点からの概念モデルや理論を通してとりわけ日本企業の人材マネジメントについて幅広く論じる。

In this course, I take up human resource management through various scope and approach, and especially Japanese human resource management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
今日の人材マネジメントに関して、複眼的な視点から自分の言葉でその全体像を論じられるようになることが到達目標である。

The purpose of this course is to be able to speech whole of today's human resource management from several view point.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業形態は、対面で時間割通りにリアルタイムで行う。

授業の内容は、基本的な理論や概念モデルを図解したレジュメに基づいて講述を中心とする授業を行う。使用するレジュメは、以下の Google Classroom にアクセスして事前にダウンロードして準備すること。

クラスコード：soo5rxj
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTc4MDEz?cjc=soo5rxj

主な授業内容のテーマは以下の通りである。
・ 人材マネジメントの変遷とフレームワーク
・ 今日の労働市場と人材ポートフォリオ
・ 日本企業における人材の採用と退職、配置と昇進、評価と処遇
・ 人材育成とキャリアマネジメント

This course will be held by face to face on real time.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
講義内容を踏まえた課題レポートによって評価（100%）する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTc4MDEz?cjc=soo5rxj

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
あらかじめダウンロードしたレジュメを見ながら当日の授業内容をイメージしておくこと。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
レジュメを使用するので特定の教科書はないが、レジュメに参考文献が明記されているので復習の際にはそれらを活用す

ること。

マーケティング管理論特論/Advanced Study in Marketing Management

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN605J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
学生はマーケティングを学ぶ上で標準的な教科書である「マーケティング・マネジメント」（コトラー＆ケラー）を題材に、マーケティングの基本的な理論について理解する。
Students will understand the basic theories of marketing using the standard textbook on marketing, "Marketing Management" (Kotler & Keller) as their subject.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マーケティングの基本的な理論を理解したうえで、その理論を用いて現実の事象を分析できるようになる。
Students will be able to understand the basic theories of marketing and then use those theories to analyze real-world events.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
指定された教科書に関して各章ごとに批判的に読み進める。
Students will critically read each chapter of the assigned textbook.

発表者は各章に関して発表資料を作成し、他の学生に印刷して配布したうえで発表する。
The presenter will prepare presentation materials for each chapter, print and distribute them to the other students, and then present them.

その他の受講生は各章に監視て疑問点や議論点を作成（1 枚以内）したうえで、担当教員に提出する。
Other students should prepare questions and discussion points (no more than one page) on each chapter and submit them to the instructor.

発表後、参加者の間で質疑応答や議論を行う。
After the presentation, there will be a question and answer session and discussion among the participants.

必要な連絡は Google Classroom を通じて行う。クラスコードは qed52vl である。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is qed52vl.

初回講義は Google Meet を用いる。クラスにある Meet のリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント 第12版	Philip Kotler & Kevin Lane Keller	丸善出版	2014	4621066161	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前学習：各章に関する事前理解並びに疑問点・議論点の考察
事後学習：議論を踏まえたうえでのトピックの整理

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

日本経済史特論/Japanese Economic History

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO616J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本における近代経済成長の始動と展開を体系的に把握する。もって、日本経済史を専門的に研究していくために必要な知見と方法を獲得する。

In this course, students will systematically learn to understand the start and development of modern economic growth in Japan. In this way, students will acquire the knowledge and methods necessary for the academic research of Japanese economic history.

２．学修の到達目標/Goal of study：
労働、人口、金融、農業、工業、商業などの側面から江戸～明治・大正期の日本経済史を深く理解すること。
日本経済史分野の専門的議論を正確に理解し、研究上の論点を整理し、新たな課題を抽出すること。

Students are expected to achieve the following:
1.To understand he Japanese economic history from the Edo to Meiji/Taisho periods from the perspectives of labor, population, finance, agriculture, industry, and commerce.
2.To accurately understand academic discussions in the study of Japanese economic history, organize academic issues, and extract new academic themes.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各回の授業は輪読形式で実施する。
1.授業時間の前半では、教科書の該当箇所について、担当者（受講生のなかから担当者を事前に決定する）が内容要約等を発表する。
2.授業時間の後半では、講師による解説と参加者によるディスカッションを行う。

進度の予定は次の通りを予定している。
１．ガイダンス
２．マクロ経済と政府の役割(1)16 世紀末～19 世紀前半
３．労働と人口(1)人口と都市化、移動と就業
４．金融(1)農業金融の矛盾と公債市場の安定
５．農業と土地用益(1)経済性成長と社会的安定の相克
６．鉱工業(1)農村工業の拡大と鉱業の自立
７．商業とサービス(1)近世日本の市場と商業
８．マクロ経済と政府の役割(2)19 世紀後半から第一次世界大戦前（1913）
９．労働と人口(2)移動の自由と技能の形成
10．金融(2)近代的金融システムの形成と企業金融
11．農業と土地用益(2)明治の農業と都市不動産業
12．鉱工業(2)産業革命期の鉱工業
13．商業とサービス(2)交通革命と明治の商業
14．総合討論
15．理解度確認セッション

This class will be conducted in a reading the textbooks by turns.
In the first half of the class time, one student, pre-selected from among the students, will present a summary of a chapter in the textbook.
In the second half of the class time, the instructor will provide explanations and participants will discuss.
Class schedule:
1.Introduction
2.Mcroeconomics and the Role of Government (1) Late 16th century to mid-19th century
3.Labor and Population (1) Population and Urbanization, Migration and Nature
4.Finance (1) Contradictions in Agricultural Finance and Stability of the Bond Market
5.Agriculture and land use (1) Conflict between economic growth and social stability
6.Mining and manufacturing (1) Expansion of rural industry and independence of mining
7.Commerce and Services (1) Markets and Commerce in Early Modern Japan
8.Macroeconomics and the Role of Government (2) Late 19th Century to Before World War I (1913)
9.Labor and Population (2) Freedom of Movement and Formation of Ability
10.Finance (2) Formation of Modern Financial System and Corporate Finance
11.Agriculture and Land Utilities (2) Agriculture and the Urban Real Estate Industry in the Meiji Period
12.Mining and manufacturing (2) Mining and manufacturing during the industrial revolution
13.Commerce and Services (2) Transportation Revolution and Meiji Commerce
14.General discussion
15.Comprehension check session

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容（50%）、ディスカッションへの貢献（30%）、理解度確認セッションの得点（20%）により評価します。

Presentation(50%), Discussion(30%), Examination(20%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本経済の歴史　第２巻	深尾京二・中村尚史・中林真幸編	岩波書店	2017	978-4-00-011402-8	教科書
日本経済の歴史　第３巻	深尾京二・中村尚史・中林真幸編	岩波書店	2017	978-4-00-011403-5	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
1.受講者には次のことが義務付けられるので、その点をよく理解したうえで履修してください。
(1)最低限１回以上、発表すること。
(2)毎回の授業では、該当箇所を事前に読んだうえで臨むこと。
(3)必ず教科書を入手すること。
2.履修希望者は必ず初回授業に出席してください。

会計情報論特論/Accounting Information

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC601J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

企業が公表する財務諸表に基づき当該企業の現状と課題を把握するための財務諸表分析について，基本的な比率分析の手法を中心に講義する．本講義で取り扱う手法は，企業評価，倒産分析，証券投資分析，監査など幅広く適用可能なものである．

I will lecture on the basic framework of financial statement analysis, focusing on the basic method of ratio analysis. The techniques that can be acquired from this lecture are widely applicable to corporate evaluation, bankruptcy analysis, securities investment analysis, and auditing.

２．学修の到達目標/Goal of study：

大学院中級レベルの財務諸表分析手法を身につけ，実際に企業分析を自身で実施できるようになること．自身で財務諸表を入手して，安全性，収益性，成長性を分析できるようになること．

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

第１回：オリエンテーション／Orientation
本科目の目的，受講方法，成績評価方法を説明する．さらに，財務諸表分析の学習領域について概説する
第２回：財務諸表分析と財務データの特性／Characteristics of Financial Data
財務諸表分析の前提となる財務諸表の入手方法，財務データの特性について講義する
第３回：財務諸表の構造／Structure of Financial Statements
財務諸表分析において必要となる，財務３表の構造について講義する
第４回：貸借対照表と損益計算書の基本分析／Basic analysis of balance sheet and income statement
貸借対照表と損益計算書に記載されている実数データを用いた財務諸表分析手法について講義する
第５回：収益性/効率性分析（1）／Profitability Analysis and Efficiency Analysis (1)
ROA（総資産利益率）の意義とその分解手法について講義する
第６回：収益性/効率性分析（2)/Profitability Analysis and Efficiency Analysis (2)
ROA の分解の２要素である売上高利益率と総資産回転率について，さらに詳細に分析する手法を概説する
第７回：安全性分析（1）短期安全性／Safety Analysis (1)
企業の短期的な安全性を測定する尺度について概説する
第８回：安全性分析（2）長期安全性／Safety Analysis (2)
中・長期的な企業の財務的安全性の分析指標について講義する
第９回：ROE の分解とその理解／ROE and Its Decomposition
ROE（自己資本利益率）の意義と，それをバレッジに分解する分析について概説する
第 10 回：株式評価指標による企業価値評価／Equity valuation
株式評価指標の算定方法と解釈について講義する
第 11 回：成長性分析・付加価値分析/Growth potential analysis and value-added analysis
成長性ならびに付加価値（生産性）分析の手法について講義する
第 12 回：キャッシュ・フロー分析/Cash flow Analysis
キャッシュ･フロー計算書の構造ならびにキャッシュ・フロー・データを利用した比率分析について講義する
第 13 回：グループ経営の分析／Analysis of Business Group Management
グループ経営を分析する手法として，連単倍率とセグメント情報の分析について講義する
第 14 回：利益操作と財務諸表分析／Earnings Management
経営者による利益操作の背景とその検出方法について講義する
第 15 回：理解度確認セッション／Examination
これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答考査を実施する

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
レポート（20%）および理解度確認セッション（80%）で評価する．

７．教科書および参考書/Textbook and references：

財務諸表分析（第３版）	乙政正太	同文館出版	2019	4495193031	参考書
財務諸表分析（第８版）	桜井久勝	中央経済社	2020	4502342416	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習:
講義までにレクチャーノートおよび関連資料の指定された箇所を読み，疑問点を明らかにしておくこと.
復習:
各回の講義で課題を課す.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この講義を受講するために必要となる知識：
株式会社に関する基本的な会計処理について理解していること

教科書については指定しないが，講義は参考書として指定した乙政（2019）と関連づけて構成する。同書は、自習課題（解答付き）も豊富にあり，手許にあると有用である.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記「シラバス補遺」で示す（要 東北大ID）
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1rocnH9KAKFyoYecxq07eYjBvVoIIYnN0u3r6qNGR3Oo/

コストマネジメント特論/Cost Management

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC602J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
管理会計の基礎的な考え方と計算方法を身につけること．その際，非財務情報も含む会計情報が企業における意思決定や業績評価においてどのように利用されるのかを具体的に理解すること．
This course provides fundamental perspectives and techniques in management accounting. Students will learn how we should refer accounting information, whether they are financial or nonfinancial, for the purpose of decision making and performance measurement.

２．学修の到達目標/Goal of study：
いわゆる戦略的管理会計と呼ばれる各種技法を理解し，様々な分析や計画策定をおこなえるようになること．
また，管理会計上重要な諸々のテーマについて，各テーマの抱える論点，トレードオフ，目指すべき目標，それを阻む障壁を理解した上で，テーマごとの基礎的な分析方法を身につけること．

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回：オリエンテーション／Orientation
　講義の概要，進め方，成績評価方法等について説明する
第２回：戦略と収益性分析／Strategy and profitability analysis
　戦略と戦略に立脚した収益性分析の方法について講義する
第３回：価格設定／Pricing decisions
　短期・長期の価格設定と原価企画について講義する
第４回：費用配賦及び関連する問題／Cost allocation and related issues
　費用配賦全般と顧客収益性や販売量差異の分析について講義する
第５回：補助部門費と共通費の配賦／Allocation of support-department costs and common costs
　補助部門費と共通費の配賦方法について講義する
第６回：連結原価と副産物の処理／Joint costs and byproducts
　連結原価と副産物の処理について講義する
第７回：品質原価／Costs of quality
　品質原価を機会費用を交えつつ講義する
第８回：管理会計とスピード／Time related issues
　スピードや時間に関連する管理会計上の問題について講義する
第９回：生産管理と管理会計／Production management and management accounting
　生産管理に関連する諸問題について講義する
第10回：統計的品質管理／Statistical quality control
　統計的品質管理について講義する
第11回：経済的発注量／
　在庫管理の計画方法である経済的発注量と在庫保有量について講義する
第12回：資本予算と税引後キャッシュフロー／Capital budgeting
　資本予算における投資案件の評価方法について講義する
第13回：業績評価と報酬／Performance evaluation
　部門業績の評価方法とそれに関連する諸問題について講義する
第14回：分権制組織／Decentralized organizations
　分権化した組織における様々な問題について講義する
第15回：理解度確認セッション／Examination
　講義内容の理解を確認するために筆答考査をおこなう

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
・平常点（指定する章末問題）(40%)，理解度確認セッション（60%)で評価する．
・理解度確認セッションは１回実施する予定．

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Horngren’s Cost Accounting: A Managerial Emphasis 16th ed.	Datar S. M., and M. Rajan	Pearson Education Limited	2017	978-1292211541	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

＜予習について＞
・講義はテキストの内容に沿って行うので，事前にテキストの内容を把握しておくこと．
・講義スライド等の資料はGoogle classroomに掲示するので，テキストを含め予習を行っておくこと．

＜復習について＞
・宿題を解き，テキスト中の重要語句の意味を確認すること．
・毎回の宿題については，講義の中やGoogle classroom上で指定する．

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
会計や原価計算に関する基礎的な知識を持っていること．たとえば，学部で会計学関連の科目や原価計算・管理会計の科目を履修していることが望ましい．また，後期に開講されている管理会計１を受講済みであることが望ましい．

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記シラバス補遺で掲載する（要 東北大ID）
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1MAqNGzdN1thqmGEh-Y3uDGuf71mdclBX3kI7u5gkzhY/

監査論特論/Auditing

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC603J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義では、監査の最も基本的な概念および理論、日本を中心とする諸制度を説明する。本講義を通じて、学生は、(1) 企業社会における多層的なモニタリングの仕組み、(2) 監査の歴史的発展の経緯、(3) 関連する法律、基準・規則、(4) 監査の重要概念、および(5) GAAS に反映されている現代の監査アプローチを理解することができる。講義内容は、公認会計士および監査法人が実施する外部監査に焦点をあてるが、内部監査人による内部監査と監査役による監査役監査の概要も講義内容として十分にカバーする。

The course provides fundamental knowledge on auditing. Through the course, students will understand: (1) the multidimensional monitoring system in business society, (2) the historical development of auditing, (3) the applicable laws, standards, and rules, (4) the key concepts in auditing, and (5) the contemporary auditing approach reflecting in current GAAS. The focus is basically on a financial statement audit conducted by CPAs and audit firms, but the course also covers audits within the companies conducted by internal auditors and Audit & Supervisory Board Members (Kansayaku).

２．学修の到達目標/Goal of study：
監査の基礎知識を長期記憶に残るよう身につける。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Day 1)
第１回 オリエンテーション／Orientation
講義の目的および全体のフレームワーク、進め方、成績評価方法、学習方法に関するガイダンスを行います
第２回 誤謬、不正、違法行為／Error, fraud, illegal acts
誤謬と不正、違法行為について学びます（テキスト第５章）
第３回 内部統制とコーポレートガバナンス／Internal control and corporate governance
内部統制とコーポレートガバナンスについて学びます（テキスト第20章、第21章［一部］）
(Day 2)
第４回 会社法監査／Audits under the Companies Act
監査制度（会社法監査）について学びます（テキスト第３章、第21章［一部］）
第５回 金融商品取引法監査／Audit under the Financial Instruments and Exchange Act
監査制度（金融商品取引法監査）について学びます（テキスト第６章）
第６回 監査プロフェッションと規制・監査基準の形成と意義／Auditing profession and regulation, Generally accepted auditing standards (GAAS)
監査プロフェッションと規制、監査規範、監査基準の形成と意義について学びます（テキスト第４章、第７章）。
(Day 3)
第７回 監査人の独立性／Auditor independence
監査人の独立性について学びます（テキスト第８章）。
第８回 監査人の注意の標準／Due professional care
監査人の注意の標準について学びます（テキスト第９章）。
第９回 監査プロセス／Audit process
監査プロセスについて学びます（テキスト第11章）。
(Day 4)
第10回 監査認識―アサーションとその構造―／Assertion-oriented audit cognition
監査証明において重要な機能をもつアサーションとその構造について学びます（テキスト第２章、第12章、第19章）。
第11回 監査認識―監査証拠と監査技術―について学びます（テキスト第13章）。
監査人が入手する監査証拠とそのための監査技術について学びます（テキスト第13章）。
第12回 監査リスク・アプローチ／Audit risk approach
監査リスク・アプローチについて学びます（テキスト第14章、第15章）。
(Day 5)
第13回 監査結果の伝達／Communication of audit results
監査結果の伝達について学びます（テキスト第16章、17章）。
第14回 ゴーイング・コンサーン／Going Concern
ゴーイング・コンサーンの開示のおよび監査について学びます（テキスト第18章）。
第15回 理解度確認セッション／Examination
第１回から第14回までの講義内容について、理解度確認セッションを実施します。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

平常点(30%)、課題 (20%)、グループワーク (20%)、理解度確認セッション (30%) によって評価します。
AA(90 点以上)、A(80 点以上 90 点未満)、B(70 点以上 80 点未満)、C(60 点以上 70 点未満), D(60 点未満：不合格)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

財務諸表監査 改訂版	亀岡恵理子・福川裕徳・永見尊・鳥羽至英	國元書房	2021	4765805743	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各講義で学ぶ予定のテキストの章を事前に読んでおいてください。
また講義期間中、課題を出しますので、指定期日までに取り組んでください。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
2023 年度の本講義は連続講義であることに注意してください。講義方法はリアルタイムを予定していますので、出席可能かどうか受講前にスケジュール確認した上で履修登録してください。また講義中はグループワークとそれに基づく発言を求めますので、マイクを使える環境で受講してください。

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記シラバス補遺で掲載する（要 東北大 ID)
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1MAqNGzdN1thqmGEh-Y3uDGuf71mdclBX3kI7u5gkzhY/

財務報告論特論/Financial Reporting

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ７講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC604J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義は，企業の特定の事業あるいは企業自体の価値を評価する枠組みを習得することを目的とする．講義では，様々な企業評価手法について理論的・実践的に解説する．さらに M&A，MBO 等に関わる事例を分析することで，企業評価に対する理解を深める．

The objective of this lecture is to acquire a framework for evaluating the value of a specific business of a company or the company itself. In the lecture, various corporate valuation methods will be explained theoretically and practically. In addition, students will deepen their understanding of corporate valuation by analyzing case of M&A and MBO.

２．学修の到達目標/Goal of study：

DCF 法を中心とした企業評価手法を修得し，企業評価に関連する事例を把握することを目標とする．

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

第 1 回：オリエンテーション／Orientation
　コースの目的および全体のフレームワーク，進め方，成績評価方法，学習方法に関するガイダンスを行う．
第 2 回：DCF 法(1)財務諸表の組み替え／Discounted cash flow method (1)
　貸借対照表のデータから，企業価値評価において必要となる投下資本表の作成手法を概説する．
第 3 回：DCF 法(2)現状分析／Discounted cash flow method (2) Analysis of the existing situation
　企業の現状を予測するための財務諸表分析の評価について講義する．
第 4 回：DCF 法(3)資本コストの推計／Discounted cash flow method (3) Cost of Capital
　資本コストの推計方法について講義する
第 5 回：DCF 法(4)将来予測／Discounted cash flow method(4)Future forecast
　将来予測の基本的なフレームワークについて検討する．
第 6 回：DCF 法(5)継続価値の測定と理論株価の推計／Discounted cash flow method(5)Terminal value
　継続価値の測定方法および理論株価の推計方法を講義する．
第 7 回：残余利益法／Residual Income Method
　残余利益法およびその前提となる配当割引法について講義する,.
第 8 回：倍率法と時価法／Multiple method and mark-to-market method
　倍率法および時価法について講義する
第 9 回：その他の企業評価手法／Other Firm Valuation Methods
　簿価純資産法や類似取引法等のアプローチについて講義する
第 10 回：企業評価に係る事例の分析 1／Case Study (1)
　MBO における企業評価の事例について概説する。
第 11 回：企業評価に係る事例の分析 2／Case Study (2)
　これまでに裁判等でになった企業評価の事例について概説する
第 12 回：企業評価に係る事例の分析 3／Case Study (3)
　合併時における企業評価の事例について概説する
第 13 回：企業評価に関する諸論点／Issues Related to firm Valuation
　企業評価の「仮定」ないし「前提」に係る諸問題について概説する
第 14 回：講義のまとめ／Summary of Lecture
　これまでの講義をふりかえるとともに、今後の企業評価における検討課題について説明する
第 15 回：理解度確認セッション／Examination
　これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答考査を実施する

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

レポート（50%）および理解度確認セッション（50%）で評価する．

７．教科書および参考書/Textbook and references：

企業価値評価 【入門編】	鈴木一功	ダイヤモンド社	2018	4478028629	参考書
企業価値経営	伊藤邦雄	日本経済新聞社	2021	4532135140	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習:
講義までにレクチャーノートおよびテキストの指定された箇所を読み，疑問点を明らかにしておくこと.
復習:
各回の講義で課題を課す．講義で習得した財務諸表分析手法を用い，自主的に企業の分析に取り組むことを期待する.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:〇
この講義を受講するために必要となる知識：
財務諸表分析の単位を修得していること．あるいは，財務諸表分析の基礎的な知識を有していること.

＊ 教科書について指定しないが，講義は参考書として指定した鈴木（2018）をベースとして，その他資料に依拠して進めるので，鈴木 （2018） についてはお手元に置くことを推奨する.

【重要事項】
本講義はオンデマンドでのベースとして，4 回程度を対面で実施する予定である．対面講義は 12 月・1 月の土曜日の午後に連続で実施予定である（日程は開講時に指定する．例えば、12 月×日（土）の 3・4 時限、1 月 Y 日（土）の 3・4 時限で実施するというような予定である。対面講義への出席は単位認定の前提となる)。

政治経済学Ｉ演習（Ｉ） a /Political Economy Ｉ (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ｉ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ｉ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ｉ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める．

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
attendance and report
通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語, 提出文書は日本語, 独語, 英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

政治経済学Ⅰ演習（Ⅰ） b/Political Economy Ⅰ (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ⅰ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ⅰ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

２．学修の到達目標/Goal of study：

You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ⅰ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める．

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：

attendance and report
通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語, 提出文書は日本語, 独語, 英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

政治経済学Ⅰ演習（Ⅱ） a /Political Economy Ⅰ (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to achieve the ability to complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、研究論文を執筆するのに必要な能力を習得する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

IIa：政治経済学の分野において、研究課題の設定、関連する文献調査、論文執筆プレゼンに関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

IIb：受講者の研究遂行上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

政治経済学Ⅰ演習（Ⅱ） b/Political Economy Ⅰ (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるとともに，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to achieve the ability to complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、研究論文を執筆するのに必要な能力を習得する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

IIa：政治経済学の分野において、研究課題の設定、関連する文献調査、論文執筆プレゼンに関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

IIb：受講者の研究遂行上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。

理論経済学Ｉ演習（Ｉ） a /Theoretical Economics Ｉ (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
理論経済学Ｉ 演習(I)b の履修とは無関係に理論経済学Ｉ 演習(I)a だけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp

最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のためGoogleクラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　c3ujmd2
である。

理論経済学Ｉ演習（Ｉ） ｂ/Theoretical Economics Ｉ (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
理論経済学Ｉ 演習(I)ｂの履修とは無関係に理論経済学Ｉ 演習(I)ａだけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp

最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のためGoogleクラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　mc7ax6i
である。

理論経済学Ⅰ演習（Ⅱ） a /Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
論文の作成が第一の目的です。/The making of the master's thesis is the first purpose.

２．学修の到達目標/Goal of study：
学術論文の書き方の初歩を学ぶことと同時に、わかりやすい口頭発表の仕方を修得することが到達目標です。
/Not only learning how to write scientific papers, but also acquiring the skill of plain presentation are the aims of this seminar.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
論文の作成に向けての研究指導を行います。単独で論文が書けるように、序文の書き方、論文の構成等について指導します。教材として、参考となる論文を適時配布します。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
中級ミクロ経済学特論、中級マクロ経済学特論、中級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。また、上級ミクロ経済学特論、上級マクロ経済学特論、上級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。
連絡先：　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　abkgnmh
である。

理論経済学Ⅰ演習（Ⅱ） b/Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
論文の作成が第一の目的です。/The making of the master's thesis is the first purpose.

２．学修の到達目標/Goal of study：
学術論文の書き方の初歩を学ぶことと同時に、わかりやすい口頭発表の仕方を修得することが到達目標です。/Not only learning how to write scientific papers, but also acquiring the skill of plain presentation are the aims of this seminar.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
論文の作成に向けての研究指導を行います。単独で論文が書けるように、序文の書き方、論文の構成等について指導します。教材として、参考となる論文を適時配布します。/It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
中級ミクロ経済学特論、中級マクロ経済学特論、中級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。また、上級ミクロ経済学特論、上級マクロ経済学特論、上級計量経済学特論の３科目の単位をすべて修得しているか修得見込みであることが望ましい。
連絡先：　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　tk5jmx6
である。

理論経済学Ⅱ演習（Ⅰ） a /Theoretical Economics II (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
最近公刊されたマクロ経済学の研究書・研究論文を読むことを通じて、この分野の最新動向を把握する。

This workshop class aims to keep up on contemporary macroeconomics by reading recently published papers and books in this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の最新の動向をつかむとともに、それを各自の研究（論文作成）に生かす。

This class's goal is for participants to finally possess adequate knowledge of contemporary macroeconomics that they can exploit in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は参加者に自身の研究報告や指定された参考文献のレポート報告をしてもらう形で進める。

In this class, participants are requested to report an assigned article in the references or to present their research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告および平常の参加状況による。

Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgxMDIwMDUx

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告担当者は十分な準備が求められる。

Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・演習 Ia,Ib は独立して履修可能。
・ 参加希望者は事前に必ず北川まで連絡のこと。
・ 連絡先：akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp
・ 中級マクロ経済学特論と上級マクロ経済学特論で講義される知識が必要なので、これらの科目を未履修の者は並行して履修すること。
・ 使用言語は日本語、報告は日本語・英語ともに可。
・ オフィスアワー：事前にアポイントメントを取ること。
・授業関連の連絡は Google Classroom で行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：rotrlxq）

理論経済学Ⅱ演習（Ⅰ） b/Theoretical Economy II (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
最近公刊されたマクロ経済学の研究書・研究論文を読むことを通じて、この分野の最新動向を把握する。

This workshop class aims to keep up on contemporary macroeconomics by reading recently published papers and books in this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の最新の動向をつかむとともに、それを各自の研究（論文作成）に生かす。

This class's goal is for participants to finally possess adequate knowledge of contemporary macroeconomics that they can exploit in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は参加者に自身の研究報告や指定された参考文献のレポート報告をしてもらう形で進める。

In this class, participants are requested to report an assigned article in the references or to present their research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告および平常の参加状況による。

Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgxMDIwMDYw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告担当者は十分な準備が求められる。

Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・ 演習 Ia,Ib は独立して履修可能。
・ 参加希望者は事前に必ず北川まで連絡のこと。
・ 連絡先：akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp
・ 中級マクロ経済学特論と上級マクロ経済学特論で講義される知識が必要なので、これらの科目を未履修の者は並行して履修すること。
・ 使用言語は日本語、報告は日本語・英語ともに可。
・ オフィスアワー：事前にアポイントメントを取ること。
・授業関連の連絡は Google Classroom で行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：o4bqqnb）

理論経済学Ⅱ演習（Ⅱ） a /Theoretical Economics II (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学的な問題を研究対象として論文を執筆する院生に対して指導を行う。

The purpose of this class is to instruct students to write papers in macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
公刊可能なレベルの論文を書き上げる。

Participants are expected to complete a publishable paper.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は授業において自らの論文の内容・進行状況を報告するとともに、内容について他の参加者と相互に討論をしてもらうが、指導の重点は論文の書き方（特に論理性・説得性）に置かれる。

In the class every week, participants are requested to report their research progress, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
参加者の書いた論文の出来栄えに応じて評価する。

Participants are evaluated based on the quality of their research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgwOTIxMzU4

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
適宜指示する。

Instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・授業関連の連絡はGoogle Classroomで行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：5ydz7p2）

理論経済学Ⅱ演習（Ⅱ） b/Theoretical Economics II (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学的な問題を研究対象として論文を執筆する院生に対して論文指導を行う。

The purpose of this class is to instruct students to write papers in macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
公刊可能なレベルの論文を完成させる。

Participants are expected to complete a publishable paper.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は授業において自らの論文の内容・進行状況を報告するとともに、内容について他の参加者と相互に討論をしてもらうが、指導の重点は論文の書き方（特に論理性・説得性）に置かれる。

In the class every week, participants are requested to report their research progress, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
論文の出来栄えに応じて評価する。

Participants are evaluated based on the quality of their research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgwOTU3NzUy

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
適宜指示する。

Instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・授業関連の連絡はGoogle Classroomで行うので、こちらもチェックすること（クラスコード：uiiq3wy）

経済学史演習（Ⅰ） a /History of Political Economy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Through 経済学史演習 (I) a and 経済学史演習 (I) b, we will learn the basics of academic writing in the field of the history of economic thought. In 経済学史演習 (I) a, we will cover academic integrity, research topics, and research questions.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By taking this course, students will gain basic knowledge and skills in academic integrity, research topics, and research questions for writing papers in the field of the history of economic thought.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Academic Integrity
- Research Topics and Research Questions
- Choosing a Topic
- Paper Review (1)
- Paper Review (2)
- Paper Review (3)
- Formulating a research question (1)
- Research (1)
- Formulating a research question (2)
- Research (2)
- Brainstorming arguments and ideas
- Research (3)
- Brainstorming arguments and ideas
- Research (4)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Make sure to check the Google Classroom for the latest announcements.
Please do not miss the first class. 'EM2017'!F162:X171

経済学史演習（Ⅰ） b/History of Political Economy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Through 経済学史演習 (I) a and 経済学史演習 (I) b, we will learn the basics of academic writing in the field of the history of economic thought. In 経済学史演習 (I) b, we will create a short essay of three to four pages while learning about the components of a research paper, the arrangement of these components, and the roles of each section.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By taking this course, students will gain rudimentary knowledge and skills about the components of a research paper, the arrangement of these components, and the roles of each section for writing papers in the field of the history of economic thought.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Reviewing Your Research Question
- Claim and Reasons
- Discussing the Key Arguments
- Organizing Your Arguments
- Creating a Storyboard
- Developing Your Storyboard (1)
- Developing Your Storyboard (2)
- Topic Sentences
- Introductory Paragraph
- Body Paragraph A
- Body Paragraph B
- Body Paragraph C
- Concluding Paragraph
- Wrap-up of the Course

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
To enroll in this course, it is required to have completed 経済学史演習 (I) a beforehand. You are also expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:
'Research Integrity'
https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf
'To All Researchers'
https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf
All asignments and papers must be written only by you.

経済学史演習（Ⅱ） a /History of Political Economy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Through 演習 (II) a and 演習 (II) b, students will learn advanced academic writing skills in the field of the history of economic thought.
In 演習 (II) a, based on the short essay created in 演習 (I) b, students will learn the knowledge and skills necessary to write a longer research paper that meets the standards of academic writing. Here we will cover how to refine your research question, your claim, and its evidence, and how to structure and arrange the text.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By taking this course, students will gain advanced knowledge and skills about how to refine your research question, your claim, and its evidence, and how to structure and arrange the text.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Reviewing the Short Essay
- Improving Your Research Question
- Expanding the Argument
- Research (1)
- Research (2)
- Improving the Claim of Your Paper
- Gathering Further Evidence
- Research (3)
- Research (4)
- Reviewing Counter Arguments (1)
- Reviewing Counter Arguments (2)
- Improving the Structure of Your Paper
- Improving Some of the Key Topic Sentences
- Wrap-up of the Course

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

You are expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:

'Research Integrity'

https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf

'To All Researchers'

https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf

All asignments and papers must be written only by you.

経済学史演習（Ⅱ） b /History of Political Economy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Through 演習 (II) a and 演習 (II) b, students will learn advanced academic writing skills in the field of the history of economic thought.
In 演習 (II) b, students will learn the practical knowledge and skills necessary to complete a research paper that meets the standards of academic writing. Topics covered will include citations, transitions, tables and figures, abstracts, and other important aspects of research paper writing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By taking this course, students will gain practical knowledge and skills necessary to complete a research paper.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Citations: Chicago Style
- Citations: MLA Style
- Citations: APA Style
- Using Transitions
- Using Tables and Figures
- Improving Clarity
- Enchancing Flow
- Increasing Persuasiveness
- Revising Your Conclusion
- Revising Your Introduction
- Checking for Unintended Plagiarism
- Formatting Your Paper
- Writing an Abstract
- Wrap-up of the Course

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

You are expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:

'Research Integrity'

https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf

'To All Researchers'

https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf

All asignments and papers must be written only by you.

日本経済史演習（Ⅰ） a /History of Japanese Economy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史とその関連分野の学術論文の作成に必要な研究方法・能力・知識を習得するため、文献サーベイとレビューを行う。
This course is to give students opportunity of literature survey and review in order to acquire the research methods and skills necessary to write academic papers on Japanese economic history and related fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究文献や史料の読み方、論点抽出の仕方、あるいは、自身の考えを平易な言葉で相手に的確に伝え、またそれを踏まえて相互に論理的な議論ができる技能など、参加者全員に共通して必要な方法・能力を習得することを目指す。
The goal of this course is to acquire common methods and skills necessary for all students, such as how to read textboos and historical materials, how to identify issues, and how to accurately convey one's own ideas to others in plain language.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容は、研究文献の輪読および履修者の個人研究発表が中心となる。輪読する文献は以下（教科書および参考書欄に記載）の通りである。授業方法は、履修者による発表（プレゼン）が中心となる。輪読する文献の内容や自分自身の研究内容をレジュメやパワーポイントなどを使用して発表していく。また、発表者が使用する研究文献・史料の一部を事前に共有し、参加者全員による討論を行う。
The course content will consist mainly of reading the textbooks and presentations of individual research. The textbook is as follows (listed in the [textbook and references]). The class will be conducted mainly through presentations by students. Students will present the contents of the asigned textbook and their own research using resumes and PowerPoint presentations.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本近代村落の起源	松沢祐作	岩波書店	2022	9784000615341	教科書
もう一つの金融システム：近代日本とマイクロクレジット	田中光	名古屋大学出版会	2018	9784815809324	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので予習と復習は必須です。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

日本経済史演習（Ⅰ） b/History of Japabese Economy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史とその関連分野の学術論文の作成に必要な研究方法・能力・知識を習得するため、文献サーベイとレビューを行う。
This course is to give students opportunity of literature survey and review in order to acquire the research methods and skills necessary to write academic papers on Japanese economic history and related fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究文献や史料の読み方、論点抽出の仕方、あるいは、自身の考えを平易な言葉で相手に的確に伝え、またそれを踏まえて相互に論理的な議論ができる技能など、参加者全員に共通して必要な方法・能力を習得することを目指す。
The goal of this course is to acquire common methods and skills necessary for all students, such as how to read textboos and historical materials, how to identify issues, and how to accurately convey one's own ideas to others in plain language.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容は、研究文献の輪読および履修者の個人研究発表が中心となる。輪読する文献は以下（教科書および参考書欄に記載）の通りである。授業方法は、履修者による発表（プレゼン）が中心となる。輪読する文献の内容や自分自身の研究内容をレジュメやパワーポイントなどを使用して発表していく。また、発表者が使用する研究文献・史料の一部を事前に共有し、参加者全員による討論を行う。
The course content will consist mainly of reading the textbooks and presentations of individual research. The textbook is as follows (listed in the [textbook and references]). The class will be conducted mainly through presentations by students. Students will present the contents of the asigned textbook and their own research using resumes and PowerPoint presentations.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本近代村落の起源	松沢祐作	岩波書店	2022	9784000615341	教科書
もう一つの金融システム：近代日本とマイクロクレジット	田中光	名古屋大学出版会	2018	9784815809324	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので予習と復習は必須です。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

日本経済史演習（Ⅱ） a /History of Japanese Economy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史とその関連分野の学術論文の作成に必要な研究方法・能力・知識を習得するため、文献サーベイとレビューを行う。
This course is to give students opportunity of literature survey and review in order to acquire the research methods and skills necessary to write academic papers on Japanese economic history and related fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究文献や史料の読み方、論点抽出の仕方、あるいは、自身の考えを平易な言葉で相手に的確に伝え、またそれを踏まえて相互に論理的な議論ができる技能など、参加者全員に共通して必要な方法・能力を習得することを目指す。
The goal of this course is to acquire common methods and skills necessary for all students, such as how to read textboos and historical materials, how to identify issues, and how to accurately convey one's own ideas to others in plain language.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容は、研究文献の輪読および履修者の個人研究発表が中心となる。輪読する文献は以下（教科書および参考書欄に記載）の通りである。授業方法は、履修者による発表（プレゼン）が中心となる。輪読する文献の内容や自分自身の研究内容をレジュメやパワーポイントなどを使用して発表していく。また、発表者が使用する研究文献・史料の一部を事前に共有し、参加者全員による討論を行う。
The course content will consist mainly of reading the textbooks and presentations of individual research. The textbook is as follows (listed in the [textbook and references]). The class will be conducted mainly through presentations by students. Students will present the contents of the asigned textbook and their own research using resumes and PowerPoint presentations.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本近代村落の起源	松沢祐作	岩波書店	2022	9784000615341	教科書
もう一つの金融システム：近代日本とマイクロクレジット	田中光	名古屋大学出版会	2018	9784815809324	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので予習と復習は必須です。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

日本経済史演習（Ⅱ） b /History of Japanese Economy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史とその関連分野の学術論文の作成に必要な研究方法・能力・知識を習得するため、文献サーベイとレビューを行う。
This course is to give students opportunity of literature survey and review in order to acquire the research methods and skills necessary to write academic papers on Japanese economic history and related fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究文献や史料の読み方、論点抽出の仕方、あるいは、自身の考えを平易な言葉で相手に的確に伝え、またそれを踏まえて相互に論理的な議論ができる技能など、参加者全員に共通して必要な方法・能力を習得することを目指す。
The goal of this course is to acquire common methods and skills necessary for all students, such as how to read textboos and historical materials, how to identify issues, and how to accurately convey one's own ideas to others in plain language.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容は、研究文献の輪読および履修者の個人研究発表が中心となる。輪読する文献は以下（教科書および参考書欄に記載）の通りである。授業方法は、履修者による発表（プレゼン）が中心となる。輪読する文献の内容や自分自身の研究内容をレジュメやパワーポイントなどを使用して発表していく。また、発表者が使用する研究文献・史料の一部を事前に共有し、参加者全員による討論を行う。
The course content will consist mainly of reading the textbooks and presentations of individual research. The textbook is as follows (listed in the [textbook and references]). The class will be conducted mainly through presentations by students. Students will present the contents of the asigned textbook and their own research using resumes and PowerPoint presentations.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本近代村落の起源	松沢祐作	岩波書店	2022	9784000615341	教科書
もう一つの金融システム：近代日本とマイクロクレジット	田中光	名古屋大学出版会	2018	9784815809324	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので予習と復習は必須です。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

西欧経済史演習（Ⅰ） a /Economic History of Western Europe (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済事象に関する歴史学的考察は、理論の構築や現状分析とともに複雑な経済現象を解明するためになくてはならない分析方法の柱である。本演習では、水準の高い商業社会に不可欠な西洋起源の制度、組織、政策をテーマに専門書の輪読と討論を行う。履修者は、イギリス経済史（中世から近代）を中心に、西洋経済とそれ以外の地域経済との間に見られる共通点や相違点、現代社会の経済問題へも目を向けながら、比較分析を念頭に研究を進める方法を習得することが求められる。

履修者にはグローバルな歴史感覚をもとに、積極的に海外の研究成果を研究に取り入れる姿勢が望まれる。

「西洋経済史」の概要については、下記関連 URL を参照されたい。

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：
・ 経済史学の目的と意義、基本的な研究方法について理解する
・ 経済史に関する専門書の要点について正確に論述できるようになる。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
原則としてオンライン形式で行う（Google Meet を使用する）。履修希望者はあらかじめ担当教員へ e メールを送信すること。

地域における経済発展の事例を比較・検討し、論点整理や方法上の問題点について考察する。履修者の問題関心に合わせて、文献の輪読と討論を行う。履修者は、輪読を通じて関心のあるテーマを一つ選び、各自課題を設定し、研究報告とレポート作成の準備を進める。具体的には以下の要領で毎回の授業を進める。

･輪読の際、履修者はそれぞれの担当部分について、要点がわかるようにレジュメを作成し、有意義なディスカッションに資する詳細な報告を行う。

･担当者と相談の上、各自の研究課題を決定し、関連文献に関する詳細な報告を行う。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、研究報告、レポートにより評価する。使用する言語は日本語/英語どちらでも可。

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8
The Cambridge urban history of Britain v. 1	D.M. Palliser		2000	
The Cambridge urban history of Britain v. 2	P. Clark		2000	
The European miracle : environments, economies, and geopolitics in the history of Europe and Asia	E. L. Jones		2006	
An urban history of China	T. Lincoln		2021	
The economic history of China: From antiquity to the nineteenth century	R. V. Glahn		2016	
The history of Japanese economic development : origins of private dynamism and policy competence	K. Ohno		2018	
The great divergence : China, Europe, and the making of the modern world economy	K. Pomeranz		2000	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

初回のオリエンテーションで説明する。

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
・論文作成を念頭に指導する。
・履修希望者は予めメールで担当者に連絡すること。
・受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

・ Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

西欧経済史演習（Ⅰ） b /Economic History of Western Europe (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済事象に関する歴史学的考察は、理論の構築や現状分析とともに複雑な経済現象を解明するためになくてはならない分析方法の柱である。本演習では、水準の高い商業社会に不可欠な西洋起源の制度、組織、政策をテーマに専門書の輪読と討論を行う。履修者は、イギリス経済史（中世から近代）を中心に、西洋経済とそれ以外の地域経済との間に見られる共通点や相違点、現代社会の経済問題へも目を向けながら、比較分析を念頭に研究を進める方法を習得することが求められる。

履修者にはグローバルな歴史感覚をもとに、積極的に海外の研究成果を研究に取り入れる姿勢が望まれる。

「西洋経済史」の概要については、下記関連 URL を参照されたい。

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：
・ 経済史学の目的と意義、基本的な研究方法について理解する
・ 経済史に関する専門書の要点について正確に論述できるようになる。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
原則としてオンライン形式で行う（Google Meet を使用する）。履修希望者はあらかじめ担当教員へ e メールを送信すること。

地域における経済発展の事例を比較・検討し、論点整理や方法上の問題点について考察する。履修者の問題関心に合わせて、文献の輪読と討論を行う。履修者は、輪読を通じて関心のあるテーマを一つ選び、各自課題を設定し、研究報告とレポート作成の準備を進める。具体的には以下の要領で毎回の授業を進める。

･輪読の際、履修者はそれぞれの担当部分について、要点がわかるようにレジュメを作成し、有意義なディスカッションに資する詳細な報告を行う。

･担当者と相談の上、各自の研究課題を決定し、関連文献に関する詳細な報告を行う。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績、研究報告、レポートにより評価する。使用する言語は日本語/英語どちらでも可。

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8
The Cambridge urban history of Britain v. 1	D.M. Palliser		2000	
The Cambridge urban history of Britain v. 2	P. Clark		2000	
The European miracle : environments, economies, and geopolitics in the history of Europe and Asia	E. L. Jones		2006	
An urban history of China	T. Lincoln		2021	
The economic history of China: From antiquity to the nineteenth century	R. V. Glahn		2016	
The history of Japanese economic development : origins of private dynamism and policy competence	K. Ohno		2018	
The great divergence : China, Europe, and the making of the modern world economy	K. Pomeranz		2000	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

初回のオリエンテーションで説明する。

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
・論文作成を念頭に指導する。
・履修希望者は予めメールで担当者に連絡すること。
・受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

・ Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

西欧経済史演習（Ⅱ） a /Economic History of Western Europe (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習Ⅰと同様、経済史に関する文献を教材に発表・討論を行うが、ここでは各自の研究テーマに沿った実践的調査研究に重点を置く。特に史料の調査・分析法の習得を含め、研究テーマに即した「自立的」研究能力の養成を目指し、論文の作成を進める。演習 II では、演習Ⅰb における研究結果を総括し、論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用方法を中心に、これらを厳密に行う能力を養うよう指導にあたる。

「西洋経済史」の概要については、下記関連 URL を参照。

In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2．学修の到達目標/Goal of study：

・ 研究テーマに応じて先行研究のサーヴェイを行い、争点について正確に論述することができるようになる。
・ 関連史料の収集と分析を通じて、独自の議論を展開する能力を身に付ける。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・ This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Google Meet を使用する。履修希望者はあらかじめ担当教員へ e メールを送信すること。

各自の研究テーマに応じて、先行研究の調査、関連史料の分析結果について報告してもらう。それらに基づき、論文の草稿作成を指導する。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

日本語、または英語

6．成績評価方法/Evaluation method：

平常の成績、報告、レポートにより評価する。

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8
The Cambridge urban history of Britain v. 1	D.M. Palliser		2000	
The Cambridge urban history of Britain v. 2	P. Clark		2000	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
初回のオリエンテーションで説明する。

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・ 履修希望者は予めメールで担当者に連絡すること。
・ 受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

・ Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

西欧経済史演習（Ⅱ） b /Economic History of Western Europe (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習Ⅰと同様、経済史に関する文献を教材に発表・討論を行うが、ここでは各自の研究テーマに沿った実践的調査研究に重点を置く。特に史料の調査・分析法の習得を含め、研究テーマに即した「自立的」研究能力の養成を目指し、論文の作成を進める。演習 II では、演習Ⅰb における研究結果を総括し、論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用方法を中心に、これらを厳密に行う能力を養うよう指導にあたる。

「西洋経済史」の概要については、下記関連 URL を参照。

In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

2．学修の到達目標/Goal of study：

・ 研究テーマに応じて先行研究のサーヴェイを行い、争点について正確に論述することができるようになる。
・ 関連史料の収集と分析を通じて、独自の議論を展開する能力を身に付ける。

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・ This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Google Meet を使用する。履修希望者はあらかじめ担当教員へ e メールを送信すること。

各自の研究テーマに応じて、先行研究の調査、関連史料の分析結果について報告してもらう。それらに基づき、論文の草稿作成を指導する。

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

日本語、または英語

6．成績評価方法/Evaluation method：

平常の成績、報告、レポートにより評価する。

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

7．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス近世都市の「公式」と「非公式」	川名　洋	創文社	2010	978-4-423-46065-8
The Cambridge urban history of Britain v. 1	D.M. Palliser		2000	
The Cambridge urban history of Britain v. 2	P. Clark		2000	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
日本語：http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html
英語: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
初回のオリエンテーションで説明する。

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・ 履修希望者は予めメールで担当者に連絡すること。
・ 受講者は専門書を読むための英語力を必要とする。

・ Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor in advance.

社会思想史演習（Ⅰ） a /History of Social Thoughts (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

社会思想史演習（Ⅰ） b /History oh Social Thoughts (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

社会思想史演習（Ⅱ） a /History of Social Thoughts (Seiminar IIa)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ３講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が 1 および 2 以下の場合は対面または対面オンライン併用で、3 以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

社会思想史演習（Ⅱ） b /History of Social Thoughts (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が 1 および 2 以下の場合は対面または対面オンライン併用で、3 以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

経済計画論演習（Ⅰ） a /Economic Planning (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Seminar in Economics a と Seminar in Economics b は独立に受講できる。

経済計画論演習（Ⅰ） b/Economic Planning (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Seminar in Economics a と Seminar in Economics b は独立に受講できる。

経済計画論演習（Ⅱ） a /Economic Planning (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ⅱ） b /Economic Planning (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

応用マクロ経済学演習（Ⅰ） a /Applied Macroeconomics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学に関する研究論文を輪読する。今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。

We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の各分野の最新の研究動向を知り、独立した研究を行えるようになること。

The objective of this course is to identify the frontiers of macroeconomic research and to enable students to conduct independent research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。担当教官が初回授業でリーディングリストを配布する。

The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japanese, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告及び平常の参加状況による。

In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroom のコースページ参照(Class code:k4vgzgy)
See the course page in Google classroom.(Class code:k4vgzgy)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文報告のための準備が必要になる。

Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業はオンライン（Google Meet, リアルタイム）で行います。Google Meet のリンクは Google classroom でご確認ください。

The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

応用マクロ経済学演習（Ⅰ） b/Applied Macroeconomics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マクロ経済学に関する研究論文を輪読する。今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。

We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マクロ経済学の各分野の最新の研究動向を知り、独立した研究を行えるようになること。

The objective of this course is to identify the frontiers of macroeconomic research and to enable students to conduct independent research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今年度は、経済全体、産業、企業レベルの生産性成長率の測定とその決定要因に関する論文を読む予定である。担当教官が初回授業でリーディングリストを配布する。

The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japanese, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告及び平常の参加状況による。

In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroom のコースページ参照(Class code:srghmo6)
See the course page in Google classroom.(Class code:srghmo6)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文報告のための準備が必要になる。

Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業はオンライン（Google Meet, リアルタイム）で行います。Google Meet のリンクは Google classroom でご確認ください。

The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

応用マクロ経済学演習（Ⅱ） a /Applied Macroeconomics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
応用マクロ経済学の自主研究能力を向上させるため、履修学生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。

In order to enhance the independent research skills in applied macroeconomics, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。

To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に、論文テーマ、関連文献のサーベイ、分析結果などを報告してもらい、皆で議論する。

This course mainly consists of presentations and discussions by the participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japanese, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。

Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroom のコースページ参照(Class code:r2cfkco)
See the course page in Google classroom.(Class code:r2cfkco)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

応用マクロ経済学演習（Ⅱ） b /Applied Macroeconomics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
応用マクロ経済学の自主研究能力を向上させるため、履修学生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。

In order to enhance the independent research skills in applied macroeconomics, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。

To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に、論文テーマ、関連文献のサーベイ、分析結果などを報告してもらい、皆で議論する。

This course mainly consists of presentations and discussions by the participants..

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japanese, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。

Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google classroom のコースページ参照(Class code:u34bdto)
See the course page in Google classroom.(Class code:u34bdto)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営学原理演習（Ⅰ） a /Management (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学における理論構築について学ぶ。社会科学としての経営学の研究を進めるにあたって、研究方法論を理解しておくことは必須の前提条件であろう。本演習では、まず社会科学における理論構築の方法について基礎的な理解を行い、次いで、社会学研究における数理演繹的アプローチ、実証主義的アプローチ、ならびに解釈学的アプローチついて抽出し、両者の比較および検討を行う。

This seminar will instruct you to learn how to model a management theory and research method to proceed management study as a subject of social science. At first we hope you can fundamentally understand a variety of theoretical methods in the field of social science while comparing and analyzing mathematical deductive approach with positivism approach as well as hermeneutic approach.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学の理論構築における方法論的立場について理解を深める。またこの学習を通じて、自らの研究が依拠する方法論的前提について自覚的になれるような研究センスを養う。

This seminar aims to enhance your understanding of various methodological approaches for theory-modeling in management study and inspire your research sense so that you can acknowledge your own methodological premise on which you rely on unconsciously.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
テキストを各章ごとに読み進める。
(1) 社会科学における理論構築―概念、仮説、検証
(2) さまざまな研究法―実験、サーベイ・リサーチ、参与観察
(3) 社会学研究法の諸類型
(4) モノグラフ、ドキュメント解析、エスノメソドロジー
(5) 計量分析、多変量解析、数理モデルの構築と解析

※基本的に教室開講（対面授業）となりますが、希望者がいればオンライン（zoom）も併用します。
（本学 BCP レベル等によりオンラインのみとなる可能性もあります）
Google Classroom を活用して授業の連絡（zoom の URL 等の通知）を行います。
（GPEM 学生も上記 Classroom 合同となります）

This seminar deals with the following topics: theory development in social science, various models of sociology, qualitative and quantitative methods.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回のディスカッションにおける貢献度や期末レポート等に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

創造の方法学	高根正昭	講談社	1979	教科書
社会学研究法―リアリティの捉え方	今田高俊編	有斐閣	2000	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自主的にテキストの各章を読み、討論すべき論点を提示する必要がある。講義後にノートを見直すことで復習に当ててもらいたい。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
演習Ｉｂとセットでの受講を薦める。オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

経営学原理演習（Ⅰ） b /Management (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
演習Ⅰａに引き続き、経営学における理論構築の方法を学ぶ。本演習では、仮説の構築・検証のプロセスを通じた理論構築法の基礎を学び、定量的調査法ならびに定性的調査法の一つである事例研究の方法論を主として概観しながら、経営現象への適用ケースを具体的に検討する。

This seminar will instruct you to learn how to model a management theory and understand the foundation of theory-building through the process of constructing hypothesis and verifying it while mainly overviewing both the quantitative and qualitative research methods such as case study applied for business phenomenon.

２．学修の到達目標/Goal of study：
定量的ならびに定性的調査の概念と技法について理解し、経営学分野の実証研究を遂行するにあたっての基礎能力の獲得をめざす。

This seminar enables you to understand the basic concepts and approaches of quantitative and qualitative research methods so that you can promote the empirical research in the field of management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
テキストを各章ごとに読み進める。優れた研究事例から学ぶべき点について討議する。
(1) 経営学研究法の諸類型
(2) 定量的調査の研究事例
(3) ケーススタディの研究事例

※基本的に教室開講（対面授業）となりますが、希望者がいればオンライン（zoom）も併用します。
（本学 BCP レベル等によりオンラインのみとなる可能性もあります）
Google Classroom を活用して授業の連絡（zoom の URL 等の通知）を行います。
（GPEM 学生も上記 Classroom 合同となります）

We would discuss about the following points in the class: various types of the research method in management, quantitative research cases and case studies.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回のディスカッションにおける貢献度や期末レポート等に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

リサーチ・マインド- 経営学研究法	藤本隆宏他編	有斐閣	2005	教科書
ブラックスワンの経営学	井上達彦	日経 BP	2014	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自主的にテキストの各章を読み、討論すべき論点を提示する必要がある。講義後にノートを見直すことで復習に当ててもらいたい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
演習Ⅰａを先に受講していなくても構わない。
オフィスアワーは木曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

経営学原理演習（Ⅱ） a /Management (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業と NPO の関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
本演習Ⅱａ とⅡｂ の受講の順序はとくに問わない。
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

経営学原理演習（Ⅱ） b /Management (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業と NPO の関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】日本語（発表等については英語可）
本演習Ⅱａ とⅡｂ の受講の順序はとくに問わない。
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

マーケティング管理論演習（Ⅰ） a /Research Seminar in Marketing Management(Seminar Ia)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マーケティングを含む経営学に関する論文を調べ・発表することで、
社会科学における論文に読み方・理解の仕方を学ぶ。
In this seminar, students will learn how to read and understand papers in the social sciences by researching and presenting papers on business administration, including marketing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
社会科学に関する研究のプロセスに関して理解できるようになる。
Students will be able to understand the process of research in the social sciences.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
発表者は自らの関心にあった論文を選定したうえで、レジュメを作成し、受講者の数だけ印刷して配布し、発表する。
The presenter selects a paper of his/her own interest, prepares a resume, prints and distributes it to as many students as possible, and makes a presentation.

受講者は論文を読んだうえで、概要をまとめたうえで、疑問点や論点を用意し、教員に提出する。
Participants will read the papers, summarize them, prepare questions and arguments, and submit them to the instructor.

発表者の発表後、参加者による質疑応答を行う。
After the presenter's presentation, there will be a question and answer session.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはbmm54ibである。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is bmm54ib.

初回講義はGoogle Meetを用いる。クラスにあるMeetのリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
日常成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
準備に関しては授業時間外に行うものとする。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

マーケティング管理論演習（Ⅰ） b/Research Seminar in Marketing Management(Seminar Ib)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
マーケティングを含む経営学に関する論文を調べ・発表することで、
社会科学における論文に読み方・理解の仕方を学ぶ。
In this seminar, students will learn how to read and understand papers in the social sciences by researching and presenting papers on business administration, including marketing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
社会科学に関する研究のプロセスに関して理解できるようになる。
Students will be able to understand the process of research in the social sciences.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
発表者は自らの関心にあった論文を選定したうえで、レジュメを作成し、受講者の数だけ印刷して配布し、発表する。
The presenter selects a paper of his/her own interest, prepares a resume, prints and distributes it to as many students as possible, and makes a presentation.

受講者は論文を読んだうえで、概要をまとめたうえで、疑問点や論点を用意し、教員に提出する。
Participants will read the papers, summarize them, prepare questions and arguments, and submit them to the instructor.

発表者の発表後、参加者による質疑応答を行う。
After the presenter's presentation, there will be a question and answer session.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはjfbbixdである。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is jfbbixd.

初回講義はGoogle Meetを用いる。クラスにあるMeetのリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
日常成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
準備に関しては授業時間外に行うものとする。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

マーケティング管理論演習（Ⅱ） a /Research Seminar in Marketing Management(Seminar IIa)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究を行っていくうえで必要となる理論的検討・フレーワークの構築・実証分析に関する指導を行う。
In this course, students will receive instruction on theoretical considerations, framework construction, and empirical analysis necessary for conducting research.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を自ら執筆できる能力を身に着ける。
SStudents will acquire the ability to write their own research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生の研究計画並びにその実行に関する発表を行い、フィードバックを受ける。
Students present and receive feedback on their research plan and implementation.

必要な連絡は Google Classroom を通じて行う。クラスコードは xutywsd である。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is xutywsd.

初回講義は Google Meet を用いる。クラスにある Meet のリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究実施能力の程度によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自の研究は授業時間外に行うものとする。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

マーケティング管理論演習（Ⅱ） b /Research Seminar in Marketing Management(Seminar IIb)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究を行っていくうえで必要となる理論的検討・フレーワークの構築・実証分析に関する指導を行う。
In this course, students will receive instruction on theoretical considerations, framework construction, and empirical analysis necessary for conducting research.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を自ら執筆できる能力を身に着ける。
SStudents will acquire the ability to write their own research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生の研究計画並びにその実行に関する発表を行い、フィードバックを受ける。
Students present and receive feedback on their research plan and implementation.

必要な連絡は Google Classroom を通じて行う。クラスコードは uiy2zj7 である。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is uiy2zj7.

初回講義は Google Meet を用いる。クラスにある Meet のリンクにアクセスすること。
The first lecture session will be conducted in Google Meet. Access the Meet link in the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究実施能力の程度によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各自の研究は授業時間外に行うものとする。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

金融論演習（Ｉ） a /Money and Banking (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on international macroeconomics. We will study various topics, including: current account determination; the real exchange rate; international capital market integration; capital controls; monetary policy and exchange rates; and balance of payments crises.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of international macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is v65lrmq.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Open Economy Macroeconomics	Martín Uribe, Stephanie Schmitt-Grohé	Princeton University Press	2017
International Macroeconomics	Stephanie Schmitt-Grohe, Martin Uribe, Michael Woodford	Princeton University Press	2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics b.

金融論演習（Ⅰ） b /Money and Banking (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on financial decision-making and asset pricing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of asset pricing.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is vnvis7j.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Decisions and Markets: A Course in Asset Pricing	John Y. Campbell	Princeton University Press	2017
Market Liquidity: Theory, Evidence, and Policy	Thierry Foucault, Marco Pagano, Ailsa Roell	Oxford University Press	2013
Intermediate Financial Theory	Jean-Pierre Danthine, John B. Donaldson	Academic Press	2014

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics a.

国際金融論演習（Ⅰ） a /international Finance (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と，金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ⅰａでは，後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の基礎部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-a focuses on the latter with particular emphasis on the basic contract theory of asymmetric information.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・不確実性下の経済主体の最適化行動についての基礎理論を理解する。
・対称情報下における保険契約，危険分散化行動の意義について理解する。
・非対称情報の経済理論の主要パラダイムの基礎について理解する。

＊ To understand basic theory of optimal economic behavior under uncertainty.
＊ To understand insurance and risk diversification behavior under symmetric information.
＊ To understand canonical paradigms of asymmetric information.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom （クラスコード【leilp4y】(EM2061)、【abpctsw】(EM4151)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【leilp4y】(EM2061)、【abpctsw】(EM4151)).

・条件付財，期待効用理論，経済主体の危険態度
・対称情報と最適保険契約
・非対称情報とアドバース・セレクション
・非対称情報とモラル・ハザード
・非対称情報とシグナリング

＊ Contingent Goods, Expected Utility Theory, Risk Attitudes
＊ Symmetric Information and Optimal Insurance Contract
＊ Asymmetric Information: Adverse Selection
＊ Asymmetric Information: Moral Hazard
＊ Asymmetric Information: Signaling

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

An Introduction to the Economics of Information, 2nd Ed.	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-Castrillo	Oxford University Press	2001
Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事
を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を
最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

国際金融論演習（Ⅰ） b/International Finance (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と，金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ⅰｂでは，演習Ⅰａにおける学習の延長線上に後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の応用部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-b focuses on the latter with particular emphasis on the application of asymmetric information theory to financial contracts.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・不確実性と非対称情報の経済学の金融市場への応用について理解する。
・金融市場で観察される信用割当や標準債務契約の経済学的背景を理解する。
・銀行の破綻が如何なる場合に効率的ないし非効率的であるかを理解する。

＊ To understand how the theory of uncertainty and asymmetric information is applicable to financial markets.
＊ To understand how microeconomics explains credit rationing and standard debt contract..
＊ To understand when and why bank default can be efficient.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【ptz2vrq】(EM2062)、【yg43gim】(EM4152)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【ptz2vrq】(EM2062)、【yg43gim】(EM4152)).

・対称情報および非対称情報と金融市場
・非対称情報と信用割り当て
・観察費用と標準債務契約
・銀行破綻の効率性・非効率生
・銀行経営の慎重さ

＊ Symmetric Information, Asymmetric Information, Financial Market
＊ Asymmetric Information and Credit Rationing
＊ Verification Cost and Standard Debt Contract
＊ Efficiency and Inefficiency associated with Bank Default
＊ Prudence in Bank Management

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997
An Introduction to the Economics of Information, 2nd Ed.	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-Castrillo	Oxford University Press	2001

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

国際金融論演習（Ⅱ） a /International Finance (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の論文の作成に有用な内容の授業
Courses with content useful for the preparation of scientific papers, mainly related to international finance theory

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の作成に有用な知識の習得
Acquisition of knowledge useful for the preparation of scientific papers

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【gzb4oxv】(EM2063)、【gddpyds】(EM4153)、【igqmmee】(EM4154)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【gzb4oxv】(EM2063)、【gddpyds】(EM4153)、【igqmmee】(EM4154)).

指導は受講者との討論を通じて、作成を希望する論文の内容に関連性の深い内容を検討し、その理解に向けての Plan-Do-Check-Act サイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
１）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究に必要な知識の学習範囲を想定する。
２）DO　当初計画に沿って学習を実施する
３）Check　学修の実施状況を当初目的に照らして評価する。
４）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance will be provided through discussions with the students, examining content closely related to the content of scientific papers that students wish to produce, and proceeding through the Plan-Do-Check-Act cycle toward understanding the content. In other words, the following cycle is repeated as long as necessary.
1) Plan Assume the scope of knowledge study necessary for the research based on one's own initial awareness of the problem and investigation of previous research.
(2) DO Implement the study according to the initial plan.
3) Check Evaluate the implementation of the study in light of the initial objectives.
(4) Act Improve the initial plan or implementation method according to the evaluation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成希望論文に関連する知識の習得度によって評価する。
Evaluation will be based on the degree of mastery of knowledge related to scientific papers that students wish to produce.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

国際金融論演習（Ⅱ） b/International Finance (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の論文の作成に有用な内容の授業
Courses with content useful for the preparation of scientific papers, mainly related to international finance theory

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の作成に有用な知識の習得
Acquisition of knowledge useful for the preparation of scientific papers

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【x6jeeol】(EM2064)、【rniju6a】(EM4155)、【fdticci】(EM4156)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材も Google Classroom を通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【x6jeeol】(EM2064)、【rniju6a】(EM4155)、【fdticci】(EM4156)).

指導は受講者との討論を通じて、作成を希望する論文の内容に関連性の深い内容を検討し、その理解に向けての Plan-Do-Check-Act サイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
１）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究に必要な知識の学習範囲を想定する。
２）DO　当初計画に沿って学習を実施する
３）Check　学修の実施状況を当初目的に照らして評価する。
４）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance will be provided through discussions with the students, examining content closely related to the content of scientific papers that students wish to produce, and proceeding through the Plan-Do-Check-Act cycle toward understanding the content. In other words, the following cycle is repeated as long as necessary.
1) Plan Assume the scope of knowledge study necessary for the research based on one's own initial awareness of the problem and investigation of previous research.
(2) DO Implement the study according to the initial plan.
3) Check Evaluate the implementation of the study in light of the initial objectives.
(4) Act Improve the initial plan or implementation method according to the evaluation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成希望論文に関連する知識の習得度によって評価する。
Evaluation will be based on the degree of mastery of knowledge related to scientific papers that students with to produce..

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

環境経済学演習（Ⅰ） a /Environmental Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を理解し、分析を行うために必要な計量経済学の基礎知識及びＲの使い方を習得するために、基礎的なテキストなどを輪読する。

In this course, we read the textbooks of basic level of Econometrics .

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の基礎的知識を理解し、実証研究の論文を読めるようになり、また、データ解析ができるようになること。

The purpose of this course is to develop the skill to read the papers of the empirical studies and to analyze the data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この講義では、若林ゼミ、湯田ゼミと合同ゼミで、以下のテキストを輪読する。

(1) 田中隆一著 (2015)『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』、有斐閣
(2) 伊藤公一朗著 (2017)『データ分析の力　因果関係に迫る思考法』、光文社

なお、(1) については、東北大学中央図書館の ebook を利用することでオンラインで閲覧可能
（同時のアクセス数に制限があるかもしれないので注意すること）

加えて、Ｒについての実習も行う予定。

・第１回～第１５回：輪読

In this course, we read the following textbooks

(1) 田中隆一著 (2015)『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』、有斐閣
(2) 伊藤公一朗著 (2017)『データ分析の力　因果関係に迫る思考法』、光文社

The students need to present the assigned chapters..

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による/Based on performance in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：

計量経済学の第一歩：実証分析のススメ	田中隆一	有斐閣	2015
データ分析の力　因果関係に迫る思考法	伊藤公一朗	光文社	2017

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
ミクロ経済学及び計量経済学が必須である。履修者には、これらの科目を履修済みであることか、あるいは、同時履修することが求められる。計量経済学については、履修済みか、あるいは、同時履修することが望ましい。

オフィスアワー：いつでもOK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（emailは、hibiki@tohoku.ac.jp）

環境経済学演習（Ｉ） ｂ/Environmental Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
環境経済学、資源経済学に関する、基礎的及び最近の研究論文・研究書を読むことで、この分野の最新の研究動向をつかみ、研究の着想のヒントを得ることを目的とする。

In this course, we read the basic and recent research papers and textbook in the field of Environmental and Resource Economics to make a research project.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この分野の研究論文を読めるようになること。

The purpose of this course is to develop the skill to read the research papers and to make a research project.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この講義では、若林ゼミ、湯田ゼミと合同ゼミの形態で行い、研究論文を輪読する。この他、学生の状況に応じて、基礎的な文献、テキストなどの輪読も考える。また、必ずしも、環境経済学や資源経済学に強い関心がなくても、応用ミクロ経済学の分野の研究に関心のある学生も歓迎する。　・第１回～第１５回：輪読

In this course, we read research articles in Applied Economics field. The students who are interested in microeconomics fields including Environmental and Resource Economics are welcome.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による

７．教科書および参考書/Textbook and references：
初回の授業で指示する

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
オフィスアワー：いつでもOK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（email は、hibiki@tohoku.ac.jp）

環境経済学演習（Ⅱ） a /Environmental Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
環境経済学、資源経済学に関する最新の研究動向を学ぶ。

Students learn the recent papers in the field of Environmental and Resource Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
環境経済学、資源経済学関する先行研究を理解する。

The goal of this study is to understand what kinds of research are conducted in environmental and resource economics area.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が関心のあるテーマに関わる論文のレビューを報告し、それを土台にして、どのように研究を発展させるかについて議論を行う。ミクロ経済学の応用に関心のある学生も歓迎する。

・第１回～第１４回：先行研究のレビューとテーマ設定
・第１５回：研究提案の報告

Each students will present the paper that they are interested and we discuss the problems of the previous study and how to extend it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この演習は、環境経済学、資源経済学に関する応用ミクロ研究（実証研究あるいは理論の応用）に関する最新の研究論文を読むため、大学院レベルのミクロ経済学、及び、計量経済学の知識が前提となる。したがって 1、これらの科目を履修済みであるか、同時履修することが求められる。計量経済学については、履修済みか、あるいは、同時履修することが望ましい。

オフィスアワー：いつでも OK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（email は、hibiki@tohoku.ac.jp）

環境経済学演習（Ⅱ） b /Environmental Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
環境経済学、資源経済学に関する最新の研究動向を学ぶ。

Students learn the recent papers in the field of Environmental and Resource Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
環境経済学、資源経済学関する先行研究を理解する。

The goal of this study is to understand what kinds of research are conducted in environmental and resource economics area.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が関心のあるテーマに関わる論文のレビューを報告し、それを土台にして、どのように研究を発展させるかについて議論を行う。ミクロ経済学の応用に関心のある学生も歓迎する。

・第１回～第１４回：先行研究のレビューと研究のアイデアに関する議論
・第１５回：分析に関する報告

Each students will present the paper that they are interested and we discuss the problems of the previous study and how to extend it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告と平常の参加状況による

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者（特に報告者）には十分な予習が求められる。また、論文執筆のための自習が求められる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この演習は、環境経済学、資源経済学に関する応用ミクロ研究（実証研究あるいは理論の応用）による修士論文執筆を目指すものであるため、大学院レベルのミクロ経済学、及び、計量経済学の知識が前提となる。したがって、これらの科目を履修済みであるか、同時履修することが求められる。計量経済学については、履修済みか、あるいは、同時履修することが望ましい。

オフィスアワー：いつでも OK。ただし、担当教員に事前に連絡し、アポイントをとること（email は、hibiki@tohoku.ac.jp）

産業組織論演習（Ⅰ） a /Industrial Organization (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論の標準的なテキストを用いて基礎的な内容を学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Industrial Organization. Positive participation in classes is expected.

２．学修の到達目標/Goal of study：
独占市場・寡占市場の理論を理解できるようになる。
企業の競争戦略について理解できるようになる。
競争政策上の問題（カルテル、企業結合、垂直的取引制限など）について理解できるようになる。

Students will understand the theory of monopoly and oligopoly market.
Students will understand the strategy for competition of firm
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：BCP レベルが１または２のときは対面授業、BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「ox52jdt」。
Google Classroom's class code: ox52jdt

授業の内容・進度予定；次の内容を学習することを予定しています。
第１回　イントロダクション：産業組織論で学ぶこと
第２回　消費者と生産者
第３回　完全競争と独占
第４回　寡占
第５回　参入とコンテスタブル市場
第６回　価格戦略の多様性
第７回　製品差別化と参入の戦略
第８回　品質と価格戦略・広告戦略
第９回　競争優位の戦略
第 10 回　技術戦略
第 11 回　市場画定と市場構造
第 12 回　カルテル
第 13 回　垂直的取引制限
第 14 回　マルチサイド市場とプラットフォーム
第 15 回　まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法；参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction: What is Industrial Organization?
#2 Consumers behavior and Producers behavior
#3 Perfect Competition and Monopoly
#4 Oligopoly
#5 Entry and Contestable Market
#6 Variety of Price Strategy
#7 Strategy for Product Differentiation and Entry
#8 Quality, Price and Advertising
#9 Strategy for Competitive advantage
#10 Strategy of Technology
#11 Market Definition and Market Structure
#12 Cartel
#13 M&A (Mergers and Acquisitions)
#14 Vertical Restrictions of Trade
#15 Multi-Side Market and Platform

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

産業組織論：理論・戦略・政策を学ぶ	小田切宏之	有斐閣	2019年	978-4-641-16553-3	教科書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
参加希望者は第１回目の授業までに担当教員にＥメールで連絡すること。
２回目以降からの参加は認めない。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の経済学の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

産業組織論演習（Ⅰ） b/Industrial Organization (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論を政府の政策に応用した競争政策論のテキストを用いて学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Competition Policy. Positive participation in classes is expected.

２．学修の到達目標/Goal of study：
競争政策の必要性を理解できるようになる。
競争政策上の問題（カルテル、企業結合、垂直的取引制限など）について理解できるようになる。

Students will understand the necessity of competition policy.
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：BCP レベルが１または２のときは対面授業、BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「natlao5」。
Google Classroom's class code: natlao5

授業の内容・進度予定；次の内容を学習することを予定しています。
第１回　イントロダクション
第２回　競争はなぜ重要か
第３回　競争政策の生い立ちと仕組み
第４回　共謀と協調
第５回　コンテスタブル市場理論と参入阻止戦略
第６回　一般集中と独占的状態
第７回　合併・買収
第８回　垂直的取引制限
第９回　競争手段としての廉売
第 10 回　公益事業における競争
第 11 回　下請取引と優越的地位
第 12 回　イノベーションと知的財産権
第 13 回　ネット取引とプラットフォーム
第 14 回　グローバル化する競争政策
第 15 回　まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法；参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction
#2 Why Competition is important?
#3 History of Competition Policy
#4 Collusion and Cooperation
#5 Contestable Market and Strategy for Entry Deterrence
#6 Market Concentration and Monopolistic Situation
#7 M&A (Mergers and Acquisitions)
#8 Vertical Restrictions of Trade
#9 Unfair Price Cutting
#10 Subcontracting and Dominant Position
#11 Competition on Public Utilities
#12 Innovation and Intellectual Property Right
#13 Internet Trade and Platform
#14 Globalization and Competition Policy
#15 Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

競争政策の経済学:人口減少・デジタル化・産業政策	大橋　弘	日本経済新聞出版	2021年	978-4-532-13513-3	教科書
競争政策論：独占禁止法事例から学ぶ産業組織論（第２版）	小田切宏之	日本評論社	2017年	978-4-535-55882-3	参考書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書
イノベーション時代の競争政策:研究・特許・プラットフォームの法と経済	小田切宏之	有斐閣	2016年	978-4-641-16496-3	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修を希望する人は第１回目の授業までに担当教員にＥメールにて申し出ること。
２回目からの出席は認めない。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

産業組織論演習（Ⅱ） a /Industrial Organization (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論分野での研究計画を実現するための研究指導を行います。
I will provide research guidance to students in order to realize his/her research plan in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業組織論分野での研究計画を作成する。
研究テーマに関する先行研究と研究方法を整理する。

Students will make his/her research plan in Industrial Organization.
Students will study the research method and previous research which is related to his/her research plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが 1 または 2 のときは対面授業を行います。
BCP レベルが 3 以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「k3vqsbo」。
Google Classroom's class code: k3vqsbo

授業の内容：
産業組織論分野での研究を実施する予定の学生を対象に、以下の指導を行います。
（１） 研究テーマを絞り込み、研究目的、すなわち、研究を通じて何を明らかにしたいのかを明確にする。
（２） 研究目的を実現するためにどのような研究方法を用いるのかを明らかにする。
（３） 研究テーマに関する先行研究を整理する。
（４） 研究方法に関する必要文献を学習する。

進度は学生の研究進捗状況によって変化します。

I will provide research guidance to students in order to study in Industrial Organization.
(1) Students will make his/her research plan and make clear what needs to be done.
(2) Students will decide which research method is used.
(3) Students will organize the previous research which is related to his/her research plan.
(4) Students will study books and papers which is related to his/her research plan.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業を受講する予定の学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15〜13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

産業組織論演習（Ⅱ） b/Industrial Organization (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論分野での研究計画を実現するための研究指導を行います。
I will provide research guidance to students in order to realize his/her research plan in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
一定の学問上の貢献の存在する研究論文を作成する。

Students will write the paper which has some academic contribution.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが 1 または 2 のときは対面授業を行います。
BCP レベルが 3 以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「73dejdy」。
Google Classroom's class code: 73dejdy

授業の内容：
産業組織論分野で論文を作成のための個別指導を行います。

指導内容および進度は学生の論文テーマ・研究進捗状況によって変化します。

I will provide individual research guidance to students in order to write the paper in Industrial Organization.

The content will be different depending on the student.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業への参加を希望する学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

経済政策演習（Ⅰ） a /Economic Policy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
多部門モデルの基本構造を理解する

To understand the basic structure of multi-sectoral models

２．学修の到達目標/Goal of study：
多部門モデルを理解するための数学的知識を得る。
To obtain the mathematical knowledge necessary to understand the multi-sectoral models.

１部門（集計的）モデルからは生じ得ない多部門モデル独特のふるまいを理解する。
To understand the peculiar phenomena of the multi-sectoral models that are not observed in the one-sector (or aggregate) models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のテキストを輪読する。

ルイジ・パシネッティ（1979）『生産理論』東洋経済新報社

The following book is selected as the text of this seminar.

Luigi Pasinetti (1977) Lectures on the Theory of Production, New York, Colombia University Press

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

生産理論	ルイジ・パシネッティ	東洋経済新報社	1979	4492311114	テキスト
Lectures on the Theory of Production	Luigi Pasinetti	Colombia University Press	1977	0231041004	テキスト
Equilibrium Stability, and Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1964	0198281455	
Theory of Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969	0198281641	
Mathematical Economics	Akira Takayama	Cambridge University Press	1985	0521257077	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

経済政策演習（Ⅰ） b/Economic Policy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
多部門モデルの基本構造を理解する

To understand the basic structure of multi-sectoral models

２．学修の到達目標/Goal of study：
多部門モデルを理解するための数学的知識を得る。
To obtain the mathematical knowledge necessary to understand the multi-sectoral models.

１部門（集計的）モデルからは生じ得ない多部門モデル独特のふるまいを理解する。
To understand the peculiar phenomena of the multi-sectoral models that are not observed in the one-sector (or aggregate) models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
いくつかのテキストを選び輪読する。テキストの候補は，以下の「教科書および参考書」の欄に記す。

Students are required to read some textbooks on multi-sectoral models. The option of the textbooks is shown in 「教科書および参考書」.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Value, exploitation, and class	John E. Roemer	Horwood Academic Publishers	1986	3718602784
Walras' economics	Michio Morishima	Cambridge University Press	1977	0521285224
Capital and credit	Michio Morishima	Cambridge University Press	1992	0521418402
Theory of Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969	0198281641
Mathematical Economics	Akira Takayama	Cambridge University Press	1985	0521257077

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

経済政策演習（Ⅱ） a /Economic Policy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自身の研究内容を深め，プレゼンスキルを向上させる。

The purpose of this class is to improve their own research and presentation skill.

２．学修の到達目標/Goal of study：
自身の研究のオリジナリティを追求すること。

The goal of this class is to pursue the originality of their own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は自身の研究の報告を義務付ける。履修を希望する者は必ず事前にＥメールで連絡すること。

The participants are required to present their own research.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Office hours: by appointment

経済政策演習（Ⅱ） b /Economic Policy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自身の研究内容を深め，プレゼンスキルを向上させる。

The purpose of this class is to improve their own research and presentation skill.

２．学修の到達目標/Goal of study：
自身の研究のオリジナリティを追求すること。

The goal of this class is to pursue the originality of their own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者は自身の研究の報告を義務付ける。履修を希望する者は必ず事前にＥメールで連絡すること。

The participants are required to present their own research.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Office hours: by appointment

経済統計学演習（Ⅰ） a /Economic Statistics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code ism22weqr
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：

Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

経済統計学演習（Ⅰ） b/Economic Statistics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code: fiqqpku
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：
text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済統計学演習（Ⅱ） a /Economic Statistics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code: vjhco3z
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：
text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済統計学演習（Ⅱ） b /Economic Statistics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgxMDIwMzE5?cjc=gkp7uoe
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：
text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

計量経済学演習（Ⅰ） a /Econometrics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学の BCP レベルが 3 以下なら対面で行い、4 以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の 1 章～12 章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小 2 乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び 13 章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
学部レベルの計量経済学の知識（経済学部の授業「計量分析」程度の知識）が無い者には、履修は認めない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。中級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みであることが望ましい。

計量経済学演習（Ⅰ） b/Econometrics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学の BCP レベルが 3 以下なら対面で行い、4 以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の 1 章～12 章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小 2 乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び 13 章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
学部レベルの計量経済学の知識（経済学部の授業「計量分析」程度の知識）が無い者には、履修は認めない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。中級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みであることが望ましい。

計量経済学演習（Ⅱ） a /Econometrics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about advanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。

Students develop advanced methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、各自の興味のあるテーマについて研究する。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。自身の興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。実証分析に興味のある者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

計量経済学演習（Ⅱ） b /Econometrics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about advanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。

Students develop advanced methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、各自の興味のあるテーマについて研究する。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・II の単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。自身の興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。実証分析に興味のある者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

ビジネスデータ科学演習（Ｉ） a /Business Data Science(Seminar Ia)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this seminar is to develop students' abilities and understanding of conducting data analysis for business purposes through the use of statistical modeling techniques.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Throughout the course, students will develop the following abilities and skills:

1. The ability to read academic papers effectively.
2. An understanding of advanced statistical concepts and methodologies.
3. The ability to independently demonstrate various data analysis techniques.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Students will be expected to read relevant textbooks or academic papers related to their research.
2. Students will be required to give presentations of their readings.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on three factors:

1. Attendance - the student's level of participation and engagement in the class.
2, Class involvement - the student's active engagement and contribution during class discussion

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: irdgekz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

ビジネスデータ科学演習（Ｉ） ｂ/Business Data Science(Seminar Ib)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this seminar is to develop students' abilities and understanding of conducting data analysis for business purposes through the use of statistical modeling techniques.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Throughout the course, students will develop the following abilities and skills:

1. The ability to read academic papers effectively.
2. An understanding of advanced statistical concepts and methodologies.
3. The ability to independently demonstrate various data analysis techniques.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Students will be expected to read relevant textbooks or academic papers related to their research.
2. Students will be required to give presentations of their readings.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on three factors:

1. Attendance - the student's level of participation and engagement in the class.
2, Class involvement - the student's active engagement and contribution during class discussion

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: jov3cvz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

ビジネスデータ科学演習（Ⅱ） a /Business Data Science(Seminar IIa)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this seminar is to develop students' abilities and understanding of conducting data analysis for business purposes through the use of statistical modeling techniques.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Throughout the course, students will develop the following abilities and skills:

1. The ability to read academic papers effectively.
2. An understanding of advanced statistical concepts and methodologies.
3. The ability to independently demonstrate various data analysis techniques.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Students will be expected to read relevant textbooks or academic papers related to their research.
2. Students will be required to give presentations of their readings.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on three factors:

1. Attendance - the student's level of participation and engagement in the class.
2, Class involvement - the student's active engagement and contribution during class discussion

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: irdgekz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

ビジネスデータ科学演習（Ⅱ） b /Business Data Science(Seminar IIb)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this seminar is to develop students' abilities and understanding of conducting data analysis for business purposes through the use of statistical modeling techniques.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Throughout the course, students will develop the following abilities and skills:

1. The ability to read academic papers effectively.
2. An understanding of advanced statistical concepts and methodologies.
3. The ability to independently demonstrate various data analysis techniques.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Students will be expected to read relevant textbooks or academic papers related to their research.
2. Students will be required to give presentations of their readings.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on three factors:

1. Attendance - the student's level of participation and engagement in the class.
2, Class involvement - the student's active engagement and contribution during class discussion

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: jov3cvz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営統計学演習（Ⅰ） a /Business Statistics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。
【授業の目的】　１．経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。２．経営統計学またはその近接領域に関する論文を作成するための能力を身に付ける。 ３．(II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を論文としてまとめる。

The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容（新規性や有用性など）を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。

Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
対面授業を行う

Google Classroom を利用する場合は「penrq2h」を利用する

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【履修の条件】
統計学・経済数学に関する学部教育程度の知識を有すること。

【連絡先など】
・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

経営統計学演習（Ⅰ） b/Business Statistics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。
【授業の目的】　１．経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。２．経営統計学またはその近接領域に関する論文を作成するための能力を身に付ける。 ３．(II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を論文としてまとめる。

The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容（新規性や有用性など）を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。

Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
対面授業を行う

Google Classroom を利用する場合は「penrq2h」を利用する

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【履修の条件】
統計学・経済数学に関する学部教育程度の知識を有すること。

【連絡先など】
・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

経営統計学演習（Ⅱ） a /Business Statistics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。
【授業の目的】　１．経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。２．経営統計学またはその近接領域に関する論文を作成するための能力を身に付ける。 ３．(II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を論文としてまとめる。

The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容（新規性や有用性など）を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。

Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
対面授業を行う

Google Classroom を利用する場合は「penrq2h」を利用する

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【履修の条件】
統計学・経済数学に関する学部教育程度の知識を有すること。

【連絡先など】
・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

経営統計学演習（Ⅱ） b /Business Statistics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
【授業の概要】　経営、サービス、マーケティング、医療など多種多様な社会問題解決において、データに基づいた経営や意思決定の重要性が高まっている。そこでは、統計科学の理論を駆使したモデリングや機械学習などの帰納的データ分析が重要となる。本演習では、ベイズモデリングなどの先進的な統計科学の方法論・分析モデル・事例を学び、経営統計学の理解を深める。
【授業の目的】　１．経営に関するデータ分析を実践できる能力を身に付ける。２．経営統計学またはその近接領域に関する論文を作成するための能力を身に付ける。 ３．(II)a,b では、自身の興味に基づいた経営統計学に関するデータ分析モデル・方法論を研究し、その成果を報告する。また、自身の研究成果を論文としてまとめる。

The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・経営統計学またはその近接領域に関する研究論文を読解する。
・自身の研究に必要な先行研究の文献を発見する。
・学術論文作成のプロセス、学術論文が含むべき内容（新規性や有用性など）を理解する。
・先進的なデータ分析法を修得し、実践する。

Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
対面授業を行う

Google Classroom を利用する場合は「penrq2h」を利用する

講義・輪読・文献紹介などを適宜選択し行う。

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
演習中の発表や討論は日本語または英語で行う。日本語・英語の図書や論文を使用する。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の議論への貢献度、出席率、発表の質による総合評価。
(II)a,b では、上記に加えて、論文作成への取り組み姿勢と論文の質により総合的に評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【履修の条件】
統計学・経済数学に関する学部教育程度の知識を有すること。

【連絡先など】
・連絡先：ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ
・オフィスアワーは随時。ただし、事前連絡が必要。

意思決定論演習（Ⅰ） a /Decision Making (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this course, students will learn various methods of modern decision making. An agent, which can be a human, an organization, a program, or an artificial system, is supposed to determine its action by interacting with a surrounding environment. It means that an agent examines the information taken by the observation of the environment and evaluates it to make a decision to achieve its objective. If an agent can receive perfect information, many classical techniques can be applied to obtain a desirable result. However, in an actual situation, information is far from perfect because an agent has to face several sources of uncertainties: uncertainty about the outcome, about the model, about the state, and about interaction.
The textbook used in the course provides systematic approaches to cope with each type of uncertainty. The book consists of five parts. The theme of the first part is probabilistic reasoning, which is used to represent uncertainty and to make inferences in a stochastic setting. A sequential problem is discussed in the second part. The third part addresses model uncertainty, where we select a model itself during the course of decision making. Since observed data often contains unavoidable measuring errors, the true state is often uncertain. State uncertainty is the fourth topic. Finally, the issues caused by interaction between agents are discussed in the fifth part.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand:
- the basic concept of probabilistic reasoning
- the major approaches to constructing and solving a sequential problem

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of each chapter.

In the 1st semester, we will cover the first part and the second part:

Part I: Probabilistic Reasoning
Chap 2. Representation
Chap 3. Inference
Chap 4. Parameter Learning
Chap 5. Structure Learning
Chap 6. Simple Decision

Part II: Sequential Problems
Chap 7. Exact Solution Methods
Chap 8. Approximate Value Functions
Chap 9. Online Planning
Chap 10. Policy Search
Chap 11. Policy Gradient Estimation
Chap 12. Policy Gradient Optimization
Chap 13. Actor-Critic Methods
Chap 14. Policy Validation

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Algorithms for Decision Making	MYKEL J. KOCHENDERFER, TIM A. WHEELER, AND KYLE H. WRAY	MIT Press	2022	978-0262047012	text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

意思決定論演習（Ⅰ） b/Decision Making (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this course, students will learn various methods of modern decision making. An agent, which can be a human, an organization, a program, or an artificial system, is supposed to determine its action by interacting with a surrounding environment. It means that an agent examines the information taken by the observation of the environment and evaluates it to make a decision to achieve its objective. If an agent can receive perfect information, many classical techniques can be applied to obtain a desirable result. However, in an actual situation, information is far from perfect because an agent has to face several sources of uncertainties: uncertainty about the outcome, about the model, about the state, and about interaction.
The textbook used in the course provides systematic approaches to cope with each type of uncertainty. The book consists of five parts. The theme of the first part is probabilistic reasoning, which is used to represent uncertainty and to make inferences in a stochastic setting. A sequential problem is discussed in the second part. The third part addresses model uncertainty, where we select a model itself during the course of decision making. Since observed data often contains unavoidable measuring errors, the true state is often uncertain. State uncertainty is the fourth topic. Finally, the issues caused by interaction between agents are discussed in the fifth part.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand:
- the basic concept of probabilistic reasoning
- the major approaches to constructing and solving a sequential problem

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of each chapter.

In the second semester, we will cover the third and the fourth part:

Part III. Model Uncertainty
Chap 15. Exploration and Exploitation
Chap 16. Model-Based Methods
Chap 17. Model-Free Methods
Chap 18. Imitation Learning

Part IV. State Uncertainty
Chap 19. Beliefs
Chap 20. Exact Belief State Planning
Chap 21. Offline Belief State Planning
Chap 22. Online Belief State Planning
Chap 23. Controller Abstraction

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Algorithms for Decision Making	MYKEL J. KOCHENDERFER, TIM A. WHEELER, AND KYLE H. WRAY	MIT Press	2022	978-0262047012	text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

意思決定論演習（Ⅱ） a /Decision Making (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted, although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on the development of management skills of the research project, from setting the theme to surveying texts and summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills for the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's objectives. In each session, the student gives a presentation about his/her research activity and has a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

意思決定論演習（Ⅱ） b /Decision Making (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted, although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on the development of management skills of the research project, from setting the theme to surveying texts and summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills for the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's objectives. In each session, the student gives a presentation about his/her research activity and has a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

応用データ科学演習（Ⅰ） a /Applied Data Sciences (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：李　銀星/YINXING LI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code: o6axvgf

本演習では、予測、分類などの様々な実問題にチャレンジしながら、データ科学に対する理解を深めると同時に、課題を解決できるプログラミングスキルを身に付けることに中心を置きます。

This course aims to deepen understading of data science, and the student will develop the programming skill nesscesary in their own researsh and problems in real business scene.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データ分析に必要な機械学習モデルを実データで実践できるようになること。

The goal of this course is to get the basic skill to apply basic machine learning algorithm to the real bussiness and research problems.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的にプログラミング言語 python を用いて、実データ分析に基づいた実践になります。基本、受講生が順番にデータ分析を行い、結果を発表します。

発表内容の目安として、以下の内容が考えられます。

(1) プログラミング
(2) データの前処理
(3) データ分析の可視化
(4) 基本的な機械学習モデルを用いたデータ分析
(5) 分析結果の評価
(6) 深層学習によるデータ分析

problem-based learning is the main feature of this course and students will learn and use programming language python.
In this course students will need to do data analysis and present their project in the class.

As an example, the presentation can include:
(1) Programming
(2) Data pre-processing
(3) Visualization of the data analysis
(4) Empirical application using the Basic machine learning methods
(5) Evaluation of the data analysis
(6) Data analysis based on the deep learning

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の発表、ディスカッションに基づいて評価します。

Based on the presentation and discussion in the lecture.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済経営のデータサイエンス	石垣、植松、千木良、照井、松田、李	共立出版	2022	4320125193	書籍

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
参考書は東北大学図書館より Ebook としてダウンロードできます。

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業外でもプログラミングの練習が望ましい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

応用データ科学演習（Ⅰ） b/Applied Data Sciences (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：李　銀星/YINXING LI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code: hpt6htb

本演習では、予測、分類などの様々な実問題にチャレンジしながら、データ科学に対する理解を深めると同時に、課題を解決できるプログラミングスキルを身に付けることに中心を置きます。

This course aims to deepen understading of data science, and the student will develop the programming skill nesscesary in their own researsh and problems in real business scene.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データ分析に必要な機械学習モデルを実データで実績できるようになること。

The goal of this course is to get the basic skill to apply basic machine learning algorithm to the real bussiness and research problems.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的にプログラミング言語 python を用いて、実データ分析に基づいた実践になります。基本、受講生が順番にデータ分析を行い、結果を発表します。

発表内容の目安として、以下の内容が考えられます。

(1) プログラミング
(2) データの前処理
(3) データ分析の可視化
(4) 基本的な機械学習モデルを用いたデータ分析
(5) 分析結果の評価
(6) 深層学習によるデータ分析

problem-based learning is the main feature of this course and students will learn and use programming language python.
In this course students will need to do data analysis and present their project in the class.

As an example, the presentation can include:
(1) Programming
(2) Data pre-processing
(3) Visualization of the data analysis
(4) Empirical application using the Basic machine learning methods
(5) Evaluation of the data analysis
(6) Data analysis based on the deep learning

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の発表、ディスカッションに基づいて評価します。

Based on the presentation and discussion in the lecture.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Python 機械学習プログラミング 達人データサイエンティストによる理論と実践	Sebastian Raschka（著）, Vahid Mirjalili（著）, 福島真太朗（監修）, 株式会社クイープ（翻訳）	インプレス	2020	4295010073	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業外でもプログラミングの練習が望ましい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済データ科学演習（Ⅰ） a /Data Science in Economics(Seminar Ia)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済学の実証分析で用いられている計量経済学の手法を学び、その理論を理解することを目的とする。

Students will learn the econometric methods used in empirical analysis of economics and understand the theory of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
標準的な計量経済学と数理統計学を理解することを目標とする。

Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業で扱う内容は以下の通りである。
1. 線形回帰
2. 操作変数法
3. Difference-in-differences 法
4. 回帰非連続デザイン
5. 分位点回帰
6. ロバストな標準誤差

The contents are as shown below.
1. Linear regression
2. Instrumental variable method
3. Difference-in-differences method
4. Regression discontinuity design
5. Quantile regression
6. Robust standard error

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語と英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業の出席と発表で評価する。
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Mostly Harmless Econometrics: An Empiricist's Companion	Joahua D. Angrist, Jorn-steffen Pischke	Princeton Univ Pr	2008	0691120358	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
本講義には基本的な数理統計学と計量経済学の知識を必要とする。
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

経済データ科学演習（Ⅰ） b/Data Science in Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済学の実証分析で用いられている計量経済学の手法を学び、その理論を理解することを目的とする。

Students will learn the econometric methods used in empirical analysis of economics and understand the theory of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
標準的な計量経済学と数理統計学を理解することを目標とする。

Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
この授業で扱う内容は以下の通りである。
1. 線形回帰
2. 操作変数法
3. Difference-in-differences 法
4. 回帰非連続デザイン
5. 分位点回帰
6. ロバストな標準誤差

The contents are as shown below.
1. Linear regression
2. Instrumental variable method
3. Difference-in-differences method
4. Regression discontinuity design
5. Quantile regression
6. Robust standard error

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語と英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業の出席と発表で評価する。
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Mostly Harmless Econometrics: An Empiricist's Companion	Joahua D. Angrist, Jorn-steffen Pischke	Princeton Univ Pr	2008	0691120358	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
本講義には基本的な数理統計学と計量経済学の知識を必要とする。
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

経済データ科学演習（Ⅱ） a /Data Science in Economics(Seminar Ia)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の理論研究をするために必要な知識を身に着ける。
Students will acquire the knowledge necessary to conduct theoretical research in econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
最新の計量経済学の論文を理解する。
Students will understand the latest econometrics papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生の興味に関連したテキストや論文を読む。
Students will read textbooks or academic papers related to the student's interests.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語と英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業の出席と発表で評価する。
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
本講義には基本的な数理統計学と計量経済学の知識を必要とする。
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

経済データ科学演習（Ⅱ） b /Data Science in Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の理論研究をするために必要な知識を身に着ける。
Students will acquire the knowledge necessary to conduct theoretical research in econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
最新の計量経済学の論文を理解する。
Students will understand the latest econometrics papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生の興味に関連したテキストや論文を読む。
Students will read textbooks or academic papers related to the student's interests.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語と英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業の出席と発表で評価する。
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
本講義には基本的な数理統計学と計量経済学の知識を必要とする。
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

経営組織論演習（Ⅰ） a /Organization and Management (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本企業の様々な事例研究を通して、経営戦略や経営組織の論理に基づく実際の企業行動を考察する。抽象的な理論や概念だけで理解するだけでなく、授業のケースで取り上げる事例企業の経営行動のメカニズムや因果関係を考察することによって、現実の企業行動の実際を深く理解し、経営者の意思決定の視点から合理的な考察力を鍛える。

This course offers students an opportunity to experience business case method and to think about the essence of business management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
実際の企業経営者の目線で、現実的な経営組織のマネジメントを深く考察ができるようになること。

The purpose of this course is to consider the real management of organizations from the view point of top managements.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業の形態は、経済学研究科の演習室にて対面でのディスカッションである。
毎回の授業で配付するドキュメントは、全てGoogle Classroomを利用するので、授業で使用するケースやレジュメを事前にダウンロードして準備しておくこと。
Google ClassroomのコードとURLは下記の通りである。

クラスコード：5uoxkwt
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTI2NjU5?cjc=5uoxkwt

１回の授業につき１つのケースを考察するが、ケース担当者がレジュメ（パワーポイントのスライド）を作成して発表し、提示されたクエスチョン・テーマに沿って参加者全員で討議するケースメソッド方式の演習となる。

第１回 オリエンテーション（各回の発表担当者を決めます）
第２回 スーパーホテル
第３回 NEC
第４回 アイリスオーヤマ
第５回 カイハラ
第６回 スークカンパニー
第７回 日本環境設計
第８回 ヤマトグループ
第９回 ラオックス
第10回　東京海上日動システムズ
第11回　旭酒造
第12回　アールシーコア
第13回　セイコーエプソン
第14回　味の素
第15回　KDDI

In this course, I take business case method with active discussion.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業への出席とコミットメント（70%）およびレジュメの発表内容（30%）。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTI2NjU5?cjc=5uoxkwt

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前にケースを精読して質問やコメントを準備した上で、自分なりの意見を整理して授業に参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業（4 月 10 日（月）10:30～12:00）のオリエンテーションにて 2 回目以降の実際の授業で各ケースの発表者を決定するので、初回授業に出席できない場合は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

経営組織論演習（Ⅰ） b/Organization and Management (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
授業形態は、演習室での対面によるディスカッションである。

授業内容は、経営組織と人材のマネジメントに関する学術論文を取り上げるが、受講者の研究テーマに沿った先行研究をレビューする。具体的には学術雑誌などに掲載された研究者の研究業績を取り上げてレビューし、批判的な考察をを行う。

I use Google classroom, and this course is supposed to be held by face to face.
In this course, we will review and discuss each previous research regarding organization and human resource management in which students are interested.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のレビューを通して、自らのリサーチ・クエスチョンと研究方法を見つけること。

The purpose of this course is to find out your own research questions and research method.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回、様々な学術雑誌などに掲載された経営組織や人材マネジメントに関する学術論文を取り上げて、担当者が論文のレビュー結果をレジュメにまとめて発表し、その内容について参加者全員で討議して先行研究に対する理解と批判を深める。
授業で取り上げるレビュー対象の論文については、初回授業のオリエンテーションの際に受講者の研究テーマに関する先行研究を探索するように指示するが、毎回、発表者が前週までに取り上げる研究論文を準備して配布すること。

クラスコード：vl3jaen
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg5MjQxNzQx?cjc=vl3jaen

In each lecture, a student is supposed to present his/her resume regarding a previous research article, and then discuss it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文のレビュー内容の発表（50%）と全体討議へのコミットメント（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg5MjQxNzQx?cjc=vl3jaen

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
毎回、事前に配布された論文を精読して内容を理解した上で授業に出席すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業のオリエンテーションで発表する学生のスケジュールを決めるので、初回授業に出席できない学生は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

経営組織論演習（Ⅱ） a /Organization and Management (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営組織論演習（Ⅱ） b /Organization and Management (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営史演習（Ⅰ） a /Business History (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済史・経営史を学ぶ上で必要な基本的な知識を習得する。具体的には、経済史・経営史を事例として、通説と学説史を理解することが本授業の目的である。

To develop basic knowledge necessary for studying economic and business history. Specifically, the purpose of this class is to understand prevailing orthodoxy and doctrinal history concerning the economic history and business history.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習では、研究するうえで必要になるさまざまな基本的なスキルを修得し、方法論を体得することを目的とする。

The purpose of this seminar is to acquire various basic skills necessary for conducting research and to master the methodology.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1.ガイダンス/guidance
2～8.中林・石黒（2010）1-6 章/Text No.1. ch1-6
9～11. 青木・奥野（1996）6～8 章/Text No.2. ch6-8
12～15.中林・石黒（2010）7-11 章/Text No.1. ch7-11
※教材は適宜こちらで準備することがあるので、購入などはこちらの指示に従うようお願いします。

毎回、各自は文献で指定された箇所及び適宜提示された参考文献を必ず事前に読み、演習に出席する。報告者の報告内容を素材として、議論を行う。

In each class, students must read the literature in advance. All participants will have discussions based on the resume of the reporter.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：50%
報告：50%

Participation 50%
Presentation 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

比較制度分析・入門	中林真幸・石黒真吾	有斐閣	2010	978-4641163645	教科書
経済システムの比較制度分析	青木昌彦・奥野正寛	東京大学出版会	1996	978-4130421027	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
議論に参加するためには事前に文献を読まなければならない。したがって、演習問題もあるため予習は必須である。前の議論内容がその後の内容に直結することがあるため、復習も適宜必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

使用言語：日本語
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP レベル 1 の場合、「対面授業」を原則とする。
BCP レベル 2 以上の場合、「オンライン授業」を原則とする。
参加者は Google クラスルームの登録を必ず行ってください。
クラスコードは「ykhtvzr」

Language spoken: Japanese
Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP Level 1: In principle, face-to-face classes.
For BCP Level 2 and above, "online classes" will be used as a general rule.
Participants must register for the Google Classroom.
Class codes: fykhtvzr

経営史演習（Ⅰ） b/Business History (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済史・経営史を学ぶ上で必要な基本的な知識を習得する。具体的には、経済史・経営史を事例として、通説と学説史を理解することが本授業の目的である。

To develop basic knowledge necessary for studying economic and business history. Specifically, the purpose of this class is to understand prevailing orthodoxy and doctrinal history concerning the economic history and business history.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習では、研究するうえで必要になるさまざまな基本的なスキルを修得し、方法論を体得することを目的とする。

The purpose of this seminar is to acquire various basic skills necessary for conducting research and to master the methodology.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1.ガイダンス/guidance
2～4.グライフ、第１部/Text Part1.
5～7.グライフ、第２部/Text Part2.
8～10.グライフ、第３部/Text Part3.
11～13.グライフ、第４部/Text Part4.
14～15.グライフ、第５部/Text Part5.

毎回、各自は文献で指定された箇所及び適宜提示された参考文献を必ず事前に読み、演習に出席する。報告者の報告内容を素材として、議論を行う。

In each class, students must read the literature in advance. All participants will have discussions based on the resume of the reporter.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：50%
報告：50%

Participation 50%
Presentation 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

比較歴史制度分析　上	アブナー・グライフ	筑摩書房	2021	978-4-480-51011-2	教科書
比較歴史制度分析　下	アブナー・グライフ	筑摩書房	2021	978-4-480-51012-9	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
議論に参加するためには事前に文献を読まなければならない。したがって、演習問題もあるため予習は必須である。前の議論内容がその後の内容に直結することがあるため、復習も適宜必要となる。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：日本語
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP レベル 1 の場合、「対面授業」を原則とする。
BCP レベル 2 以上の場合、「オンライン授業」を原則とする。
参加者は Google クラスルームの登録を必ず行ってください。
クラスコードは「ykhtvzr」

Language spoken: Japanese
Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP Level 1: In principle, face-to-face classes.
For BCP Level 2 and above, "online classes" will be used as a general rule.
Participants must register for the Google Classroom.
Class codes: ykhtvzr

経営史演習（Ⅱ） a /Businenn History (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済史・経営史を学ぶ上で必要な基本的な知識を習得する。具体的には、経済史・経営史を事例として、通説と学説史を理解することが本授業の目的である。

To develop the basic knowledge necessary for studying economic and business history. Specifically, the purpose of this class is to understand prevailing orthodoxy and doctrinal history concerning economic history and business history.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習では、研究するうえで必要になるさまざまな基本的なスキルを修得し、方法論を体得することを目的とする。

The purpose of this seminar is to acquire various basic skills necessary for conducting research and to master the methodology.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1.ガイダンス/guidance
2～8.中林・石黒（2010）1-6 章/Text No.1. ch1-6
9～11. 青木・奥野（1996）6～8 章/Text No.2. ch6-8
12～15.中林・石黒（2010）7-11 章/Text No.1. ch7-11
※教材は適宜こちらで準備することがあるので、購入などはこちらの指示に従うようお願いします。

毎回、各自は文献で指定された箇所及び適宜提示された参考文献を必ず事前に読み、演習に出席する。報告者の報告内容を素材として、議論を行う。

In each class, students must read the literature in advance. All participants will have discussions based on the resume of the reporter.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：50%
報告：50%

Participation 50%
Presentation 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

比較制度分析・入門	中林真幸・石黒真吾	有斐閣	2010	978-4641163645	教科書
経済システムの比較制度分析	青木昌彦・奥野正寛	東京大学出版会	1996	978-4130421027	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
議論に参加するためには事前に文献を読まなければならない。したがって、演習問題もあるため予習は必須である。前の議論内容がその後の内容に直結することがあるため、復習も適宜必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

使用言語：日本語
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP レベル 1 の場合、「対面授業」を原則とする。
BCP レベル 2 以上の場合、「オンライン授業」を原則とする。
参加者は Google クラスルームの登録を必ず行ってください。
クラスコードは「ykhtvzr」

Language spoken: Japanese
Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP Level 1: In principle, face-to-face classes.
For BCP Level 2 and above, "online classes" will be used as a general rule.
Participants must register for the Google Classroom.
Class codes: ykhtvzr

経営史演習（Ⅱ） b /Business History (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経済史・経営史を学ぶ上で必要な基本的な知識を習得し、発展的な議論を学ぶ。具体的には、経済史・経営史を事例として、通説と学説史を理解することが本授業の目的である。

To develop basic knowledge necessary for studying economic and business history. Specifically, the purpose of this class is to understand prevailing orthodoxy and doctrinal history concerning the economic history and business history.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習では、研究するうえで必要になるさまざまな基本的なスキルを修得し、方法論を体得することを目的とする。

The purpose of this seminar is to acquire various basic skills necessary for conducting research and to master the methodology.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1.ガイダンス/guidance
2～4.グライフ、第 1 部/Text Part1.
5～7.グライフ、第 2 部/Text Part2.
8～10.グライフ、第 3 部/Text Part3.
11～13.グライフ、第 4 部/Text Part4.
14～15.グライフ、第 5 部/Text Part5.

毎回、各自は文献で指定された箇所及び適宜提示された参考文献を必ず事前に読み、演習に出席する。報告者の報告内容を素材として、議論を行う。

In each class, students must read the literature in advance. All participants will have discussions based on the resume of the reporter.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：50%
報告：50%

Participation 50%
Presentation 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

比較歴史制度分析　上	アブナー・グライフ	筑摩書房	2021	978-4-480-51011-2	教科書
比較歴史制度分析　下	アブナー・グライフ	筑摩書房	2021	978-4-480-51012-9	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
議論に参加するためには事前に文献を読まなければならない。したがって、演習問題もあるため予習は必須である。前の議論内容がその後の内容に直結することがあるため、復習も適宜必要となる。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：日本語
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP レベル 1 の場合、「対面授業」を原則とする。
BCP レベル 2 以上の場合、「オンライン授業」を原則とする。
参加者は Google クラスルームの登録を必ず行ってください。
クラスコードは「ykhtvzr」

Language spoken: Japanese
Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/
BCP Level 1: In principle, face-to-face classes.
For BCP Level 2 and above, "online classes" will be used as a general rule.
Participants must register for the Google Classroom.
Class codes: ykhtvzr

証券投資論演習（Ⅰ） a /Investment and Security Analysis(Seminar la)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード: tkole4i
数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
The purpose of this class is studying stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure theoretic probability. Students have to give a presentation in Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	樋口 保成/西尾 真喜子	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

証券投資論演習（Ⅰ） b/Investment and Security Analysis(Seminar 1b)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード: 7oxvgje

夏学期の続き。数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
Continuation of the summer semester. Students will learn the mathematical fundamentals necessary for mathematical finance. In particular, students will do a round-trip reading on stochastic analysis based on measure-theoretic probability theory. Students without knowledge of measure-theoretic probability theory will never be allowed to participate.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in ″mathematical sense″.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	樋口 保成/西尾 真喜子	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

証券投資論演習（Ⅱ） a /Investment and Security Analysis(Seminar lla)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ５講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード:ga4iosv

数理ファイナンスにおける数値計算法を学ぶ。特に、Heston 型確率ボラティリティモデルにおける数値計算法について数値実験を交えながら考察を行う。教科書は The Heston Model and its Extensions in Matlab and C#　(F. Rouah, Wiley 2013)

Numerical methods in mathematical finance will be studied. In particular, numerical methods in Heston-type stochastic volatility models will be discussed with numerical experiments.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Heston 型確率ボラティリティ・モデルについて学ぶ。論文作成を目標に近年出版された論文を輪読する。また、実際にプログラミング言語を用いて確率ボラティリティモデルを題材に実際にコードを書いてその成果を発表してもらう。
We are going to study stochastic volatility models. Students must write programming code for the stochastic volatility model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生が近年の論文を読んできて発表してもらう。また、数理ファイナンスに関係するプログラムを実際にコーディングしてもらい動作を確認してもらう。
Students must make a presentation after reading some books on jump diffusion model. They also must make a presentation on the recent thesis on financial mathematics.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決める。
Based on Presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Heston Model and its Extensions in Matlab and C#	F. Rouah	Wiley	2013	978-1118548257	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文を的確に理解し発表してもらう必要がある。時間外に実際にコードを書いてもらう必要がある。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

証券投資論演習（Ⅱ） b/Investment and Security Analysis(Seminar llb)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ５講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード: ssrtmmf

夏学期の続き。数理ファイナンスにおける数値計算法を学ぶ。特に、Heston 型確率ボラティリティモデルにおける数値計算法について数値実験を交えながら考察を行う。教科書は The Heston Model and its Extensions in Matlab and C# (F. Rouah, Wiley 2013)

Continuation of the summer semester. Numerical methods in mathematical finance will be studied. In particular, numerical methods in Heston-type stochastic volatility models will be discussed with numerical experiments.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Heston 型確率ボラティリティ・モデルについて学ぶ。論文作成を目標に近年出版された論文を輪読する。また、実際にプログラミング言語を用いて確率ボラティリティモデルを題材に実際にコードを書いてその成果を発表してもらう。
We are going to study stochastic volatility models. Students must write programming code for the stochastic volatility model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生が近年の論文を読んできて発表してもらう。また、数理ファイナンスに関係するプログラムを実際にコーディングしてもらい動作を確認してもらう。
Students must make a presentation after reading some books on jump diffusion model. They also must make a presentation on the recent thesis on financial mathematics.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決める。
Based on Presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Heston Model and its Extensions in Matlab and C#	F. Rouah	Wiley	2013	978-1118548257	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文を的確に理解し発表してもらう必要がある。時間外に実際にコードを書いてもらう必要がある。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営戦略演習（Ⅰ） a /Management Strategy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [idmcxg4]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

経営戦略演習（Ⅰ） b /Management Strategy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for papers.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for papers through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [ytbkw2k]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

経営戦略演習（Ⅱ） a /Management Strategy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for papers.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for papers through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [tch3usc]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

経営戦略演習（Ⅱ） b /Management Strategy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for papers.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for papers through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [rfxnzdu]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

非営利組織論演習（Ⅰ） a /Non-profit Organization (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To make and brush up research plan and start conducting research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and research of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: jlujvqv
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

非営利組織論演習（Ⅰ） b/Non-profit Organization (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To make and brush up research plan and start conducting research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and research of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: oj2e65s
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

非営利組織論演習（Ⅱ） a /Non-profit Organization (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields). from broad perspectives
To conduct comprehensive literature review on nonprofit organization with specific focus and come up with research gaps, and research questions .
To conduct research, analyze and interpret the results and be able to think about the implications of the research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research progress of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research progress (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: vlzzea3
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

非営利組織論演習（Ⅱ） b /Non-profit Organization (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields). from broad perspectives
To conduct comprehensive literature review on nonprofit organization with specific focus and come up with research gaps, and research questions .
To conduct research, analyze and interpret the results and be able to think about the implications of the research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research progress of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research progress (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: nf4vfgl
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

福祉経済演習（Ｉ） a /Welfare Economy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データと応用計量経済分析の手法を用いを用いて論文を書くことが出来るようになること

Complete how to write papers by using applied micro econometric methods/ macro and micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.
(1)報告者
研究発表の前日までに,報告で使用する電子ファイルを Google Classroom にアップすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対してはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

福祉経済演習（Ｉ） ｂ/Welfare Economy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データと応用計量経済分析の手法を用いを用いて論文を書くことが出来るようになること

Complete how to write papers by using applied micro econometric methods/ macro and micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.
(1)報告者
研究発表の前日までに,報告で使用する電子ファイルを Google Classroom にアップすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対してはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

福祉経済演習（Ⅱ） a /Welfare Economy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データと応用計量経済分析の手法を用いを用いて論文を書くことが出来るようになること

Complete how to write papers by using applied micro econometric methods/ macro and micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.
(1)報告者
研究発表の前日までに,報告で使用する電子ファイルを Google Classroom にアップすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対してはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1 回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

福祉経済演習（Ⅱ） b /Welfare Economy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データと応用計量経済分析の手法を用いを用いて論文を書くことが出来るようになること

Complete how to write papers by using applied micro econometric methods/ macro and micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.
(1)報告者
研究発表の前日までに,報告で使用する電子ファイルを Google Classroom にアップすること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対してはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1 回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

加齢経済演習（Ⅰ） a /Aging Economy (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久 木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics,

Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resourcesほか。
社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

加齢経済演習（Ⅰ） b /Aging Economy (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久 木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics,

Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resourcesほか。
社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

加齢経済演習（Ⅱ） a /Aging Economy (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久 木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics,

Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resourcesほか。
社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

加齢経済演習（Ⅱ） b /Aging Economy (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
人口の少子・高齢化が経済に及ぼす影響、少子・高齢化社会に対応した公共政策について
近代経済学（新古典派）のアプローチにもとづき、実証分析を通じて問題を分析するための
基礎的スキルの構築と実践。

Developing the ability to understand the effect of aging and public policy for aging based on the modern economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：
(1)論文テーマの設定能力・自己の研究内容を適切な形で研究テーマ、研究計画として設定し、具体的な研究計画書を作成する能力を身につける。
(2)東北大学修士としての能力があることを論文の執筆という形で証明できるスキルを　身につけ、かつ実際に実践して示すこと。

(1) Ability for making a proper research plan of your research agenda.
(2) Acquiring the skill to write thesis fit for the master degree of Tohoku University and write it in fact.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・毎回２名の研究報告を基本とする。
・各人毎月１回の報告を基本とする。

1) Two person are required to make a presentation in every lessons.
2) You should make a presentation at least once a month.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
・報告の他、定期的な小論文の提出を通じて、上記の学習の到達目標が満たされているかを評価する。(60%以上の出席回数が単位評価の必要条件。（十分条件ではない。））

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済論文の作法　第３版	小浜　裕久 木村福成	日本評論社	2011	4535556687	参考書	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修希望者の重要な準備事項
・10 月入学者：上記教科書と参考書欄のジャーナルより、事前に自らの研究に関連の深い論文を１篇を選び出し、第 1 回授業時間に持参し、指導を受けた上で、第２回授業時までにコピーを提出すること。
・非常にアタリマエなことであるが、改善を指導されたところは次回までにきちんと直すこと。これが管理できない人の履修は勧めません。
その他
Journal of Public Economics, Journal of Political Economy, National Tax Journal, Quarterly Journal of economics, Journal of the Japanese and International Economies, Japan and the World Economy, Journal of Health Economics,

Health Economics, Journal of Population Economics、Journal of Human Resourcesほか。
社会人に限り、以下の雑誌も範疇に加えられるものとする。Journal of Economic Perspectives, 日本経済研究、経済分析、フィナンシャルレビュー、公共選択の研究、季刊社会保障研究、医療経済研究、家計経済研究、研究年報「経済学」
その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）
(1)加齢経済演習Ｉａも併せて履修することが薦められる。
(2)連絡先 hyoshida.econ@tohoku.ac.jp　オフィスアワーは火曜日 13:00-　要予約
(3)上記 6.の予習事項を十分読んで準備する。
(a)自己の研究課題について国内の重要な先行研究を探す能力が身についていること。
(b)自己の研究課題について国外の重要な先行研究を探す能力を身についていること。
(c)先行研究の内容を具体的に理解し、問題点を評価して論文に記述し、自己の研究を位置づけ、付加価値を設定する能力を身についていること。

医療経済演習（Ⅰ） a /Health Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識，とくに大学院レベルの医療経済学や公共経済学，応用計量経済学の知識を獲得するための学習機会の場である。

This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
特に医療経済学・公共経済学・応用計量経済学について，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識を獲得すること。

The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各自のレベルや関心に応じて，大学院レベルのテキストや学術論文などを報告する。また，実施中の研究について報告を行ってもよい。
ゼミは対面で行い，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどはGoogle Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
原則として運営は英語。ただし，経済経営リサーチコースの学生には日本語対応する。

English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容，理解度を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自身が進めようとしている経済学的な実証研究を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるようなレベルにまで引き上げるためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1)本演習の履修を希望する学生は，講義時間を含めて１日８時間以上の勉強時間を確保すること。
(2)修士課程１年生は，当演習に参加するよりもコア科目の履修と勉強に時間を当てて欲しい。当演習を履修・参加すること

は妨げないが，そのために修士１年終了時に身につけているべき知識が身についていない場合，翌年度で修士論文を完成させることは難しいと思われる。
(3)本演習の履修者は，現代経済研究会(https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics)にも参加し，積極的に質問・発言すること。
(4)履修登録せずに参加することは妨げないが，原則として履修登録者のみに報告・発言機会を与える。

(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) I strongly recommend that the 1st-year MA students spend more time to study for the core lectures rather than participating in this seminar. If the first-year MA students want to attend my seminar, I can accept them. But please understand that they have a risk of not completing own MA thesis in the following year if they do not have sufficient economic knowledge at the end of the first year. There are no exceptions.
(3) The students in my seminar must attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

医療経済演習（Ⅰ） b/Health Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識，とくに大学院レベルの医療経済学や公共経済学，応用計量経済学の知識を獲得するための学習機会の場である。

This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
特に医療経済学・公共経済学・応用計量経済学について，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識を獲得すること。

The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各自のレベルや関心に応じて，大学院レベルのテキストや学術論文などを報告する。また，実施中の研究について報告を行ってもよい。
ゼミは対面で行い，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどはGoogle Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
原則として運営は英語。ただし，経済経営リサーチコースの学生には日本語対応する。

English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容，理解度を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自身が進めようとしている経済学的な実証研究を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるようなレベルにまで引き上げるためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1)本演習の履修を希望する学生は，講義時間を含めて１日８時間以上の勉強時間を確保すること。
(2)修士課程１年生は，当演習に参加するよりもコア科目の履修と勉強に時間を当てて欲しい。当演習を履修・参加すること

は妨げないが，そのために修士１年終了時に身につけているべき知識が身についていない場合，翌年度で修士論文を完成させることは難しいと思われる。
(3)本演習の履修者は，現代経済研究会(https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics)にも参加し，積極的に質問・発言すること。
(4)履修登録せずに参加することは妨げないが，原則として履修登録者のみに報告・発言機会を与える。
(5)当演習 Ib は，演習 Ia を履修していなくても履修することは可能である。

(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) I strongly recommend that the 1st-year MA students spend more time to study for the core lectures rather than participating in this seminar. If the first-year MA students want to attend my seminar, I can accept them. But please understand that they have a risk of not completing own MA thesis in the following year if they do not have sufficient economic knowledge at the end of the first year. There are no exceptions.
(3) The students in my seminar must attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.
(5) This seminar can be taken without having taken my Seminar Ia.

医療経済演習（Ⅱ） a /Health Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識，とくに大学院レベルの医療経済学や公共経済学，応用計量経済学の知識を獲得するための学習機会の場である。

This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
特に医療経済学・公共経済学・応用計量経済学について，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識を獲得すること。

The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各自のレベルや関心に応じて，大学院レベルのテキストや学術論文などを報告する。また，実施中の研究について報告を行ってもよい。
ゼミは対面で行い，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどはGoogle Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
原則として運営は英語。ただし，経済経営リサーチコースの学生には日本語対応する。

English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容，理解度を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自身が進めようとしている経済学的な実証研究を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるようなレベルにまで引き上げるためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1)本演習の履修を希望する学生は，講義時間を含めて１日８時間以上の勉強時間を確保すること。
(2)本演習の履修を希望する者は，中級ミクロ経済学特論（Microeconomics Ⅰ & Ⅱ でも可），中級マクロ経済学特論

（Macroeconomics I & II でも可）および中級計量経済学特論（Intermediate Econometrics）I・II の計 12 単位を全て B 以上で取得済みであることが望ましい。
(3)本演習の履修者は，医療福祉政策特別演習および現代経済特別演習も必ず履修して，それらの特別演習ならびに現代経済研究会(https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics)にも参加し，積極的に質問・発言すること。
(4)履修登録せずに参加することは妨げないが，原則として履修登録者のみに報告・発言機会を与える。

(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) It is preferable that the students who want to participate in my seminar complete 12 credits of Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Intermediate Econometrics I & II in the fist year, all with a "B" or better.
(3) The students in my seminar are required to attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics. The students also must take the Workshop orgnized by me. In addition, the 4th-semester of MA students must attend another Workshop organized by Prof. Wakabayashi and present their own ongoing master thesis.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

医療経済演習（Ⅱ） b /Health Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識，とくに大学院レベルの医療経済学や公共経済学，応用計量経済学の知識を獲得するための学習機会の場である。

This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
特に医療経済学・公共経済学・応用計量経済学について，修士学位を取得するにふさわしい経済学的な知識を獲得すること。

The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各自のレベルや関心に応じて，大学院レベルのテキストや学術論文などを報告する。また，実施中の研究について報告を行ってもよい。
ゼミは対面で行い，講義情報の伝達や報告資料のアップロードなどはGoogle Classroom（クラスコードは「ybbekkg」）を通して行う。

Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
原則として運営は英語。ただし，経済経営リサーチコースの学生には日本語対応する。

English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席状況と発表内容，理解度を包括的に評価する。

Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自身が進めようとしている経済学的な実証研究を，国内外の査読付学術雑誌に掲載できるようなレベルにまで引き上げるためにはどうすればよいかを日々考えることが望まれる。

The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1)本演習の履修を希望する学生は，講義時間を含めて１日８時間以上の勉強時間を確保すること。
(2)本演習の履修を希望する者は，中級ミクロ経済学特論（Microeconomics Ⅰ & Ⅱ でも可），中級マクロ経済学特論

（Macroeconomics I & II でも可）および中級計量経済学特論（Intermediate Econometrics）I・II の計 12 単位を全て B 以上で取得済みであることが望ましい。
(3)本演習の履修者は，医療福祉政策特別演習および現代経済特別演習も必ず履修して，それらの特別演習ならびに現代経済研究会(https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics)にも参加し，積極的に質問・発言すること。
(4)履修登録せずに参加することは妨げないが，原則として履修登録者のみに報告・発言機会を与える。

(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) It is preferable that the students who want to participate in my seminar complete 12 credits of Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Intermediate Econometrics I & II in the fist year, all with a "B" or better.
(3) The students in my seminar are required to attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics. The students also must take the Workshop orgnized by me. In addition, the 4th-semester of MA students must attend another Workshop organized by Prof. Wakabayashi and present their own ongoing master thesis.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

財政演習（Ⅰ） a /Public Finance (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税の所得分配に及ぼす影響について、資本所得課税を中心に、理論・制度・歴史的実証の面から検討する。
This course will consider influence of taxation on income distribution, especially capital tax from a viewpoint of theory, institution and historical analysis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・資本課税の経済効果の理解　To understand effects of capital income.
・各国の所得税制における資本所得の扱いの把握　To grasp treatments of capital income in system of income tax among countries.
・資本所得課税の実証分析手法の修得　To learn the way of real analysis of taxation on capital income

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のテキストおよび関連論文を読んでいく。　To read this textbook and related articles.
Anthony B. Atkinson, Inequality: what can be done? Cambridge, Mass. : Harvard University Press, 2015（アンソニー・Ｂ・アトキンソン『21 世紀の不平等』東洋経済、2015 年）

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語および英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財政演習（Ⅰ） b/Public Finance (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税の所得分配に及ぼす影響について、資本所得課税を中心に、理論・制度・歴史的実証の面から検討する。
This course will consider influence of taxation on income distribution, especially capital tax from a viewpoint of theory, institution and historical analysis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・資本課税の経済効果の理解　To understand effects of capital income.
・各国の所得税制における資本所得の扱いの把握　To grasp treatments of capital income in system of income tax among countries.
・資本所得課税の実証分析手法の修得　To learn the way of real analysis of taxation on capital income

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のテキストおよび関連論文を読んでいく。　To read this textbook and related articles.
Anthony B. Atkinson, Inequality: what can be done? Cambridge, Mass. : Harvard University Press, 2015（アンソニー・Ｂ・アトキンソン『21 世紀の不平等』東洋経済、2015 年）

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語および英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財政演習（Ⅱ） a /Public Finance (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
財政学に関する研究の指導
Giving instruction to researches in Public Finance

２．学修の到達目標/Goal of study：
具体的目標は個々の研究テーマに依存するが、共通した目標は以下の通り。
・論文の学問的位置付けを明確にする。
・課題の設定から、方法論、分析、考察、結論までの論理展開を妥当なものにする。
・資料の種類と解釈、データの処理と考察を正確にする。

Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生の研究報告について、参加者全体で検討する。

The participants need to fulfill following conditions.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財政演習（Ⅱ） b /Public Finance (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
財政学に関する研究の指導
Giving instruction to researches in Public Finance

２．学修の到達目標/Goal of study：
具体的目標は個々の研究テーマに依存するが、共通した目標は以下の通り。
・論文の学問的位置付けを明確にする。
・課題の設定から、方法論、分析、考察、結論までの論理展開を妥当なものにする。
・資料の種類と解釈、データの処理と考察を正確にする。

Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
学生の研究報告について、参加者全体で検討する。

The participants need to fulfill following conditions.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

地域企業論演習（Ⅰ） a /Regional Enterprises (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、研究とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic research is through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン。参加者の状況によっては対面講義になる可能性もある（水、2 限目)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員は GoogleMeet の URL を送る。

・ The form of the lecture is real-time online. If circumstances permit, switch to face-to-face lectures (Wednesday, 2nd period).
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は７割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する（黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students have to attend the class (70% of all class attendances should be required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are eva

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず提出すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語または英語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.
・Prepare for the environment for using GoogleMeet.

The class is conducted in Japanese.
If any question, send email to the instructor (michi@tohoku.ac.jp)

地域企業論演習（Ⅰ） b/Regional Enterprises (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、研究とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic research is through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン。参加者の状況をみて対面講義に切り替えることもある（水、2 限目)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員は GoogleMeet の URL を送る。

・ The form of the lecture is real-time online. If circumstances permit, switch to face-to-face lectures (Wednesday, 2nd period).
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は７割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する（黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students have to attend the class (70% of all class attendances should be required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are eva

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず提出すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語または英語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.
・Prepare for the environment for using GoogleMeet.

The class is conducted in Japanese.
If any question, send email to the instructor (michi@tohoku.ac.jp)

地域企業論演習（Ⅱ） a /Regional Enterprises (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
受講生に対して、論文作成するにあたり必要な指導を行う。

For students who will submit the paper, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives the necessary guidance for writing papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文を完成させ提出する。

To write a paper and submit it by the deadline.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
論文のテーマの選択、研究計画、調査デザインの作成
論文の書き方に関する指導

In the class, each student has to choose the research topic, make the research design, and conduct research.
In addition, each student has to write a paper following the academic rule.

オンラインを通じての講義となる可能性があるので、GooleMeet にアクセスできる環境を整えてほしい。
This seminar may be conducted online. Students have to create an environment for using GoogleMeet.

教員とのコミュニケーションは Slack または email を用いる。
Slack is used to communicate with the instructor.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成した論文の内容

Evaluation is based on the paper submitted.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

新・社会調査へのアプローチ：論理と方法	大谷伸介、木下栄治、後藤憲章、小松洋	ミネルヴァ書房	2013	978－4－623－06654－4
レポート・論文の書き方入門	河野哲也	慶應義塾大学出版会	2002	978-4766425277
社会科学系論文の書き方	明石芳彦	ミネルヴァ書房	2018	978－4－623－08379－4

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文の進捗状況についての報告準備をしてくること。

Prepare the materials that inform what you have done since the previous class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語は日本語が基本。
授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
指導はオンラインまたは対面で行われる。URL や場所は随時指定する。
連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

In this class, Japanese is standard.
When the class is held online(GoogleMeet), the instructor informs the URL each time.
If any questions, send an email to the instructor(michi@tohoku.ac.jp).

地域企業論演習（Ⅱ） b/Regional Enterprises (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
受講生に対して、論文作成するにあたり必要な指導を行う。

For students who will submit the paper, the supervisor or deputy supervisor offers this seminar and gives the necessary guidance for writing papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文を完成させ提出する。

To write a paper and submit it by the deadline.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
論文のテーマの選択、研究計画、調査デザインの作成
論文の書き方に関する指導

In the class, each student has to choose the research topic, make the research design, and conduct research.
In addition, each student has to write a paper following the academic rule.

オンラインを通じての講義となる可能性があるので、GooleMeet にアクセスできる環境を整えてほしい。
This seminar may be conducted online. Students have to create an environment for using GoogleMeet.

教員とのコミュニケーションは Slack または email を用いる。
Slack is used to communicate with the instructor.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成した論文の内容

Evaluation is based on the paper submitted.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

新・社会調査へのアプローチ：論理と方法	大谷伸介、木下栄治、後藤憲章、小松洋	ミネルヴァ書房	2013	978－4－623－06654－4
レポート・論文の書き方入門	河野哲也	慶應義塾大学出版会	2002	978-4766425277
社会科学系論文の書き方	明石芳彦	ミネルヴァ書房	2018	978－4－623－08379－4

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
論文の進捗状況についての報告準備をしてくること。

Prepare the materials that inform what you have done since the previous class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語は日本語が基本。
授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
指導はオンラインまたは対面で行われる。URL や場所は随時指定する。
連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

In this class, Japanese is standard.
When the class is held online(GoogleMeet), the instructor informs the URL each time.
If any questions, send an email to the instructor(michi@tohoku.ac.jp).

地域計画演習（Ⅰ） a /Regional Planning (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2165, EM2166（地域計画演習（Ⅰ） b）

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。

In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、論文構成の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※原則対面で行うが、コロナ感染症に関わる BCP レベルや受講生の状況に応じて、オンライン（Google Meet）の実施も検討する。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ（研究計画）の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
（研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など）
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介（先行研究及び主要論点の把握）
　和文雑誌（都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等）
　英文雑誌（Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等）
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス（学協会情報）： http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告（投稿論文への発展を目指して）

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ In general, the course will be conducted face-to-face, but online (Google Meet) will be considered depending on the level of BCP related to coronary infections and the situation of the participants.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

地域計画演習（Ⅰ） b/Regional Planning (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2165, EM2166（地域計画演習（Ⅰ） b）

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。

In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、論文構成の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※原則対面で行うが、コロナ感染症に関わる BCP レベルや受講生の状況に応じて、オンライン（Google Meet）の実施も検討する。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ（研究計画）の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
（研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など）
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介（先行研究及び主要論点の把握）
　和文雑誌（都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等）
　英文雑誌（Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等）
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス（学協会情報）： http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告（投稿論文への発展を目指して）

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ In general, the course will be conducted face-to-face, but online (Google Meet) will be considered depending on the level of BCP related to coronary infections and the situation of the participants.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

地域計画演習（Ⅱ） a /Regional Planning (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2167, EM2168（地域計画演習（Ⅱ） b）

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

２．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・論文を完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが 1 の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが 2 以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間スケジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

地域計画演習（Ⅱ） b /Regional Planning (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2167, EM2168（地域計画演習（Ⅱ） b）

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

２．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・論文を完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが 1 の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが 2 以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2 年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・論文・序章他のドラフト作成
○2 年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間スケジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

アジア経済論演習（Ⅰ） a /Asian Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: i7hw4n5

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって決める。第１回目は４月 11 日火曜日の 16：20-17：50 に実施し、その時に進行計画を決める。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students. The first class will be held on April 11 from 16:20 to 17:50 and the schedule in this semester will be determined then.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation i (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

アジア経済論演習（Ⅰ） b /Asian Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: 3wnwbbx

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって決める。第１回目に進行計画を決める。１回目の開催日時は教員にメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students. The schedule in this semester will be determined in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア経済の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題を行う学生の参加を歓迎する。

We especially welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation （e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

アジア経済論演習（Ⅱ） a /Asian Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: ljqkzbw

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって決める。第１回目は４月 11 日火曜日の 16：20-17：50 に実施し、その時に進行計画を決める。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students. The first class will be held on April 11 from 16:20 to 17:50 and the schedule in this semester will be determined then.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We especially welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

アジア経済論演習（Ⅱ） b /Asian Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: zerzuz4

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって決める。第１回目に進行計画を決める。１回目の開催日時は教員にメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students. The schedule in this semester will be determined in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/ Japanese only

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア経済の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題を行う学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

産業発展論演習（Ⅰ） a /Industrial Development (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語で行う。
産業発展論演習 Ia と Ib は独立に履修できる。

参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。
出席希望者は必ず１回目に出席するか，同日までにメール等で連絡すること。アドレスは以下の通り。
nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp　(*を@に変えてください)
オフィスアワーは月曜日５講時とする。
「教科書および参考書」欄に記した書籍は参考書である。研究の認識論と方法論を身に着けるために，自ら読破することを強く推奨する。

産業発展論演習（Ⅰ） b/Industrial Development (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語のどちらか。討論と教員の解説は日本語。
産業発展論演習 Ia と Ib は独立に履修できる。

参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。

出席希望者は必ず１回目に出席するか，あるいは同日までにメール等で連絡すること。いずれもおこなわない者は，履修を認めない。アドレスは以下の通り。

nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp（*を@に変えてください）

オフィスアワーは月曜日５講時とする。

「教科書および参考書」欄に記した書籍は参考書である。研究の認識論と方法論を身に着けるために，自ら読破することを強く推奨する。

産業発展論演習（Ⅱ） a /Industrial Development (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究能力の育成

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を完成させるために必要な，以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Cultivation of the following abilities to complete an research article
+Ability to follow and utilize the rules of thesis writing
+Ability to compose a thesis
+Ability to provide logical proofs
+Ability to provide empirical explanations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）にふさわしい産業経済の分析能力を身につけるために，研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を，受講者の研究テーマに即して行う。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできない。報告と討論の内容を修士論文に活かすこと。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメと報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。

産業発展論演習（Ⅱ） b/Industrial Development (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究能力の育成

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を完成させるために必要な，以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Cultivation of the following abilities to complete an research article
+Ability to follow and utilize the rules of thesis writing
+Ability to compose a thesis
+Ability to provide logical proofs
+Ability to provide empirical explanations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）にふさわしい産業経済の分析能力を身につけるために，研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を，受講者の研究テーマに即して行う。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできないことを自覚してほしい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメと報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。

国際経済演習（Ⅰ） a /International Economics (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous studies on students' research topics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills. We conduct the class mainly to check research progress.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should finish writing the literature survey and be able to decide on a research topic and methodology for their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Based on basic economic and statistical theories lectured in other lectures (core courses), students learn more advanced statistical methods and a programming language relevant to their research projects. Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). Therefore, most of the work will be carried out individually outside this class.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students I
4. Statistical data
5. Graphs
6. Presentation of literature survey
7. Presentation of literature survey
8. Presentation of literature survey
.
.
.
20. Presentation of literature survey

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students must conduct their research outside the class and prepare for the presentations and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, and English proficiency.
Also complete 上級マクロ経済学特論、上級ミクロ経済学特論、and 上級計量経済学 during the first year.
Students planning to write a thesis or carry out a project under my supervision must take this class during the first semester of the first year.

Please get in touch with the lecturer before the first class to ensure that your research proposal is appropriate for this class, and regularly consult with the ISTU, where any updates will be posted.

国際経済演習（Ⅰ） b/International Economics (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous studies relevant to students' research topics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students finish collecting data for their research and conducting preliminary data analysis for the thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data. Therefore, most of the work will be carried out individually outside this class.

1. Introduction
2. Presentation of the model
3. Presentation of data
4. Presentation of preliminary assessment
5. Presentation of research progress

.
.
.

20. Presentation of research progress

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency, as well as "国際経済演習（Ⅰ）a" taught by the instructor.
Also complete 上級マクロ経済学特論、上級ミクロ経済学特論、and 上級計量経済学 during the first year.
Students planning to write a thesis or carry out a project under my supervision must take this class during the first year.
Please get in touch with the lecturer before the first class to ensure that your research proposal is appropriate for this class, and regularly consult with the ISTU, where any updates will be posted.

国際経済演習（Ⅱ） a /International Economics (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 2) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 3) to improve presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should investigate the main questions and hypotheses in their thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Presentation of results for the thesis
3. Presentation of results for the thesis
.
.
.
25. Presentation of empirical results

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: 上級マクロ経済学特論、上級ミクロ経済学特論、and 上級計量経済学 as well as "国際経済演習 (I) a & b" of the instructor.
For other information: see ISTU.
If you wish to write a thesis under my supervision, you must take this class during the second year.

国際経済演習（Ⅱ） b/International Economics (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 2) to improve writing and presentation skills, and 3) to complete writing theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should complete the theses necessary to gain a master's degree.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit their theses or project reports (about 50-100 pages). Students wishing to pursue further studies in our Ph.D. program are encouraged to complete them before the application deadline.

1. Introduction
2. Presentation of research progress
3. Presentation of research progress
.
.
.
19 Presentation of final results
20. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Theses (100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: 上級マクロ経済学特論、上級ミクロ経済学特論、and 上級計量経済学, and "国際経済演習（I）a & b" and "国際経済演習（Ⅱ）a" taught by the instructor.
For other information: see the ISTU.

グローバル経営史演習（Ⅰ） a /Global Business History (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、leslwiz

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：教科書　序論
第３回：教科書　第一部はじめに、第１章
第４回：教科書　第２章（１）
第５回：教科書　第２章（２）
第６回：教科書　第二部はじめに、第３章（１）
第７回：教科書　第３章（２）
第８回：教科書　第４章（１）
第９回：教科書　第三部はじめに、第５章（１）
第１０回：教科書　第５章（２）
第１１回：教科書　第６章
第１２回：教科書　第７章（１）
第１３回：教科書　第７章（２）
第１４回：結論、全体のまとめ
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is leslwiz

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス帝国からヨーロッパ統合へ：戦後イギリス対外政策の転換とEEC加盟申請	小川浩之	名古屋大学出版会	2008年	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、leslwiz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Seminar in Management a の受講者も、必ずグローバル経営史演習（Ｉ） a の方の
Google Classroom、leslwiz
にログインして下さい。)

グローバル経営史演習（Ⅰ） b/Global Business History (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、wkoxpve

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：演習へのイントロダクション
第２回：Chap.1 Introduction(1)
第３回：Chap.1 Introduction(2)
第４回：Chap.1 Introduction(3)
第５回：Chap.2 The British Empire in the Edwardian Era
第６回：Chap.3 A Third British Empire? Dominion Idea...
第７回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (1)
第８回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (2)
第９回：Chap.5 The British Empire and the Great War
第１０回：Chap.13 The Second World War
第１１回：Chap.18 India
第１２回：Chap.25 Canada
第１３回：Chap.27 Latin America
第１４回：Chap.29 Australia and New Zealand
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is wkoxpve

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Oxford History of British Empire, Vol.IV, The Twentieth Century	J. M. Brown and Wm. R. Louis, eds.	Oxford University Press	1999	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、wkoxpve

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Seminar in Management b の受講者も、必ずグローバル経営史演習（Ｉ） b の方の
Google Classroom、wkoxpve
にログインして下さい。)

グローバル経営史演習（Ⅱ） a /Global Business History (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、qwmweb4

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：教科書　序論
第３回：教科書　第一部はじめに、第１章
第４回：教科書　第２章（１）
第５回：教科書　第２章（２）
第６回：教科書　第二部はじめに、第３章（１）
第７回：教科書　第３章（２）
第８回：教科書　第４章（１）
第９回：教科書　第三部はじめに、第５章（１）
第１０回：教科書　第５章（２）
第１１回：教科書　第６章
第１２回：教科書　第７章（１）
第１３回：教科書　第７章（２）
第１４回：結論、全体のまとめ
第１５回：理解度確認セッション（論述式）
テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is qwmweb4

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッション：４０％

要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス帝国からヨーロッパ統合へ：戦後イギリス対外政策の転換とEEC加盟申請	小川浩之	名古屋大学出版会	2008年	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、qwmweb4

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Project Guidance in Management a の受講者も、必ずグローバル経営史演習（ＩＩ） a の方の
Google Classroom、qwmweb4
にログインして下さい。)

グローバル経営史演習（Ⅱ） b /Global Business History (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、flydkal

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：Chap.1 Introduction(1)
第３回：Chap.1 Introduction(2)
第４回：Chap.1 Introduction(3)
第５回：Chap.2 The British Empire in the Edwardian Era
第６回：Chap.3 A Third British Empire? Dominion Idea...
第７回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (1)
第８回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (2)
第９回：Chap.5 The British Empire and the Great War
第１０回：Chap.13 The Second World War
第１１回：Chap.18 India
第１２回：Chap.25 Canada
第１３回：Chap.27 Latin America
第１４回：Chap.29 Australia and New Zealand
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is flydkal

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Oxford History of British Empire, Vol.IV, The Twentieth Century	J. M. Brown and Wm. R. Louis, eds.	Oxford University Press	1999	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、flydkal

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Project Guidance in Management bの受講者も、必ずグローバル経営史演習（ＩＩ） b の方の
Google Classroom、flydkal
にログインして下さい。)

国際経営演習（Ｉ） a /International Business (Seminar Ia)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本演習では、定性研究方法及び国際経営分野における国内・海外の論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・自分の研究をデザイン、実行する力を養うことが最終目標です。

By the end of this course, you should be able to design and conduct your own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For any questions, please contact kim@tohoku.ac.jp.

・一回当たり１～2 本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3 回程度の報告)。
・報告担当者は 2 枚の内容要約と 1 枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり 1 枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。（＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。）
・中間報告と最終報告の 2 回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions are expected.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語 Japanese /English

６．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際経営演習（Ⅰ） b/International Business (Seminar Ib)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN520J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本学期には、国際経営分野における国内・海外の優秀論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop an academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・自分の研究をデザイン・実行する力を養うことが最終目標です。

By the end of this course, you should be able to design and conduct your own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・一回当たり１～2 本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3 回程度の報告）。
・報告担当者は 2 枚の内容要約と 1 枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり 1 枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。（＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。）
・中間報告と最終報告の 2 回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions are expected.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語・英語 Japanese/ English

６．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際経営演習（Ⅱ） a /International Business (Seminar IIa)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本演習では、国際経営分野における国内・海外の優秀論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop an academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文執筆

Writing up a thesis is the goal of this course

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・一回当たり１～2 本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3 回程度の報告)。
・報告担当者は 2 枚の内容要約と 1 枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり 1 枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。（＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。）
・中間報告と最終報告の 2 回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions are expected.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

６．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際経営演習（Ⅱ） b /International Business (Seminar IIb)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2 年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN620J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本演習では、国際経営分野における国内・海外の優秀論文を輪読・議論していきます。
・多様な機能軸と産業に渡る研究を深く理解することで、自分の研究興味の模索、テーマや問題意識設定、研究の進め方や論理展開などの感覚を身に着けることを目標とします。

In this course, we learn how to develop an academic research and write a high-quality academic paper. Through reading highly-evaluated papers in the field of international business, developing the sense of 'what a good academic research is' is the primary purpose of this course.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文執筆

Writing up a thesis is the goal of this course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・一回当たり１～2 本の論文を輪読していきます（一人当たり２～3 回程度の報告)。
・報告担当者は 2 枚の内容要約と 1 枚の感想、疑問点（ディスカッション・ポイント）をまとめたうえで、全員分のコピーを用意し、授業に参加してください。
・報告担当者以外の参加者全員は事前に配布された論文を精読の上、論文一本当たり 1 枚（A4）のレジュメを用意した上で授業に参加してください。（＊レジュメは内容要約を半ページ、感想や疑問を半ページに。）
・中間報告と最終報告の 2 回にわたり、皆さん自らの研究計画と進捗状況について報告してもらいます。

There are intensive reading assignments every week. During the class hours, active participation to discussions is expected.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

６．成績評価方法/Evaluation method：
・担当論文の報告及び議論への参加（70%）
・課題レジュメの提出（30%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

研究方法論/Research Methods in Economics and Management

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM501J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義では、大学院生として研究を行い、修士論文をはじめとする論文を作成していく上で参考になる方法や、守るべき基本的な学術的ルール及び研究倫理について学ぶ。特にここでは、実態調査、文献・資料収集に基づく研究方法や数式を含む論文の書き方について学ぶ。

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文を作成する基本的ルールや研究方法を身につける。
・実態調査や文献・資料収集の方法を身につける。
・論文の書き方を身につける。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回（担当：川名）イントロダクション、実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験①
第２回（担当：川名）実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験②
第３回（担当：小田中）実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験
第４回（担当：菅原）実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験①
第５回（担当：菅原）実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験②
第６回（担当：結城）実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験①
第７回（担当：結城）実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験②
第８回（担当：酒井）実態調査、文献・資料収集の方法・私の経験

なお、各教員が担当する講義の順番等は変更となる場合がある。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績及びレポートによる。なお、第１回の講義には必ず出席すること。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
講義中に指示する。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・教科書と参考書については、必要に応じて講義中に指示する。
・使用言語は主に日本語。
・履修の条件は特にありません。
・本講義に関する連絡先：　担当教員（川名）へメールを送ってください。

研究方法論/Research Methods in Economics and Management

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM501J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
大学院生として研究に従事し、修士論文をはじめとする研究論文を作成していく上での基本的な学術的ルール・倫理・方法について学ぶ。
We will provide you the basic knowledge of the academic rules, research ethics and methods so that you can accomplish the master thesis and the other research papers as an eligible graduate student.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究方法だけでなく論文作成の基本的ルールを学び、研究活動の本質や学術論文の特質を理解すること。
We expect you can understand the essence of research activities and the characteristics of academic paper in learning the basic rules of how to write research papers as well as the research methods.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
2022 年度後期（木曜日・3 限）に授業を実施します。
Google Classroom のコード：ervvq3k
授業で使用するレジュメや資料、お知らせなどは Google Classroom に掲載しますので、事前にご確認ください。

第 1 回（10 月 5 日：松田）オリエンテーション
第 2 回（10 月 19 日：石垣）研究の進め方
第 3 回（10 月 26 日：石原）先行論文・資料収集
第 4 回（11 月 2 日：鈴木）論文をかく
第 5 回（11 月 30 日：李）研究倫理（先行研究の参照）
第 6 回（12 月 7 日：室井）学会発表
第 7 回（12 月 21 日：千木良）プレゼンテーション

5 Oct.　Orientation/ Designing a research process
19 Oct.　Designing a research process
2 Nov.　Literature Review: Reference Collection & Management
16 Nov.　Writing up a thesis (structure of a thesis)
30 Nov. Writing up a thesis (reference & citation)
14 Dec.　submission to professional journals
11 Jan. presentation

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
授業は日本語で行われる。

６．成績評価方法/Evaluation method：
単位取得の要件は、全８回のうち６回以上の出席が必須であり、毎回、授業内容に関する課題レポート等を課し、その提出物の内容によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
ＪＳＰＳ研究倫理テキスト　https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各回の授業において提示される課題レポートを作成し、指示された期日までに提出する。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
今年度は経営学系の教員によるオムニバス形式だが、世話役の担当教員は松田。初回のガイダンスに出席できない場合は、世話役の担当教員に必ず事前にメール（yasumasa.matsuda.a4@tohoku.ac.jp）等で連絡すること。

特講）ファミリー・エコノミクス/Special Lec Family Economics

担当教員/Instructor：陳　鳳明/FENGMING CHEN
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO675J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
世界中で出生率の低下が進行している中、子育て支援の関連政策はますます重視されている。本講義は世の中で実施されている複数の子育て支援政策に注目し、経済学見地からこれらの政策を評価する方法について学ぶ。

As birth rates continue to decline worldwide, more and more emphasis is being placed on policies related to childcare support. In this lecture, we will focus on several child-rearing support policies implemented worldwide and learn how to evaluate these policies from an economic perspective.

２．学修の到達目標/Goal of study：
以下の２点を目標とする。

(1) 実証研究の中で頻繁に使われている政策評価方法を修得する。
(2) レポート作成を通じて、学術論文の書き方を修得する。

(1) Master the policy evaluation methods frequently used in empirical research.
(2) Learn how to write academic papers through report writing.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. ガイダンス
2. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）Ⅰ
3. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）Ⅱ
4. 少子化の現状
5. 現金給付
6. 保育支援
7. ジェンダー
8. 育休政策
9. 幼児教育
10. 保育園通いの効果
11. 育休制度の就業支援効果
12. 育休の逆効果
13. 保育改革と母親の就業
14. 日本の保育制度
15. まとめ

1. Guidance
2. Empirical analysis of economics (fundamentals of causal inference) I
3. Empirical analysis of economics (basis of causal inference) II
4. Current status of declining birthrate
5. Cash transfers
6. Childcare support
7. Gender
8. Maternity leave policy
9. Early childhood education
10. Effects of attending preschool
11. Effects of maternity leave on employment support
12. Reverse effects of maternity leave
13. Childcare reform and maternal employment
14. Japan's childcare system
15. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の出席状況と期末レポート
Class participation and submission of the final report.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

『子育て支援の経済学』	山口慎太郎	日本評論社	2021	978-4-535-55903-5	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
授業に関する連絡や資料配布はGoogle Classroomを用いて行う。Classroomのクラスコードは【mvsy5nn】である。

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

特講）経営管理/Special Lec Business Management

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本講義では経営学の基本分野であるミクロ・マクロ組織論、経営戦略論、マーケティングに加えて、近年注目が集まっている情報化や企業の社会的責任などの論点について学ぶと同時に、経営学について自発的に学習する際に必要な知識を習得する。
The aim of this course is to help students learn about the basic fields of business administration, such as micro/macro organization theory, management strategy, and marketing, as well as the recent focus on information technology and corporate social responsibility, and at the same time acquire the knowledge necessary for independent study of business administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学に関する基本理論の意味を理解し、現実に適応する応用力を得ると同時に、基本的な理論にとどまらず、近年の研究を調べられるだけのリテラシーを身に着けること。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
第１回：オリエンテーション/Orientation
　この授業の概要、進め方、成績評価について
第２回：近代企業の誕生と経営管理/ The Birth of the Modern Company
　管理が学問として追及するのか、学問としての経営管理の成立背景と初期の研究を概観する。
第３回：経営管理の領域と発展/Developments in Business Administration
　経営管理の発展の歴史を理解することで、組織を管理する際の大枠を捉える。
第４回：モチベーション/Motivation
　人がなぜ働くのか検討することで、組織を管理する方法を考える。
第５回：リーダーシップ/Leadership
　管理者としてどのような姿勢が人を管理するために優れているのか検討する。
第６回：現場の管理/Line management
　開発、生産、販売などの活動が行われる現場の管理について、とくに製造業に焦点を当てて内容を確認する。
第７回：組織のデザインと変化/Organizational Design
　組織デザインの基本枠組みである組織構造について学ぶ。
第８回：組織のパフォーマンスと組織文化/Organizational Culture
　他の組織と異なる歴史や経験が作り出す組織文化がいかに組織パフォーマンスに影響するか考える。
第９回：経営戦略/Management Strategy
　組織のとるべき行動や方向性の決定がどのようになされるのかを取り扱う経営戦略論について概観する。
第10回：市場戦略/Market Strategy
　企業は製品を消費者に受け入れてもらうために、市場を通じて活動していく。
第11回：組織間関係と外部資源の管理/Inter-organizational Relations
　組織が、外部の資源をいかに活用するか考える。
第12回：グローバル化と国際経営/International Business
　グローバル企業が自国とは異なる環境下でいかに事業展開を行うために、どのような考え方が必要か紹介する。
第13回：情報技術とビジネスの進化/Information Technology
　情報化の時代において、企業が情報技術の力を十分に引き出すために必要なマネジメントについて検討する。
第14回：企業の社会活動とソーシャルキャピタル/Corporate Social Responsibility
　社会のなかに位置づけられる企業が、いかにその責任を果たすか企業の社会的責任について考える。
第15回：理解度確認セッション/Examination
　これまでの講義内容に基づいて、各人の学習内容をまとめて提出してもらい、概観する。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
事前課題（20%）、事後課題(20%)、発表（20%）、平常点（30%）、理解度確認セッション（10%）
AA(90 点以上), A(80 点以上 90 点未満), B(70 点以上 80 点未満), C(60 点以上 70 点未満), F(60 点未満；不合格)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
「コアテキスト：経営管理」(第２版)　高松朋史・具承恒　新世社　2019　4883842916　教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習:事前に指定した課題について自分なりの見解をまとめる。
復習:該当回のテーマ・内容に基づいて、近年の研究内容について調べる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この講義を受講するために必要となる知識：
経営学の論文を読むことをいとわない程度の英語力

講義の性質上、教科書を自費で購入したり、論文を自分で調べてみたり、もしくは授業内で発表を行ったりと他の講義とは異なる点があるので、理解したうえで受講してほしい。また、履修者数やその意向に応じて、内容を多少変更することがある。

特講）ツーリズムとインバウンドの経済学Ⅰ/Special Lec Economics of Tourism and Inbound I

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日　３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM502J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。新型コロナウイルスの流行により、観光経済は大きな打撃を受けました。政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でポストコロナ GO TO キャンペーン等インバウンドにもとづく地域経済の回復が求められています。
・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、観光産業への理解の促進を図る講義と企画をセットした教育を行います。
・観光、運輸、サービス関係だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。
This lecture aims to lecture the economic aspects of turism as an industry, Easpecially we aim to promote the turism in Tohoku area through real activities, ivenst in the stastion and trains.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・観光経済学、インバウンドの内容を理解し、観光を産業としてみる知識の習得。
・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方のポストコロナのインバウンドに役に立つアイディアを話し合い、企画します。
・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
・自分のアイディアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。
・Acquisition of knowledge about tourism economics, understanding of inbound tourism, and considering tourism as an industry.
・This year, we will discuss and develop useful ideas for post-corona inbound in the Tohoku region with your unique ideas.
・At the end of the semester, we plan to propose your unique projects and use them as hints for commercialization and policy making.
・Because it is an opportunity to give form to your own ideas and ideas, I hope you will be curious and enjoy the course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1	イントロダクション（1）
2	イントロダクション（2）
3	東北の観光における課題
4	GW の課題
5	イベント企画グループワーク 1
6	イベント企画グループワーク 2
7	イベント企画グループワーク 3
8	イベント実施；JR 仙台駅
9	仙台・宮城の観光資源
10	JR 事業紹介
11	イベント企画グループワーク 4
12	イベント企画グループワーク 5
13	イベント企画グループワーク 6
14	イベント実施：JR 陸羽東線
15	課題報告

1	Introduction (1)
2	Introduction (2)
3	Issues in tourism in Tohoku district
4	Homework of the Golden Week Holidais
5	Group work for event planning 1
6	Group work for event planning 2
7	Group work for event planning 3
8	Executing the event in JR Sendai Station
9	Learning Tourism resources in Sendai and Miyagi
10	Introducing the Business of the JR East.
11	Group work for event planning 4
12	Group work for event planning 5
13	Group work for event planning 6
14	Executing the event in JR Rikuu East Line
15	Project final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
グループワークにもとづき
イベント実施；JR 仙台駅
イベント実施：JR 陸羽東線
を行い、結果をレポート　をオンラインで提出。
筆記試験はありません。
Bsed on your attandance and results of the group work for idea planning and execution. Yopu put the final report.
We do not plan to execute a writing exam.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Class
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODAOODY3?cjc=ykr3wvc

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
地域経済に関するニュースと東北の観光情報の積極的収集を心がけてください。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
１．本講義は、ＪＲ東日本のご厚意で寄付講義として実施されるものです。
２．イベント企画に参加が必要です。

1. This lecture is powerd by the Japan East Railway company (JR East)
2. You can not obtain a credit without paticipationg the ivent activitirs.

特講）ツーリズムとインバウンドの経済学Ⅱ/Special Lec Economics of Tourism and Inbound II

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM502J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。新型コロナウイルスの流行により、観光経済は大きな打撃を受けました。政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でポストコロナ GO TO キャンペーン等インバウンドにもとづく地域経済の回復が求められています。
・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、観光産業への理解の促進を図る講義と企画をセットした教育を行います。
・観光、運輸、サービス関係だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。
This lecture aims to lecture the economic aspects of tourism as an industry. Especially we aim to promote tourism in the Tohoku area through real activities, events in the station and trains.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・観光経済学、インバウンドの内容を理解し、観光を産業としてみる知識の習得。
・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方のポストコロナのインバウンドに役に立つアイディアを話し合い、企画します。
・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
・自分のアイディアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。
・Acquisition of knowledge about tourism economics, understanding of inbound tourism, and considering tourism as an industry.
・This year, we will discuss and develop useful ideas for post-corona inbound in the Tohoku region with your unique ideas.
・At the end of the semester, we plan to propose your unique projects and use them as hints for commercialization and policy making.
・Because it is an opportunity to give form to your own ideas and ideas, I hope you will be curious and enjoy the course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1	イントロダクション（1）
2	イントロダクション（2）
3	東北の観光における課題
4	イベント企画グループワーク 1
5	イベント企画グループワーク 2
6	イベント企画グループワーク 3
7	イベント実施；JR 仙台駅
8	仙台・宮城の観光資源
9	仙台市ビジネス表彰コンテスト応募
10	JR 事業紹介
11	イベント企画グループワーク 3
12	イベント企画グループワーク 4
13	イベント企画グループワーク 5
14	イベント実施：JR 陸羽東線（予定）
15	課題報告

1	Introduction (1)
2	Introduction (2)
3	Issues in tourism in Tohoku district
4	Homework of the Golden Week Holidais
5	Group work for event planning 1
6	Group work for event planning 2
7	Group work for event planning 3
8	Executing the event in JR Sendai Station
9	Applying business idea competition in Sendai city
10	Introducing the Business of the JR East.
11	Group work for event planning 4
12	Group work for event planning 5
13	Group work for event planning 6
14	Executing the event in JR Rikuu East Line (tentative)
15	Project final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
グループワークにもとづき
イベント実施；JR 仙台駅
イベント実施：JR 陸羽東線（予定）
を行い、結果をレポート　をオンラインで提出。
筆記試験はありません。
Bsed on your attandance and results of the group work for idea planning and execution. Yopu put the final report.
We do not plan to execute a writing exam.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Class
https://classroom.google.com/c/NTg4ODczODEwMTU4?cjc=rnccacz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
地域経済に関するニュースと東北の観光情報の積極的収集を心がけてください。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
１．本講義は、ＪＲ東日本のご厚意で寄付講義として実施されるものです。
２．イベント企画に参加が必要です。
1. This lecture is powerd by the Japan East Railway company (JR East)
2. You can not obtain a credit without paticipationg the ivent activitirs.

現代経済学特別演習Ａａ/Special Seminar on Contemporary Economics Aa

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今学期の演習では論文中間報告と教員の研究報告を行う予定である。今学期の演習参加者は、自身の論文発表の有無も含めて若林(midwak@tohoku.ac.jp)まで各自の DC メールアドレスを連絡すること。

The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Attendants must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
indicating their DC mail addresses.

なお、演習の性格上、予定変更がありうる。Google Classroom を頻繁に確認すること

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする）。この演習では現代経済学演習に所属する教員を指導教員とする 4 セメの学生は進捗研究発表をしなくてはならず、そのことも考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

現代社会・経済・企業特別演習Ａａ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Aa

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6se7cta

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・５講時に開講します。
初回は４月 20 日の予定です。最新の情報はGoogle Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held on April 20. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。
本年度は川端が幹事です。nozomu.kawabata.b1*（*を@に替えてください）tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ａａ/Special Seminar on Business Management Aa

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
（1）現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
（2）地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions, and comments on the reports.

受講希望者は前期は 2003 年 4 月 20 日（木）の 5 限（16:20～17:50）、後期は 10 月 14 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に参加すること。
The students must attend the first class on April 20(in the spring semester) or October 14 (in the fall semester), 16:20-17:50.

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載するので、４月１５日（前期）または１０月１０日（後期）までに登録しておくこと。
The information on this class is shared via Google Classroom.
The students who will take the class must register for Google Classroom by April 15 (in the spring semester) or October 9 (in the fall semester).

クラスコード：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

Class code：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入）。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For

comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。

Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

【履修条件】

・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・原則、隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。
　発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 20 日/10 月 14 日）に参加すること。
　その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

Although SeminarAa and Seminar Ab (Seminar Ba and Seminar Bb) are separated, attending both seminars is recommended.
This class is held every other Thursday. (subject to change)
The students must attend the first class of each semester, on April 20 (spring semester) and Oct 14(Fall semester).
Other than students' presentations, we will have guest speakers.

【連絡先】本年度幹事・福嶋（michi@tohoku.ac.jp）
Contact: Fukushima (michi@tohoku.ac.jp)

経済史・経営史特別演習Ａａ/Special Seminar on Economic History and Business History Aa

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ４講時.前期 木曜日 ５講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史　今年度コーディネータ）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史）
酒井一輔（日本経済史）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe, the coordinator)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History)
*SAKAI, Kazuho (Japanese Economic History)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。

数理・データ科学特別演習Ａａ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Aa

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwNzkwNzA3?cjc=sjfkqtd
Check the classroom for the latest information on the workshop.

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Graduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The first class together with orientation will be at third slot on April 20th, Thurs. Please check
Google classroom: sjfkqtd
for the latest information

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ａａ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Aa

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO673J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，博士または修士の学位にふさわしい知識を身につけるための学習と議論の場として開講されるものである。

This workshop is an opportunity of learning and discussion that Ph.D or MA candidates acquire academic knowledge in the economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
博士または修士の学位を目指すものが身につけておくべき関連分野の質の高い研究の方法論および知識を修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

The goal of this workshop is that the student acquires high-quality research methodology and academic knowledge in their own field as a Ph.D or MA candidate and improves skills in presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。
発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルをGoogle Classroom （クラスコードは "aktqjvb"）にアップロードすること。また，発表者以外の参加者は，各発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントを提出することを必須とする。

We regularly hold a face-to-face seminar. The main presenters are the graduate students of Tohoku University and/or academic researchers from outside whose primary field is public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in the aging society.
Presenters are required to upload a presentation file to our Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop. Other participants must submit comments and questions for each presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントの内容等も考慮する。

Students must have one or more presentations and submit comments on each presentation to obtain credit. In addition, the grade is based on preparation, attendance, discussion, comments, etc

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students are required to carefully prepare for their own presentation and to improve their own research as soon as they receive comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習にも必ず履修登録し，現代経済学研究会（https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics）にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must attend this workshop.
In addition, the students must also register for other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.

現代経済学特別演習Ａｂ/Special Seminar on Contemporary Economics Ab

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今学期の演習では論文中間報告と教員の研究報告を行う予定である。今学期の演習参加者は、自身の論文発表の有無も含めて若林(midwak@tohoku.ac.jp)まで各自の DC メールアドレスを連絡すること。

The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Attendants must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
indicating their DC mail addresses.

なお、演習の性格上、予定変更がありうる。Google Classroom を頻繁に確認すること

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする）。この演習では現代経済学演習に所属する教員を指導教員とする 4 セメの学生は進捗研究発表をしなくてはならず、そのことも考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

現代社会・経済・企業特別演習Ａｂ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Ab

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6se7cta

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の 4 講時・5 講時に開講します。最新の情報は Google Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。
本年度は川端が幹事です。nozomu.kawabata.b1*（*を@に替えてください）tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ａｂ/Special Seminar on Business Management Ab

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
（1）現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
（2）地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions, and comments on the reports.

受講希望者は前期は 2003 年 4 月 20 日（木）の 5 限（16:20～17:50）、後期は 10 月 14 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に参加すること。
The students must attend the first class on April 20(in the spring semester) or October 14 (in the fall semester), 16:20-17:50.

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載するので、４月１５日（前期）または１０月１０日（後期）までに登録しておくこと。
The information on this class is shared via Google Classroom.
The students who will take the class must register for Google Classroom by April 15 (in the spring semester) or October 9 (in the fall semester).

クラスコード：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

Class code：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入）。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For

comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。

Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

【履修条件】

・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・原則、隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。
　発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 20 日/10 月 14 日）に参加すること。
　その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

Although SeminarAa and Seminar Ab (Seminar Ba and Seminar Bb) are separated, attending both seminars is recommended.
This class is held every other Thursday. (subject to change)
The students must attend the first class of each semester, on April 20 (spring semester) and Oct 14(Fall semester).
Other than students' presentations, we will have guest speakers.

【連絡先】本年度幹事・福嶋（michi@tohoku.ac.jp）
Contact: Fukushima (michi@tohoku.ac.jp)

経済史・経営史特別演習Ａｂ/Spesial Seminar on Economic History and Business History Ab

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ４講時.後期 木曜日 ５講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史　今年度コーディネータ）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史）
酒井一輔（日本経済史）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe, the coordinator)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History)
*SAKAI, Kazuho (Japanese Economic History)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。

数理・データ科学特別演習Ａｂ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Ab

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODM5NjMOMTIx?cjc=wplus6e
Check the classroom for the latest information on the workshop.

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Graduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ａｂ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Ab

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO673J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，博士または修士の学位にふさわしい知識を身につけるための学習と議論の場として開講されるものである。

This workshop is an opportunity of learning and discussion that Ph.D or MA candidates acquire academic knowledge in the economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
博士または修士の学位を目指すものが身につけておくべき関連分野の質の高い研究の方法論および知識を修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

The goal of this workshop is that the student acquires high-quality research methodology and academic knowledge in their own field as a Ph.D or MA candidate and improves skills in presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。
発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルをGoogle Classroom （クラスコードは "aktqjvb"）にアップロードすること。また，発表者以外の参加者は，各発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントを提出することを必須とする。

We regularly hold a face-to-face seminar. The main presenters are the graduate students of Tohoku University and/or academic researchers from outside whose primary field is public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in the aging society.
Presenters are required to upload a presentation file to our Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop. Other participants must submit comments and questions for each presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントの内容等も考慮する。

Students must have one or more presentations and submit comments on each presentation to obtain credit. In addition, the grade is based on preparation, attendance, discussion, comments, etc

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students are required to carefully prepare for their own presentation and to improve their own research as soon as they receive comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習にも必ず履修登録し，現代経済学研究会（https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics）にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must attend this workshop.
In addition, the students must also register for other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.

経済実習Ⅰ/Internship Ⅰ

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM980J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroom を活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgxMDE3NTQ0?cjc=bvhwq6j

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（１）第１学期または第２学期の履修登録期間中に学生用 Web で、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は２単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（２～４単位）の科目へ登録振替を行う。

（２）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第１学期登録の場合は６月頃、第２学期登録の場合は１１月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果を Classroom に掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学 BCP レベルにも拠りますので、Classroom からのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（３）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP 及び窓口）、各社 HP, 民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（４）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（５）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（６）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（４）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記の Google Classroom の当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）

経済実習Ⅰ/Internship Ⅰ

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM980J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroom を活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODg2NzMz?cjc=tcgg7g5

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（１）第１学期または第２学期の履修登録期間中に学生用 Web で、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は２単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（２～４単位）の科目へ登録振替を行う。

（２）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第１学期登録の場合は６月頃、第２学期登録の場合は１１月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果を Classroom に掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学 BCP レベルにも拠りますので、Classroom からのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（３）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP 及び窓口）、各社 HP, 民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（４）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（５）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（６）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（４）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記の Google Classroom の当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）

Political Economy_政治経済学特論/Political Economy

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘.守　健二/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日　１講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO508E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The purpose of this course is to provide students with the basic theories of Marxian and other non-mainstream economics by using mathematical methods.

The course not only provides different explanation concerning the same phenomena (e.g. positiveness of prices) from the mainstream economics but also deals with the phenomena which are not explained in the orthodox textbooks.

Given the tendency that unequal distribution of income and wealth is growing all over the world, Marxian as well as other non-mainstream economics are recently revisited. Due to this course, it is expected that the different ways of thinking about capitalist economies from the mainstream are possible.

２．学修の到達目標/Goal of study：

This course has an ambitious goal of acquiring such knowledge and skills as follows:
1) basic properties of linear economic models
2) understanding of alternative ways in order to theorise capitalism by using the models
3) value, prices, and choice of technique, and the paradox of capital theory
4) economic growth based on a simple two-class economy

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

All information of this course will be announced through Google classroom. Thus, don't fail to register for Google classroom if you wish to take this course.

This course is divided into two parts, the first of which is charged by Prof. Mori and the second of which is by Prof. Kurose. The first part deals with the Classical-Marxian value and price; the contents are given as follows:

1) Input-Output Analysis
2) Labor theory of value
3) Price of production
4) Hawkins-Simon condition
5) Sraffian price theory
6) Perron-Frobenius theorem

On the basis of the first part, the second one deals with the choice of technique, income distribution, paradox of capital theory, and economic growth models, and argues the relevance of these models. The contents of the second part are given as follows:

1) Leontief production model with multiple alternative techniques
2) Capital paradox
3) Growth and distribution in a two-class economy

The lecture-notes and other material are uploaded to Google classroom, the code of which is given as follows:

tdo4ay3

Announcement to those participants in IPLA and faculty exchange programs (EMEX) who are considering making course registration for Political Economy:

The course of Political Economy (PE) is designated as a regular part of the essential curriculum constituting the master degree's program of the Graduate School of Economics and Management. The course content is, therefore, designed based on the requirements which properly correspond to the graduates from B.A. program in economics. Considering diverse backgrounds of the exchange students applying for class registration for PE and after a deliberate consultation with Incoming Student Exchange Section (ISES) , the instructors of PE decided to accept from IPLA and EMEX those applicants whose academic background they consider to be compatible with the course requirements up to the maximum number of five. If necessary, a screening will take place based on the requirement announced in the syllabus.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

The first part charged by Prof. Mori: Homework (70%)+Examination (30%)

The second part charged by Prof. Kurose: Homework (30%)+Examination. (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Radical Political Economy	Robin Hahnel	Routledge	2017	9781138050020
Equilibrium, Stability and Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1964	0198281455
Marx's Economics	Michio Morishima	Cambiridge University Press	1973	0521087473
Theory of Production	H. Kurz and N. Salvadori	Cambiridge University Press	1995	9780511625770
The Economics of Input-Output Analysis	Thijs ten Raa	Cambiridge University Press	2005	0521841798
Lectures on the Theory of Production	Luigi L. Pasinetti	Columbia University Press	1977	0231041004
Theory of Economic Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969	0198281641
Capital Theory and Dynamics	Edwin Burmeister	Cambiridge University Press	1980	0521228891
Capital I～Ⅲ	K, Marx	Foreign Languages Publishing House	1954-1959	
Production, Value and Income Distribution	Enrico Bellino	Routledge	2022	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Sufficient preparation and review are necessary.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

Basic knowledge of linear algebra is prerequisite.

History of Economic Thought/History of Economic Thought

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO509E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Introduction to Economics:
If you are interested in the story behind Micro and Macro Economics you are learning, or if you have faced challenges in coming to grips with some of the conceptual foundations of modern Economic theory, you may find this course beneficial. Past students have told me that the course improved their understanding of current economic theory by tracing its historical evolution. They have shared that the course served as a complement and guide to their Micro and Macro Economics studies.
The discipline of Economics has a complex history marked by contradictions. On one hand, it is a history of disagreement and changes, but on the other, it is a persistent effort to address crucial questions facing society. This interplay of discontinuity and continuity has shaped Economics into the theory we study today. By tracing the evolution of the science, we can gain a deeper understanding of its essence and how it has developed into its current form.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Upon completion of this course, you will be able to:
- develop an in-depth understanding of the context of contemporary economic theory
- acquire knowledge of the various schools of economic thought
- understand why economics has changed over time

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This course will be held in-person. We will use Google Classroom for communication and assignments.

1. Schedule of the course:
Week 01 April 10 (course introduction)
Week 02 April 17 Thomas Mun.
Week 03 April 24 Adam Smith.
Week 04 May 1 David Ricardo.
Week 05 May 8 Malthus and Sismondi.
Week 06 May 15 Friedrich List.
Week 07 May 22 (midterm exam followed by a brief explanation session)
Week 08 May 29 Karl Marx.
Week 09 June 5 Léon Walras.
Week 10 June 12 Alfred Marshall.
Week 11 June 19 J. M. Keynes.
Week 12 June 26 Hicks and Samuelson.
Week 13 July 3 Milton Friedman.
Week 14 July 10 New Neoclassical Synthesis.
Week 15 July 24 (final exam followed by a brief explanation session)

2. Weekly routine:
- Prior to each class session, you will review the designated readings and share your insights with others via Google Classroom.
- The class will commence with quizzes based on the assigned readings;
- followed by a lecture from me on the topic for the week.
- The final segment of the class, lasting ten to fifteen minutes, will be dedicated to class discussion.

3. Readings:
The assigned readings for each class typically range from 6,000 to 7,000 words, with slight variations from week to week. You are not required to spend an excessive amount of time meticulously reviewing the readings. A quick overview should suffice to enhance your grasp of the weekly lectures.
Upon completing your brief review, kindly share your takeaway/insight in a brief post on Google Classroom, consisting of one or two sentences.

4. Reading Quizzes:
There will be three to five quizzes of moderate ease. The format of the quizzes will be fill-in-the-blank, multiple choice, true/false, etc.
Please arrive on time for the quizzes, as no make-up quizzes will be given.

5. Class discussion:
A moderator for each week will be sought in advance. The role of the moderator will be to facilitate the discussion and encourage a productive exchange of ideas regarding the topic of the day.

In courses such as the history of economic thought, it is inevitable that certain topics may arise that some participants may find uncomfortable. As we engage in class discussions, I kindly ask you all to acknowledge that diverse perspectives and opinions may be present. Please maintain a considerate demeanor towards those with whom you may have differing viewpoints.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
30% Active class participation
20% Reading quizzes
20% Midterm exam
30% Final exam

Make sure not to miss the scheduled exams. The only acceptable justification for missing the midterm or final exams is a verified medical emergency, supported by a p

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Leaf through the designated readings and share your insights with others via Google Classroom before each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please make sure to attend the first class, which will take place from 10:30 to 12 on April 10th, in Seminar Room 1.
The rules in this course involving the new coronavirus will be announced at the first class.

Adv EconometricsⅠ_上級計量経済学特論Ⅰ/Advanced Econometrics Ⅰ

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO512E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I and II. This course should be regarded as the entry level econometrics course for PhD program. Students are required to complete the two courses before enrolling in this one. In this course, we will study econometrics in greater depth with both old topics (such as linear regression) and new topics (such as panel data model). Mathematical tools, for example, vector and matrix, are extensively used in deriving estimations and inferences. Random sample (independence) is assumed in most of the topics. Dependent sample will be covered in Advanced Econometrics II.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Conditional Expectation and Projection (Hansen Chapter 2 & 3; Hong Chapter 2; Wooldridge Chapter 2)
- Conditional Expectation
- Best predictor under MSE criteria
- Linear projection and Least Squares Estimator
- Correct model specification

Single-Equation Linear Model (Hansen Chapter 4-7, 9; Hong Chapter 3-4; Wooldridge Chapter 3-4)
- Classical linear regression models: OLS and MLE
- Large sample linear regression models: OLS and Method of Moment
- Hypothesis testing

Single-Equation Linear Model with Instrumental Variables Estimation (Hansen Chapter 12 & 13; Wooldridge Chapter 5)
- Generalized method of moment under i.i.d.
- Two-stage least squares estimation

Multiple-Equation Model (Hansen Chapter 11; Wooldridge Chapter 7)
- Seemingly Unrelated Regressions: OLS and GLS

Linear Unobserved Effects Panel Data Models (Hansen Section 17.1-17.27; Wooldridge Chapter 10)
- FD, FE, RE methods

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co.	2020
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, Jeffrey M.	MIT Press.	2002

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

Google Classroom: ipfaqju

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

Adv Econometrics Ⅱ_上級計量経済学特論Ⅱ/Advanced Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO513E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I, II, and Advanced Econometrics I. This course should be regarded as the second PhD level econometrics course and will cover various asymptotic theories, with an emphasis in dependent samples. Time series econometric models will be covered.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Asymptotic Theory with Dependent Sample (Hayashi Chapter 2; Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5
- Stationary and Ergodicity
- Martingale and Martingale Difference
- WLLN and CLT for ergodic time series

Linear Time Series Regression Models (Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)
- Static, (Autoregressive) Distributed Lag
- Granger Causality

ARMA Linear Processes & GARCH (Hamilton Chapter 3-5, 21; Hansen Chapter 14; Hayashi Chapter 6; Hong Chapter 9)
- Wold decomposition
- GARCH
- MLE & QMLE

Dynamic Panel Data Model (Hayashi Chapter 3; Hansen Section 17.36-17.42)
- Generalized method of moment
- Anderson-Hsiao, Arellano-Bond
- Blundell-Bond

VAR Model (Hamilton Chapter 11; Hansen Chapter 15)

Unit-Root Econometrics (Hamilton Chapter 17; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 9)
- Functional CLT
- Unit root test

Cointegration (Hamilton Chapter 19; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 10)

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Time Series Analysis	Hamilton, James D.	Princeton University Press	1994
Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Econometrics	Hayashi, Fumio	Princeton University Press	2000
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co	2020

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: wgyq5s5

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

International Finance_国際金融論特論/International Finance

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO602E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The purpose of the course is to provide students with an overview of International Economics including International Finance / Open Economy Macroeconomics.

Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely on demand using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Firm grasp of the theories and policies of both trade theory microeconomics and open economy macroeconomics. Trade theory explains why and how countries gain from trade. Trade policy involves governments' strategic policy. Open economy macroeconomic theory explains the determinations of foreign exchange rates and outputs. International macroeconomic policy puts special emphasis on the importance of macroeconomic policy coordination across the countries.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely on demand using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【mnqhdkl】(EM0409)、【7lhcybs】(EB417)).

The course basically proceeds along the contents of the widely used Krugman-Obstfeld undergraduate textbook (International Economics: Theory and Policy). While quickly reviewing the undergraduate materials, graduate level materials will be supplemented wherever it suits the goals.

1) Chapter 2: World Trade: An Overview
Chapter 3: Labor Productivity and Comparative Advantage: The Ricardian Model
2) Chapter 4: Specific Factors and Income Distribution ,
Chapter 5: Resources and Trade: The Heckscher-Ohlin Model
3) Chapter 6: The Standard Trade Model
Chapter 7: External Economies of Scale and the International Location of Production
4) Chapter 8: Firms in the Global Economy: Export Decisions, Outsourcing, and Multinational Enterprises
Chapter 2-8 Review (International Trade Theory)
5) Chapter 9: The Instruments of Trade Policy
Chapter 10: The Political Economy of Trade Policy
6) Chapter 11: Trade Policy in Developing Countries
Chapter 12: Controversies in Trade Policy
7) Chapter 09-12 Review (International Trade Policy)
8) Chapter 13: National Income Accounting and the Balance of Payments
Chapter 14: Exchange Rates and the Foreign Exchange Market: An Asset Approach
9) Chapter 15: Money, Interest Rates, and Exchange Rates
Chapter 16: Price Levels and the Exchange Rate in the Long Run
10) Chapter 17: Output and the Exchange Rate in the Short Run .
Chapter 18: Fixed Exchange Rates and Foreign Exchange
11) Chapter 13-18 Review: (Exchange Rates and Open Economy Macroeconomics)
12) Chapter 19: International Monetary Systems: An Historical Overview
Chapter 20: Optimum Currency Areas and the European Experience
13) Chapter 21: Financial Globalization: Opportunity and Crisis
Chapter 22: Developing Countries: Growth, Crisis, and Reform
14) Chapter 19-22 Review (International Macroeconomic Policy)
15) Overall Review and Extensions

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Evaluation or comprehension confirmation will be performed based on the grades of assignments submitted in time for the deadline set after each class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

International Economics: Krugman, Obstfeld Prentice Hall ISBN-10:

Theory and Policy	and Melitz	0132146657

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The course consists of formal lectures.
Thorough preparation before and review after each lecture is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Previous exposure to undergraduate level microeconomics and macroeconomics is prerequisite. Familiarity with mathematics for economists is preferable.
Office hour： via Google Classroom.

Environmental Economics_環境経済/Environmental Econ

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO605E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course applies standard microeconomic theory and concepts to understand the role of environmental policy. The students should have completed Calculus and microeconomics courses of advanced undergrad level before taking this class.

Google Classroom Class Code :h6fblze

２．学修の到達目標/Goal of study：

At the end of the course, students should be able to understand the basic knowledge of environmental economics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

(Class 1) External cost (negative externality) and the market failure : Case of pollution
(Class 2)The optimal environmental policy in the case of pollution under the competitive market.
(Class 3)External benefit and the market failure : case of afforestation
(Class 4)The optimal environmental policy in the case of external benefit under the competitive market
(Class 5) Optimal market size in the case of nevative externality under the competitive market and the long term optimal environmental policy
(Class 6) The optimal environmental policy in the monopolistic market.
(Class 7-8)Incentive of adoption of environmental friendly technology (or investment) and environmental policy
(Class 9-10) Choice of environmental policy instruments under uncertainty: environmental tax or command and control
(Class 11-12) Emission trading scheme
(Class 13) Information provision and choice of quality by producers
(Class 14-15)Economic analysis of liability law toward the (environmental) accident: how do the injurers and the victims be responsible for the damage respectively? What is the optimal liability rule to induce them to choose the optimal accident avoidance behavior?

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Based on the final examination (70%) and quizzes (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The students are expected to read materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) This course will be taught in English. The materials for the lectures are distributed in the class. The students must have basic knowledge of microenocomics.
(2) This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.
(3) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)

Aging Economy_加齢経済特論/Aging Economy

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO606E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

高齢社会の諸問題を近代経済学の知見で分析すること
人口高齢化が経済に及ぼす影響を理解する
To understand the effect of aging on economy.
経済体制が人口構造に及ぼす影響を理解する
To understand the effect of economic system on population structure; aging, low fertility….
高齢化の経済分析の手法を理解する
To know the skill for analyzing the economics of aging.
経済理論: Economic theory
分析技法: Technique of analyzing (programming, calculation..)

２．学修の到達目標/Goal of study：

高齢社会の諸問題を経済モデルで分析、説明できるようになる。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.
公的年金、介護保険、少子化問題、家計の行動、世代会計など

Part A: Basic Knowledge
1. 高齢社会の基礎知識（定義、用語、高齢化の原因、国際比較等）; Basic knowledge of ageing society, words definition, reason of aging, international comparison…
2. 高齢化のマクロ経済への影響（経済全体からの視点・・労働力の問題、資本の問題）; Effect of aging on Macroeconomics (labor supply, capital accumulation)
3. 高齢化社会と財政（財政赤字の適切な指標、財政運営の考え方）; Aging and fiscal policy; adequate index for evaluating budget of public sector management.
4. 高齢社会政策（社会保障政策と高齢化、年金、介護）Social welfare, social security policy under the aging society; public pension, long term nursing care.
5. 経済政策上の対応策（租税の基本原理、高齢社会にふさわしい税制）Aging and tax policy; basic theory of taxation, tax system fit foe the aging society.
6. 事業の効率化（事業の効率化とは、自治体の合併、行政評価の視点）: Efficiency of public program, Reorganization of the local government, communities, evaluation of public policy,

PartB 経済理論と分析技法 (Theory and Skills)
1. 少子化モデル：Demand for Children
u=U(c1, c2)u=U(c, n)　number of children
2. 1.2期間消費者モデル：Tow period consumer model
ライフサイクルモデル: A life cycle model
若年労働期と老年退職期：Working young period and Retired old period
消費行動と貯蓄： consumption and saving
貯蓄と資本蓄積： saving and capital accumulation　Y-C=S=I=ΔK
3.課税と経済厚生：Taxation and economic welfare
消費課税か所得課税か：Tax on consumption vs. on income
経済厚生への影響：effect on economic welfare
資本蓄積への影響：effect on capital accumulation
4. 労働供給モデル：model of labor supply
時間配分理論：time allocation theory T＝Working hours + time for Leisure
社会保障と労働供給：Social security benefit and labor supply
5. 資本蓄積と生産関数：capital accumulation and production function
Y=F(K,L)=KαL1-α　K(t+1)＝(1-δ)K(t)+I(t)
人口高齢化の影響：Effect of papulation aging
Effect on labor supply: labor shortage
Effect on capital supply: capital shortage

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

Japanese, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッション（筆記)、教科書と自筆ノートの持ち込み可
Home works

７．教科書および参考書/Textbook and references：
授業中に資料配布

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Class
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTU3NjQx?cjc=yoal7ac

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) Report home works in the google class

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Google Class Code　:yoal7ac
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTU3NjQx?cjc=yoal7ac

Welfare Economy_福祉経済特論/Welfare Economy

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO607E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course focuses on the social security system and public finance.
Current policy issues in Japan (especially, social security system) are also discussed.

２．学修の到達目標/Goal of study：
We study the role of the government in the economy and why government intervention is needed.
Also, you can understand Japanese social security system and discuss not only system itself but also argue the pros and cons of the system.

Also, I introduce general topics of welfare economics (for example, the reasons for government intervention in the economy and social insurance). Next, I talk about special topics of social security, especially in Japan. would also like to talk about family economics and education economics. This class also study applied microeconometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1) 2)Introduction to Welfare Economics and Social Security
3)4) Data Analysis
5) -7)Social Insurance and Redistribution
8)- 10) Social Security
11)-12) Public Assistance
13)-15) Family Economics (including Nursing Care)

The order and contents might be changed depending on procedures.

Students need to present each subsection first. Students need to prepare power point presentation slides.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 50%

Minitest and Exam 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Public Finance and Public Policy	Jonathan Gruber	Macmillan	2021	978-1319466923	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
You have to be interested in Social security systems and public policy.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Basic level of microeconomics, macroeconomics, and econometrics are required

Operations Research_OR 特論/Operations Research

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN601E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

For any organization, the ability to manage projects is a critical factor in achieving its goals. Therefore, the study of project management, including how to plan, monitor and control projects, has been of interest to scholars and practitioners from various disciplinary backgrounds. This course has three major subjects: project planning, project monitoring, and risk analysis. In the Project planning part, we first introduce the classical PERT/CPM techniques as temporal analysis tools. Then we incorporate the resource allocation into the planning problem and extend it to the problem with uncertainty. A widely accepted approach for monitoring and controlling a project is earned value management (EVM) which uses the cost and the time as criteria for project progress. In the EVM framework, many indices exist for monitoring projects, and we will introduce how to use them for controlling and forecasting. As the third subject, risk analysis of projects will be introduced. We redefine the scheduling problem incorporating uncertainty. We present several approaches to identify the risk structure of projects and evaluate the impcat of individual risk factors.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand

- Classical PERT/CPM and more advanced techniques for time management of projects
- EVM and related techniques for monitoring projects
- techniques for identifying the risk structure of projects

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The topics included in the course are as follows:

1 Introduction
2 Program Evaluation and Review Technique (PERT) and temporal analysis (1)
3 Program Evaluation and Review Technique (PERT) and temporal analysis (2)
4 Critical path method (CPM)
5 Resource Constrained Project Management (1)
6 Resource Constrained Project Management (2)
7 Heuristic Method (1)
8 Earned Value Management (1)
9 Earned Value Management (2)
10 Stochastic PERT
11 Risk indicators
12 Analytic Approximation
13 Risk factors
14 Project Portfolio Management
15 Review of the course

In each session, the concept of the models and methods will be explained, and occasionally, applications to the actual cases are provided. The topics are organized considering their interconnectivity, although the course can be loosely divided into several sections. At the each end of the sections, students will be given an assignment.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (30%),
Assignments (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
All the participants are required to have basic knowledge of mathematical analysis, linear algebra, statistics and probability theory.

Public Finance_財政特論/Public Finance

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO609E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Using basic economic theories, this course compare standard theory of public finance established by R.A. Musgrave and critical theory of public finance represented by R. Goldscheid and J. Schumpeter.In addition, recent fiscal situation of main countries will be discussed.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand normative economic roles of the public sector and allocation of the roles among each part of the public sector. To understand criticisms of the normtive theory and their foundations from fiscal sociology. To know the differences of both thoughts and form your own opinions.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Resource allocation
2. Income redistribution
3. Economic stabilization and growth
4. Fiscal federalism
5. Critiques of Musgrave's fiscal theory
6. Emergence of fiscal sociology
7. Schumpeter's Tax State
8. Interpretation of fiscal sociology from modern economic perspective.

Materials:
Musgrave, R and P. Musgrave (1973) Public finance in theory and practice, New York: McGraw-Hill.
Musgrave, R. (1992)"Schumpeter's crisis of the tax state: an essay in fiscal sociology", Journal of Evolutionary Economics, 2, 89-113.
O'Connor, J. (1973) The Fiscal Crisis of the State, New York: St. Martin's Press.
Schumpeter, J. (1918),"The crisis of the tax state"in R. Swedberg(ed.)The economics and sociology of capitalism, Princeton, N.J.: Princeton University Press.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance with minute paper 30%
A few reports 30%
Final examination 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students are expected to read materials themselves as far as they can.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
For clear understanding, it is recommended to have knowledge of basic micro and macroeconomics in undergraduate level. Announcements of the class are informed in Google Classroom
Class code：wzedqqm

Economic Statistics_経済統計学特論/Economic Statistics

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0618E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google classroom code: eh5gfu4
Please check the classroom for the latest information.

Title: theory of statistical estimation in terms of both classical frequentist and Bayesian viewpoints.
Abstract:
This class gives a mathematical foundation for data science applications. There have been two view points in statistical estimation, i.e. frequentist and Bayesian perspectives. In real applications of data science, we often ignore the persoectives and just choose an estimation method without enough considerations. I will give them a detailed account in such a way that would provide you with good knowledge on the choice. The lectures mainly focus on theoretical work rather than empirical or computational applications.

Remark: Our department has several faculty workin on data science. I recommend you to choose a good combination among the subjects below on your interests.
Y. Matsuda, Statistics,
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, Marketing
Y. Li, Computational statistics,
T. Ishihara, Micro Econometrics, Causal Inference,

２．学修の到達目標/Goal of study：

MLE(muximul likelihood estimation) is the most important principle that has been generally applied in data science. The goal is to learn the goodness of MLE in terms of
1. consistency (law of large numbers)
2. efficiency (central limit theorems)
3. applications to statistical inference

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Statistical decision theory
2. sufficient statistics
3. Maximum Likelihood Estimation (MLE)
3.1. Law of Large Numbers
3.2 . Consistency of MLE
3.3 . Central Limit Theorems
3.4. Asymptotic efficiency of MLE
4. Bayesian Estimation
4.1 prior and poterior distributions
4.2 choice of priors
4.3 Bayesian methods in statistical decision theory

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

grades of homework, which will be assigned every a few weeks

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Theory of point estimation	Lehman, E. L.	Springer	2000	B000YHB89Q
現代数理統計学	竹村　彰通	学術図書出版		4780608600

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

International Business_国際経営特論/International Business

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN609E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Business today is by all measures global. No business or industry of any size is immune from the global environment. The primary objective of this course is to explore the distinctive nature of international business. The course will cover basic theory and empirical studies on major and current issues of international business.

２．学修の到達目標/Goal of study：

1. To understand challenges of MNCs (Multinational Companies) competing in diversified global markets.
2. To understand the current issues and recent research in international business.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Tentative schedules and sample readings (Readings are subject to change)

1) Introduction to course
2) Globalization of a firm (1)
[Readings]
①Vahlne, J. Ivarsson, I. and Johanson, J. (2011) The tortuous road to globalization for Volvo’s heavy truck business: Extending the scope of the Uppsala model, International Business Review 20, 1-14.
②Saraseno, T.(2014) Voices from the Front Lines, Harvard Business Review, 2-7.
3) Globalization of a firm (2)
[Readings]
①Matusitz, J. (2011) Disney’s successful adaptation in Hong Kong: A gloclization perspective, Asia Pacific Journal of Management 28, 667-681.
②Khanna, T. (2014) Contextual Intelligence, Harvard Business Review, 4-11.
4) IB and Culture
[Readings]
① Hofstede, G. (1983). The cultural relativity of organizational practices and theories, Journal of International Management Studies, 14(2), 75-89.
②Hofstede, G. (2007). Asian management in the 21st century, Asia Pacific Journal of Management 24, 411-420.
③Shook, J. (2010) How to change a culture: Lessons from NUMMI, MIT Sloan Management Review, 63-68.
5) IB and Language
[Readings]
①Neeley, T. and Kaplan R.S. (2014) What’s your language strategy?, Harvard Business Review, 2-8.
②Maddux, W.W., Kim, P.H., Okumura, T. and Brett, J.M. (2012) Why “I’m sorry” doesn’t always translate, Harvard Business Review, 2
③Harzing, A., Koster, K. and Magner, U. (2011) Babel in business: The language barrier and its solutions in the HQ-subsidiary relationship, Journal of World Business 46, 279-287.
6) IHRM (International Human Resource Management)
[Readings]
①Schuler, R.S., Jackson, S.E. and Tarique, I. (2011) Global talent management and global talent challenges: strategic opportunities for IHRM, Journal of World Business 46, 506-516.
②Unruh, G.C. and Cabrera, A. (2013) Join the global elite, Harvard Business Review, 2-6.
③Grant, E.A. (2008) How to retain talent in India, MIT Sloan Management Review
7) Global Marketing
[Readings]
①Buzzell, R.D. (1968) Can you standardize multinational marketing? , Harvard Business Review, 102-112.
②Levitt, T. (1983) The Globalization of Markets, Harvard Business Review, 2-11.
8) Emerging Market Strategy (1)
①Prahalad, C.K. and Lieberthal, K. (1998) The End of Corporate Imperialism, Harvard Business Review, 2-11.
②Radjou, N. and Prabhu, J. (2012) Mobilizing for growth in emerging markets, MIT Sloan Management Review, 81-88.
③Shankar, S. and Ormiston, C. (2008) How to win in emerging markets, MIT Sloan Management Review, 19-23.
9) Emerging Market Strategy (2)
①London, T. and Hart, S.L. (2004) Reinventing strategies for emerging markets: beyond the transnational model, Journal of International Business Studies, 350-370.
②Mahajan, V. (2013) Understanding the Arab Consumer, Harvard Business Review, 2-6.
③Park, S.H. and Vanhonacker, W. R. (2007) The challenge for multinational corporations in China: Think local, act global, MIT Sloan Management Review, 8-15.
10) Emerging Market Strategies of Japanese Firms
①Shintaku, J. and Amano, T. (2009) Emerging market strategies of Japanese firms: Reshaping the strategies in the growing markets, MMRC Discussion Paper Series, 1-33.
②Wakayama, T., Shintaku, J. and Amano, T. (2012) What Panasonic learned in China, Harvard Business Review, 2-6.

11) Semiglobalization
①Ghemawat, P. (2001) Distance still matters: the hard reality of global expansion, Harvard Business Review, 1-11.
②Ghemawat, P. (2003) Semiglobalization and international business strategy, Journal of International Business Studies 34, 138-152.
12) Reverse Innovation
[Readings]
①Immelt, J.R., Govindarajan, V. and Trimble, C. (2009) How GE is disrupting itself, Harvard Business Review, 3-11.
②Markides, C.C. (2012) How Disruptive Will Innovations from Emerging Markets Be?, MIT Sloan Management Review, 23-25.
③Simanis E. and Hart, S. (2009) Innovation from the inside out, MIT Sloan Management Review, 77-86.
④Steinfeld, E.S. and Beltoft, T. (2014) Innovation lessons from China, MIT Sloan Management Review, 49-55.
13) BoP(Bottom of the Pyramid) Business and MNC
①Prahalad, C.K. and Hammond, A. (2002) Serving the worlds' poor, profitably, Harvard Business Review, 4-11.
②London, T. (2009) Making better investments at a base of the pyramid, Harvard Business Reivew, 1-11.
③Rangan, V. K. , Chu, M. and Petkoski, D. (2011) Segmenting the base of the pyramid, Harvard Business Review, 2-6.
④Simanis, E. (2012) Reality check at the bottom of the pyramid, Harvard Business Review, 2-6.
14) Catch up & Review
15) Catch up & Review

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
1. Readings summary (for every lecture): one page summary for one reading 50%
2. Presentation and participation to class discussions 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Readings will be shared through Google Drive. As lectures do not conform to the structure adopted by standard textbooks, it is very important to attend class.

Class participation is critical. Effective interaction will enhance the learning experience of all class members.

Applied Data Science_応用データ科学特論/Applied Data Science

担当教員/Instructor：李　銀星/YINXING LI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN610E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom コード：6lhmwld

目的：
本講義では、プログラミング言語 python の基礎、及び python を用いたデータ分析のスキルを習得する。
本講義は主に PBL(Problem-based learning)の形で、実データ分析に基づいた学習を行う。

概要：
近年ではデータ科学およびデータ分析に基づいた現実問題への解決が注目されつつある。本講義では実データ分析に基づいた PBL 学習を通じて、受講生にデータ分析の知識、および分析スキルを身に着けることを目的とする。

In this course, students will learn the basic knowledge of the programming language python, as well as the data analysis skill via empirical appliacation.

２．学修の到達目標/Goal of study：
１．プログラミング言語 python の基本知識を理解する。
２．回帰分析などの基本的機械学習の手法を理解する。
３．実データを用いて、データ処理、分析、結果の解釈を含めたデータに基づいた応用分析ができるようになる。

１. Understanding the basic knowlegde of the programming language python.
2. Understanding the basic machine learning methods, i.e., regression analysis.
3. Understanding the whole data analysis process including data pre-processing, analysis and the interpretation for the results based on the real data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
【授業の内容・方法】Colab におけるオンライン教材を中心とする。

【進度予定】

1. python の環境設定
2. python の基礎およびデータ処理
3. データ分析の基本
4. 予測問題の分析
5. 分類問題の分析
6. クラスタリング分析
7. テキスト解析と正規表現
8. テキストを用いたデータ分析
9. 深層学習の基本
10. ニューラルネットワークの応用
11. 時系列データ分析
12. 画像処理と解析
13. Attension と Transformer
14. 強化学習(i)
15. 強化学習(ii)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語、英語
Japanese, English

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎週の課題の完成状況、最終レポートの完成度、および出席率に基づいて総合的に評価評価する。
The final evaluation is based on the attendance rate, weekly and final report.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業外でのプログラミング練習も望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ⅰ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ⅰ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

２．学修の到達目標/Goal of study：

You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ⅰ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：

attendance and report
通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語, 提出文書は日本語, 独語, 英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to the BCP-level of Tohoku University.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your background knowledge on the following topics in Political Economy I, you will deepen and update your understanding by reading international state-of-the-art literature.
- Political Economy and Input-Output Analysis
- Political Economy and Monetary Circuit Theory
- Political Economy and Rational Choice Theory
- Political Economy and Capital Theory

政治経済学Ｉ 特論の下記の内容に関する基礎知識を前提として、欧米文献の精読を通じて、その理解を深めるとともに当該分野の最新動向を研究する。
政治経済学Ｉ 特論の内容：
政治経済学の欧米での研究動向から注目される論点として以下のものを取り上げる.
・政治経済学と産業連関分析
・政治経済学と貨幣流通学派
・政治経済学と合理的選択理論
・政治経済学と資本理論
これらの論点について古典派から現代に連なる理論の系譜を理解するとともに、その批判的含意を汲み取ること最終目標とする。

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will acquire a firm foundation for a specialized research on Political Economy.

政治経済学の専門的研究のための基礎学力の強化を図る。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Targeting those students who will specialize in Political Economy, we will conduct intensive reading of important literature to make a firm methodological foundation for a specialized research on Political Economy. The class will be structured by participants' report, open discussion and the instructor's comments.

政治経済学の専門的研究を目指すものを対象として，政治経済学Ｉ 特論の内容に関して，研究の土台となる方法論を習得するために，基本文献の精読を行う．受講者による報告と討論，教員による解説を中心に授業を進める．

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
attendance and report
通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

テキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
教科書は、受講者の研究課題等を配慮しながら選定する.
議論は日本語, 提出文書は日本語, 独語, 英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@econ.tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to the BCP-level of Tohoku University.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるととも に，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to achieve the ability to complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、研究論文を執筆するのに必要な能力を習得する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

IIa：政治経済学の分野において、研究課題の設定、関連する文献調査、論文執筆プレゼンに関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

IIb：受講者の研究遂行上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to the BCP-level of Tohoku University.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるととも に，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to achieve the ability to complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、研究論文を執筆するのに必要な能力を習得する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

IIa：政治経済学の分野において、研究課題の設定、関連する文献調査、論文執筆プレゼンに関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

IIb：受講者の研究遂行上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to the BCP-level of Tohoku University.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるととも に，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to achieve the ability to complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、研究論文を執筆するのに必要な能力を習得する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

a：政治経済学の分野において、研究課題の設定、関連する文献調査、論文執筆プレゼンに関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

b：受講者の研究遂行上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to the BCP-level of Tohoku University.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Based on your study in my Seminar in Economics, you will enhance your survey of previous research and prepare a problem setting and solution for the master thesis.

政治経済学Ⅰ 演習Ⅰ での学習を前提として、当該分野の最新動向に関する文献研究を深めるととも に，独自の問題発見・解決を試み，研究成果をまとめる.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal is to achieve the ability to complete your master thesis on Political Economy.

政治経済学の分野における文献研究を行い、研究論文を執筆するのに必要な能力を習得する。

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
For the purpose of writing a master thesis, an individual guidance will be provided about subject, references and concept in addition to participants' presentation and group discussion.

a：政治経済学の分野において、研究課題の設定、関連する文献調査、論文執筆プレゼンに関して指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

b：受講者の研究遂行上の具体的問題点について討議し、指導を行う。受講者による報告と討議、教員による解説を中心に授業を進めるが、あわせて個人指導を行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and report.

通常の出席と報告による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Sufficient preparation and review is needed.

研究報告のための十分な予習と復習が必要である.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
テキストは適宜指示する.
議論は日本語，提出文書は日本語，独語，英語いずれでも可.
履修の条件：とくになし
連絡先：kenji.mori.b6@tohoku.ac.jp
オフィスアワー：随時（メールで事前連絡のこと）
事前に指定するテキストを読解，分析するための十分な予習と復習が必要である.
原則、対面で行うが、東北大学行動指針（BCP）に従い変更の可能性もある。
The class will be held basically on-site, which is subject to change according to the BCP-level of Tohoku University.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Seminar in Economics b の履修とは無関係に Seminar in Economics a だけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp

最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のためGoogleクラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
oyluk3u
である。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の学術論文や研究書を読むための読解力を修得することが目標です。
/ It is an aim that the students will acquire comprehension skills to read the scientific papers and monographs in microeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
ミクロ経済学関連の学術論文を独力で読みこなす力をつけることと同時に、受講生が、具体的な研究課題を見つけることが到達目標です。 /It is an aim that the student will acquire a skill for reading the scientific papers by an own effort to find the specific research subject.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ミクロ経済学関連の研究書または学術論文を輪読しながら、討論します。
今年度は下記テキストの第４部（トピック）についての該当箇所およびそこでの引用論文を読みます。
当該科目の履修希望者は
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
まで必ず事前にメールして下さい。

教材として、必要に応じて論文を配布します。

/ In this term, we read the part 4 of the textbook stated below:

（１）メカニズムデザイン（テキスト１７章）： Mechanism design
（２）マッチング（テキスト１８章）： Matching
（３）選好順序の集約（テキスト２０章）： Aggregating preferences

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
おもに日本語による授業をおこなう。これまでに使用したテキスト、論文はすべて英文です。

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Models in Microeconomic Theory	Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein	OpenBook	2020	978-1-78374-920-1	テキスト

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Seminar in Economics a の履修とは無関係に Seminar in Economics b だけの履修を認める。
中級ミクロ経済学と上級ミクロ経済学を履修または履修予定であることが望ましい。
経済学部以外（工学部や理学部など）を卒業している受講生は学部ミクロ経済分析と中級ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。
連絡先： 研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp

最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のためGoogleクラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　3vfxaju
である。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　q3hqvda
である。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　xhiqik4
である。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　wkq2zqp
である。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
ミクロ経済学関連の領域で、「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で発表可能なプロジェクト報告書およびプレゼンテーション資料を作成することが目的である。/ It is an aim that the students will make the slides which can be reported on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

２．学修の到達目標/Goal of study：
「プロジェクト構想発表会」及び「プロジェクト最終報告会」で報告すること/ It is an aim that the students will make a good presentation on the GPEM Project Planning Conference or GPEM Final Project Report Conference.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
受講生の研究テーマに合わせた事項について討論します。プレゼンテーションのためのソフトウエア（PDF, Power-point 等）やプロジェクターの具体的な使い方についても習熟してもらいます。/We discuss the slides and the details of the presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語による授業をおこなう。

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の報告（presentation）と討論への参加状況による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表時にはレジメを作成しておくこと。 授業終了後も、レジメの改訂作業を継続し考察を続けること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用予定のテキスト、論文はすべて英文である。
Microeconomics I, II を履修または履修予定であることが望ましい。
連絡先：　研究室：事務室前のエレベータで６階、出口正面
　　メールアドレス： mitsunobu.miyake.b4@tohoku.ac.jp
最終的な成績についての苦情、問い合わせ等は電子メールでお願いします。

授業は対面で実施する。　連絡事項の周知等のため Google クラスルームを利用する場合もある。
Google classroom のコードは
　　nhesxnx
である。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This workshop class aims to keep up on contemporary macroeconomics by reading recently published papers and books in this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
This class's goal is for participants to finally possess adequate knowledge of contemporary macroeconomics that they can exploit in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class every week, participants are requested to report an assigned article in the references or present their research paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgwODM0NzY5

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also, see Google Classroom (Class code: qow6hzx)

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This workshop class aims to keep up on contemporary macroeconomics by reading recently published papers and books in this field.

２．学修の到達目標/Goal of study：
This class's goal is for participants to finally possess adequate knowledge of contemporary macroeconomics that they can exploit in writing their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class every week, participants are requested to report an assigned article in the references or to present their research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on their attendance and class performances.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg4MDUzNTIy

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Participants need to make ample preparations for their reports and presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also, see Google Classroom (Classcode: p6nffrc).

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class every week, participants are requested to report their research progress, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgwODIwNzQ0

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also, see Google Classroom (Class code: o6ytfxa)

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class every week, participants are requested to report their research progress, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg4MzQ1OTY0

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also, see Google Classroom (Class code: jh6gmm3)

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class every week, participants are requested to report their research progress, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg1Mzk4NTcw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also, see Google Classroom (Class code: vfb6wi7)

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to instruct students to write a project report in macroeconomics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Participants are expected to complete a project report.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In the class every week, participants are requested to report their research progress, discussing their contents with other participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Participants are evaluated based on the quality of their research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODgwODk3MDEw

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Instruct as appropriate.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students taking this class should contact me in advance via e-mail (akiomi.kitagawa.a4@tohoku.ac.jp).
Also, see Google Classroom (Class code: joemk5g)

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Through Seminar in Economics a and b, we will learn the basics of academic writing in the field of the history of economic thought. In Seminar in Economics a, we will cover academic integrity, research topics, and research questions.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By taking this course, students will gain basic knowledge and skills in academic integrity, research topics, and research questions for writing papers in the field of the history of economic thought.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
Introduction
Academic Integrity
Research Topics and Research Questions
Paper Review (1)
Paper Review (2)
Paper Review (3)
Brainstorming on Topics of Interest
Finding Sources
Research (1)
Research (2)
Discussing Your Research Topic
Brainstorming on Research Questions
Research (3)
Research (4)
Discussing your Research Question

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Make sure to check the Google Classroom for the latest announcements.
Please do not miss the first class.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Through Seminar in Economics a and b, we will learn the basics of academic writing in the field of the history of economic thought. In Seminar in Economics b, we will create a short essay of a few paragraphs while learning about the components of a research paper, the arrangement of these components, and the roles of each section.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By taking this course, students will gain rudimentary knowledge and skills about the components of a research paper, the arrangement of these components, and the roles of each section for writing papers in the field of the history of economic thought.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Reviewing Your Research Question
- Claim and Reasons
- Discussing the Key Arguments
- Organizing Your Arguments
- Creating a Storyboard
- Developing Your Storyboard (1)
- Developing Your Storyboard (2)
- Topic Sentences
- Introductory Paragraph
- Body Paragraph A
- Body Paragraph B
- Body Paragraph C
- Concluding Paragraph
- Wrap-up of the Course

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

To enroll in this course, it is required to have completed my Seminar in Economics a beforehand. You are also expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:

'Research Integrity'

https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf

'To All Researchers'

https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf

All asignments and papers must be written only by you.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Through Project Guidance in Econ a and b, students will learn advanced academic writing skills in the field of the history of economic thought.
In Project Guidance in Econ a, based on the short essay created in Seminar in Economics b, students will learn the knowledge and skills necessary to write a longer research paper that meets the standards of academic writing. Here we will cover how to refine your research question, your claim, and its evidence, and how to structure and arrange the text.

2．学修の到達目標/Goal of study：

By taking this course, students will gain advanced knowledge and skills about how to refine your research question, your claim, and its evidence, and how to structure and arrange the text.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Reviewing the Short Essay
- Improving Your Research Question
- Expanding the Argument
- Research (1)
- Research (2)
- Improving the Claim of Your Paper
- Gathering Further Evidence
- Research (3)
- Research (4)
- Reviewing Counter Arguments (1)
- Reviewing Counter Arguments (2)
- Improving the Structure of Your Paper
- Improving Some of the Key Topic Sentences
- Wrap-up of the Course

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

You are expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:

'Research Integrity'

https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf

'To All Researchers'

https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf

All asignments and papers must be written only by you.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Through Project Guidance in Econ a and b, students will learn advanced academic writing skills in the field of the history of economic thought.
In Project Guidance in Econ a, based on the short essay created in Seminar in Economics b, students will learn the knowledge and skills necessary to write a longer research paper that meets the standards of academic writing. Here we will cover how to refine your research question, your claim, and its evidence, and how to structure and arrange the text.

2．学修の到達目標/Goal of study：

By taking this course, students will gain advanced knowledge and skills about how to refine your research question, your claim, and its evidence, and how to structure and arrange the text.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Reviewing the Short Essay
- Improving Your Research Question
- Expanding the Argument
- Research (1)
- Research (2)
- Improving the Claim of Your Paper
- Gathering Further Evidence
- Research (3)
- Research (4)
- Reviewing Counter Arguments (1)
- Reviewing Counter Arguments (2)
- Improving the Structure of Your Paper
- Improving Some of the Key Topic Sentences
- Wrap-up of the Course

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

You are expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:

'Research Integrity'

https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf

'To All Researchers'

https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf

All asignments and papers must be written only by you.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

1．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Through Project Guidance in Econ a and b, students will learn advanced academic writing skills in the field of the history of economic thought.
In Project Guidance in Econ b, students will learn the practical knowledge and skills necessary to complete a research paper that meets the standards of academic writing. Topics covered will include citations, transitions, tables and figures, abstracts, and other important aspects of research paper writing.

2．学修の到達目標/Goal of study：

By taking this course, students will gain practical knowledge and skills necessary to complete a research paper.

3．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Citations: Chicago Style
- Citations: MLA Style
- Citations: APA Style
- Using Transitions
- Using Tables and Figures
- Improving Clarity
- Enchancing Flow
- Increasing Persuasiveness
- Revising Your Conclusion
- Revising Your Introduction
- Checking for Unintended Plagiarism
- Formatting Your Paper
- Writing an Abstract
- Wrap-up of the Course

4．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

5．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

6．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

7．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

8．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

9．授業時間外学修/Preparation and Review：

Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

You are expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:

'Research Integrity'

https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf

'To All Researchers'

https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf

All asignments and papers must be written only by you.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Through Project Guidance in Econ a and b, students will learn advanced academic writing skills in the field of the history of economic thought.
In Project Guidance in Econ b, students will learn the practical knowledge and skills necessary to complete a research paper that meets the standards of academic writing. Topics covered will include citations, transitions, tables and figures, abstracts, and other important aspects of research paper writing.

２．学修の到達目標/Goal of study：

By taking this course, students will gain practical knowledge and skills necessary to complete a research paper.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Weekly Routine:
(1) Each student will report on the assignments they have been working on.
(2) All participants will discuss each other's reports.
(3) Assignments for the following week will be explained.

Contents of Each Class:
- Introduction
- Citations: Chicago Style
- Citations: MLA Style
- Citations: APA Style
- Using Transitions
- Using Tables and Figures
- Improving Clarity
- Enchancing Flow
- Increasing Persuasiveness
- Revising Your Conclusion
- Revising Your Introduction
- Checking for Unintended Plagiarism
- Formatting Your Paper
- Writing an Abstract
- Wrap-up of the Course

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be evaluated based on participation and assignments throughout the course.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Elements of Style	William Strunk Jr.	Longman
Style: The Basics of Clarity and Grace	Joseph Williams	Pearson
The Chicago Manual of Style	The University of Chicago Press Editorial Staff	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Each week, assignments will be given, and a considerable amount of work will be required.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

You are expected to be familiar with and adhere to the guidelines for academic integrity outlined in the following pamphlets:

'Research Integrity'

https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri_e.pdf

'To All Researchers'

https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/funds_pamph_for_researcher.pdf

All asignments and papers must be written only by you.

Seminar in Economics a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史とその関連分野の学術論文の作成に必要な研究方法・能力・知識を習得するため、文献サーベイとレビューを行う。
This course is to give students opportunity of literature survey and review in order to acquire the research methods and skills necessary to write academic papers on Japanese economic history and related fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究文献や史料の読み方、論点抽出の仕方、あるいは、自身の考えを平易な言葉で相手に的確に伝え、またそれを踏まえて相互に論理的な議論ができる技能など、参加者全員に共通して必要な方法・能力を習得することを目指す。
The goal of this course is to acquire common methods and skills necessary for all students, such as how to read textboos and historical materials, how to identify issues, and how to accurately convey one's own ideas to others in plain language.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容は、研究文献の輪読および履修者の個人研究発表が中心となる。輪読する文献は以下（教科書および参考書欄に記載）の通りである。授業方法は、履修者による発表（プレゼン）が中心となる。輪読する文献の内容や自分自身の研究内容をレジュメやパワーポイントなどを使用して発表していく。また、発表者が使用する研究文献・史料の一部を事前に共有し、参加者全員による討論を行う。
The course content will consist mainly of reading the textbooks and presentations of individual research. The textbook is as follows (listed in the [textbook and references]). The class will be conducted mainly through presentations by students. Students will present the contents of the asigned textbook and their own research using resumes and PowerPoint presentations.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本近代村落の起源	松沢祐作	岩波書店	2022	9784000615341	教科書
もう一つの金融システム：近代日本とマイクロクレジット	田中光	名古屋大学出版会	2018	9784815809324	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので予習と復習は必須です。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史とその関連分野の学術論文の作成に必要な研究方法・能力・知識を習得するため、文献サーベイとレビューを行う。
This course is to give students opportunity of literature survey and review in order to acquire the research methods and skills necessary to write academic papers on Japanese economic history and related fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究文献や史料の読み方、論点抽出の仕方、あるいは、自身の考えを平易な言葉で相手に的確に伝え、またそれを踏まえて相互に論理的な議論ができる技能など、参加者全員に共通して必要な方法・能力を習得することを目指す。
The goal of this course is to acquire common methods and skills necessary for all students, such as how to read textboos and historical materials, how to identify issues, and how to accurately convey one's own ideas to others in plain language.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容は、研究文献の輪読および履修者の個人研究発表が中心となる。輪読する文献は以下（教科書および参考書欄に記載）の通りである。授業方法は、履修者による発表（プレゼン）が中心となる。輪読する文献の内容や自分自身の研究内容をレジュメやパワーポイントなどを使用して発表していく。また、発表者が使用する研究文献・史料の一部を事前に共有し、参加者全員による討論を行う。
The course content will consist mainly of reading the textbooks and presentations of individual research. The textbook is as follows (listed in the [textbook and references]). The class will be conducted mainly through presentations by students. Students will present the contents of the asigned textbook and their own research using resumes and PowerPoint presentations.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

日本近代村落の起源	松沢祐作	岩波書店	2022	9784000615341	教科書
もう一つの金融システム：近代日本とマイクロクレジット	田中光	名古屋大学出版会	2018	9784815809324	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので予習と復習は必須です。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史分野における学術的課題を設定し、その解明に向けた調査とプロジェクト最終報告を行う。
Based on Japanese economic history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。
The purpose of this course is thatstudents finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者が課題を設定し、日本経済史演習で獲得した知識をもとに課題解決を行う。
Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点60%、レポート40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修者の研究テーマが、担当者の専門分野と関連性を持っていること。また、日本語によるコミュニケーションを基本とする。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史分野における学術的課題を設定し、その解明に向けた調査とプロジェクト最終報告を行う。
Based on Japanese economic history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。
The purpose of this course is thatstudents finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者が課題を設定し、日本経済史演習 Seminar a b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。
Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修者の研究テーマが、担当者の専門分野と関連性を持っていること。また、日本語によるコミュニケーションを基本とする。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史分野における学術的課題を設定し、その解明に向けた調査とプロジェクト最終報告を行う。
Based on Japanese economic history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。
The purpose of this course is thatstudents finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者が課題を設定し、日本経済史演習で獲得した知識をもとに課題解決を行う。
Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点60%、レポート40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修者の研究テーマが、担当者の専門分野と関連性を持っていること。また、日本語によるコミュニケーションを基本とする。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本経済史分野における学術的課題を設定し、その解明に向けた調査とプロジェクト最終報告を行う。
Based on Japanese economic history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。
The purpose of this course is thatstudents finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者が課題を設定し、日本経済史演習 Seminar a b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。
Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語 /Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修者の研究テーマが、担当者の専門分野と関連性を持っていること。また、日本語によるコミュニケーションを基本とする。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to the ISTU and Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The economic history of China: From antiquity to the nineteenth century	R. V. Glahn	2016
The European miracle : environments, economies, and geopolitics in the history of Europe and Asia	E. L. Jones	2003
The history of Japanese economic development : origins of private dynamism and policy competence	K. Ohno	2018
The great divergence : China, Europe, and the making of the modern world economy	K. Pomeranz	2000
An Urban History of China	T. Lincoln	2021

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to Google’s Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The economic history of China: From antiquity to the nineteenth century	R. V. Glahn	2016
The European miracle : environments, economies, and geopolitics in the history of Europe and Asia	E. L. Jones	2003
The history of Japanese economic development : origins of private dynamism and policy competence	K. Ohno	2018
The great divergence : China, Europe, and the making of the modern world economy	K. Pomeranz	2000

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：

・ Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・ Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・ This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to Google’s Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Reading materials will be suggested in the opening session

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students are expected to evaluate the differing concepts and tools used in the study of Economic History, but more importantly, to recognize the power of the historical past and how it shaped the structure of our society. Our discussion will mainly focus on the modern European economy but students are encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective.

Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：

・Students are expected to understand contrasting courses of economic development, which converged and diverged along the route to a modern industrialized society.
・Students are also expected to learn how economic problems are closely linked with political and social issues in a historical context.
・This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to Google’s Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Reading materials will be suggested in the opening session

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

- No specific credit earning requirements for joining this seminar.
- Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：

This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Reading materials will be suggested in the opening session

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this seminar, students will continue to explore the differing concepts and tools used in the study of Economic History. Participants are also encouraged to adopt a comparative approach in order to see the differences and similarities between Asia and European economies from a wider historical perspective. It is essential for students to learn how to conduct a proper historical research and to prepare for writing a dissertation.

For more information: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

２．学修の到達目標/Goal of study：

This is a seminar style course intended to allow students to have in-depth discussion between themselves so that they can develop their research skills for writing up a dissertation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Note that students are required to have access to Google's Meet online conferencing service. Therefore, those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance. This class is designed to offer the opportunity of Distance Learning for students who choose to study outside the University campus.

The details of the course content and schedule will be explained at the first meeting in Week 1.

In this seminar, students are required to prepare for the assigned part of the designated books and articles for each class. It is also important for students to write a long essay on their research interest.

Reading materials will be suggested in the opening session.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation and participation: 50%/ Essay: 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Reading materials will be suggested in the opening session

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

URL: http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Those who wish to participate in the seminar should contact the instructor by email in advance.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ３講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ３講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて雑誌掲載論文・ブックチャプターなどの各種学術論文を作成することを予定している皆さんとともに、論文の執筆法の基礎を検討します。

This class is for the students who intend to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellectual history. we will examine the basic manner of writing it.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前記課程の学生を受講生に想定しています。博士前記課程の学生の最大の課題は、いうまでもなく各種学術論文を執筆することです。したがって、ここでは、社会思想史学および関連領域における特定のテーマについて同論文を執筆するうえで必要になる様々なスキルの基本を説明するとともに、受講する皆さんの同論文の準備状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とします。

To get a basic knowledge over how to write academic article including M.A. thesis in the field of socio-intellecrtual history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、参加者各位の各種学術論文ドラフトを適宜検討する予定です。
(1)社会思想史学（および関連諸領域）の研究史
(2)社会思想史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)各種学術論文に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion over the draft of academic article including M.A. thesis of each participant, especially on the following points: former researches to follow, approaches to take, themes to select, and contents necessary for the article.

BCP が１および２以下の場合は対面または対面オンライン併用で、３以上の場合はオンラインでおこないます。しわしくは授業中にまたはメールで指示します。

Under the condition of BCP levels 2 or less, this class will be given face-to-face style and/or online, and in the case of BCP levels 3 or more, online. The detail will be given in the class or by mail.

1. イントロダクション
2. 各種学術論文ドラフトのチェック(1)
3. 同論文ドラフトのチェック(2)
4. 同論文ドラフトのチェック(3)
5. 同論文ドラフトのチェック(4)
6. 同論文ドラフトのチェック(5)
7. 同論文ドラフトのチェック(6)
8. 同論文ドラフトのチェック(7)
9. 同論文ドラフトのチェック(8)
10. 同論文ドラフトのチェック(9)
11. 同論文ドラフトのチェック(10)
12. 同論文ドラフトのチェック(11)
13. 同論文ドラフトのチェック(12)
14. 同論文ドラフトのチェック(13)
15. 同論文ドラフトのチェック(14)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
通常の参加を評価します。

Participation, and preparation are evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業中の検討において必要と判断された修正箇所について、各種学術論文ドラフトを適宜修正することが予習と復習を兼ねることになります。

Modifying the draft of article draft according to the discussion and advises.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@tohoku.ac.jp
にてコンタクトをとること。

Those who would like to take this course MUST send a mail, in order to know how it goes on, before the beginning to: odanaka@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Seminar in Economics a と Seminar in Economics b は独立に受講できる。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検

討して、新しい研究テーマを見つけることが望まれる。

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第 2 回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

経済計画論演習（Ｉ） a と経済計画論演習（Ｉ）b は独立に受講できる。
同様に、Seminar in Economics a と Seminar in Economics b は独立に受講できる。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は４月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until April, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design.]

２．学修の到達目標/Goal of study：
メカニズム・デザインに関する専門的な論文を読む能力を身につける。

[In this course, students develop skills reading articles on mechanism design.]

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
メカニズム・デザインに関する論文を受講者が交代で報告をして、その後論文の発展性などについて討論を行う。とりあえず、開講時までに以下のサーベイ論文を入手して、論文を報告できるように準備しておくこと。

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

その後は、英文ジャーナル（Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences）等からメカニズム・デザインに関する最近の面白い論文をいくつか選んで講読する。

[In this course, students discuss articles on mechanism design. First, they read

[1] Barbera, S. (2001) “An Introduction to Strategy-Proof Social Choice Functions,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 619-653.
[2] Jackson, M.O. (2001) “A Crash Course in Implementation Theory,” Social Choice and Welfare, Volume 18, Issue 4, Pages 655-708.

Then, they read recent articles on mechanism design published in Econometrica, Journal of Economic Theory, Games and Economic Behavior, Economic Theory, Social Choice and Welfare, Mathematical Social Sciences.]

履修希望者は１０月１５日までに電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）を送ること。

If you wish to take this course, send an e-mail to ohseto@tohoku.ac.jp until October, 15.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点（論文の報告、宿題等）によって評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
すべての参加者が論文を報告できるように予習をしておくことが必要である。また演習後に、各自論文の拡張性、発展性を検討して、新しい研究成果をあげることが望まれる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Barbera, S. (2001)と Jackson, M.O. (2001)のサーベイ論文を読んで報告できるように準備しておくこと。第２回目の授業の前日までに、私宛（ohseto@tohoku.ac.jp）に「氏名、所属、学年、学籍番号、履修したい科目名、自己紹介（200 字程度)、サーベイ論文を読んだ感想（500 字程度)」を電子メールで送ること。

履修に関する質問等は、随時電子メール（ohseto@tohoku.ac.jp）で受け付ける。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The objective of this course is to identify the frontiers of macroeconomic research and to enable students to conduct independent research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:vfi2fer)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We will read research papers in Macroeconomics. This year, we will focus on the papers about the measurement (estimation) of productivity growth at the aggregate, industy, and firm level and its determinants.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The objective of this course is to identify the frontiers of macroeconomic research and to enable students to conduct independent research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The instructor will distribute a reading list of papers on the measurement of productivity growth and its determinants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
In-class preentations and class attendance.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:emcazn4)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students need to prepare for presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The first class will be online (Google Meet, real time); please check Google classroom for the Google Meet link.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In order to enhance the independent research skills in applied macroeconomics, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of presentations and discussions by the participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:bqvjscl)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In order to enhance the independent research skills in applied macroeconomics, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of presentations and discussions by the participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:bqvjscl)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In order to enhance the independent research skills in applied macroeconomics, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of presentations and discussions by the participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:twm4egv)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
In order to enhance the independent research skills in applied macroeconomics, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This course mainly consists of presentations and discussions by the participants.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the course page in Google classroom.(Class code:2aodmsq)

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業と NPO の関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】英語
本演習ａとｂの受講の順序はとくに問わない。
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日　２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業と NPO の関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】英語
本演習ａとｂの受講の順序はとくに問わない。
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員の HP である次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】英語
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】英語
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】英語
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学（とくに企業倫理、CSR、企業とNPOの関係論など）の理論構築および方法論に関連して、各自の論文執筆力向上のための指導および助言を行う。受講者全体での討議も行う。

This seminar will instruct and suggest you to write a proper master thesis in regard with building management theories specifically in business ethics, CSR and the relationship between business and non-profits.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学（とくに上記領域）の論文の制作にあたって、その理論構築および方法論の側面について、より分析ないし記述が精緻化されることをめざす。

This seminar aims to enable you to refine your description and analysis of theory building and methodology in preparing your master thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的に研究室開講（対面授業）となりますが、オンライン（zoom）も併用します。詳細は担当教員まで確認してください。

隔週で各自が発表することを基本とする。担当者は、研究構想のスケッチや既存文献のレビュー、調査報告、映像視聴などについて報告を行う。
教科書等はとくに指定しない。

This class requires you to present a piece of your research such as sketching ideas, reviewing the previous research and reporting your research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
各回の報告内容とディスカッションにおける貢献度に応じて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は事前の準備、事後の論文へのフィードバックを行うことが期待される。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
【使用言語】英語
オフィスアワーは金曜３限（その他、随時）である。
連絡先は担当教員のHPである次のサイトを参照のこと。
http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関連する学術論文・研究書を読みこなす力を鍛える。
This course aims to help students become able to read and digest academic papers on business administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学に関連する学術論文を自分のテーマに沿って発見し、読みこなせるようになる。
Students will develop skills to find academic papers on management administration which match their themes of interest and become able to read and digest them.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
経営学に関連する学術論文を輪読し、ディスカッションを行う。
Reading the academic thesis related to the management, and discussion.

実施方式は、学生との相談のうえ、決定する。
The method will be determined in consultation with the students.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードはchu5vlgである。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is chu5vlg.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は発表用資料を作成し、参加者は該当論文のレジュメを作成する。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
対象とする論文は基本的に英語である。

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関連する学術論文・研究書を読みこなす力を鍛える。
This course aims to help students become able to read and digest academic papers on business administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営学に関連する学術論文を自分のテーマに沿って発見し、読みこなせるようになる。
Students will develop skills to find academic papers on management administration which match their themes of interest and become able to read and digest them.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
経営学に関連する学術論文を輪読し、ディスカッションを行う。
Reading the academic thesis related to the management, and discussion.

実施方式は、学生との相談のうえ、決定する。
The method will be determined in consultation with the students.

必要な連絡はGoogle Classroomを通じて行う。クラスコードは4wfry4kである。
Any necessary communication will be done through Google Classroom. The class code is 4wfry4k.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表者は発表用資料を作成し、参加者は該当論文のレジュメを作成する。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
対象とする論文は基本的に英語である。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究自体は時間外に行うこととする。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究自体は時間外に行うこととする。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究自体は時間外に行うこととする。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営学に関するプロジェクト研究を行う院生に対して指導を行う。
Guidance is provided to graduate students working on research projects on management administration.

２．学修の到達目標/Goal of study：
プロジェクト研究を完成する。
Students will accomplish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者が報告した自らの研究やその進捗状況に関して、指導を行う。
Guidance is provided to the participants regarding the research proceeding situation reported by them.

履修にあたっては、事前に担当教員にメール(takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp)で連絡すること。
Please contact the instructor in charge by e-mail (takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp) in advance.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究内容による。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on international macroeconomics. We will study various topics, including: current account determination; the real exchange rate; international capital market integration; capital controls; monetary policy and exchange rates; and balance of payments crises.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of international macroeconomics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is v65lrmq.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Open Economy Macroeconomics	Martín Uribe, Stephanie Schmitt-Grohé	Princeton University Press	2017
International Macroeconomics	Stephanie Schmitt-Grohe, Martin Uribe, Michael Woodford	Princeton University Press	2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics b.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar focuses on financial decision-making and asset pricing.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of asset pricing.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
This is a reading group based on students' presentations.

Information on the seminar will be provided via Google Classroom: the class code is vnvis7j.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
The seminar is operated in either English or Japanese depending on the audience.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Decisions and Markets: A Course in Asset Pricing	John Y. Campbell	Princeton University Press	2017
Market Liquidity: Theory, Evidence, and Policy	Thierry Foucault, Marco Pagano, Ailsa Roell	Oxford University Press	2013
Intermediate Financial Theory	Jean-Pierre Danthine, John B. Donaldson	Academic Press	2014

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students must have knowledge of the intermediate level of microeconomics and macroeconomics.

Students do not need to register for Seminar in Economics a.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と，金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ｉａでは，後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の基礎部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-a focuses on the latter with particular emphasis on the basic contract theory of asymmetric information.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・不確実性下の経済主体の最適化行動についての基礎理論を理解する。
・対称情報下における保険契約，危険分散化行動の意義について理解する。
・非対称情報の経済理論の主要パラダイムの基礎について理解する。

＊ To understand basic theory of optimal economic behavior under uncertainty.
＊ To understand insurance and risk diversification behavior under symmetric information.
＊ To understand canonical paradigms of asymmetric information.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【leilp4y】(EM2061)、【abpctsw】(EM4151)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【leilp4y】(EM2061)、【abpctsw】(EM4151)).

・条件付財，期待効用理論，経済主体の危険態度
・対称情報と最適保険契約
・非対称情報とアドバース・セレクション
・非対称情報とモラル・ハザード
・非対称情報とシグナリング

＊ Contingent Goods, Expected Utility Theory, Risk Attitudes
＊ Symmetric Information and Optimal Insurance Contract
＊ Asymmetric Information: Adverse Selection
＊ Asymmetric Information: Moral Hazard
＊ Asymmetric Information: Signaling

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

An Introduction to the Economics of Information, 2nd Ed.	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-Castrillo	Oxford University Press	2001
Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事
を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を
最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

国際金融論は開放体系マクロ経済学としての側面と，金融ミクロ経済学の国際的展開ないし国際金融ミクロ経済学としての側面を併せ持つ。演習Ｉｂでは，演習Ｉａにおける学習の延長線上に後者の国際金融ミクロ経済学としての国際金融論に用いられる非対称情報の経済学の応用部分を学ぶ。

International finance encompasses open economy macroeconomics and microeconomics of financial transactions and contracts. Seminar-b focuses on the latter with particular emphasis on the application of asymmetric information theory to financial contracts.

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：

・不確実性と非対称情報の経済学の金融市場への応用について理解する。
・金融市場で観察される信用割当や標準債務契約の経済学的背景を理解する。
・銀行の破綻が如何なる場合に効率的ないし非効率的であるかを理解する。

＊ To understand how the theory of uncertainty and asymmetric information is applicable to financial markets.
＊ To understand how microeconomics explains credit rationing and standard debt contract..
＊ To understand when and why bank default can be efficient.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　(クラスコード【ptz2vrq】(EM2062)、【yg43gim】(EM4152)) を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【ptz2vrq】(EM2062)、【yg43gim】(EM4152)).

・対称情報および非対称情報と金融市場
・非対称情報と信用割り当て
・観察費用と標準債務契約
・銀行破綻の効率性・非効率生
・銀行経営の慎重さ

＊ Symmetric Information, Asymmetric Information, Financial Market
＊ Asymmetric Information and Credit Rationing
＊ Verification Cost and Standard Debt Contract
＊ Efficiency and Inefficiency associated with Bank Default
＊ Prudence in Bank Management

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：

通常の成績ないし理解度確認セッションにより評価する。

Evaluation will be based on regular attendance and performance in the class.
Final examination may be conducted when it suits.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Financial Economics	Jurgen Eichberger & Ian R. Harper	Oxford University Press	1997
An Introduction to the Economics of Information, 2nd Ed.	Ines Macho-Stadler & J. David Perez-Castrillo	Oxford University Press	2001

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予め指定する参考文献を事前に十分に予習する事、および授業後に授業内容を十分に復習する事を強く勧める。

The course consists of workshop discussions as opposed to formal lectures.
Thorough preparation before and review after each workshop session is expected on the part of attendants.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
※履修の条件について：
特に定めないが、授業内容は学部程度の経済数学およびミクロ経済学の知識，英語読解力を最低限の前提とする。

Previous exposure to undergraduate level microeconomics is prerequisite.
Familiarity with mathematics for economists is preferable.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の論文の作成に有用な内容の授業
Courses with content useful for the preparation of scientific papers, mainly related to international finance theory

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の作成に有用な知識の習得
Acquisition of knowledge useful for the preparation of scientific papers

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【gzb4oxv】(EM2063)、【gddpyds】(EM4153)、【igqmmee】(EM4154)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【gzb4oxv】(EM2063)、【gddpyds】(EM4153)、【igqmmee】(EM4154)).

指導は受講者との討論を通じて、作成を希望する論文の内容に関連性の深い内容を検討し、その理解に向けての Plan-Do-Check-Act サイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
１）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究に必要な知識の学習範囲を想定する。
２）DO　当初計画に沿って学習を実施する
３）Check　学修の実施状況を当初目的に照らして評価する。
４）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance will be provided through discussions with the students, examining content closely related to the content of scientific papers that students wish to produce, and proceeding through the Plan-Do-Check-Act cycle toward understanding the content. In other words, the following cycle is repeated as long as necessary.
1) Plan Assume the scope of knowledge study necessary for the research based on one's own initial awareness of the problem and investigation of previous research.
(2) DO Implement the study according to the initial plan.
3) Check Evaluate the implementation of the study in light of the initial objectives.
(4) Act Improve the initial plan or implementation method according to the evaluation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成希望論文に関連する知識の習得度によって評価する。
Evaluation will be based on the degree of mastery of knowledge related to scientific papers that students wish to produce.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の論文の作成に有用な内容の授業
Courses with content useful for the preparation of scientific papers, mainly related to international finance theory

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の作成に有用な知識の習得
Acquisition of knowledge useful for the preparation of scientific papers

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【gzb4oxv】(EM2063)、【gddpyds】(EM4153)、【igqmmee】(EM4154)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【gzb4oxv】(EM2063)、【gddpyds】(EM4153)、【igqmmee】(EM4154)).

指導は受講者との討論を通じて、作成を希望する論文の内容に関連性の深い内容を検討し、その理解に向けての Plan-Do-Check-Act サイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
１）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究に必要な知識の学習範囲を想定する。
２）DO　当初計画に沿って学習を実施する
３）Check　学修の実施状況を当初目的に照らして評価する。
４）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance will be provided through discussions with the students, examining content closely related to the content of scientific papers that students wish to produce, and proceeding through the Plan-Do-Check-Act cycle toward understanding the content. In other words, the following cycle is repeated as long as necessary.
1) Plan Assume the scope of knowledge study necessary for the research based on one's own initial awareness of the problem and investigation of previous research.
(2) DO Implement the study according to the initial plan.
3) Check Evaluate the implementation of the study in light of the initial objectives.
(4) Act Improve the initial plan or implementation method according to the evaluation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成希望論文に関連する知識の習得度によって評価する。
Evaluation will be based on the degree of mastery of knowledge related to scientific papers that students wish to produce.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の論文の作成に有用な内容の授業
Courses with content useful for the preparation of scientific papers, mainly related to international finance theory

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の作成に有用な知識の習得
Acquisition of knowledge useful for the preparation of scientific papers

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【x6jeeol】(EM2064)、【rniju6a】(EM4155)、【fdticci】(EM4156)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【x6jeeol】(EM2064)、【rniju6a】(EM4155)、【fdticci】(EM4156)).

指導は受講者との討論を通じて、作成を希望する論文の内容に関連性の深い内容を検討し、その理解に向けての Plan-Do-Check-Act サイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
１）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究に必要な知識の学習範囲を想定する。
２）DO　当初計画に沿って学習を実施する
３）Check　学修の実施状況を当初目的に照らして評価する。
４）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance will be provided through discussions with the students, examining content closely related to the content of scientific papers that students wish to produce, and proceeding through the Plan-Do-Check-Act cycle toward understanding the content. In other words, the following cycle is repeated as long as necessary.
1) Plan Assume the scope of knowledge study necessary for the research based on one's own initial awareness of the problem and investigation of previous research.
(2) DO Implement the study according to the initial plan.
3) Check Evaluate the implementation of the study in light of the initial objectives.
(4) Act Improve the initial plan or implementation method according to the evaluation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成希望論文に関連する知識の習得度によって評価する。
Evaluation will be based on the degree of mastery of knowledge related to scientific papers that students with to produce..

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
主に国際金融論関連の論文の作成に有用な内容の授業
Courses with content useful for the preparation of scientific papers, mainly related to international finance theory

授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の作成に有用な知識の習得
Acquisition of knowledge useful for the preparation of scientific papers

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業は、対面式で行うか、あるいはそれが困難である場合には、Google Classroom　（クラスコード【x6jeeol】(EM2064)、【rniju6a】(EM4155)、【fdticci】(EM4156)）を用いたリアルタイムの遠隔式で行う。教材もGoogle Classroomを通じて提供する。
Classes will be conducted face-to-face or, if this is not feasible, remotely in real time using Google Classroom. Teaching materials will also be provided through Google Classroom (class code 【x6jeeol】(EM2064)、【rniju6a】(EM4155)、【fdticci】(EM4156)).

指導は受講者との討論を通じて、作成を希望する論文の内容に関連性の深い内容を検討し、その理解に向けての Plan-Do-Check-Act サイクルを回して進める。すなわち、以下のサイクルを必要な限り繰り返す。
１）Plan　自身の当初問題意識と先行研究調査を踏まえて研究に必要な知識の学習範囲を想定する。
２）DO　当初計画に沿って学習を実施する
３）Check　学修の実施状況を当初目的に照らして評価する。
４）Act　評価に応じて当初計画あるいは実施方法を改善する。

Guidance will be provided through discussions with the students, examining content closely related to the content of scientific papers that students wish to produce, and proceeding through the Plan-Do-Check-Act cycle toward understanding the content. In other words, the following cycle is repeated as long as necessary.
1) Plan Assume the scope of knowledge study necessary for the research based on one's own initial awareness of the problem and investigation of previous research.
(2) DO Implement the study according to the initial plan.
3) Check Evaluate the implementation of the study in light of the initial objectives.
(4) Act Improve the initial plan or implementation method according to the evaluation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語　and/or　English

６．成績評価方法/Evaluation method：
作成希望論文に関連する知識の習得度によって評価する。
Evaluation will be based on the degree of mastery of knowledge related to scientific papers that students with to produce..

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済経営数学の基礎が必須の前提条件である。
Basic knowledge of Microeconomics, Macroeconomic, Econometrics, and Mathematics for Economists is prerequisite

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日　５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students understand the basic theory in the field of environmental economics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 - 15) Article Reading

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discussion etc.) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The students should understand Calculus and complete microeconomics courses before taking this class.
Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日　５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
We read articles in the area of environmental economics to obtain the basic knowledge.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students find a topic for their projects and construct their project plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(Class 1) Guidance
(Class 2 -10)Article Reading
(Class 11 -15) Presentation and Discussion on the project plan

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students will be assessed based on performance (presentation, discusiion, etc) in the class

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Reading list will be provided based on the student's interest.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The students are expected to read the articles or reading materials distributed in the class beforehand.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) Office hour : by appointment (email : hibiki@tohoku.ac.jp)
(2)This course will be conducted face-to-face, when BCP level is 0 or 1. Otherwise it will be conducted online.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論の標準的なテキストを用いて基礎的な内容を学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Industrial Organization. Positive participation in classes is expected.

２．学修の到達目標/Goal of study：
独占市場・寡占市場の理論を理解できるようになる。
企業の競争戦略について理解できるようになる。
競争政策上の問題（カルテル、企業結合、垂直的取引制限など）について理解できるようになる。

Students will understand the theory of monopoly and oligopoly market.
Students will understand the strategy for competition of firm
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「odgu3xo」。
Google Classroom's class code: odgu3xo

授業の内容・進度予定；次の内容を学習することを予定しています。
第１回　イントロダクション：産業組織論で学ぶこと
第２回　消費者と生産者
第３回　完全競争と独占
第４回　寡占
第５回　参入とコンテスタブル市場
第６回　価格戦略の多様性
第７回　製品差別化と参入の戦略
第８回　品質と価格戦略・広告戦略
第９回　競争優位の戦略
第 10 回　技術戦略
第 11 回　市場画定と市場構造
第 12 回　カルテル
第 13 回　垂直的取引制限
第 14 回　マルチサイド市場とプラットフォーム
第 15 回　まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法；参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction: What is Industrial Organization?
#2 Consumers behavior and Producers behavior
#3 Perfect Competition and Monopoly
#4 Oligopoly
#5 Entry and Contestable Market
#6 Variety of Price Strategy
#7 Strategy for Product Differentiation and Entry
#8 Quality, Price and Advertising
#9 Strategy for Competitive advantage
#10 Strategy of Technology
#11 Market Definition and Market Structure
#12 Cartel
#13 M&A (Mergers and Acquisitions)
#14 Vertical Restrictions of Trade

#15 Multi-Side Market and Platform

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

産業組織論：理論・戦略・政策を学ぶ	小田切宏之	有斐閣	2019年	978-4-641-16553-3	教科書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
参加希望者は第１回目の授業までに担当教員にＥメールで連絡すること。
２回目以降からの参加は認めない。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の経済学の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論はミクロ経済学と計量経済学の知識を利用して企業行動や産業組織を分析する学問分野です。今期の演習では、産業組織論を政府の政策に応用した競争政策論のテキストを用いて学習します。

In this course, students learn about the basic concept of Competition Policy. Positive participation in classes is expected.

２．学修の到達目標/Goal of study：
競争政策の必要性を理解できるようになる。
競争政策上の問題（カルテル、企業結合、垂直的取引制限など）について理解できるようになる。

Students will understand the necessity of competition policy.
Students will understand the problem of competition policy such as Cartel, M&A (Mergers and Acquisitions), Vertical Restrictions of Trade, and so on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２の場合には対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業を行います。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「rtlbwvg」。
Google Classroom's class code: rtlbwvg

授業の内容・進度予定；次の内容を学習することを予定しています。
第１回　イントロダクション
第２回　競争はなぜ重要か
第３回　競争政策の生い立ちと仕組み
第４回　共謀と協調
第５回　コンテスタブル市場理論と参入阻止戦略
第６回　一般集中と独占的状態
第７回　合併・買収
第８回　垂直的取引制限
第９回　競争手段としての廉売
第 10 回　公益事業における競争
第 11 回　下請取引と優越的地位
第 12 回　イノベーションと知的財産権
第 13 回　ネット取引とプラットフォーム
第 14 回　グローバル化する競争政策
第 15 回　まとめ
参加者の知識・学力によって予定より早く進むこともありえますし、遅く進むこともありえます。参加者の関心によってはまったく異なる内容となることもありえます。
授業の方法；参加者の発表による。

The contents and schedule are as shown below:
#1 Introduction
#2 Why Competition is important?
#3 History of Competition Policy
#4 Collusion and Cooperation
#5 Contestable Market and Strategy for Entry Deterrence
#6 Market Concentration and Monopolistic Situation
#7 M&A (Mergers and Acquisitions)
#8 Vertical Restrictions of Trade
#9 Unfair Price Cutting
#10 Subcontracting and Dominant Position
#11 Competition on Public Utilities
#12 Innovation and Intellectual Property Right
#13 Internet Trade and Platform
#14 Globalization and Competition Policy
#15 Conclusion

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と発表内容による。
発表者が欠席した場合、不合格とする。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

競争政策の経済学:人口減少・デジタル化・産業政策	大橋　弘	日本経済新聞出版	2021年	978-4-532-13513-3	教科書
競争政策論：独占禁止法事例から学ぶ産業組織論（第２版）	小田切宏之	日本評論社	2017年	978-4-535-55882-3	参考書
プラクティカル産業組織論	泉田成美・柳川隆	有斐閣	2008年	978-4-641-12372-4	参考書
イノベーション時代の競争政策:研究・特許・プラットフォームの法と経済	小田切宏之	有斐閣	2016年	978-4-641-16496-3	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修を希望する人は第１回目の授業までに担当教員にＥメールにて申し出ること。
２回目からの出席は認めない。
産業組織論演習Ｉａ、Ｉｂはそれぞれ独立に受講可能である。
授業中の私語は厳禁とする。
学部の「ミクロ経済分析」程度の知識を持っていることを前提とする。
E-mail address:；shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論分野での研究計画を実現するための研究指導を行います。
I will provide research guidance to students in order to realize his/her research plan in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業組織論分野での研究計画を作成する。
研究テーマに関する先行研究と研究方法を整理する。

Students will make his/her research plan in Industrial Organization.
Students will study the research method and previous research which is related to his/her research plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２のときは対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「u4adnhl」。
Google Classroom's class code: u4adnhl

授業の内容：
産業組織論分野での研究を実施する予定の学生を対象に、以下の指導を行います。
（１） 研究テーマを絞り込み、研究目的、すなわち、研究を通じて何を明らかにしたいのかを明確にする。
（２） 研究目的を実現するためにどのような研究方法を用いるのかを明らかにする。
（３） 研究テーマに関する先行研究を整理する。
（４） 研究方法に関する必要文献を学習する。

進度は学生の研究進捗状況によって変化します。

I will provide research guidance to students in order to study in Industrial Organization.
(1) Students will make his/her research plan and make clear what needs to be done.
(2) Students will decide which research method is used.
(3) Students will organize the previous research which is related to his/her research plan.
(4) Students will study books and papers which is related to his/her research plan.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業を受講する予定の学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15〜13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論分野での研究計画を実現するための研究指導を行います。
I will provide research guidance to students in order to realize his/her research plan in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業組織論分野での研究計画を作成する。
研究テーマに関する先行研究と研究方法を整理する。

Students will make his/her research plan in Industrial Organization.
Students will study the research method and previous research which is related to his/her research plan.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２のときは対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。
Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「fcu2krj」。
Google Classroom's class code: fcu2krj

授業の内容：
産業組織論分野での研究を実施する予定の学生を対象に、以下の指導を行います。
（１） 研究テーマを絞り込み、研究目的、すなわち、研究を通じて何を明らかにしたいのかを明確にする。
（２） 研究目的を実現するためにどのような研究方法を用いるのかを明らかにする。
（３） 研究テーマに関する先行研究を整理する。
（４） 研究方法に関する必要文献を学習する。

進度は学生の研究進捗状況によって変化します。

I will provide research guidance to students in order to study in Industrial Organization.
(1) Students will make his/her research plan and make clear what needs to be done.
(2) Students will decide which research method is used.
(3) Students will organize the previous research which is related to his/her research plan.
(4) Students will study books and papers which is related to his/her research plan.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業を受講する予定の学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15〜13:00
E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論分野での研究計画を実現するための研究指導を行います。
I will provide research guidance to students in order to realize his/her research plan in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
一定の学問上の貢献の存在する研究論文を作成する。

Students will write the paper which has some academic contribution.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２のときは対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「mbvrg7n」。
Google Classroom's class code: mbvrg7n

授業の内容：
産業組織論分野で論文を作成のための個別指導を行います。

指導内容および進度は学生の論文テーマ・研究進捗状況によって変化します。

I will provide individual research guidance to students in order to write the paper in Industrial Organization.

The content will be different depending on the student.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業への参加を希望する学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業組織論分野での研究計画を実現するための研究指導を行います。
I will provide research guidance to students in order to realize his/her research plan in Industrial Organization.

２．学修の到達目標/Goal of study：
一定の学問上の貢献の存在する研究論文を作成する。

Students will write the paper which has some academic contribution.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業開講形態：
BCP レベルが１または２のときは対面授業を行います。
BCP レベルが３以上になった場合には Google Meet によるオンライン授業とすることを予定しています。

Style of this Class: Online class using Google Meet and/or normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「gkowyy5」。
Google Classroom's class code: gkowyy5

授業の内容：
産業組織論分野で論文を作成のための個別指導を行います。

指導内容および進度は学生の論文テーマ・研究進捗状況によって変化します。

I will provide individual research guidance to students in order to write the paper in Industrial Organization.

The content will be different depending on the student.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席と報告内容によって評価します。

７．教科書および参考書/Textbook and references：
参加する学生の研究テーマに応
じて、話し合って決めます。

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
十分な予習と復習が必要です。
Students are required to prepare and review for each class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業への参加を希望する学生は、前もって連絡すること。
オフィス・アワー；金曜日 12:15～13:00

E-mail address: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
多部門モデルの基本構造を理解する

To understand the basic structure of multi-sectoral models

２．学修の到達目標/Goal of study：
多部門モデルを理解するための数学的知識を得る。
To obtain the mathematical knowledge necessary to understand the multi-sectoral models.

１部門（集計的）モデルからは生じ得ない多部門モデル独特のふるまいを理解する。
To understand the peculiar phenomena of the multi-sectoral models that are not observed in the one-sector (or aggregate) models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のテキストを輪読する。

ルイジ・パシネッティ（1979)『生産理論』東洋経済新報社

The following book is selected as the text of this seminar.

Luigi Pasinetti (1977) Lectures on the Theory of Production, New York, Colombia University Press

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

生産理論	ルイジ・パシネッティ	東洋経済新報社	1979	4492311114	テキスト
Lectures on the Theory of Production	Luigi Pasinetti	Colombia University Press	1977	0231041004	テキスト
Equilibrium Stability, and Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1964	0198281455	
Theory of Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969	0198281641	
Mathematical Economics	Akira Takayama	Cambridge University Press	1985	0521257077	

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
多部門モデルの基本構造を理解する

To understand the basic structure of multi-sectoral models

２．学修の到達目標/Goal of study：
多部門モデルを理解するための数学的知識を得る。
To obtain the mathematical knowledge necessary to understand the multi-sectoral models.

１部門（集計的）モデルからは生じ得ない多部門モデル独特のふるまいを理解する。
To understand the peculiar phenomena of the multi-sectoral models that are not observed in the one-sector (or aggregate) models.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
いくつかのテキストを選び輪読する。テキストの候補は，以下の「教科書および参考書」の欄に記す。

Students are required to read some textbooks on multi-sectoral models. The option of the textbooks is shown in 「教科書および参考書」.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
出席（30%）＋クラスパフォーマンス（70%）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Value, exploitation, and class	John E. Roemer	Horwood Academic Publishers	1986	3718602784
Walras' economics	Michio Morishima	Cambridge University Press	1977	0521285224
Capital and credit	Michio Morishima	Cambridge University Press	1992	0521418402
Theory of Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969	0198281641
Mathematical Economics	Akira Takayama	Cambridge University Press	1985	0521257077

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
参加者全員に輪読する文献を事前に精読することが求められる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
- 使用言語は日本語とする。
- 学部生レベルの標準的なミクロ・マクロ経済学の知識が履修の必須条件である。
- 履修する者は事前にメールで担当者に必ず連絡すること。アドレスは学生便覧に記入済み。
- Office hours は授業中に指示する。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to brush up their own project proposals through surveying the existing studies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this class is to understand which area is still underdeveloped.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants are required to survey the existing studies (papers published in the top journal of each field) and to present them in every class.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Office hours: by appointment

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to brush up their own project proposals through surveying the existing studies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this class is to understand which area is still underdeveloped.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants are required to survey the existing studies (papers published in the top journal of each field) and to present them in every class.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Office hours: by appointment

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to improve their own research and presentation skill.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this class is to pursue the originality of their own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants are required to present their own research.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Office hours: by appointment

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this class is to improve their own research and presentation skill.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this class is to pursue the originality of their own research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants are required to present their own research.

Please make sure to contact me via email in advance if you wish to take this course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class performance (30%) and quality of presentation (70%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The participants are required to prepare for presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Office hours: by appointment

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code: ayayxri
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：
text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code: d2qipgo
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODcwMjc4?cjc=d3petua
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：
text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODIwODc5?cjc=oulkcpe
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：
text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODkxMTYxOTE4?cjc=2gcncpt
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom Code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODcwMjkz?cjc=zujjc6v
Please check the classroom for the latest information.

Title: Data Science in Social science
This is a seminar class to give a chance of presentation and discussions.
Students working on data science are required to
1. choose a topic on your interests
2. present a research progress
3. enjoy a discussion

Remark. I am planning to hold the seminar jointly with that of Professor Ko. Please check the Google classroom for the latest information.
Remark 2. Oyr department has several faculty working on data science. Refer to the seminar classes of them for your optimal choice on data science studies.

Y. Matsuda, statistics, data science in social science
S. Ko, Econometrics
T. Ishigaki, marketing
Y. Li, computational statistics
T. Ishihara, micro econometrics, causal inference

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
research, preparation for presentation

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学の BCP レベルが 3 以下なら対面で行い、4 以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の 1 章～12 章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小 2 乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び 13 章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
学部レベルの計量経済学の知識（経済学部の授業「計量分析」程度の知識）が無い者には、履修は認めない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。中級計量経済学特論 I・II の単位を修得済みであることが望ましい。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日　３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
教科書の輪読を行い、計量経済学の理論を身につける。主な目的は理論の理解だが、実証研究についても教科書に載っている例を中心に扱う。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
計量経済学の目的には経済理論の検証や経済変数の予測など様々なものがある。この演習の目標は、計量経済学の理論や手法をただ覚えるのではなく、それらがどのように上記の目的にアプローチするのかを理解することである。また、実際に計量手法を使うときに、手法の選択や結果の解釈を実証分析のテーマや経済データの特性に応じて自ら適切に行える力を身につけることも目標となる。

Students will develop ideas and methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
東北大学の BCP レベルが 3 以下なら対面で行い、4 以上ならオンライン（リアルタイム）で行う予定である。

下記の教科書を輪読し、標準的な計量経済学の理論を学ぶ。担当者はあらかじめ教科書を読んでレジュメを作り、発表する。また、教科書には練習問題や簡単な実証分析の例とデータも載っているので、適宜それらを行ってもらう。発表の担当者以外の参加者も教科書を予習し、解らなかった箇所を発表者に質問するなどして議論に参加してもらいたい。扱うトピックは、教科書の 1 章～12 章に当たる基礎的なもの（古典的線形回帰モデル、最小 2 乗推定、操作変数推定、推定量の小標本特性と大標本特性、パラメーターの構造変化の検定、予測、非線形回帰モデル、誤差項の不均一分散と系列相関）及び 13 章以降のいくつかの発展的なものを予定している。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容、議論への参加の度合いに基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
復習を行うこと。また、発表者以外の参加者も議論に参加するためにできるだけ予習をすること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
学部レベルの計量経済学の知識（経済学部の授業「計量分析」程度の知識）が無い者には、履修は認めない。また、この演習で使う教科書では行列演算が多用されるので線形代数学の知識は必須である。中級計量経済学特論 I・II の単位を修得済みであることが望ましい。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about advanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。

Students develop advanced methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、各自の興味のあるテーマについて研究する。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。自身の興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。実証分析に興味のある者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５@ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about advanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。

Students develop advanced methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、各自の興味のあるテーマについて研究する。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。自身の興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。実証分析に興味のある者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５@ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about advanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。

Students develop advanced methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、各自の興味のあるテーマについて研究する。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。自身の興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。実証分析に興味のある者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５@ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
計量経済学の方法論や、計量手法を使った実証分析に興味があり、基礎的な知識を十分持っている学生を対象にして、各自の興味のあるトピックについてより深く学ぶ。

In this course, students will understand ideas of econometrics and learn about advanced methodologies of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
より進んだ計量手法の考え方を理解し、実際に使えるようになる。

Students develop advanced methodologies of econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・受講者が関心のあるトピックについての文献を要約し発表する。
・それらの文献に基づき、各自の興味のあるテーマについて研究する。

This is a seminar style course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の内容に基づいて評価する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Econometric Analysis, 5th ed.	Greene, W.H.	Prentice-Hall	2002	9780131108493	参考書
Time Series Analysis	Hamilton, J.	Princeton University Press	1994	9780691042893	参考書
Bayesian Econometrics	Koop, G.	Wiley	2003	9780470845677	参考書
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, J.	MIT Press	2001	9780262232197	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表の担当者以外の受講者もできるだけ文献をあらかじめ読んでもらいたい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
大学院（経済経営学専攻）の中級計量経済学特論Ⅰ・IIの単位を修得済みでない者には、この演習の履修は認めない。また、より進んだ計量分析では行列演算を多用するため、行列代数の知識は必須である。自身の興味のあるトピックをある程度まで絞れていることが望ましい。実証分析に興味のある者は、どのようなデータを使うのかある程度の目途を立てておく必要がある。履修希望者には事前に面接を行うので、メール（ｈｉｒｏａｋｉ．ｃｈｉｇｉｒａ．ａ５@ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ）でアポイントメントを取ること。

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this seminar is to develop students' abilities and understanding of conducting data analysis for business purposes through the use of statistical modeling techniques.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Throughout the course, students will develop the following abilities and skills:

1. The ability to read academic papers effectively.
2. An understanding of advanced statistical concepts and methodologies.
3. The ability to independently demonstrate various data analysis techniques.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Students will be expected to read relevant textbooks or academic papers related to their research.
2. Students will be required to give presentations of their readings.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on three factors:

1. Attendance - the student's level of participation and engagement in the class.
2, Class involvement - the student's active engagement and contribution during class discussion

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: 5ikknm5

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this seminar is to develop students' abilities and understanding of conducting data analysis for business purposes through the use of statistical modeling techniques.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Throughout the course, students will develop the following abilities and skills:

1. The ability to read academic papers effectively.
2. An understanding of advanced statistical concepts and methodologies.
3. The ability to independently demonstrate various data analysis techniques.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
1. Students will be expected to read relevant textbooks or academic papers related to their research.
2. Students will be required to give presentations of their readings.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on three factors:

1. Attendance - the student's level of participation and engagement in the class.
2, Class involvement - the student's active engagement and contribution during class discussion

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: 5ikknm5

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this course is to provide guidance for conducting independent research towards the completion of a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To fulfill the requirements for a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In this course, students will be expected to:

- Choose a particular research topic.
- Conduct a comprehensive literature review.
- Gather empirical data relevant to the research.
- Develop a statistical model.
- Write and finalize their thesis.

Furthermore, students will be required to give periodic presentations to update their progress throughout the course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on the progress, quality, and content of their master's thesis.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this course is to provide guidance for conducting independent research towards the completion of a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To fulfill the requirements for a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In this course, students will be expected to:

- Choose a particular research topic.
- Conduct a comprehensive literature review.
- Gather empirical data relevant to the research.
- Develop a statistical model.
- Write and finalize their thesis.

Furthermore, students will be required to give periodic presentations to update their progress throughout the course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on the progress, quality, and content of their master's thesis.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this course is to provide guidance for conducting independent research towards the completion of a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To fulfill the requirements for a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In this course, students will be expected to:

- Choose a particular research topic.
- Conduct a comprehensive literature review.
- Gather empirical data relevant to the research.
- Develop a statistical model.
- Write and finalize their thesis.

Furthermore, students will be required to give periodic presentations to update their progress throughout the course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on the progress, quality, and content of their master's thesis.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objective of this course is to provide guidance for conducting independent research towards the completion of a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To fulfill the requirements for a master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In this course, students will be expected to:

- Choose a particular research topic.
- Conduct a comprehensive literature review.
- Gather empirical data relevant to the research.
- Develop a statistical model.
- Write and finalize their thesis.

Furthermore, students will be required to give periodic presentations to update their progress throughout the course.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
The evaluation of students in this course will be based on the progress, quality, and content of their master's thesis.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In person class.

Google Classroom Code 「3yyusq2」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk somethings about their research proposals or reading of textbooks have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Requirements: Basic Statistics, mathematics and programming skill for R or python.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The seminar aims at acquiring skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students acquire following abilities and skills; 1. reading of academic paper, 2. understanding of perspective of advanced statistical science including statistical modeling, machine learning and/or data mining techniques, 3. To demonstrate various data analysis techniques by themselves.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In person class.

Google Classroom Code 「3yyusq2」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's research.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Attendance and quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk somethings about their research proposals or reading of textbooks have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Requirements: Basic Statistics, mathematics and programming skill for R or python.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In person class.

Google Classroom Code 「3yyusq2」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In person class.

Google Classroom Code 「3yyusq2」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In person class.

Google Classroom Code 「3yyusq2」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The course aims at acquiring advanced skills and knowledge with respect to business data analysis using statistical modeling, machine learning and/or data mining methods. The goal of this course is to write out their theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students can write out their theses or project reports.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In person class.

Google Classroom Code 「3yyusq2」

1-15 Presentations by students with respect to their researches. Reading of textbooks or academic papers related to student's researches

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality of thesis or project report

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students who will talk their researches have to prepare their presentations.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Requirements: Students who have not obtained credits of the Seminar in Management a and b may not register for this seminar.
Office hour: Any time. Students need to make an appointment in advance to see the instructor by e-mail.
e-mail: ｉｓｇｋ＠ｔｏｈｏｋｕ．ａｃ．ｊｐ

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this course, students will learn various methods of modern decision making. An agent, which can be a human, an organization, a program, or an artificial system, is supposed to determine its action by interacting with a surrounding environment. It means that an agent examines the information taken by the observation of the environment and evaluates it to make a decision to achieve its objective. If an agent can receive perfect information, many classical techniques can be applied to obtain a desirable result. However, in an actual situation, information is far from perfect because an agent has to face several sources of uncertainties: uncertainty about the outcome, about the model, about the state, and about interaction.
The textbook used in the course provides systematic approaches to cope with each type of uncertainty. The book consists of five parts. The theme of the first part is probabilistic reasoning, which is used to represent uncertainty and to make inferences in a stochastic setting. A sequential problem is discussed in the second part. The third part addresses model uncertainty, where we select a model itself during the course of decision making. Since observed data often contains unavoidable measuring errors, the true state is often uncertain. State uncertainty is the fourth topic. Finally, the issues caused by interaction between agents are discussed in the fifth part.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand:
- the basic concept of probabilistic reasoning
- the major approaches to constructing and solving a sequential problem

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of each chapter.

In the 1st semester, we will cover the first part and the second part:

Part I: Probabilistic Reasoning
Chap 2. Representation
Chap 3. Inference
Chap 4. Parameter Learning
Chap 5. Structure Learning
Chap 6. Simple Decision

Part II: Sequential Problems
Chap 7. Exact Solution Methods
Chap 8. Approximate Value Functions
Chap 9. Online Planning
Chap 10. Policy Search
Chap 11. Policy Gradient Estimation
Chap 12. Policy Gradient Optimization
Chap 13. Actor-Critic Methods
Chap 14. Policy Validation

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Algorithms for Decision Making	MYKEL J. KOCHENDERFER, TIM A. WHEELER, AND KYLE H. WRAY	MIT Press	2022	978-0262047012	text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

In this course, students will learn various methods of modern decision making. An agent, which can be a human, an organization, a program, or an artificial system, is supposed to determine its action by interacting with a surrounding environment. It means that an agent examines the information taken by the observation of the environment and evaluates it to make a decision to achieve its objective. If an agent can receive perfect information, many classical techniques can be applied to obtain a desirable result. However, in an actual situation, information is far from perfect because an agent has to face several sources of uncertainties: uncertainty about the outcome, about the model, about the state, and about interaction.
The textbook used in the course provides systematic approaches to cope with each type of uncertainty. The book consists of five parts. The theme of the first part is probabilistic reasoning, which is used to represent uncertainty and to make inferences in a stochastic setting. A sequential problem is discussed in the second part. The third part addresses model uncertainty, where we select a model itself during the course of decision making. Since observed data often contains unavoidable measuring errors, the true state is often uncertain. State uncertainty is the fourth topic. Finally, the issues caused by interaction between agents are discussed in the fifth part.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Students are expected to understand:
- the basic concept of probabilistic reasoning
- the major approaches to constructing and solving a sequential problem

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

At each session, one or two students make a presentation about the given topics of the text. Presenters summarize the assigned part of the text and also answer
the problem listed at the end of each chapter.

In the second semester, we will cover the third and the fourth part:

Part III. Model Uncertainty
Chap 15. Exploration and Exploitation
Chap 16. Model-Based Methods
Chap 17. Model-Free Methods
Chap 18. Imitation Learning

Part IV. State Uncertainty
Chap 19. Beliefs
Chap 20. Exact Belief State Planning
Chap 21. Offline Belief State Planning
Chap 22. Online Belief State Planning
Chap 23. Controller Abstraction

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

We will primarily use English unless participants are all Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance (10%),
Presentation (30%),
Assignments (60%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Algorithms for Decision Making	MYKEL J. KOCHENDERFER, TIM A. WHEELER, AND KYLE H. WRAY	MIT Press	2022	978-0262047012	text

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted, although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on the development of management skills of the research project, from setting the theme to surveying texts and summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills for the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's objectives. In each session, the student gives a presentation about his/her research activity and has a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted, although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on the development of management skills of the research project, from setting the theme to surveying texts and summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills for the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's objectives. In each session, the student gives a presentation about his/her research activity and has a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted, although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on the development of management skills of the research project, from setting the theme to surveying texts and summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills for the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's objectives. In each session, the student gives a presentation about his/her research activity and has a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will plan and conduct his/her own project with methods of operations research. Conceptual or theoretical models are accepted, although applications to the real world are strongly encouraged. Emphasis is on the development of management skills of the research project, from setting the theme to surveying texts and summarizing results.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected:
to develop management skills for the research project,
to learn advanced techniques and realistic applications of operations research

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
At the beginning of the course, students will design the plan of the project along with the project's objectives. In each session, the student gives a presentation about his/her research activity and has a discussion with the supervisor to review the results and findings. At the end of the course, students organize the summary of the project.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation 60%, participation 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：李　銀星/YINXING LI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code: o6axvgf

本演習では、予測、分類などの様々な実問題にチャレンジしながら、データ科学に対する理解を深めると同時に、課題を解決できるプログラミングスキルを身に付けることに中心を置きます。

This course aims to deepen understading of data science, and the student will develop the programming skill nesscesary in their own researsh and problems in real business scene.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データ分析に必要な機械学習モデルを実データで実践できるようになること。

The goal of this course is to get the basic skill to apply basic machine learning algorithm to the real bussiness and research problems.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的にプログラミング言語 python を用いて、実データ分析に基づいた実践になります。基本、受講生が順番にデータ分析を行い、結果を発表します。

発表内容の目安として、以下の内容が考えられます。

(1) プログラミング
(2) データの前処理
(3) データ分析の可視化
(4) 基本的な機械学習モデルを用いたデータ分析
(5) 分析結果の評価
(6) 深層学習によるデータ分析

problem-based learning is the main feature of this course and students will learn and use programming language python.
In this course students will need to do data analysis and present their project in the class.

As an example, the presentation can include:
(1) Programming
(2) Data pre-processing
(3) Visualization of the data analysis
(4) Empirical application using the Basic machine learning methods
(5) Evaluation of the data analysis
(6) Data analysis based on the deep learning

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の発表、ディスカッションに基づいて評価します。

Based on the presentation and discussion in the lecture.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

経済経営のデータサイエンス	石垣、植松、千木良、照井、松田、李	共立出版	2022	4320125193	書籍

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
参考書は東北大学図書館より Ebook としてダウンロードできます。

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業外でもプログラミングの練習が望ましい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：李　銀星/YINXING LI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code: hpt6htb

本演習では、予測、分類などの様々な実問題にチャレンジしながら、データ科学に対する理解を深めると同時に、課題を解決できるプログラミングスキルを身に付けることに中心を置きます。

This course aims to deepen understading of data science, and the student will develop the programming skill nesscesary in their own researsh and problems in real business scene.

２．学修の到達目標/Goal of study：
データ分析に必要な機械学習モデルを実データで実績できるようになること。

The goal of this course is to get the basic skill to apply basic machine learning algorithm to the real bussiness and research problems.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
基本的にプログラミング言語 python を用いて、実データ分析に基づいた実践になります。基本、受講生が順番にデータ分析を行い、結果を発表します。

発表内容の目安として、以下の内容が考えられます。

(1) プログラミング
(2) データの前処理
(3) データ分析の可視化
(4) 基本的な機械学習モデルを用いたデータ分析
(5) 分析結果の評価
(6) 深層学習によるデータ分析

problem-based learning is the main feature of this course and students will learn and use programming language python.
In this course students will need to do data analysis and present their project in the class.

As an example, the presentation can include:
(1) Programming
(2) Data pre-processing
(3) Visualization of the data analysis
(4) Empirical application using the Basic machine learning methods
(5) Evaluation of the data analysis
(6) Data analysis based on the deep learning

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
英語および日本語
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
毎回の発表、ディスカッションに基づいて評価します。

Based on the presentation and discussion in the lecture.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Python 機械学習プログラミング 達人データサイエンティストによる理論と実践	Sebastian Raschka（著），Vahid Mirjalili（著），福島真太朗（監修），株式会社クイープ（翻訳）	インプレス	2020	4295010073	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
授業外でもプログラミングの練習が望ましい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will learn the econometric methods used in empirical analysis of economics and understand the theory of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The contents are as shown below.
1. Linear regression
2. Instrumental variable method
3. Difference-in-differences method
4. Regression discontinuity design
5. Quantile regression
6. Robust standard error

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Mostly Harmless Econometrics: An Empiricist's Companion	Joahua D. Angrist, Jorn-steffen Pischke	Princeton Univ Pr	2008	0691120358	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will learn the econometric methods used in empirical analysis of economics and understand the theory of econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to acquire knowledge on standard econometrics and mathematical statistics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The contents are as shown below.
1. Linear regression
2. Instrumental variable method
3. Difference-in-differences method
4. Regression discontinuity design
5. Quantile regression
6. Robust standard error

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Mostly Harmless Econometrics: An Empiricist's Companion	Joahua D. Angrist, Jorn-steffen Pischke	Princeton Univ Pr	2008	0691120358	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will acquire the knowledge necessary to conduct theoretical research in econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will understand the latest econometrics papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students will read textbooks or academic papers related to the student's interests.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will acquire the knowledge necessary to conduct theoretical research in econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will understand the latest econometrics papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students will read textbooks or academic papers related to the student's interests.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will acquire the knowledge necessary to conduct theoretical research in econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will understand the latest econometrics papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students will read textbooks or academic papers related to the student's interests.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Students will acquire the knowledge necessary to conduct theoretical research in econometrics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students will understand the latest econometrics papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students will read textbooks or academic papers related to the student's interests.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grades will be based on the attendance and quality of presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

日本企業の様々な事例研究を通して、経営戦略や経営組織の論理に基づく実際の企業行動を考察する。抽象的な理論や概念だけで理解するだけでなく、授業のケースで取り上げる事例企業の経営行動のメカニズムや因果関係を考察することによって、現実の企業行動の実際を深く理解し、経営者の意思決定の視点から合理的な考察力を鍛える。

This course offers students an opportunity to experience business case method and to think about the essence of business management.

２．学修の到達目標/Goal of study：

実際の企業経営者の目線で、現実的な経営組織のマネジメントを深く考察ができるようになること。

The purpose of this course is to consider the real management of organizations from the view point of top managements.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業の形態は、経済学研究科の演習室にて対面でのディスカッションである。
毎回の授業で配付するドキュメントは、全てGoogle Classroomを利用するので、授業で使用するケースやレジュメを事前にダウンロードして準備しておくこと。
Google ClassroomのコードとURLは下記の通りである。

クラスコード：5uoxkwt
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTI2NjU5?cjc=5uoxkwt

１回の授業につき１つのケースを考察するが、ケース担当者がレジュメ（パワーポイントのスライド）を作成して発表し、提示されたクエスチョン・テーマに沿って参加者全員で討議するケースメソッド方式の演習となる。

第1回 オリエンテーション（各回の発表担当者を決めます）
第2回 スーパーホテル
第3回 NEC
第4回 アイリスオーヤマ
第5回 カイハラ
第6回 スークカンパニー
第7回 日本環境設計
第8回 ヤマトグループ
第9回 ラオックス
第10回 東京海上日動システムズ
第11回 旭酒造
第12回 アールシーコア
第13回 セイコーエプソン
第14回 味の素
第15回 KDDI

In this course, I take business case method with active discussion.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：

授業への出席とコミットメント（70%）およびレジュメの発表内容（30%）。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTI2NjU5?cjc=5uoxkwt

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前にケースを精読して質問やコメントを準備した上で、自分なりの意見を整理して授業に参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業（4 月 10 日（月）10:30～12:00）のオリエンテーションにて 2 回目以降の実際の授業で各ケースの発表者を決定するので、初回授業に出席できない場合は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
授業形態は、演習室での対面によるディスカッションである。

授業内容は、経営組織と人材のマネジメントに関する学術論文を取り上げるが、受講者の研究テーマに沿った先行研究をレビューする。具体的には学術雑誌などに掲載された研究者の研究業績を取り上げてレビューし、批判的な考察をを行う。

I use Google classroom, and this course is supposed to be held by face to face.
In this course, we will review and discuss each previous research regarding organization and human resource management in which students are interested.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のレビューを通して、自らのリサーチ・クエスチョンと研究方法を見つけること。

The purpose of this course is to find out your own research questions and research method.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回、様々な学術雑誌などに掲載された経営組織や人材マネジメントに関する学術論文を取り上げて、担当者が論文のレビュー結果をレジュメにまとめて発表し、その内容について参加者全員で討議して先行研究に対する理解と批判を深める。
授業で取り上げるレビュー対象の論文については、初回授業のオリエンテーションの際に受講者の研究テーマに関する先行研究を探索するように指示するが、毎回、発表者が前週までに取り上げる研究論文を準備して配布すること。

クラスコード：vl3jaen
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg5MjQxNzQx?cjc=vl3jaen

In each lecture, a student is supposed to present his/her resume regarding a previous research article, and then discuss it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文のレビュー内容の発表（50%）と全体討議へのコミットメント（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg5MjQxNzQx?cjc=vl3jaen

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
毎回、事前に配布された論文を精読して内容を理解した上で授業に出席すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業のオリエンテーションで発表する学生のスケジュールを決めるので、初回授業に出席できない学生は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
日本企業の様々な事例研究を通して、経営戦略や経営組織の論理に基づく実際の企業行動を考察する。抽象的な理論や概念だけで理解するだけでなく、授業のケースで取り上げる事例企業の経営行動のメカニズムや因果関係を考察することによって、現実の企業行動の実際を深く理解し、経営者の意思決定の視点から合理的な考察力を鍛える。

This course offers students an opportunity to experience business case method and to think about the essence of business management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
実際の企業経営者の目線で、現実的な経営組織のマネジメントを深く考察ができるようになること。

The purpose of this course is to consider the real management of organizations from the view point of top managements.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業の形態は、経済学研究科の演習室にて対面でのディスカッションである。
毎回の授業で配付するドキュメントは、全てGoogle Classroomを利用するので、授業で使用するケースやレジュメを事前にダウンロードして準備しておくこと。
Google ClassroomのコードとURLは下記の通りである。

クラスコード：5uoxkwt
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTI2NjU5?cjc=5uoxkwt

１回の授業につき１つのケースを考察するが、ケース担当者がレジュメ（パワーポイントのスライド）を作成して発表し、提示されたクエスチョン・テーマに沿って参加者全員で討議するケースメソッド方式の演習となる。

第1回 オリエンテーション（各回の発表担当者を決めます）
第2回 スーパーホテル
第3回 NEC
第4回 アイリスオーヤマ
第5回 カイハラ
第6回 スークカンパニー
第7回 日本環境設計
第8回 ヤマトグループ
第9回 ラオックス
第10回　東京海上日動システムズ
第11回　旭酒造
第12回　アールシーコア
第13回　セイコーエプソン
第14回　味の素
第15回　KDDI

In this course, I take business case method with active discussion.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
授業への出席とコミットメント（70%）およびレジュメの発表内容（30%）。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwOTI2NjU5?cjc=5uoxkwt

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
事前にケースを精読して質問やコメントを準備した上で、自分なりの意見を整理して授業に参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業（4 月 10 日（月）10:30～12:00）のオリエンテーションにて 2 回目以降の実際の授業で各ケースの発表者を決定するので、初回授業に出席できない場合は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
授業形態は、演習室での対面によるディスカッションである。

授業内容は、経営組織と人材のマネジメントに関する学術論文を取り上げるが、受講者の研究テーマに沿った先行研究をレビューする。具体的には学術雑誌などに掲載された研究者の研究業績を取り上げてレビューし、批判的な考察をを行う。

I use Google classroom, and this course is supposed to be held by face to face.
In this course, we will review and discuss each previous research regarding organization and human resource management in which students are interested.

２．学修の到達目標/Goal of study：
先行研究のレビューを通して、自らのリサーチ・クエスチョンと研究方法を見つけること。

The purpose of this course is to find out your own research questions and research method.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
毎回、様々な学術雑誌などに掲載された経営組織や人材マネジメントに関する学術論文を取り上げて、担当者が論文のレビュー結果をレジュメにまとめて発表し、その内容について参加者全員で討議して先行研究に対する理解と批判を深める。
授業で取り上げるレビュー対象の論文については、初回授業のオリエンテーションの際に受講者の研究テーマに関する先行研究を探索するように指示するが、毎回、発表者が前週までに取り上げる研究論文を準備して配布すること。

クラスコード：vl3jaen
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg5MjQxNzQx?cjc=vl3jaen

In each lecture, a student is supposed to present his/her resume regarding a previous research article, and then discuss it.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文のレビュー内容の発表（50%）と全体討議へのコミットメント（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg5MjQxNzQx?cjc=vl3jaen

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
毎回、事前に配布された論文を精読して内容を理解した上で授業に出席すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
初回授業のオリエンテーションで発表する学生のスケジュールを決めるので、初回授業に出席できない学生は、事前に担当教員（藤本：masahiko.fujimoto.c7@tohoku.ac.jp）に必ず連絡すること。

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
研究論文を作成するための指導を行う。

In this course, I will advice and lead students in order to complete their research papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
研究論文を書き上げるためのリサーチクエスチョンや研究方法を発見すること。

The aim of this course is to help students develop the research questions and methods to complete their research papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
大学院レベルの基本的論文の書き方を学習し、本人の興味関心を踏まえて研究論文の研究テーマとリサーチ・クエスチョンの設定から研究方法と考察について個別指導する。

In this course, I will advise and lead each student along the each interest and ability of writing research papers.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究論文への取り組みの進捗状況や取組姿勢（50%）と内容（50%）を評価。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史および関連領域における特定のテーマについて研究することを予定している履修生とともに、方法論の基礎を検討する。

This class is for students who intend to engage in your research in the field of business history. we will examine the basic methodology.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。ここでは、研究するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の研究状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge of how to engage in your research in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定である。
(1)経営史（および関連諸領域）の研究史
(2)経営史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)研究に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion of the research of each participant.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので、予習と復習は必須である。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
オフィスアワーなどに関しては、初回の授業で連絡する。
BCP レベル１の場合は、「対面」を原則とする。
BCP レベル２以上の場合は、「オンライン」を原則とする。
参加者は Google クラスルームに必ず参加登録すること。
クラスコードは「ykhtvzr」

Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
Office hours and other information will be announced in the first class.
For BCP level 1, face-to-face is the general rule.

For BCP level 2 and above, "online" is the rule.
Participants must register in the Google Classroom.
Class codes : ykhtvzr

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史および関連領域における特定のテーマについて研究することを予定している履修生とともに、方法論の基礎を検討する。

This class is for students who intend to engage in your research in the field of business history. we will examine the basic methodology.

２．学修の到達目標/Goal of study：
この演習は、博士前期課程の学生を想定している。ここでは、研究するうえで必要になるさまざまなスキルの基本を修得するとともに、履修生の研究状況を適宜チェックし、具体的なアドバイスを与えることを目的とする。

To get a basic knowledge of how to engage in your research in the field of business history.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のような項目について、適宜検討する予定である。
(1)経営史（および関連諸領域）の研究史
(2)経営史学のアプローチ
(3)テーマの選定
(4)研究に求められるコンテンツ

This class is based on the discussion of the research of each participant.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点 60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
研究は日々の積み重ねと試行錯誤の繰り返しによるので、予習と復習は必須である。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
教員 HP：https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
オフィスアワーなどに関しては、初回の授業で連絡する。
BCP レベル１の場合は、「対面」を原則とする。
BCP レベル２以上の場合は、「オンライン」を原則とする。
参加者は Google クラスルームに必ず参加登録すること。
クラスコードは「ykhtvzr」

Faculty HP: https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home
Office hours and other information will be announced in the first class.
For BCP level 1, face-to-face is the general rule.

For BCP level 2 and above, "online" is the rule.
Participants must register in the Google Classroom.
Class codes : ykhtvzr

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコード：imo3wa6

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコード：imo3wa6

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコード：imo3wa6

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
経営史の視点から課題を発見し、その解決を図るとともに、プロジェクト最終報告を行うのに相応しい考察を行う。

Based on business history, students explore some problems toward their research projects.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経営史学におけるプロジェクト報告書を作成し、プロジェクト最終報告を行う。

The purpose of this course is that students finish their research projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修者自身が取り組むべき課題（解決したい問題）を決定し、経営史演習 Seminar a, b で獲得した知識をもとに課題解決を行う。

Students study through the interactive discussion with their supervisor according to their themes and plans.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常点：60%、レポート 40%

Participation 60%, Term papers 40%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各々の課題解決を目標とした演習なので、報告の準備等のために相当量の作業（予習・復習）が必要となる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・日本語によるコミュニケーションを基本とする。
・Seminar a, b を履修済みであること。
・連絡先等は初回演習時に伝える。
・クラスコード：imo3wa6

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード: ml7wu4j

数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
Students will learn the mathematical fundamentals necessary for mathematical finance. In particular, students will do a round-trip reading on stochastic analysis based on measure-theoretic probability theory. Students without knowledge of measure-theoretic probability theory will never be allowed to participate.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	西尾 眞喜子 /樋口保成	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード：gvfixyg
夏学期の続き。数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
Continuation of the summer semester. Students will learn the mathematical fundamentals necessary for mathematical finance. In particular, students will do a round-trip reading on stochastic analysis based on measure-theoretic probability theory. Students without knowledge of measure-theoretic probability theory will never be allowed to participate.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	M. Nishio and Higuchi	Y.	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ５講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：２年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード: 4ozdr64

数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
The purpose of this class is studying stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure theoretic probability. Students have to give a presentation in Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	樋口 保成/西尾 真喜子	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ５講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：２年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード：ml7wu4j

夏学期の続き。数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
Continuation of the summer semester. Students will learn the mathematical fundamentals necessary for mathematical finance. In particular, students will do a round-trip reading on stochastic analysis based on measure-theoretic probability theory. Students without knowledge of measure-theoretic probability theory will never be allowed to participate.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in ″mathematical sense″.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	樋口 保成/西尾 真喜子	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ５講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：２年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード：orvjwer

数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
The purpose of this class is studying stochastic calculus based on the rigid knowledge of the measure theoretic probability. Students have to give a presentation in Japanese language. Students also have to have enough knowledge of the measure theoretic probability in order to take this lecture. If this condition is not satisfied, I will "never" permit to participate in this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	樋口 保成/西尾 真喜子	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ５講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
クラスコード：dnr3kwb
夏学期の続き。数理ファイナンスに必要な数学の基礎知識を学ぶ。特に、測度論的確率論に基づいた確率解析について学生による輪読を行う。測度論的確率論の知識のない学生の参加は決して認めない。
Continuation of the summer semester. Students will learn the mathematical fundamentals necessary for mathematical finance. In particular, students will do a round-trip reading on stochastic analysis based on measure-theoretic probability theory. Students without knowledge of measure-theoretic probability theory will never be allowed to participate.

２．学修の到達目標/Goal of study：
数理的に厳密に確率解析の基礎理論を理解することにより数理ファイナンスの研究論文を読むことができるようになること。
Goal of this lecture is to get enough knowledge of stochastic calculus rigorously in "mathematical sense".

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者に参加者にあらかじめ配布した資料に基づき、指定した教科書を読んで来て発表してもらう。
資料を取りに来ること。教科書は
確率過程入門(樋口 保成/西尾 真喜子, 培風館 2006)
を指定する。

We are going to read
Introduction to Stochastic Processes (Yasunari Higuchi and Makiko Nishio)
Students must make a presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語
Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
発表の状況を見て決定する。
Based on the presentation.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

確率過程入門	樋口 保成/西尾 真喜子	培風館	2006	978-4563010836	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に備えてしっかりと教科書を読んでくること。

Students have to read the textbook carefully to prepare for the presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for the master's thesis.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing a master's thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for a master's thesis through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their master's thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [idmcxg4]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論とその隣接領域について、文献サーベイとレビューを行い、これまでの先行研究の理論的検討を行う。
また、受講者自らのリサーチクエスチョンの洗練を行い、論文執筆に向けた準備を行う。
加えて、論文の執筆に必要なスキルの習得機会を提供する。
This seminar provides students for opportunity to review previous literature on the area of strategic management and related academic areas.
It also gives students to refine their own research questions and prepare for papers.
In addition, it provides the opportunity to acquire the skills for writing papers.

２．学修の到達目標/Goal of study：
本演習では、経営戦略論に関連する最新の研究成果について検討し、そこから得られる知見と、自らの能動的な研究活動を通じて論文作成に向けた研究活動を行う。
学生は、本演習を通じて、先行研究を理解した上で、自らの論文の理論的位置づけや実践的意義を見出すことを目標とする。
In this seminar, students examine the latest research results related to strategic management theory and prepare for papers through their research activities.
Students will be expected to understand the previous researches and find the theoretical and practical contribution of their papers.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroom のクラスコード [ytbkw2k]

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文や著書等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a "project report" primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a "project report" or papers in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroomのクラスコード［cuyaonj］

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a "project report" primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a "project report" or papers in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroomのクラスコード［cuyaonj］

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a ″project report″ primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a ″project report″ in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroomのクラスコード［srcneui］

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習では、経営戦略論を中心とした研究領域におけるプロジェクト報告のための研究報告と討論を行う。
This project guidance provide the opportunity to produce a ″project report″ primarily in the field of strategic management.

２．学修の到達目標/Goal of study：
主に経営戦略論の分野におけるプロジェクト報告ないし論文の完成を目指す
The aim of this project guidance is a completion of a ″project report″ in the field of strategic management.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって内容を変更する場合もある。
The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

Google Classroomのクラスコード［srcneui］

講義は対面で行う。なお状況により、オンライン講義になる可能性がある。

参加者は、自らの研究テーマに即して、論文等を選択し、その内容についての発表を行う。
また、教員が指定した論文や著書について、その内容の発表を行う。
必要に応じて、研究方法等の書籍・論文についても、内容紹介の発表を行う。
参加者は自らの研究計画の遂行をするため、研究活動を行い、その中間報告を複数回行う。

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（Japanese）

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への参加（欠席する場合にはあらかじめ連絡し、必ず代替して報告は行う）
報告内容、及び演習内での発言・質問・態度による評価

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自らの研究を推進するために事前の学習・研究と、研究指導に基づいた事後学習・研究が必要になる。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
積極性と自主性が求められる。自らの頭と手を動かし続けること。

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To make and brush up research plan and start conducting research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and research of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: 3u3t4yr
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The seminar consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand basic theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields).
To understand how to conduct literature review on nonprofit organization.
To identify outcomes and challenges of relevant literature on nonprofit organization.
To make and brush up research plan and start conducting research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research plan, literature review, and research of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on research plan and/or literature review (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: 6asv3qw
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This guidance aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The guidance consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields). from broad perspectives
To conduct comprehensive literature review on nonprofit organization with specific focus and come up with research gaps, and research questions .
To conduct research, analyze and interpret the results and be able to think about the implications of the research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research progress of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on project research progress (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: lldrbnn
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This guidance aims at developing research of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The guidance consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To understand theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields). from broad perspectives
To conduct comprehensive literature review on nonprofit organization with specific focus and come up with research gaps, and research questions .
To conduct research, analyze and interpret the results and be able to think about the implications of the research relating to nonprofit organization.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research progress of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on project research progress (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: x7bn5sv
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This guidance aims at completing the research project of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The guidance consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete the research project based on the theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields). from broad perspectives.)

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research progress of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on project research progress (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: bbphvv3
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This guidance aims at completing the research project of students relating to nonprofit organization (and relevant topics such as NGO, civil society, social enterprise, and social capital).
The guidance consists of student presentations, class discussions, guidance and advice from the instructor on the research of nonprofit organization and its relevant fields.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete the research project based on the theories and practice of nonprofit organization (and its relevant fields). from broad perspectives.)

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Presentations and discussions, guidance and advice on the research progress of each student relating to nonprofit organization (and its relevant fields).

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Presentation on project research progress (50%), participation in class discussions and minute papers (50%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Journal articles such as in Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Nonprofit Management and Leadership, Voluntas, and Nonprofit Review

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
A thorough preparation is expected for effective presentation and discussions.
Students are expected to prepare, share and read the presentation materials one week before the presentation of each student.
Students are expected to complete Minute Paper

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Please contact the instructor beforehand by an email if you wish to register this class but the instructor is not your supervisor.

For details and update information, go to the Google Classroom: Class code: drkfzli
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.
E-mail: yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、1回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English partly Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the lecture

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English partly Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the lecture

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in Japanese.
Mailto; hyoshida.econ@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in Japanese.
Mailto; hyoshida.econ@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in Japanese.
Mailto; hyoshida.econ@tohoku.ac.jp

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class treats the knowledge on the economics of population aging in Japan.

２．学修の到達目標/Goal of study：
You will have the ability for analyzing the issues of aging using modern economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Course Content and Schedule
(1) Economics of population aging, demand for children, economics of gender;
(2) Generational equity using the Generational Accounts;
(3) Economics of Household, time allocation, life time optimization;
(4) Economic effect of public pension.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English part l yJapanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Times of your attendance and reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Will be introduced in the course.

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NjkONzYwNTE2MTVa?cjc=e5ouhkg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Note (Requirements, E-mail, Office Hour)
(1) You should have the basic knowledge of macro economics, microeconomics, econometrics.
(2) Office hour; 13:00-14:30 every Tuesday. (You have to reserve in advance.)
(3) The lecture will be provided partly in Japanese.
Mailto; hyoshida.econ@tohoku.ac.jp

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) I strongly recommend that the 1st-year MA students spend more time to study for the core lectures rather than participating in this seminar. If the first-year MA students want to attend my seminar, I can accept them. But please understand that they have a risk of not completing own MA thesis in the following year if they do not have sufficient economic knowledge at the end of the first year. There are no exceptions.
(3) The students in my seminar must attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
'EM4371'!F149:X151

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) I strongly recommend that the 1st-year MA students spend more time to study for the core lectures rather than participating in this seminar. If the first-year MA students want to attend my seminar, I can accept them. But please understand that they have a risk of not completing own MA thesis in the following year if they do not have sufficient economic knowledge at the end of the first year. There are no exceptions.
(3) The students in my seminar must attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
'EM4371'!F149:X151

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) It is preferable that the students who want to participate in my seminar complete 12 credits of Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Intermediate Econometrics I & II in the fist year, all with a "B" or better.
(3) The students in my seminar are required to attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics. The students also must take the Workshop orgnized by me. In addition, the 4th-semester of MA students must attend another Workshop organized by Prof. Wakabayashi and present their own ongoing master thesis.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
'EM4371'!F149:X151

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) It is preferable that the students who want to participate in my seminar complete 12 credits of Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Intermediate Econometrics I & II in the fist year, all with a "B" or better.
(3) The students in my seminar are required to attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics. The students also must take the Workshop orgnized by me. In addition, the 4th-semester of MA students must attend another Workshop organized by Prof. Wakabayashi and present their own ongoing master thesis.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
'EM4371'!F149:X151

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) It is preferable that the students who want to participate in my seminar complete 12 credits of Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Intermediate Econometrics I & II in the fist year, all with a "B" or better.
(3) The students in my seminar are required to attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics. The students also must take the Workshop orgnized by me. In addition, the 4th-semester of MA students must attend another Workshop organized by Prof. Wakabayashi and present their own ongoing master thesis.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This seminar is a learning opportunity for graduate students to acquire economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics at the graduate level.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The aim of this lecture is that the student acquires economic knowledge suitable for a master's degree, especially in health economics, public economics, and applied econometrics.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Depending on the student's level and interests, the student presents on some parts of graduate-level texts or high-quality academic papers. The student can also present own ongoing research.
We have in-person seminars, and lecture information, presentation files, and other materials are available on our Google Classroom (class code: "ybbekkg").

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English is our primary language. However, I will communicate with the students in the Economics and Management Research Course in Japanese.

６．成績評価方法/Evaluation method：
Comprehensive evaluation will be made based on attendance, presentations, and level of understanding.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
'EM4371'!F149:X151

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The student are always required to consider how own empirical study is published on the refereed journal.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
(1) The participants need to spend more than 8 hours per day for their studies, including the lectures.
(2) It is preferable that the students who want to participate in my seminar complete 12 credits of Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Intermediate Econometrics I & II in the fist year, all with a "B" or better.
(3) The students in my seminar are required to attend the Tohoku University Modern Economics Seminar: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics. The students also must take the Workshop orgnized by me. In addition, the 4th-semester of MA students must attend another Workshop organized by Prof. Wakabayashi and present their own ongoing master thesis.
(4) I can accept the graduate students who do not register for my seminar, but please note that only those who have registered will be given the opportunity to present in principal.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税の所得分配に及ぼす影響について、資本所得課税を中心に、理論・制度・歴史的実証の面から検討する。
This course will consider influence of taxation on income distribution, especially capital tax from a viewpoint of theory, institution and historical analysis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・資本課税の経済効果の理解　To understand effects of capital income.
・各国の所得税制における資本所得の扱いの把握　To grasp treatments of capital income in system of income tax among countries.
・資本所得課税の実証分析手法の修得　To learn the way of real analysis of taxation on capital income

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のテキストおよび関連論文を読んでいく。　To read this textbook and related articles.
Anthony B. Atkinson, Inequality: what can be done? Cambridge, Mass. : Harvard University Press, 2015（アンソニー・Ｂ・アトキンソン『21 世紀の不平等』東洋経済、2015 年）

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語および英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
課税の所得分配に及ぼす影響について、資本所得課税を中心に、理論・制度・歴史的実証の面から検討する。
This course will consider influence of taxation on income distribution, especially capital tax from a viewpoint of theory, institution and historical analysis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・資本課税の経済効果の理解　To understand effects of capital income.
・各国の所得税制における資本所得の扱いの把握　To grasp treatments of capital income in system of income tax among countries.
・資本所得課税の実証分析手法の修得　To learn the way of real analysis of taxation on capital income

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
以下のテキストおよび関連論文を読んでいく。　To read this textbook and related articles.
Anthony B. Atkinson, Inequality: what can be done? Cambridge, Mass. : Harvard University Press, 2015（アンソニー・Ｂ・アトキンソン『21 世紀の不平等』東洋経済、2015 年）

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語および英語
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の成績で評価する。
Evaluation will be based on ordinary developments in class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction to researches in Public Finance

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students who want to take this course should contact to the instructer by e-mail.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction to researches in Public Finance

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students who want to take this course should contact to the instructer by e-mail.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction to researches in Public Finance

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students who want to take this course should contact to the instructer by e-mail.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Giving instruction to researches in Public Finance

２．学修の到達目標/Goal of study：
Although the concrete purposes depend on each research theme, the project reports must fulfill following conditions.
1. Clear academic contribution
2. Reasonable statements from research questions to conclusion
3. Correct statistical treatment of date and considerations

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
The participants need to do it every time.
1. Report of the research
2. Responding to the comments or questions
3. Considering how to improve the research

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
It depends on the content of the project reports.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Students who want to take this course should contact to the instructer by e-mail.

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、研究とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic research is through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン。状況が許せば対面講義に切り替える（水、2限目)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員はGoogleMeetのURLを送る。

・ The form of the lecture is real-time online. If circumstances permit, switch to face-to-face lectures (Wednesday, 2nd period).
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は７割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する（黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students have to attend the class (70% of all class attendances should be required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are eva

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず連絡すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語または英語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.
・Prepare for the environment for using GoogleMeet.

The class is conducted in Japanese.
If any question, send email to the instructor (michi@tohoku.ac.jp)

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
・本授業では、論文を輪読することを通じて、論文とは何かを理解する。
・最終的には一人で論文を読み、評価し、自分でも書くことができるようになることを目的とする。

・ In this class, the students will understand what academic papers are through reading and discussion.
・ The students will be able to read, evaluate, and write academic papers by themselves.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文とは何かについて理解する。
・論文を読みこなし、評価する力をつける。
・サーベイ論文を書く.

To understand "what is research and what is writing papers?"
To nurture the ability to read academic papers and evaluate them
To write a survey paper

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・講義の形態はリアルタイムのオンライン（水、2限目)。状況が許せば対面講義に切り替える)。
・初回は必ずオンラインで開催するので必ず参加してほしい。
・初回の講義までに担当教員にメールを送ること。それを受けて担当教員はGoogleMeetのURLを送る。

・ The form of the lecture is real-time online (Wednesday, 2nd period). If circumstances permit, it will be switched to lectures in person
・ Because the first time will be held online, please be sure to participate.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.

・受講者は講義内で読むべき論文を探し、皆で共有する。
・講義内で担当者が自分が選んだ論文をまとめたものを発表し、それについてディスカッションを行う。
・論文に対する評価を行う。

・ The students will search for a paper that they want to read in the lecture and share it with everyone.
・ In the lecture, the person in charge will present a summary of the papers of his choice and discuss it.
・ Evaluate the paper.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語(Japanese)

６．成績評価方法/Evaluation method：
・出席は７割が必須条件。(無断欠席は許可しない)。
・レポーター時の発表
・授業内での発言・態度
・課題(文献レビュー)

上記を鑑み評価する（黙って座っているだけでは評価されないことに注意)。

All students must attend the class (70% of all class attendance is required.)
Absent without notice is not allowed.
The students are evaluated base

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・授業前に指定された部分を読み、質問を考えてくる。

All students have to read the designated part and have questions in advance of the class.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・Classroom は使用しない。
・受講予定の学生は、初回講義までに担当教員にメールで受講希望を必ず連絡すること。そのメールに対して、GoogleMeet の URL を伝える。
・受講生は、Google Meet が使える環境を整えておいてほしい。

・使用言語は日本語または英語。
・授業に関する相談は随時受け付ける。メールで事前連絡をすること。
・連絡先は、michi@tohoku.ac.jp　まで。

・We don't use the Classroom.
・ Send an email to the instructor by the first class. In response, the instructor sends the URL of Google Meet.
・Prepare for the environment for using GoogleMeet.

The class is conducted in Japanese. or English.
If any question, send email to the instructor (michi@tohoku.ac.jp)

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.

Students have to prepare for their presentation.

This seminar is an online lecture. Students have to create an environment for using GoogleMeet.
The URL of GoogleMeet will be informed by the instructor each time.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The students who want to take this class have to email the instructor before the first class.
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If students need to see me, please email me in advance and make an appointment.

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.

Students have to prepare for their presentation.

This seminar is an online lecture. Students have to create an environment for using GoogleMeet.
The URL of GoogleMeet will be informed by the instructor each time.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The students who want to take this class must email the instructor before the first class.
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If students need to see me, please email me in advance and make an appointment.

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class is provided in person.
This course aims to the development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature and research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.
Students have to prepare for their presentations as well.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If they need to see me, please email me in advance and make an appointment.

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This class is provided in person.
This course aims to the development of research ideas through literature review and discussion.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To formulate appropriate research questions
To have detailed knowledge of the research area through reviewing the literature and research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In every class, designated students report their research progress. Based on the reports, discussions are conducted.
Students have to prepare for their presentations as well.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese or English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Class attendance
Positive class participation
Quality of presentation

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social research methods 4th edition	Alan Bryman	Oxford University Press	2012	978-0-19-958805-3

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Reading good research papers is recommended, even if they are not related to your research directly.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Absent without notice is never allowed.
Students may contact me at any time by email (michi@tohoku.ac.jp).
If they need to see me, please email me in advance and make an appointment.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2165, EM2166（地域計画演習（Ⅰ） b）

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。

In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、論文構成の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※原則対面で行うが、コロナ感染症に関わる BCP レベルや受講生の状況に応じて、オンライン（Google Meet）の実施も検討する。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ（研究計画）の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
（研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など）
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介（先行研究及び主要論点の把握）
　和文雑誌（都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等）
　英文雑誌（Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等）
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス（学協会情報）： http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告（投稿論文への発展を目指して）

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ In general, the course will be conducted face-to-face, but online (Google Meet) will be considered depending on the level of BCP related to coronary infections and the situation of the participants.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2165, EM2166（地域計画演習（Ⅰ） b）

本演習では、広義の地域計画に関わるテーマを選び、受講者各自が文献サーベイとレビューを行い、これまでの研究成果及び論点を確認･整理することを目指す。さらに、論文執筆に必要となる基礎理論の理解と分析ツールの利用法の習得機会を提供する。

In this seminar, the participants will select themes related to the regional planning in a broad sense, and each student will conduct a literature survey and review to confirm and organize the research results and issues to date. In addition, it provides an opportunity to understand basic theories necessary for writing a master's thesis and to learn how to use analytical tools.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・参加者は毎月の報告を行うことを通じて、プレゼンテーション及び討論の能力を高める
・各研究分野における主要論文とこれまでの研究成果を理解する
・文献レビューの成果報告をとりまとめ、論文構成の基礎資料を準備する
・論文執筆の基礎となる分析力を身につける

・Enhance your presentation and discussion skills through monthly reporting
・Read the major articles in each field and comprehend the results of preceding studies
・Compile the results of literature review and prepare basic materials for master's thesis
・Acquire analytical skills that will be the basis for your thesis writing

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
参加者には毎月１回、各自の研究計画・テーマに従って選択した論文等の内容紹介に関する発表を行ってもらう。また必要に応じて、方法論や参加者の間で共有しうるテーマに関する論文・書籍を輪講する。
※原則対面で行うが、コロナ感染症に関わる BCP レベルや受講生の状況に応じて、オンライン（Google Meet）の実施も検討する。

○開講時２回：各自の関心あるテーマ（研究計画）の発表と次週以降の報告スケジュールの確定
（研究課題、先行研究、研究対象･地域、分析データ、解析手法など）
○第３回～第８回：選択した論文等の概要発表･討論、共通文献の輪講
・学協会誌掲載等のレビュー論文の検索･紹介（先行研究及び主要論点の把握）
　和文雑誌（都市計画学会誌「都市計画研究の現状と展望」等）
　英文雑誌（Planning Practice & Research、Planning Theory、Progress in Human Geography 等）
・各自の関心ある分野についての論文･書籍
・国立情報学研究所学協会情報発信サービス（学協会情報）： http://wwwsoc.nii.ac.jp/
・日経グローカル、経済レポート専門ニュース：http://www3.keizaireport.com/など
○第９回～第 12 回：新たな研究計画の報告
○閉講時２回：演習成果として、レビュー論文の執筆･報告（投稿論文への発展を目指して）

Participants will be invited to give a presentation once a month about the contents of the preceding studies selected in accordance with your research plan and theme. If necessary, readings and lectures on methodologies and topics that can be shared among participants will be held.
※ In general, the course will be conducted face-to-face, but online (Google Meet) will be considered depending on the level of BCP related to coronary infections and the situation of the participants.

○ Two times at the start of the course: Presentation of the theme (research plan) of your interest and determination of the reporting schedule for the next week and beyond
(Research issues, prior research, research target / region, analytical data and methods, etc.)
○ The 3rd to 8th: Outline presentation / discussion of selected papers
・ Search / introduction of review papers published in academic journals
・ Articles / books on the fields of interest
○ The 9th to 12th: Report of your revised research plan
○ Two times at the closing: Reporting your review essay as a final result of the seminar

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）と学期末の最終レポート（レビュー論文）から評価する。
Evaluation will be based on the contribution to the exercise (report and discussion) and the final report (review paper) at the end of the semester.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、翌週の演習に参加すること。
Graduate students should read the regimen and reference materials distributed the previous week in advance before participating in the exercise.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配津すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2167, EM2168（地域計画演習（Ⅱ） b）

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

２．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・論文を完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・論文・序章他のドラフト作成
○2年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間スケジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2167, EM2168（地域計画演習（Ⅱ） b）

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

２．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・論文を完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症による BCP レベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・論文・序章他のドラフト作成
○2年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間スケジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2167, EM2168（地域計画演習（Ⅱ） b）

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

２．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・論文を完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症によるBCPレベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・論文・序章他のドラフト作成
○2年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間スケジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Class code (Google Classroom)：EM2167, EM2168（地域計画演習（Ⅱ） b）

広義の都市・地域計画に関する論文作成のための助言・指導を行うとともに、演習参加者に報告と討論の場を提供することを目的とする。「都市や地域を対象に(空間的)計画や政策を策定し、実行・評価すること」との関係性において、各人の研究課題がどのように位置づけられるのかを考えておいて欲しい。

The purpose of this course is to provide advice and guidance for the preparation of your dissertation on urban and regional planning in a broad sense, and to provide participants with opportunities of reporting and discussions. Please consider how your research agenda can be positioned in relation to "developing, implementing and evaluating (spatial) plans and policies for cities and regions."

２．学修の到達目標/Goal of study：
・１年間の研究計画を、１学期当初にまず完成させる
・論文の執筆に求められる計画理論等を明確にするとともに、その理解を進める
・先行研究のレビューを通じて、論文テーマに関する研究成果と検討すべき研究課題を明確にする
・論文執筆に必要なデータ処理・解析手法を理解し、研究方法の応用力を高める
・論文を完成させる

・ Complete your one-year research plan at the beginning of the semester
・ Clarify the planning theory required for writing your master's thesis and promote your understanding on the theory
・ Clarify the research agenda through the review of previous studies
・ Understand the data processing and analysis methods required for writing papers, and enhance your research skills
・ Complete Master's thesis A

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本演習では、まず研究課題及び研究計画に関する報告を行い、各人の研究テーマに即した文献紹介、研究成果の発表を順次行う形式で進める。必要に応じて、基礎的かつ共通的な関連文献の輪講も行う。
※コロナ感染症によるBCPレベルが１の場合、オンライン（Google Meet）と対面を併用するが、レベルが２以上に上がった場合は、オンラインで行う。

○2年次第１学期（前半）
・調査・研究課題の設定と研究計画の作成（開講後１ヶ月中に、ドラフト案を提出のこと）
・文献収集、先行調査・研究の批判的紹介、データ所在の確認･収集、解析方法の検討
・論文構成案の作成と研究中間報告（開講後２ヶ月をめどに必ず報告のこと）
・論文・序章他のドラフト作成
○2年次第２学期（後半）
・研究計画の改訂修正、論文構成案の確定
・研究進捗報告、特別演習又は学会報告等による中間報告
・研究成果の最終報告
○関連学会の年次大会等での報告
・学会活動の年間スケジュールを確認し、年度当初に、報告機会を設定する
・春期大会
・秋期大会
・その他研究会等

In this exercise, you will first report on your research theme and plan, and then introduce the results of literature survey and your research outputs. If necessary, lectures will be given on the basic ideas of planning theory.
※ If the BCP level due to coronary infections is 1, online (Google Meet) and face-to-face will be used together, but if the level rises to 2 or higher, online will be used.

○ 1st semester
・ Survey / research assignment and research plan making (draft plan must be submitted within one month after the course starts)
・ Literature collection, critical review of previous studies, confirmation and collection of data, and examination of analysis methods
・ Identification of your thesis structure, presentation of your interim report
・ Draft of the introduction chapter in your master thesis
○ 2nd semester

・ Revision of your research plan and finalization your thesis structure
・ Interim report on research progress
・ Final report of research results
○ Reports at related conferences
・ Confirm annual schedule of conferences and select reporting opportunities

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習への貢献（報告及び討論）によるが、特別演習や学会報告等の成果も評価する。
The evaluation will be based on the contribution to the exercises (reports and discussions), but the results of special exercises and conference reports will also be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

まちの見方･調べ方	西村幸夫･野澤康編	朝倉書店	2010	978-4254266375	参考
住まいと街をつくるための調査のデザイン：インタビュー/アンケート/心理実験の手引き	日本建築学会編	オーム社	2011	978-4274209956	参考
建築･都市計画のための調査･分析方法（改訂版）	日本建築学会編	井上書院	2012	978-4753017546	参考
地域調査ことはじめ：あるく･みる･かく	梶田真･加藤政洋･仁平尊明編	ナカニシヤ出版	2007	978-4779501326	参考
RESAS の教科書 リーサス･ガイドブック	日経ビッグデータ編	日経 BP 社	2016	978-4822236601	参考
地図化すると世の中が見えてくる	伊藤智章	ベレ出版	2016	978-4860644888	参考
The Routledge Handbook of Planning Research Methods	E Silva, P Healey, N Harris and P Broeck (eds)	Routledge	2014	978-0415727952	参考

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Planning Practice & Research: https://www.tandfonline.com/toc/cppr20/current
Planning Theory: http://journals.sagepub.com/home/plt
Progress in Human Geography: http://journals.sagepub.com/home/phg

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
・前週に配られるレジメ及び参考資料を読了の上、演習に参加すること。
・発表担当の回には、十分な準備を行い、分かりやすいプレゼンテーション資料を用意すること。

・Graduate students are expected to participate in the exercises after having read the regimen and reference materials distributed the previous week.
・Students are expected

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
・欠席する場合にはあらかじめ連絡し、毎月の報告義務を果たすこと。
・自らの報告担当の回には、前週の演習の際にレジメを人数分印刷し配布すること。
印刷が間に合わない場合は、メールやグループウェアを利用して事前配布すること。
・履修の条件は特にないが、日本語によるコミュニケーションを中心とする。
必要な連絡は、メール（s.masuda@tohoku.ac.jp）により行うこと。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: rcmltku

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって、第一回目に決めます。第１回目の日時は担当教員にｅメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation i (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: bpdrgmy

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって、第一回目に決めます。第１回目の日時は担当教員にｅメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation i (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: judourw

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって、第一回目に決めます。第１回目の日時は担当教員にｅメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation i (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: zkegtrw

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって、第一回目に決めます。第１回目の日時は担当教員にｅメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation i (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: x4vwhsq

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって、第一回目に決めます。第１回目の日時は担当教員にｅメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation i (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom: pgpeko7

この授業は、アジアに生起する特定の経済問題に関する実証研究の成果を産出することを目的とする。授業において、必要な学習を行い、先行文献を読解し、一次資料を収集整理し、実証分析を行い、最終的に研究成果の産出へとつなげ、上記目的を実現する。

The purpose of this class is to encourage participants to publish empirical papers regarding some specific economic issues emerging in Asian regions. For this purpose, we will learn related theories, read previous studies, collect primary data, conduct emipirical analysis, and finally write a research article as the output of this class.

２．学修の到達目標/Goal of study：
到達目標：参加者がなんらかの形式（タームペーパー、ディスカッションペーパー、雑誌論文など）で研究成果を公表する。

Each participant of this class publishes his or her research output as term papers, discussion papers, or research articles in academic journals etc.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
内容：個人ないしグループの研究テーマを定め、関連する理論や先行研究のリビューを実施する。一次資料を収集整理し、実証研究を通じて、設定した問題に対する答えを導く。研究を一つの論文として完成させる。方法と進度予定は、教員と参加学生の相談によって定める。

Contents of this class are as follows. First, we set our research topics. Second, we review theories and previous studies regarding the topics. Third, we collect and process primary data necessar for empirical analyses. Fourth, we conduct empirical analyses. Finally, we write papers regarding the topics.

方法：授業形式ではなく、演習形式で実施する。

This class is given in a group-practice style, not in an ordianl lecture style.

進度予定：教員と学生の相談によって、第一回目に決めます。第１回目の日時は担当教員にｅメールで訊くこと。

The schdule of the class in this semester will be determined by agreement between the instructor and students in the first meeting. As for the date of the first meeting, please ask the instructor by e-mail.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究成果によって成績評価を行う。/ Evaluated based on students' research outputs of this class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

参考書
参考書
参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

関連理論や先行研究の学習、一次資料の分析、実証研究の遂行、研究成果の執筆を教員の指導のもとで進める。

Learning related theories and previous studies regarding the research topics, collecting and analyzing primary data, conducting empirical analyses, writing a research articel.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
この授業は基本的にアジア経済論研究室に所属する大学院生の参加を想定している。他研究室に所属する学生であり、本授業の履修を希望する場合、事前に担当教員に連絡をとりその履修許可を得ることを必要とする。

This class is basically designed to provide collective learning opportunies for the students belonging in the Asian Economy Laboratory. Students belonging in other laboratories and want to take this class have to contact the instructor and to get his approval in advance.

アジア各国の経済発展と構造転換（産業の高度化と国際化、所得分配の変化など）に関連する研究課題とする学生の参加を歓迎する。

We welcome students whose reseach topics are those regarding economic development and structural trasformation i (e.g., upgrading and internationalization of LDC industries, poverty alleviation, and changes in income distributions) of Asian economies.

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語。討論と教員の解説は日本語で行う。
ａとｂは独立に履修できる。

参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。
出席希望者は必ず１回目に出席するか，同日までにメール等で連絡すること。アドレスは以下の通り。
nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp　(*を@に変えてください)
オフィスアワーは月曜日５講時とする。
「教科書および参考書」欄に記した書籍は参考書である。研究の認識論と方法論を身に着けるために，自ら読破することを強く推奨する。

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済研究について，大学院生による報告と討論を行う。

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関する専門論文を作成する上で，理論的・実証的に様々な解決すべき問題が生じる。これについて，ゼミナール形式で発見し，掘り下げ，解決の手がかりをつかむことが目標である。

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
＊Google クラスルームは使用しない。受講手順は「その他」の欄を参照。
＊入学直後の学期にこの演習を履修する者
１巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し，議論する。どれだけ具体的な研究方法，研究ステップ，スケジュールを立てられるかがポイントである。
２巡目：参加者が先行研究，基本資料などについての分析・考察を発表し，議論する。
＊それ以外の者
参加者が自己の論文に向けて中間報告的な研究報告を行い，議論する。

教科書・参考書は事前には指定できない。報告者が文献サーベイを行う際に，他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。１ヶ月に 1-2 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので，注意すること。

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の討論への参加，報告によって評価する。無断欠席は減点対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

社会科学の考え方	野村康	名古屋大学出版会	2017	9784815808761	参考書
新装版 ケース・スタディの方法(第２版)	ロバート・K. イン	千倉書房	2011	9784805109779	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。その他，マニュアルを配布するので記載しているルールに従うこと。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメ，スライド，報告は日本語か英語のどちらか。討論と教員の解説は日本語。
ａとｂは独立に履修できる。

参加者は，(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること，(2)担当者を指導教員，あるいは研究過程でのディスカッション相手として希望すること，の二つの条件を満たすことが必要である。

出席希望者は必ず１回目に出席するか，あるいは同日までにメール等で連絡すること。いずれもおこなわない者は，履修を認めない。アドレスは以下の通り。

nozomu.kawabata.b1*tohoku.ac.jp（*を@に変えてください）

オフィスアワーは月曜日５講時とする。

「教科書および参考書」欄に記した書籍は参考書である。研究の認識論と方法論を身に着けるために，自ら読破することを強く推奨する。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできないことを自覚してほしい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできないことを自覚してほしい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ３講時.前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：２年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできないことを自覚してほしい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ３講時.後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
産業経済に関わる研究報告と討論

Report and discussion on the research of industrial development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
産業経済に関わる以下の力を養う。
・論文作成のルールを守り，活用する能力
・論文の構成能力
・論理的な証明能力
・実証的な説明能力

Capacity building of students on the research of industrial development through seminar style.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
修士（経済学）となるにふさわしい産業経済の研究能力を身に着けるための研究報告と討論を行う。高度に専門的な文献・資料の読解，個別分野での論点解明などに踏み込んだ討論を行う。

・研究計画の作成
・進捗報告
・最終報告

Student should report on the following issues.
+Research plan
+Progress report
+Final report

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語。

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の報告・討論による。無断欠席は減点の対象となる。ただしやむを得ない事情があるものは個別に考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
自分が発表する回のレジュメは３日前，フルペーパーは５日前まで参加者に送らなければならない。自分以外の受講者が発表するときは，それらを読んでこなければならない。
ある１回のゼミの内容が，その後の研究生活すべてに役立つこともある。１回１回を大切に。
徹底した準備なしに報告と討論はできないことを自覚してほしい。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
院生によるレジュメと報告は日本語か英語のどちらかでよいが，討論と教員の解説は日本語で行う。
担当教員を指導教員としている院生が履修者となる。

Seminar in Economics a/Seminar in Economics a

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous studies relevant to your research topics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students should be able to decide on a research topic and direction for theses/projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Writing a thesis
3. Research proposal by students I
4. Statistical data
5. Graphs
6. Presentation of literature survey
7. Presentation of literature survey
8. Presentation of literature survey
.
.
.
20. Presentation of literature survey

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students conduct their research outside the class and prepare for the presentations and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, and English proficiency.
Take this class during the first year if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision.
Also complete Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Econometrics I & II during the first year.
Please get in touch with the lecturer before the first class to ensure that your research proposal is appropriate for this class, and regularly consult with the ISTU, where any updates will be posted.

Seminar in Economics b/Seminar in Economics b

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to become familiar with previous studies relevant to your research topics, 2) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 3) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 4) to gain presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students finish data collection and preliminary investigation for these/projects.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Presentation of the model
3. Presentation of data
4. Presentation of preliminary assessment
5. Presentation of research progress

.
.
.

20. Presentation of research progress

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, and English proficiency.
Take this class during the first year if you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision.
Also complete Microeconomics I & II, Macroeconomics I & II, and Econometrics I & II during the first year.
Please get in touch with the lecturer before the first class to ensure that your research proposal is appropriate for this class, and regularly consult with the ISTU, where any updates will be posted.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 2) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 3) to improve presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students should progress with their theses/projects and finish the main investigation by the end of this class.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Presentation of empirical results
3. Presentation of empirical results
.
.
.
20. Presentation of empirical results

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, and English proficiency as well as my "Seminar in Econ a and b".
For other information: see ISTU.
If you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision, you must take this class during the second year.

Project Guidance in Econ a/Project Guidance in Econ a

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 2) to acquire hands-on experience writing lengthy reports, and 3) to improve presentation skills.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students should progress with their theses/projects and finish the main investigation by the end of this class.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit a term paper (about 20 pages). At the same time, they learn statistical methods and a programming language to apply statistical theories to economic and financial data.

1. Introduction
2. Presentation of empirical results
3. Presentation of empirical results
.
.
.
20. Presentation of empirical results

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Term paper(100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, and English proficiency as well as my "Seminar in Econ a and b".
For other information: see ISTU.
If you wish to write a thesis or carry out a project under my supervision, you must take this class during the second year.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 2) to improve writing and presentation skills, and 3) to complete writing theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students complete the theses or project reports necessary to gain a master's degree.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit their theses or project reports (about 50-100 pages). Students wishing to pursue further studies in our Ph.D. program are encouraged to complete them before the application deadline.

1. Introduction
2. Presentation of research progress
3. Presentation of research progress
.
.
.
19 Presentation of final results
20. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Project reports (100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students must conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency, and "Seminar in Econ a & b" and "Project Guidance in Econ a" taught by the instructor.
For other information: see the ISTU.

Project Guidance in Econ b/Project Guidance in Econ b

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The objectives of this class are 1) to learn relevant statistical theories and improve computer programming skills, 2) to improve writing and presentation skills, and 3) to complete writing theses or project reports.

２．学修の到達目標/Goal of study：
By the end of this class, students complete the theses or project reports necessary to gain a master's degree.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are expected to show progress in their research regularly and submit their theses or project reports (about 50-100 pages). Students wishing to pursue further studies in our Ph.D. program are encouraged to complete them before the application deadline.

1. Introduction
2. Presentation of research progress
3. Presentation of research progress
.
.
.
19 Presentation of final results
20. Summary

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Project reports (100%).
No credit will be given if there is evidence of plagiarism.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students must conduct their research outside the class and prepare for the presentation and the term paper.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Prerequisites: Economic theory, Statistics, Math, English proficiency, and "Seminar in Econ a & b" and "Project Guidance in Econ a" taught by the instructor.
For other information: see the ISTU.

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、leslwiz

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：教科書　序論
第３回：教科書　第一部はじめに、第１章
第４回：教科書　第２章（１）
第５回：教科書　第２章（２）
第６回：教科書　第二部はじめに、第３章（１）
第７回：教科書　第３章（２）
第８回：教科書　第４章（１）
第９回：教科書　第三部はじめに、第５章（１）
第１０回：教科書　第５章（２）
第１１回：教科書　第６章
第１２回：教科書　第７章（１）
第１３回：教科書　第７章（２）
第１４回：結論、全体のまとめ
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is leslwiz

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス帝国からヨーロッパ統合へ：戦後イギリス対外政策の転換とEEC加盟申請	小川浩之	名古屋大学出版会	2008年	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、leslwiz

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Seminar in Management a の受講者も、必ずグローバル経営史演習（Ｉ） a の方の
Google Classroom、leslwiz
にログインして下さい。)

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ５講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20 世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、wkoxpve

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：演習へのイントロダクション
第２回：Chap.1 Introduction(1)
第３回：Chap.1 Introduction(2)
第４回：Chap.1 Introduction(3)
第５回：Chap.2 The British Empire in the Edwardian Era
第６回：Chap.3 A Third British Empire? Dominion Idea...
第７回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (1)
第８回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (2)
第９回：Chap.5 The British Empire and the Great War
第１０回：Chap.13 The Second World War
第１１回：Chap.18 India
第１２回：Chap.25 Canada
第１３回：Chap.27 Latin America
第１４回：Chap.29 Australia and New Zealand
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is wkoxpve

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Oxford History of British Empire, Vol.IV, The Twentieth Century	J. M. Brown and Wm. R. Louis, eds.	Oxford University Press	1999	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、wkoxpve

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Seminar in Management b の受講者も、必ずグローバル経営史演習（Ｉ） b の方の
Google Classroom、wkoxpve
にログインして下さい。)

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、qwmweb4

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：教科書　序論
第３回：教科書　第一部はじめに、第１章
第４回：教科書　第２章（１）
第５回：教科書　第２章（２）
第６回：教科書　第二部はじめに、第３章（１）
第７回：教科書　第３章（２）
第８回：教科書　第４章（１）
第９回：教科書　第三部はじめに、第５章（１）
第１０回：教科書　第５章（２）
第１１回：教科書　第６章
第１２回：教科書　第７章（１）
第１３回：教科書　第７章（２）
第１４回：結論、全体のまとめ
第１５回：理解度確認セッション（論述式）
テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is qwmweb4

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッション：４０％

要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス帝国からヨーロッパ統合へ：戦後イギリス対外政策の転換とEEC加盟申請	小川浩之	名古屋大学出版会	2008年	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、qwmweb4

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Project Guidance in Management a の受講者も、必ずグローバル経営史演習（ＩＩ） a の方の
Google Classroom、qwmweb4
にログインして下さい。)

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、flydkal

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：Chap.1 Introduction(1)
第３回：Chap.1 Introduction(2)
第４回：Chap.1 Introduction(3)
第５回：Chap.2 The British Empire in the Edwardian Era
第６回：Chap.3 A Third British Empire? Dominion Idea...
第７回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (1)
第８回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (2)
第９回：Chap.5 The British Empire and the Great War
第１０回：Chap.13 The Second World War
第１１回：Chap.18 India
第１２回：Chap.25 Canada
第１３回：Chap.27 Latin America
第１４回：Chap.29 Australia and New Zealand
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is flydkal

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Oxford History of British Empire, Vol.IV, The Twentieth Century	J. M. Brown and Wm. R. Louis, eds.	Oxford University Press	1999	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、flydkal

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Project Guidance in Management a の受講者も、必ずグローバル経営史演習（ＩＩ） b の方の
Google Classroom、flydkal
にログインして下さい。)

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、flydkal

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：Chap.1 Introduction(1)
第３回：Chap.1 Introduction(2)
第４回：Chap.1 Introduction(3)
第５回：Chap.2 The British Empire in the Edwardian Era
第６回：Chap.3 A Third British Empire? Dominion Idea...
第７回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (1)
第８回：Chap.4 The Metropolitan Economics of Empire (2)
第９回：Chap.5 The British Empire and the Great War
第１０回：Chap.13 The Second World War
第１１回：Chap.18 India
第１２回：Chap.25 Canada
第１３回：Chap.27 Latin America
第１４回：Chap.29 Australia and New Zealand
第１５回：理解度確認セッション（論述式）

テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is flydkal

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション：４０％
要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

The Oxford History of British Empire, Vol.IV, The Twentieth Century	J. M. Brown and Wm. R. Louis, eds.	Oxford University Press	1999	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、flydkal

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Project Guidance in Management bの受講者も、必ずグローバル経営史演習（ＩＩ） b の方の
Google Classroom、flydkal
にログインして下さい。)

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
20世紀のイギリス帝国・連邦史

History of British Empire and Commonwealth in the 20th Century

２．学修の到達目標/Goal of study：
20世紀のイギリス帝国・連邦史に関する研究の基本文献についての知識を得る。

To know the basic literature on the history of British Empire and Commonwealth in the 20th century.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
授業内容・方法：

演習の進め方
テキストの該当箇所について、演習前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。

演習後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、qwmweb4

（※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」
は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も
行うこと。）

進度予定：
第１回：講義へのイントロダクション
第２回：教科書　序論
第３回：教科書　第一部はじめに、第１章
第４回：教科書　第２章（１）
第５回：教科書　第２章（２）
第６回：教科書　第二部はじめに、第３章（１）
第７回：教科書　第３章（２）
第８回：教科書　第４章（１）
第９回：教科書　第三部はじめに、第５章（１）
第１０回：教科書　第５章（２）
第１１回：教科書　第６章
第１２回：教科書　第７章（１）
第１３回：教科書　第７章（２）
第１４回：結論、全体のまとめ
第１５回：理解度確認セッション（論述式）
テキストからの章の選択は、演習の進行速度、受講者数などによって変更を加える場合がある。

必要に応じて、別途関連文献（教科書中の参考文献など）を取り上げて追加で取り上げる場合がある。

Class content:

How to proceed with the lecture.
In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by one of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is qwmweb4

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
理解度確認セッション：４０％

要約発表：３０％
討論への貢献：３０％

７．教科書および参考書/Textbook and references：

イギリス帝国からヨーロッパ統合へ：戦後イギリス対外政策の転換とEEC加盟申請	小川浩之	名古屋大学出版会	2008年	教科書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
本演習では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、qwmweb4

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくること。要約担当者は要約を作成する。
復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：第１回の演習までにこのシラバスを読んでいること。(第１回の演習の際に確認します。)
オフィスアワー：演習中に指示します。
メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

(※Project Guidance in Management bの受講者も、必ずグローバル経営史演習（ＩＩ） a の方の
Google Classroom、qwmweb4
にログインして下さい。)

Seminar in Management a/Seminar in Management a

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this course is to understand the major topics and issues of international business research by reading some representative papers and discussing about them.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to understand
・the streams and trends of international business research
・what would possibly be their own field of research topics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are required to prepare a short report about academic papers that would be previously handed out (or e-mailed). This weekly short report should contain summary of the paper and discussion points (criticisms or questions). In the class, background, research questions, methodologies, way of analysis, conclusions, and implications of each paper would be presented and discussed by participants. The reading list will be distributed at the class guidance, which would include such as:
①Johanson, J. and Vahlne, J. (1977). The internationalization process of the firm: a model of knowledge development and increasing foreign market commitments, Journal of International Business Studies, Vol.8, No.1, pp.23-32.
②Ghoshal, S. (1987). Global strategy: an organizing framework, Strategic Management Journal, Vol.8, pp.425-440.
③Hofstede, G. (1983). The cultural relativity of organizational practices and theories, Journal of International Business Studies, Fall, 75-89.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Weekly short report50%, Participation to class discussions 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Seminar in Management b/Seminar in Management b

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this course is to understand the major topics and issues of international business research by reading some representative papers and discussing about them.

２．学修の到達目標/Goal of study：
Students are expected to understand
・the streams and trends of international business research
・what would possibly be their own field of research topics

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Students are required to prepare a short report about academic papers that would be previously handed out (or e-mailed). This weekly short report should contain summary of the paper and discussion points (criticisms or questions). In the class, background, research questions, methodologies, way of analysis, conclusions, and implications of each paper would be presented and discussed by participants. The reading list will be distributed at the class guidance, which would include such as:
①Johanson, J. and Vahlne, J. (1977). The internationalization process of the firm: a model of knowledge development and increasing foreign market commitments, Journal of International Business Studies, Vol.8, No.1, pp.23-32.
②Ghoshal, S. (1987). Global strategy: an organizing framework, Strategic Management Journal, Vol.8, pp.425-440.
③Hofstede, G. (1983). The cultural relativity of organizational practices and theories, Journal of International Business Studies, Fall, 75-89.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Weekly short report50%, Participation to class discussions 50%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese /English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage a/Project Guidance in Manage a

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese /English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Project Guidance in Manage b/Project Guidance in Manage b

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：2年／2year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN630E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The goal of this course is to guide individual research for a master’s thesis.

２．学修の到達目標/Goal of study：
To complete a master’s thesis

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
・Project Guidance (a) of Spring semester
-Selection of a specific research theme
-Literature review
-Collection of empirical data
・Project Guidance (b) of Fall semester
-Writing the thesis up
The process above will be guided individually. Students are required to make frequent presentations about the progress.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Quality and contents of master’s thesis

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6se7cta

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・5講時に開講します。
初回は４月 20 日の予定です。最新の情報はGoogle Classroomで確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held April 20. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。
本年度は川端が幹事です。nozomu.kawabata.b1*（*を@に替えてください）tohoku.ac.jp

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
(1) 現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
(2) 地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions, and comments on the reports.

受講希望者は前期は 2003 年 4 月 20 日（木）の 5 限（16:20～17:50)、後期は 10 月 14 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に参加すること。
The students must attend the first class on April 20(in the spring semester) or October 14 (in the fall semester), 16:20-17:50.

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載するので、４月１５日（前期）または１０月１０日（後期）までに登録しておくこと。
The information on this class is shared via Google Classroom.
The students who will take the class must register for Google Classroom by April 15 (in the spring semester) or October 9 (in the fall semester).

クラスコード：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

Class code：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入)。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For

comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。

Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

【履修条件】

・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・原則、隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。
　発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 20 日/10 月 14 日）に参加すること。
　その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

Although SeminarAa and Seminar Ab (Seminar Ba and Seminar Bb) are separated, attending both seminars is recommended.
This class is held every other Thursday. (subject to change)
The students must attend the first class of each semester, on April 20 (spring semester) and Oct 14(Fall semester).
Other than students' presentations, we will have guest speakers.

【連絡先】本年度幹事・福嶋（michi@tohoku.ac.jp）
Contact: Fukushima (michi@tohoku.ac.jp)

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史　今年度コーディネータ）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史）
酒井一輔（日本経済史）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe, the coordinator)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History)
*SAKAI, Kazuho (Japanese Economic History)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語/英語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODkzNTgzMTg0?cjc=3r5byow
Check the classroom for the latest information on the workshop.

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Graduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

The first class will be on 20th of April, Thurs. Check the Google classroom for the latest information.
To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：英語および日本語

Workshop a/Workshop a

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO673E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This workshop is an opportunity of learning and discussion that Ph.D or MA candidates acquire academic knowledge in the economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this workshop is that the student acquires high-quality research methodology and academic knowledge in their own field as a Ph.D or MA candidate and improves skills in presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
We regularly hold a face-to-face seminar. The main presenters are the graduate students of Tohoku University and/or academic researchers from outside whose primary field is public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in the aging society.
Presenters are required to upload a presentation file to our Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop. Other participants must submit comments and questions for each presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students must have one or more presentations and submit comments on each presentation to obtain credit. In addition, the grade is based on preparation, attendance, discussion, comments, etc.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students are required to carefully prepare for their own presentation and to improve their own research as soon as they receive comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must attend this workshop.
In addition, the students must also register for other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
この授業ではマイクロデータを用いた実証分析に関心のある学生対象のゼミである。
担当者は家族の経済学、労働経済学、社会保障、労働経済学に関心がある

My interest is empirical economics and the topic I am interested in is household economics, family economics, labor economics, and health economics, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
マイクロデータを用いて論文を書くことが出来るように論文の書き方について指導する

Complete master/doctor thesis by using micro data.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese/English

６．成績評価方法/Evaluation method：
学生によるプレゼンテーションが中心である。
The presentation in the class is needed.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
発表に対しててはパワーポイントと印刷したスライドを用意すること
Please prepare slides for your own presentation.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
このゼミに出席予定の学生は、１回目の開催が変更になる可能性があるので、必ず事前にメール(midwak@tohoku.ac.jp) にて出席の意志を連絡すること

Please contact directly by email (midwak@tohoku.ac.jp) before attending this class. The first time of the class might be changed.

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM672E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6se7cta

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の 4 講時・5 講時に開講します。最新の情報は Google Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。
本年度は川端が幹事です。nozomu.kawabata.b1*（*を@に替えてください）tohoku.ac.jp

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
(1) 現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
(2) 地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions, and comments on the reports.

受講希望者は前期は 2003 年 4 月 20 日（木）の 5 限（16:20～17:50）、後期は 10 月 14 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に参加すること。
The students must attend the first class on April 20(in the spring semester) or October 14 (in the fall semester), 16:20-17:50.

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載するので、４月１５日（前期）または１０月１０日（後期）までに登録しておくこと。
The information on this class is shared via Google Classroom.
The students who will take the class must register for Google Classroom by April 15 (in the spring semester) or October 9 (in the fall semester).

クラスコード：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

Class code：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入）。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For

comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。

Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

【履修条件】

・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・原則、隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。
　発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 20 日/10 月 14 日）に参加すること。
　その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

Although SeminarAa and Seminar Ab (Seminar Ba and Seminar Bb) are separated, attending both seminars is recommended.
This class is held every other Thursday. (subject to change)
The students must attend the first class of each semester, on April 20 (spring semester) and Oct 14(Fall semester).
Other than students' presentations, we will have guest speakers.

【連絡先】本年度幹事・福嶋（michi@tohoku.ac.jp）
Contact: Fukushima (michi@tohoku.ac.jp)

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM670E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史　今年度コーディネータ）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史）
酒井一輔（日本経済史）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe, the coordinator)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History)
*SAKAI, Kazuho (Japanese Economic History)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM671E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODUyNjU5?cjc=72dmdbd
Check the classroom for the latest information on the workshop.

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Graduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：英語および日本語

Workshop b/Workshop b

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO673E, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This workshop is an opportunity of learning and discussion that Ph.D or MA candidates acquire academic knowledge in the economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
The goal of this workshop is that the student acquires high-quality research methodology and academic knowledge in their own field as a Ph.D or MA candidate and improves skills in presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
We regularly hold a face-to-face seminar. The main presenters are the graduate students of Tohoku University and/or academic researchers from outside whose primary field is public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in the aging society.
Presenters are required to upload a presentation file to our Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop. Other participants must submit comments and questions for each presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
Students must have one or more presentations and submit comments on each presentation to obtain credit. In addition, the grade is based on preparation, attendance, discussion, comments, etc.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students are required to carefully prepare for their own presentation and to improve their own research as soon as they receive comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must attend this workshop.
In addition, the students must also register for other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.

Microeconomics I/Microeconomics I

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO560E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online system Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

Modern economics stands on formal mathematical models that formulate rational decision making of individual actors and their interdependence in the economy. In this course, we start the study of such formal economic models by focusing on general, abstract theory on interdependent relationships between rational decision makers, i.e., game theory. Game theory is a necessary component of the study of modern economics. So, anyone who plans to study modern economics should take both this course and Micro II, as well as other core courses in macroeconomics and econometrics. Particularly, any of my other graduate courses will assume mastery of the contents to be taught in Micro I and II. More details and updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku (possibly to be updated in early April before the beginning of the semester).

２．学修の到達目標/Goal of study：

In Micro I, emphasis is on logical rigor, formalism, and abstraction behind economic models. This course shall teach essential skills for formulation and analysis of economic modeling and basic knowledge of various economic models for your future academic research. Therefore, the ultimate goal of this course is not only to provide knowledge and techniques in game theory, but also to get you familiar with economic modeling in various aspects, such as formal representation of a mathematical model, assessment of the most suitable solution concept for each model, mathematical analysis of the model with rigorous logic, and evaluation of scopes and limitations of the modeling and analytical methodology. Throughout this course, it is emphasized to understand the underlying economic incentives through analysis of costs and benefits, combined with deciphering cognitive constraints for economic agents in information acquisition, forecasting of other economic agents' decisions and statistical inference under limited information.

Basic calculation skills in calculus and serious attitude toward accurate formalism and logical rigor are necessary, while advanced knowledge in mathematics or mechanical horsepower for complicated calculation are not much. It is desirable that you have been exposed to elementary basics of game theory at least at the extent that is covered in a typical undergraduate "microeconomic principle/introductory microeconomics" textbook (e.g. Hubbard & O'Brien, Krugman & Wells), since this graduate course will pay more attention to giving fluency with mathematical formulation and analysis of economic models than just simply giving knowledge of economic theory.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: This course will combine real classroom meetings and on-demand video lectures with animated slide shows. The real classroom part will be devoted to interactive discussions with and between attendees and thus cannot be substituted with online video conferences/recordings.

Below is a tentative plan. The final version will be announced at the first class meeting (the scheduled day and time in the first week, according to the official academic calendar of the graduate school). Any interested students MUST attend the first meeting, even if having not decided whether to enroll to the course. (However, any regular student (not a research student/研究生) must officially register to the course, if decided to take it, and is not allowed to audit the course.)

Part 1: Game theory as multi-agent optimization theory (Games under complete information)
1. Introduction: Quick overview of game theory, and individual decision problems as a basis. 2. Strategic form: Basic modeling of strategic situations. 3. Nash equilibrium: Basic solution concept. 4. Mixed strategy: Modeling strategic randomization. 5. Extensive form and backward induction: Modeling sequential strategic interactions. 6-7. Applications and extensions I.
Part 2: Game theory on limited information and statistical inference (Games under incomplete information)
8. Information set and subgame perfection: Analyzing imperfect information in an extensive form. 9. Repeated games: Analyzing repeated interactions. 10. Bayesian games: Analyzing incomplete information in a strategic form. 11-12. Signaling games and sequential equilibrium: Analyzing information transmission in an extensive form. 13-14. Applications and extensions II.
15. Final examination (理解度確認セッション)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math despite weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be determined from weekly quizzes, HW assignments, examination/tests, etc. The grading formula will be announced at the first class meeting.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

See the note on "その他/In addition."

A Course on Game Theory	Osborne & Rubinstein	https://arielrubinstein.org/gt/arielDocs/			Required
活かすゲーム理論	浅古・図斎・森谷	有斐閣	2023	978-4-641-200005-0	Recommended for a reader of Japanese language

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

See the note on "その他/in addition."

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the lecture note and the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class mee

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

The textbook guide on Canvas (accessible after registration) will give a list of recommended textbooks in English and a problem set book. 『活かすゲーム理論』 is recommended for a student who wants a supplementary book in Japanese, consistent with this course.

<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must submit the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the semester. (There may be an online graded quiz from the very beginning of this course. Therefore, you will lose scores if you delay the request.) Apart from this, to get a credit of this course, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

Econometrics I/Econometrics I

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO564E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to probability theory and statistics for economists. The course will cover fundamental knowledge of probability and statistics for the preparation of subsequent econometrics courses. Simple R programs will be used and taught.

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of probability and statistics, especially in conducting economic data analysis. Good command of knowledge covered in this course will also facilitate studying other economic courses.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Foundation of Probability (Hansen Chapter 1)
- Random outcomes and events
- Probability measure
- Conditional probability and independence

Random Variables and Univariate Distributions (Hansen Chapter 2)
- Random variables: discrete & continuous
- Distribution functions
- Moments

Important Parametric Distributions (Hansen Chapter 3 & 5)
- Discrete distributions
- Continuous distributions

Random Vectors and Multivariate Distributions (Hansen Chapter 4 & 5)
- Joint distributions
- Conditional distributions
- Independence and correlation
- Conditional expectation

Sampling Theory and Statistics (Hansen Chapter 6)
- Population, random sample, and statistics
- Sampling distribution of statistics

Law of Large Numbers and Central Limit Theory (Hansen Chapter 7 & 8)
- Asymptotic limits & LLN
- Convergence in distribution & CLT

Parameter estimation and evaluation (Hansen Chapter 10 & 11)
- Population and distribution model
- Maximum likelihood estimation
- (Generalized) Method of Moments
- Mean squared error and best unbiased estimators

Hypothesis Testing (Hansen Chapter 13)
- Hypothesis testing related concepts

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Probability and Statistics for Economists. Hansen, Bruce E. 2022

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

Google Classroom: bdv36v6

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

The author's earlier draft of the book will be uploaded on google classroom.

Microeconomics II/Microeconomics II

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO561E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online system "Canvas" as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course covers "price theory," i.e., theory of optimal decisions especially on consumptions and productions and market equilibrium theory. From various numerical and mathematical exercises, we will study the basic idea and applications of market equilibrium models. More details and updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku (possibly to be updated in early April before the beginning of the semester).

２．学修の到達目標/Goal of study：

1. You will gain basic knowledge on price theory.
2. With casual usage of calculus, you will be familiar with the reasoning and implications of rational decision and market equilibrium.
3. You will learn how to fit a standardized mathematical model into a variety of situations.
4. You will learn how to gain intuition behind economic theory and to communicate it with helps of figures, diagrams and mathematical equations.

Caveat: The level of this course is modestly set to ensure the very minimum understanding of microeconomic theory needed for ANY graduate students in economics and management science, regardless of their majors or future plans after the master program. Anyone who wants to gain a potential to do academic research in modern economics seriously and to go to a Ph.D. program should also take EB331/EM2524 Mathematics for Formal Economic Modeling and Analysis as well. (The course will provide necessary mathematics for truly graduate-level study of modern economics and also present formal modeling of economic theory.)

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: This course will combine real classroom meetings and on-demand video lectures with animated slide shows. The real classroom part will be devoted to interactive discussions with and between attendees and thus cannot be substituted with online video conferences/recordings.

Below is a tentative plan. The final version will be announced at the first class meeting (the scheduled day and time in the first week, according to the official academic calendar of the graduate school). Any interested students MUST attend the first meeting, even if having not decided whether to enroll to the course. (However, any regular student (not a research student/研究生) must officially register to the course, if decided to take it, and is not allowed to audit the course.)

Course contents:

Part 1 Consumer theory

1. Setting up a consumer's problem. 2. Optimal consumption. 3. Demand function. 4. Variations of optimal consumption problems. 5. General equilibrium in an exchange economy

Part 2 Producer theory

6. Setting up a price-taking producer's problem (and the short test for Part 1). 7. Cost minimization. 8. Profit maximization and supply function. 9. Partial equilibrium. 10. General equilibrium in production economy.

Part 3 Deviations

11. Monopoly (and the short test for Part 2). 12. Oligopoly. 13. Externality. 14. Competitive equilibrium under asymmetric information.

15. Final examination (理解度確認セッション)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math despite weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be determined from weekly quizzes, HW assignments, examination/tests, etc. The grading formula will be announced at the first class meeting.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Intermediate Microeconomics (Ed.9)	Hal Varian	WW Norton	2019	978-0-393-68987-7	Required

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

See the note on "その他/in addition."

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the lecture note and the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class mee

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

The current edition of Varian is Edition 9: you may buy an electric copy of the book from the publisher's website https://wwnorton.com/ at a reasonable price. Edition 8 is acceptable, though further older editions are NOT recommended.

<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must submit the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the semester. (There may be an online graded quiz from the very beginning of this course. Therefore, you will lose scores if you delay the request.) Apart from this, to get a credit of this course, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

Econometrics II/Econometrics II

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO565E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook
Wooldridge, J. M. (2016). Introductory econometrics: A modern approach, 6th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

２．学修の到達目標/Goal of study：

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)
Basic probability & statistics for econometrics
Conditional expectation (conditional mean)
Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)
Simple & multiple regression
Gauss-Markov Assumptions
Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)
Classical linear model (CLM) Assumptions
t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)
Asymptotic normality
Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)
Robust standard error & inference
Diagnostic tests for Heteroskedasticity
Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)
Instrumental variable & 2SLS
Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)
Beta Coefficients
Functional forms
Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)
Dummy regressors
Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Assignments (30%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (40%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：
Introductory Econometrics: A Wooldridge Cengage Learning 2016
modern approach 5e

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: p7wm7sv
Download the text as E-Book from the library website

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Macroeconomics I/Macroeconomics I

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO562E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The goal of this course is to study standard dynamic macroeconomic models. The course makes extensive use of mathematics, mainly differential calculus. This allows both a deeper analysis of the microeconomic foundations of macroeconomic theory, and a more quantitative analysis of the models presented.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Upon completing this course students will be able to:
・ Explain how the economy works at aggregate level and how total output, employment, wages, interest rates are determined.
・ Describe the factors underlying economic growth, consumption/savings behavior, and business cycles.
・ Assess rigorously the effects of various government policies and outside shocks on these features of the economy.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

I plan to cover the following topics:

(1) General Equilibrium Model (Static).
(2) Solow Growth Model.
(3) Optimal Growth Model.
(4) Endogenous Growth Model.
(5) Consumption-Savings.
(6) Dynamic General Equilibrium Model.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (15%)
Final Examination (85%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hil	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
he ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Unless BCP level is 0, this class might be on-demand. All materials are posted in Google classroom.

Business Management I/Business Management I

担当教員/Instructor：石岡　賢/MASARU ISHIOKA
曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN530E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Business management I is using Google Classroom. All study instructions are provided in the online system.
There is NO core class time schedule, and students access Google Classroom from any place, any time.
Google Classroom Code# hptoivz

Principles of Business Management focusing on the processes of strategic management and intermediate terms such as management method, human resource management, leadership, controlling, strategy, marketing, finance, SCM, value chain, and CSR. Topics also, include the current trend and history of the business management.
※ The course is provided for (but not limited to) the students of GPEM program, and conducted in English.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Understanding the basic business management concept and methods. Recognizing the practical business management methods in the current business and industries.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Business management I is using Google Classroom.
All study instructions are provided in the online system.
There is NO core class time schedule, and students access Google Classroom from any place, any time.

Google Classroom Code# hptoivz

For the class, students need to prepare and submit several presentation files and presentation summary. The course works includes following activities, selecting the company for case study, introducing their business, analyzing the current management activities, suggesting the future management options for the selected companies, and preparing report papers.

The class requires individual activities, experimental activities, and individual presentations/demonstration on current and future management methods for selected companies and industries.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Presentation file, Research Paper, and others.
Others might include homework, case studies, contribution and participation in the class, peer evaluation, and others.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

For the class, it requires research, preparing for the presentation, and presentation summary.
Students need to have a thorough knowledge of Power Point.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:〇
Office hours by appointment.

Macroeconomics II/Macroeconomics II

担当教員/Instructor：小寺　寛彰/TOMOAKI KOTERA
曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO563E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

The goal of this course is to study standard dynamic macroeconomic models. The course makes extensive use of mathematics, mainly differential calculus. This allows both a deeper analysis of the microeconomic foundations of macroeconomic theory, and a more quantitative analysis of the models presented.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Upon completing this course students will be able to:
・ Explain how the economy works at aggregate level and how total output, employment, wages, interest rates are determined.
・ Describe the factors underlying economic growth, consumption/savings behavior, and business cycles.
・ Assess rigorously the effects of various government policies and outside shocks on these features of the economy.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

This class is a continuation of Macroeconomics I. This class is an on-demand one. All materials (videos/slides/assignments) are posted in GoogleClassroom. A class code is cjpaugy.

Schedule:
(1) Real Business Cycle Model.
(2) Money.
(3) Overlapping Generations Model.
(4)Labor Search and Matching.
(5)Macroeconomics of COVID-19.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Assignments (15%)
Final Examination (85%)

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hil	2012	9780073511375	参考書
Recursive macroeconomic theory	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	MIT Press	2012	9780262018746	参考書
The ABCs of RBCs : an introduction to dynamic macroeconomic models	George McCandless	Harvard University Press	2008	9780674028142	参考書
Introduction to modern economic growth	Daron Acemoglu	Princeton University Press	2009	9780691132921	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
Unless BCP level is 0, this class might be on-demand. All materials are posted in Google classroom.

Cross Cultural Leadership/Cross Cultural Leadership

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM665E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Topics in this lecture include cultures, languages, and human resource management with the context of Multinational Companies (MNCs). The objective of this course is nurturing global perspectives by studying and discussing about diverse values and practices of global organizations.

２．学修の到達目標/Goal of study：

1. To understand challenges of MNCs when they expand business across diverse cultures.
2. To learn about management approaches concerning those challenges.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The topics and readings of this semester will be introduced in detail on the first day of the lecture.

*Course contents (example of 2019-subject to be change in 2023)
1) Introduction to courses
2) IB(International Business) and Culture (1)
① Hofstede, G. (1983). The cultural relativity of organizational practices and theories, Journal of International Management Studies, 14(2), 75-89.
3) IB and Culture (2)
①Hofstede, G. (2007). Asian management in the 21st century, Asia Pacific Journal of Management 24, 411-420.
4) IB and Culture (3)
①Shook, J. (2010) How to change a culture: Lessons from NUMMI, MIT Sloan Management Review, 63-68.
5) IB and Language (1)
①Neeley, T. and Kaplan R.S. (2014) What’s your language strategy?, Harvard Business Review, 2-8.
②Maddux, W.W., Kim, P.H., Okumura, T. and Brett, J.M. (2012) Why “I’m sorry” doesn’t always translate, Harvard Business Review, 2
6) IB and Language (2)
①Piekkari, R. and Tietze, S. (2011) A world of language: Implications for international management research and practice, Journal of World Business, 46, 267-269.
②Harzing, A., Koster, K. and Magner, U. (2011) Babel in business: The language barrier and its solutions in the HQ-subsidiary relationship, Journal of World Business 46, 279-287.
7) IB and Language (3)
① Luo Y. and Shenkar, O. (2006) The multinational corporation as a multilingual community : Language and organization in a global context, Journal of International Business Studies, 37, 321-339.
8) IHRM(International Human Resource Management) (1)
①Schuler, R.S., Jackson, S.E. and Tarique, I. (2011) Global talent management and global talent challenges: strategic opportunities for IHRM, Journal of World Business 46, 506-516.
②Unruh, G.C. and Cabrera, A. (2013) Join the global elite, Harvard Business Review, 2-6.
9) IHRM(International Human Resource Management) (2)
①Grant, E.A. (2008) How to retain talent in India, MIT Sloan Management Review
②Harvey, M. and Novicevic, M.M. (2000) Staffing global marketing positions: What we don’t know can make a difference, Journal of World Business, 35(1).
10) IHRM(International Human Resource Management) (3)
①Reiche, B.S. (2006) The inpatriate experience in multinational corporations: an exploratory case study in Germany, International Journal of Human Resource Management.
Catch up & Review

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

1. Readings summary (for every lecture)/ Presentation: 50%
2. Attendance and active participation to class discussions: 50%

Readings will be shared through Google classroom. As lectures do not conform to the structure adopted by standard textbooks,

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Class participation is critical. Active discussions will enhance the learning experience of all class members.

JPN Communication I/Japanese Communication I

担当教員/Instructor：バックレイ　厚子/HUJA BACKLEY
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 １講時.後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM667E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

This course is intended for beginners and will allow students to acquire an elementary level of spoken Japanese in a one-semester period of study. The object of this course is to give students the confidence to use Japanese in everyday conversation and business-related situations, providing them with the language skills and cultural knowledge necessary to pursue their personal goals as well as to further their academic and professional careers. Students can access course materials (including the Meet/Zoom link) by registering to Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Upon successful completion of this course, students will have gained the ability to use basic Japanese in social and also business contexts. This course will help students work towards level A1 of CEFR/JFS (Common European Framework of Reference for Languages/Japan Foundation Standard for Japanese Language Education) or N5 of JLPT (Japanese Language Proficiency Test). See http://jfstandard.jp/, www.jlpt.jp (JLPT level N5)respectevely.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Students will practice essential language patterns for everyday conversation and business-related situations. They will develop an understanding of the nature of the Japanese language through their exposure to social, cultural and linguistic information, and of a range of communication strategies.

Course Schedule

1) Course Guidance :Japanese Sound/Writing System / Characteristics of Japanese Grammar / Useful expressions
2) Unit 1 Meeting People - Lesson 1 Greetings / Self-introduction / Asking/answering questions
3) Unit 1 Meeting People - Lesson 2 Introducing yourself and others / Identifying people and things /
4) Unit 2 Shopping - Lesson 3 Asking about business hours, price and size.
5) Unit 2 Shopping - Lesson 4/5 Asking about color and country of origin
6) Unit 3 Getting Around I - Lesson 6 Talk about where you will go, when, and with whom
7) Unit 3 Getting Around II -Lesson 7 Talk about dates,times,and means of transportation
8) Unit 4 Going out - Lesson 8 Talk about the whereabouts of things and people / tourist destinations
7) Unit 5 Dinning out - Action verbs: Making plans for the weekend
8) Unit 6 Visiting a Japanese Home I - Adjectives: Talk about the characteristics of things and people
9) Unit 6 Visiting a Japanese Home II - Receiving hospitality / Giving and Receiving / Expressing Gratitude
10) Unit 7 Invitations - Making Suggestions
11) Unit 7 Offering to do something - Talk about events
12) Unit 8 Making Requests - Verb te-form
13) Unit 8 Making Negative Requests - Verb nai-form
14) Unit 8 Talk about plans / experience
15) Review and Reflection (presentation)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

Japanese/English: All grammar explanations are given in English, wheras in-class activities, homework assignments and oral presentations are all in Japanese, Students may ask questions either in Japanese or English. Regular tests and course assignments ha

６．成績評価方法/Evaluation method：

Grade evaluation is based on the following:
- Achievement of learning goals (50%): Regular assessments(unit tests), Mid-term and Final Examinations
- Participation (50%): Participation in class activities, Presentations

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Japanese for Busy People BookI, Kana Edition, Revised 4th Edition.	AJALT	Kodansha America	2023	978-1568366203	Course textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://classroom.google.com/c/NTQyNzc3MjYyODE0?cjc=2glvv6t
http://www.ajalt.org
http://nihongo-e-na.com

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
The session time is limited and therefore self-directed learning is important. Students are expected to spend 30-60 minutes preparing for the next class, and at least 1 hour reviewing the materials covered in the previous class. Students are required to p

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Handouts and worksheets will be provided for grammar explanations and grammar/Kana practice.

JPN Communication II/Japanese Communication II

担当教員/Instructor：鈴木　寛子/HIROKO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 １講時.後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM668E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Intended for students who has A1 level in the CEFR / JF standard for Japanese-Language Education (N5 in the JLPT). Students will practice more advanced Japanese grammar and master situation-oriented skills in speaking and listening. In this course, students will also learn essential business-related vocabulary and expressions to be able to use in the appropriate context in Japanese. Classes are conducted in real time using ZOOM.

２．学修の到達目標/Goal of study：
After successful completion of this course, students will have gained practical communication skills to communicate with their colleagues in Japanese.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Day00 Placement Test and Guidance / Day01 Introduction / Day02 Asking for advice about a gift / Day03 Choosing a gift / Day04 Seaching for a lost item / Day05 Clocking in early / Day06 Inviting a colleague / Day07 Examination1 / Day08 Clocking out early / Day09 Greeting a new employee / Day10 Running into an old acquaintance / Day11 Joining a social activity / Day12 Asking for time off / Day13 Selecting a vacation plan / Day14 Review / Day15 Examination2

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
Japanese and English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Grade evaluation is based on an achievement of learning goals (50%) and regular class participation (50%). Class participation includes quizzes (20%), in-class activities (20%), and attendance (10%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Japanese for Busy People 2 Revised 3rd Edition, Kana version	AJALT	KODANSHA USA	2011	978-1-56836-386-8	textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Classcode of Google Classroom :qjjeoir

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students will be required to prepare for quizzes of previous lesson.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
Fall semester format undecided. Students who fail to attend two-thirds of all classes receive "D"(Failure).

Business Communication I/Business Communication I

担当教員/Instructor：ＲＯＭＡＮ　ＲＡＹＭＯＮＤ　ＳＣ/ROMAN RAYMOND SCOTT
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM661E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this course is to increase your business presentation knowledge and abilities.
We will discuss a variety of business presentation topics, with a focus on improving practical presentation skills. We will study and practice the two most basic kinds of business presentations: the informative presentation and the persuasive presentation. We will use Google Classroom (3wgcswl) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of this course you will have a greater ability to present information and persuade listeners. Through practicing English-language presentations for international audiences, you will acquire skills and gain confidence that can help you in any business or academic setting.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents and progress schedule of the class:
Class 1: Introduction
Class 2: Presentation Preparation
Class 3: Presentation Performance
Class 4: Presentation 1 planning meetings
Class 5: Student Presentations 1-a Practice
Class 6: Student Presentations 1-b Practice
Class 7: Student Presentations 1-a Evaluated
Class 8: Student Presentations 1-b Evaluated
Class 9: Presentation 2 planning meetings
Class 10: Student Presentations 2-a Practice
Class 11: Student Presentations 2-b Practice
Class 12: Student Presentations 2-a Evaluated
Class 13: Student Presentations 2-b Evaluated
Class 14: Review: applying new skills to new speeches
Class 15: Summary of learnings and suggestions for future study

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
English (Instruction and classroom discussion). （日本語での質問、相談も可能。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
Homework: (2) 20%
Presentation 1: 30%
Presentation 2: 40%
Participation: 10%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students should
・ Be prepared for each class
・ Complete all assignments completely and on time
・ Participate effectively and energetically in class exercises

・Give best effort in all activities

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:
There is no textbook. Materials will be distributed by Google Classroom / email.

Office hours: Thursday 13:30-14:30 or by appointment (Please send email beforehand.)
Email: ray.roman.b6[at]. . .

Business Communication II/Business Communication II

担当教員/Instructor：ＲＯＭＡＮ　ＲＡＹＭＯＮＤ　ＳＣ/ROMAN RAYMOND SCOTT
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM662E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
The purpose of this course is to improve your business presentation skills beyond the basics. We will discuss a variety of business presentation topics, with a focus on improving practical presentation skills. Our focus will be on advanced presentations useful in business and academia. Projects may include persuasive speeches, factual reports with Q&A, business proposals and reports on technical developments or research papers. We will use Google Classroom (yacnuu3) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of this course you will have a greater ability to present information and persuade listeners. Through practicing English-language presentations for international audiences, you will acquire skills and gain confidence that can help you in any business or academic setting.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
Contents and progress schedule of the class:
Class 1：　Introduction & Review of Speaking Preparation and Performance
Class 2：　Persuasive Presentation Preparation
Class 3：　Presentation Meetings 1
Class 4：　Presentation 1: Practice and Review
Class 5：　Presentation 1: Evaluated
Class 6：　Factual Report with Q&A Preparation
Class 7：　Presentation Meetings 2
Class 8：　Presentation 2: Practice and Review
Class 9：　Presentation 2: Evaluated
Class 10：　Proposal Presentation Preparation
Class 11：　Presentation 3: Practice and Review
Class 12：　Presentation 3: Evaluated
Class 13：　Technical Update or Technical Paper Preparation
Class 14：　Presentation 4: Practice and Review
Class 15：　Presentation 4: Evaluated; summary of learnings and suggestions for future study

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
English (Instruction and classroom discussion).　（日本語での質問、相談も可能。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
Homework:　10%
Presentations:　80%
Participation:　10%

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Students should
・Be prepared for each class
・Complete all assignments completely and on time
・Participate effectively and energetically in class exercises
・Give best effort in all activities

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

NOTES:

1. Students should (a) take Business Presentation 1 or Business Communication 1 before taking this class or (b) seek the instructor's permission before registering for this class.
2. Number and types of speech projects may change depending on the number of students enrolled and their study interests.
3. This class will be cancelled if the minimum number of students do not enroll. However, meeting time and day may be flexible, so if you are interested but have a schedule problem, contact the instructor in advance.
4. There is no textbook. Materials will be distributed by Google Classroom / email.

Office hours: Thursday 13:30-14:30 or by appointment (Please send email beforehand.)

Email: ray.roman.b6[at]. . .

Career Development/Career Development

担当教員/Instructor：/HIROYA AIHARA
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ６講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM660E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

２．学修の到達目標/Goal of study：

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

Topics in Economic Theory/Special Lec Topics in Economic Theory

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：後期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online system "Canvas" as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course is to give an extensive training in understanding state-in-art economic theory (in any field) so deeply with a critical but constructive mind that students would become able to make non-trivial and innovative applications of the theory or to make contributions to the theory. Targeting students of this course should (i) have already mastered basics (at master level) on game theory and basic mathematical skills and (ii) aims to becoming academic scholars in economics or mathematical social sciences/engineering; see the prerequisites below. However, the students can be Ph.D. students of our graduate program or very confident, ambitious and (most of all) well-prepared undergraduate students who have already learned the contents of gradulate-level core courses and seriously consider to going to highly ranked Ph.D. programs.

Basically this course will be a reading course, either reading of a set of papers with presentations of summaries of those papers or reading of some certain book with discussion in quite a detail of the book. The selection of the topic and the logistic of the course will be fixed near the end of the summer, depending on the current interests of the instructor and the students who have made credible commitments to taking this course. Anyone wishing to take this course are encouraged to make a contact with the instructor and show eagerness of taking the course, her/his own research interests and academic achievement and goals, by sending an e-mail at zusai@tohoku.ac.jp during the summer (late July through early August, but not before July, as it is too early to keep in my short memory). The final plan will be published as a revised syllabus before the beginning of Fall semester and posted at the instructor's website https://sites.google.com/view/zusaiTohoku as well as Student Affairs Information System of the university.

Prerequisites: solid understanding of master-level economic theory and confidence in mathematical literacy (rather than mere calculation power). Economics students who have interests in this course but are not confident in math should take "Mathematics for Formal Economic Modeling and Analysis" in Spring semester. This course is NOT recommended for students who have not mastered contents in graduate-level economic theory courses (GPEM Category I courses in economics, esp. Microeconomics I and II). On the other hand, second-year master and doctoral students shall find this course as good training for reading of formal mathematical models in economic theory.

２．学修の到達目標/Goal of study：

Through discussions and exercises, you will develop and improve literacy of research papers so to decipher underlying structures of decision making and social interaction from mathematical or algorithmic description of a model.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

The final plan and the details will be fixed around the end of the summer. The lecture plan below is a tentative plan.

Lec 1: Orientation and organizational meeting.
Lec 2: (if necessary) quick review of any needed mathematics, etc. (to give clearer, directed vision of those necessary basics for those who have learned those basics before, not for someone who (wrongly) take the course despite lack of prerequisite knowledge).
Lec 3-13: students' presentations and in-class discussions
Lec 14: wrap up
Lec 15: Examination (理解度確認セッション)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math despite weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be determined from quality of a student's own presetations, a record of class attendance, contributions to in-class discussions and results of the final examination and (if any) homework assignments, quizzes, etc. The grading formula will

７．教科書および参考書/Textbook and references：

TBA

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the note on "その他/in addition."

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and also for review after it. Besides, students are expected to engage in online discussions.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must submit the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the semester. (There may be an online graded quiz from the very beginning of this course. Therefore, you will lose scores if you delay the request.) Apart from this, to get a credit of this course, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

Math for Formal Econ/Special Lec Mathematics for formal economic modeling and analysis

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online system "Canvas" as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course will give an organized training in literacy of abstract mathematics necessary for rigorous understanding of economics and quantitative social sciences. Specifically about mathematical contents, we will build up calculation skills and fundamental concepts needed for constrained optimization. The first target of this course is graduate students in economics and mathematical social sciences who are planning (or currently doing) Ph.D.-level study (not necessarily in theoretical or mathematical study but possibly in statistical/empirical study with state-of-art methods) but are not confident in reading and writing formal mathematical papers beyond mechanical calculation. The second target is students who are confident in mathematical literacy but not in English communication. Prior knowledge of mathematical logic and basic calculus is required. More details and updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku (possibly to be updated in early April before the beginning of the semester).

２．学修の到達目標/Goal of study：

In any field of modern economics, mathematics has been used not only for numerical computation but more essentially as the language to convey ideas with solid logic. Abstraction of mathematical models leads economists to extracting crucial essence of economic problems to highlight general insights. Rigor of mathematical logic allows economists to easily capture a crystal clear image of the linkage between assumptions, implications and limitations behind economic arguments. Abstraction and rigor are what economics stands out as the king of modern social sciences. Anyone who wants to understand truly academic, front-end research in economics needs literacy of abstract and formal mathematics, beyond quantitative calculation.

Through learning basic mathematical techniques with delicate attentions to every step in logic and every piece of formal writing, a student in this course will acquire literacy to read academic writings in economics as well as skills to apply these techniques to formal models in economic theory. For this purpose, we put emphasis on accuracy of logic and formality of writing rather than mechanical calculation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: This course will combine real classroom meetings and on-demand video lectures. The real classroom part will be devoted to interactive discussions with and between attendees and thus cannot be substituted with online video conferences/recordings.

Below is a tentative plan. The final version will be announced at the first class meeting (the scheduled day and time in the first week, according to the official academic calendar of the graduate school). Any interested students MUST attend the first meeting, even if having not decided whether to enroll to the course. (However, any regular student (not a research student/研究生) must officially register to the course, if decided to take it, and is not allowed to audit the course.)

Course contents:
Module 0: Introduction
    1. Course guidance; Diagnostic test
    2. Introduction (merits and limitation of first-order approach to optimization)
Module 1: Fundamental concepts
    3. Logic and sets. 4. Utilizing definitions of function and optimum.
Module 2: Properties of functions
    5. Monotonicity and homogeneity. 6. Convexity.
Module 3: Topology
    7. Limits. 8. Topological properties of sets. 9. Continuity and topology.
Module 4: Differentiation
    10. Differentiation as linearization. 11. Differentiation techniques.
Module 5: Optimization
    12. Unconstrained optimization. 13. Constrained optimization.
14. TBA
15. Final examination (理解度確認セッション)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong math despite weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be determined from weekly quizzes, HW assignments, examination/tests, etc. The grading formula will be announced at the first class meeting.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Introduction to formal mathematics for economic modeling	Dai Zusai	Book manuscript (under contract with Temple University Press)	Required (provided on the course website)

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

See the note on "その他/in addition."

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Before each lecture, a student is expected to read the lecture note and the assigned part of the textbook; serious preparation is regularly monitored through online quizzes. There may be additional reading materials for preparation prior to each class mee

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

The required textbook (a book manuscript by the instructor) will be distributed on Canvas, the course LMS.

<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must submit the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the semester. (There may be an online graded quiz from the very beginning of this course. Therefore, you will lose scores if you delay the request.) Apart from this, to get a credit of this course, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

Computational model/Computational modeling and simulation

担当教員/Instructor：図斎　大/DAI ZUSAI
曜日・講時/Day/Period：前期 木曜日 ２講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

!!!<< This course will use an external online system Canvas as an online classroom platform (a Learning Management System), regardless of BCP level. Follow the instruction in the URL section of this syllabus. >>!!!

This course will teach general ideas of building a dynamic multiagent model of an economy, a society or a distributed system by utilizing Python as an object oriented language. Evolutionary game theory will be referred as theoretical backbone to cover applications over a wide range of disciplines in social sciences and system engineering, though heavy mathematical analysis will be avoided. The emphasis will be on modeling ideas, rather than programming techniques. Prior knowledge of Python is not needed though helpful. More details and updated information will be posted at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku (possibly to be updated in early April before the beginning of the semester).

２．学修の到達目標/Goal of study：

1. Acquire intuitive understanding of formal models in economic and game theory to decipher the structure of those models.
2. Utilize the object oriented nature of Python to write codes of agent/micro-based models.
3. Efficiently use simulations as a substitute for mathematical analysis.
4. Understand adaptive (evolutionary) dynamics as dynamic and computational foundation of equilibrium analysis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

Lecture delivery method: This course will combine real classroom meetings and on-demand video lectures. The real classroom part will be devoted to interactive discussions with and between attendees and thus cannot be substituted with online video conferences/recordings.

Below is a tentative plan. The final version will be announced at the first class meeting (the scheduled day and time in the first week, according to the official academic calendar of the graduate school). Any interested students MUST attend the first meeting, even if having not decided whether to enroll to the course. (However, any regular student (not a research student/研究生) must officially register to the course, if decided to take it, and is not allowed to audit the course.)

Course contents: (each module spends two or three weeks.)
Module 0. Introduction
Topic 0. Course guidance and overview of OOP and ABM. (OOP stands for object oriented programming and ABM for agent based models)
Module 1. Basics
Topic 1. Very basic of OOP. Topic 2. Very basic of adaptive algorythms from the viewpoint of evolutionary dynamics
Module 2. Aggregate modeling vs. agent based modeling
Topic 3. Epistemologic models of pandemic. Topic 4. Dynamics of Cooperation
Module 4. Putting layered structures to agent based models
Topic 5. Behavior-affiliation dynamics in a connected society. Topic 6. Opinion dynamics with community choices
Module 5. Analyzing mechanism behind simulations
Topic 7. Measurement of convergence. Topic 8. Disaggregability under heterogeneity.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English. For students with strong coding skills despite weak English, this course would be a good introduction to academic communication in English.

６．成績評価方法/Evaluation method：

The grades will be determined from HW assignments, examination/project, in-class/online discussions, etc. The grading formula will be announced at the first class meeting.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Think Python, 2e	Allen B. Downey	Green Tea Press/O'Reilly	2016	978-1491939369	Required

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
See the note on "その他/in addition."

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
There may be additional reading materials for preparation prior to each class meeting and/or for review after it.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
The required textbook is an open textbook, provided free at https://greenteapress.com/wp/think-python-2e/ (you can also purchase a hard copy, published by O'Reilly, at Amazon). However, it will be used only as a technical reference; reading of the textbook does not substitute for attendance (watching) of any lecture.
<<MUST READ; the followng registration steps will be needed whatever the class delivery method will be.>> We will use an external LMS (Canvas), which is not synced with Tohoku's course enrollment system. It needs invitation from the instructor and students' own registration. To get an invitation, you must submit the request form at https://sites.google.com/view/zusaiTohoku during the first week of the semester. (There may be an online graded quiz from the very beginning of this course. Therefore, you will lose scores if you delay the request.) Apart from this, to get a credit of this course, you must also complete the regular course enrollment process, following the administrator's instruction. So, BOTH THE TWO STEPS are needed and must be completed at your own responsibility. In case a student fails to complete the request form and also forgets to notify the intention of withdrawal to the instructor, the student will automatically receive a failing grade, not withdrawal.

Introduction to management/Special Lec Introduction to management

担当教員/Instructor：ＮＧＵＹＥＮ　ＫＩＭ　ＮＧＡＮ/NGUYEN KIM NGAN
曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 ３講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

Management is essential for business success in all types and sizes of organizations, organizational levels, and work areas. Once students graduate from universities and begin their careers, they will either manage or be managed. In any case, understanding management is significant.
This course introduces effective management theories and focuses on developing students' skills to work in a global workplace or become start-up leaders.

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: a7pxbvq

２．学修の到達目標/Goal of study：

At the end of this course, students are expected to
・Understand the basics of managing in today's workplace, including external environmental factors, organization's culture, global environment; managing diversity, social responsibility, change, and disruptive innovation
・Understand the four basic functions of management (planning, organizing, leading, controlling) and factors influencing the decision making
・Develop the five key skills that employers are looking for: critical thinking, communication, collaboration, knowledge application, and social responsibility

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

In this course, while the lecturer explains the fundamental theories, students have to discuss problem-solving through cases to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Introduction
2. Influence of the External Environment and the Organization's culture
3. Managing in Global Environment and Diversity
4. Managing Social Responsibility and Ethics
5. Managing Change and Disruptive Innovation
6. Planning: Foundations of Planning & Management strategy
7. Planning: Entrepreneurial Ventures & Mid-term wrap-up (group presentations)
8. Organizing: Designing Organizational Structure
9. Organizing: Managing Human Resources
10. Organizing: Managing Groups and Teams
11. Leading: Managing Communication
12. Leading: Understanding and Managing Individual Behavior
13. Leading: Motivating employees
14. Leading: Being an Effective Leader
15. Controlling: Monitoring and Controlling & Final-term wrap-up (group presentations)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

English

６．成績評価方法/Evaluation method：

Attendance & Participation 50%; Group presentations 30%; Weekly individual assignment 20%. No written examinations

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Management	Stephen P.Robbins & Mary Coulter	Pearson	2021	9781292340883	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

Lecture slides are available on the Google Classroom (Class code: a7pxbvq). Students are advised to download and check the lecture slides in advance and review them after classes.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: a7pxbvq

How to describe the class environment? friendly and interactive What to pay attention to:

・Registration should be done before the deadline (updating later)

・During the semester, the class organization is subject to change according to Covid 19 situations

・Further information is also available via the campus community

Social Research Methods/Special Lec Social Research Methods

担当教員/Instructor：ＮＧＵＹＥＮ　ＫＩＭ　ＮＧＡＮ/NGUYEN KIM NGAN
曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 ４講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
This course aims to provide the understanding of social research methods. It focuses on developing students' skills to conduct their social research.

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: 7rqqs2y

２．学修の到達目標/Goal of study：
At the end of this course, students are expected to
・Understand when and which specific research method should be used
・Grasp the concepts and implementation guidelines in qualitative, quantitative and mixed methods
・Know how to draw a roadmap for conducting the social research from ideas to research design, planning and implementation

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
In this course, while the lecturer gives lessons, students have to discuss in groups and present their ideas to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Social Research Process & Strategies
2. Research Design
3. Planning a Research Project
4. Reviewing the Literature
5. Quantitative Research 1: Process & Sampling
6. Quantitative Research 2: Asking questions
7. Quantitative Research 3: Structure Observation & Content Analysis
8. Quantitative Research 4: Quantitative Data Analysis
9. Qualitative Research 1: Process & Sampling
10. Qualitative Research 2: Interviewing
11. Qualitative Research 3: Language and Document Analysis
12. Qualitative Research 4: Qualitative Data Analysis
13. The Quantitative/Qualitative Divide & Mixed Methods
14. Writing up Social Research
15. Final Report Submission

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English

６．成績評価方法/Evaluation method：
Evaluation is based on student's attendance, discussion participation, weekly assignments, and a final report. No written examinations. The details will be announced at the first class.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

Social Research Methods	Bryman, A.	Oxford University Press	2012	9780199588053	Textbook

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
Lecture slides are available on the Google Classroom. Students are advised to download and check the lecture slides in advance and review them after classes.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: 7rqqs2y

How to describe the class environment? friendly and interactive

What to pay attention to:

・Registration should be done before the deadline (updating later)

・During the semester, the class organization is subject to change according to Covid 19 situations

・Further information is also available via Instruction Section Bulletin Board (教務係掲示板)

Spatial Economics/Spatial Economics

担当教員/Instructor：曽　道智/DAO-ZHI ZENG
曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 １講時
対象学年/Eligible Participants：１年／1year,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM675E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：

空間経済学は、伝統的な経済学に空間的要素を取り入れ、産業の集積や国際貿易などを解明する。この授業は近年著しい発展を見せた新経済地理学・新貿易理論に関する知見を重点的に紹介する。具体的には、国際経済学の新貿易理論、地域経済学の核・周辺地域モデルを紹介し、それらの応用例を講述する予定である。これらの内容を理解するには、ミクロ経済学の基礎知識が必要である。

英語で講義を行う。

Spatial economics clarifies regional industrial agglomeration and international trade by incorporating spatial factors into traditional economics. This lecture mainly focuses on New Economic Geography and New Trade Theory, which exhibit a remarkable development in recent years. Specifically, we introduce new trade theory of international economics and core-periphery models of regional economics, and then show their applications. To understand this course, you are expected to have some basic knowledge of microeconomics.

The lectures will be in English.

２．学修の到達目標/Goal of study：

基礎理論を学び、研究フロンティアの情報を把握する。
To learn the basic theory and understand the research frontier.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

1 序論
2 Dixit-Stiglitz の独占的競争モデル
3 一要素モデル: 自国市場効果
4 二要素モデル：労働と資本
5 新経済地理と均衡の安定性
6 核・周辺モデル
7 準線形モデル
8 労働費用がもたらす再分散
9 都市費用がもたらす再分散
10 多産業と企業関連モデル
11 異質性モデル
12 重力モデル
13 厚生測量
14 様々な Non-CES 研究
15 様々な応用

1 Introduction
2 The Dixit-Stiglitz monopolistic competition model
3 1-factor models: The home market effects
4 2-factor models: labor and capital
5 New Economic Geography & equilibrium stability
6 Core-Periphery model
7 Quasi-linear mode
8 Re-dispersion by labor costs
9 Re-dispersion by urban costs
10 Multi-industry economy
11 Heterogeneity models
12 Gravity models
13 Welfare analysis
14 Non-CES studies
15. Various applications

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

英語
English

６．成績評価方法/Evaluation method：

授業への関与度(30%)、宿題(70%)に応じて評価する。

Students are evaluated based on the level of class participation (30%) and assignments (70%).

７．教科書および参考書/Textbook and references：

空間経済学	曽道智・高塚創	東洋経済新報社	2016	978-4492314852	教科書
The Spatial Economy	Fujita, M., Krugman P and Venables A.	MIT Press	1999	978-0262561471	参考書

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

http://www.se.is.tohoku.ac.jp/~zeng/index.html

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

1. 授業前に公開されるスライドに基づき予習を行う。
2. 授業後は宿題によって復習する。宿題の点数は最終成績の評価に使用される。

1. Slides are used to make a preparation of lectures.
2. Home works are used to review the lectures. They are also used to evaluate your final score.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:○

オフィスアワー：水曜日 16：30－18：00　他にメールあるいは電話等でアポイントメントをとれば、随時対応

Office hours:Wednesday 16:30-18:00 or by appointment.

政治経済学Ⅰ演習（Ⅲ） a /Political Economy Ⅰ (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

政治経済学Ⅰ演習（Ⅲ） b/Political Economy Ⅰ (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

理論経済学Ⅰ演習（Ⅲ） a /Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

理論経済学Ｉ演習（Ⅲ） b/Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

理論経済学Ⅱ演習（Ⅲ） a /Theoretical Economics II (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO727J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

理論経済学Ⅱ演習（Ⅲ） b /Theoretical Economics II (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO727J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済学史演習（Ⅲ） a /History of Economic Thought (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済学史演習（Ⅲ） b /History of Economic Thought (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

日本経済史演習（Ⅲ） a /History of Japanese Economy (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO731J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

日本経済史演習（Ⅲ） b /History of Japanese Economy (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO731J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

西欧経済史演習（Ⅲ） a /Economic History of Western Europe (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

西欧経済史演習（Ⅲ） b /Economic History of Western Europe (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

社会思想史演習（Ⅲ） a /History of Social Thoughts (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

社会思想史演習（Ⅲ） b /History of Social Thoughts (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済計画論演習（Ⅲ） a /Economic Planning (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO737J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済計画論演習（Ⅲ） b /Economic Planning (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO737J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

応用マクロ経済学演習（Ⅲ） a /Applied Macroeconomics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

応用マクロ経済学演習（Ⅲ） b /Applied Macroeconomics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営学原理演習（Ⅲ） a /Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営学原理演習（Ⅲ） b /Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

マーケティング管理論演習（Ⅲ） a /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

マーケティング管理論演習（Ⅲ） b /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財務会計論演習（Ⅲ） a /Financial Accounting (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財務会計論演習（Ⅲ） b /Financial Accounting (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC721J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

管理会計論演習（Ⅲ） a /Management Accounting (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

管理会計論演習（Ⅲ） b /Management Accounting (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC723J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際金融論演習（Ⅲ） a /International Finance (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際金融論演習（Ⅲ） b/International Finance (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

環境経済学演習（Ⅲ） a /Environmental Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

環境経済学演習（Ⅲ） b /Environmental Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

産業組織論演習（Ⅲ） a /Industrial Organaization (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

産業組織論演習（Ⅲ） b /Industrial Organization (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済政策演習（Ⅲ） a /Economic Policy (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済政策演習（Ⅲ） b /Economic Policy (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済統計学演習（Ⅲ） a /Economic Statistics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO757E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済統計学演習（Ⅲ） b /Economic Statistics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO757E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

計量経済学演習（Ⅲ） a /Econometrics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

計量経済学演習（Ⅲ） b /Econometrics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

ビジネスデータ科学演習（Ⅲ） a /Business Data Science (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN729E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

ビジネスデータ科学演習（Ⅲ） b /Business Data Science (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN729E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営統計学演習（Ⅲ） a /Business Statistics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営統計学演習（Ⅲ） b /Business Statistics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN733J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

意思決定論演習（Ⅲ） a /Decision Making (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

意思決定論演習（Ⅲ） b /Decision Making (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN735J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済データ科学演習（Ⅲ） a /Data Science in Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO790J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経済データ科学演習（Ⅲ） b /Data Science in Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO790J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営組織論演習（Ⅲ） a /Organization and Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN739J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営組織論演習（Ⅲ） b /Organization and Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN739J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営史演習（Ⅲ） a /Business History (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営史演習（Ⅲ） b /Business History (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN741J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

会計情報論演習（Ⅲ） a /Accounting Information (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

会計情報論演習（Ⅲ） b /Accounting Information (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC725J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

監査論演習（Ⅲ） a /Auditing (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

監査論演習（Ⅲ） b /Auditing (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC729J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

証券投資論演習（Ⅲ） a /Investment and Security Analysis(Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN743J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

証券投資論演習（Ⅲ） b /Investment and Security Analysis(Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN743J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財務管理論演習（Ⅲ） a /Financial Management (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-MAN745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財務管理論演習（Ⅲ） b /Financial Management (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-MAN745J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営戦略演習（Ⅲ） a /Management Strategy(Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

経営戦略演習（Ⅲ） ｂ/Management Strategy(Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN747J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財務報告論演習（Ⅲ） a /Financial Reporting (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC731J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財務報告論演習（Ⅲ） b /Financial Reporting (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC731J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

非営利組織論演習（Ⅲ） a /Non-profit Organization (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

非営利組織論演習（Ⅲ） b /Non-profit Organization (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN749J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

福祉経済演習（Ⅲ） a /Welfare Economy (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO761J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

福祉経済演習（Ⅲ） b /Welfare Economy (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO761J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

加齢経済演習（Ⅲ） a /Aging Economy (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO763J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

加齢経済演習（Ⅲ） b /Aging Economy (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO763J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

医療経済演習（Ⅲ） a /Health Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO765J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

医療経済演習（Ⅲ） b /Health Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO765J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財政演習（Ⅲ） a /Public Finance (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO767J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

財政演習（Ⅲ） b /Public Finance (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO767J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

地域企業論演習（Ⅲ） a /Regional Enterprises (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

地域企業論演習（Ⅲ） b /Regional Enterprises (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN759J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

地域計画演習（Ⅲ） a /Regional Plannning (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO771J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

地域計画演習（Ⅲ） b /Regional Plannning (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO771J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

アジア経済論演習（Ⅲ） a /Asian Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO773J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

アジア経済論演習（Ⅲ） b /Asian Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO773J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

産業発展論演習（Ⅲ） a /Industrial Development (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO775J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

産業発展論演習（Ⅲ） b /Industrial Development (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO775J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際経済演習（Ⅲ） a /International Economics (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO777J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際経済演習（Ⅲ） b /International Economics (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO777J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

グローバル経営史演習（Ⅲ） a /Global Business History (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

グローバル経営史演習（Ⅲ） b /Global Business History (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN755J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際経営演習（Ⅲ） a /International Business (Seminar IIIa)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN757J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

国際経営演習（Ⅲ） b /International Business (Seminar IIIb)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN757J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成しうる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

政治経済学Ⅰ演習（Ⅳ） a /Political Economy Ⅰ (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

政治経済学Ｉ演習（Ⅳ） ｂ/Political Economy Ⅰ (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：守　健二/KENJI MORI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

理論経済学Ⅰ演習（Ⅳ） a /Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

理論経済学Ｉ演習（Ⅳ） ｂ/Theoretical Economics Ⅰ (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：三宅　充展/MITSUNOBU MIYAKE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

理論経済学Ⅱ演習（Ⅳ） a /Theoretical Economics II (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO728J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

理論経済学Ⅱ演習（Ⅳ） b /Theoretical Economics II (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：北川　章臣/AKIOMI KITAGAWA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO728J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済学史演習（Ⅳ） a /History of Economic Thought (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済学史演習（Ⅳ）b/History of Economic Thought (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：古谷　豊/YUTAKA FURUYA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

日本経済史演習（Ⅳ） a /History of Japanese Economy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO732J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

日本経済史演習（Ⅳ） b /History of Japanese Economy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：酒井　一輔/KAZUHO SAKAI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO732J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

西欧経済史演習（Ⅳ） a /Economic History of Western Europe (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

西欧経済史演習（Ⅳ） b /Economic History of Western Europe (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

社会思想史演習（Ⅳ） a /History of Social Thoughts (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

社会思想史演習（Ⅳ） b /History of Social Thoughts (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：小田中　直樹/NAOKI ODANAKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済計画論演習（Ⅳ） a /Economic Planning (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO738J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済計画論演習（Ⅳ） b /Economic Planning (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：大瀬戸　真次/SHINJI OHSETO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO738J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

応用マクロ経済学演習（Ⅳ） a /Applied Macroeconomics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

応用マクロ経済学演習（Ⅳ） b /Applied Macroeconomics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：鈴木　通雄/MICHIO SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営学原理演習（Ⅳ） a /Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営学原理演習（Ⅳ） b /Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

マーケティング管理論演習（Ⅳ） a /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

マーケティング管理論演習（Ⅳ） b /Research Seminar in Marketing Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：一小路　武安/TAKEYASU ICHIKOHJI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財務会計論演習（Ⅳ） a /Financial Accounting (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財務会計論演習（Ⅳ） b /Financial Accounting (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：吉永　裕登/YUTO YOSHINAGA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC722J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

管理会計論演習（Ⅳ） a /Management Accounting (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

管理会計論演習（Ⅳ） b /Management Accounting (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：松田　康弘/YASUHIRO MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC724J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

金融論演習（Ⅳ） a /Money and Banking (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO744J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

金融論演習（Ⅳ） b /Money and Banking (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：浅野　康司/KOJI ASANO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO744J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

国際金融論演習（Ⅳ） a /International Finance (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

国際金融論演習（Ⅳ） b /International Finance (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：秋田　次郎/JIRO AKITA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

環境経済学演習（Ⅳ） a /Environmental Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

環境経済学演習（Ⅳ） b /Environmental Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：日引　聡/AKIRA HIBIKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-EC0748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

産業組織論演習（Ⅳ） a /Industrial Organaization (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

産業組織論演習（Ⅳ） b /Industrial Organaization (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：泉田　成美/SHIGEMI IZUMIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済政策演習（Ⅳ） a /Economic Policy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済政策演習（Ⅳ） b /Economic Policy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：黒瀬　一弘/KAZUHIRO KUROSE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済統計学演習（Ⅳ） a /Economic Statistics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO758E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済統計学演習（Ⅳ） b /Economic Statistics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO758E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

計量経済学演習（Ⅳ） a /Econometrics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

計量経済学演習（Ⅳ） b /Econometrics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：千木良　弘朗/HIROAKI CHIGIRA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

ビジネスデータ科学演習（Ⅳ） a /Business Data Science(Seminar IVa)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN730E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

ビジネスデータ科学演習（Ⅳ） b /Business Data Science(Seminar IVb)

担当教員/Instructor：ＫＯ　ＩＡＴ　ＭＥＮＧ/KO IAT MENG
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN730E, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営統計学演習（Ⅳ） a /Business Statistics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営統計学演習（Ⅳ） b /Business Statistics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：石垣　司/TSUKASA ISHIGAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN734J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

意思決定論演習（Ⅳ） a /Decision Making (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

意思決定論演習（Ⅳ） b /Decision Making (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：鈴木　賢一/KENICHI SUZUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN736J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

応用データ科学演習（Ⅳ） a /Applied Data Sciences (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：李　銀星/YINXING LI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN738J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

応用データ科学演習（Ⅳ） b /Applied Data Sciences (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：李　銀星/YINXING LI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN738J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済データ科学演習（Ⅳ） a /Data Science in Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO791J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経済データ科学演習（Ⅳ） b /Data Science in Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：石原　卓弥/TAKUYA ISHIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO791J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営組織論演習（Ⅳ） a /Organization and Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN740J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営組織論演習（Ⅳ） b /Organization and Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：藤本　雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN740J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営史演習（Ⅳ） a /Business History (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営史演習（Ⅳ） b /Business History (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：結城　武延/TAKENOBU YUKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN742J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

会計情報論演習（Ⅳ） a /Accounting Information (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

会計情報論演習（Ⅳ） b /Accounting Information (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：木村　史彦/FUMIHIKO KIMURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC726J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

原価計算論演習（Ⅳ） a /Cost Accounting (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：他/KEISUKE OGIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC728J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

原価計算論演習（Ⅳ） b /Cost Accounting (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：他/KEISUKE OGIHARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC728J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

監査論演習（Ⅳ） a /Auditing (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

監査論演習（Ⅳ） b /Auditing (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：亀岡　恵理子/ERIKO KAMEOKA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC730J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

証券投資論演習（Ⅳ） a /Investment and Security Analysis(Seminar IVa)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN744J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

証券投資論演習（Ⅳ） b /Investment and Security Analysis(Seminar IVb)

担当教員/Instructor：室井　芳史/YOSHIFUMI MUROI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN744J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財務管理論演習（Ⅳ） a /Financial Management (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-MAN746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財務管理論演習（Ⅳ） b /Financial Management (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：嘉本　慎介/SHINSUKE KAMOTO
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-MAN746J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営戦略演習（Ⅳ） a /Management Strategy （Seminar IVa)

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

経営戦略演習（Ⅳ） b /Management Strategy （Seminar IVb）

担当教員/Instructor：山﨑　喜代宏/KIYOHIRO YAMAZAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN748J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財務報告論演習（Ⅳ） a /Financial Reporting (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC732J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財務報告論演習（Ⅳ） b /Financial Reporting (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：尾関　規正/NORIMASA OZEKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EAC-ACC732J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

非営利組織論演習（Ⅳ） a /Non-profit Organization (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

非営利組織論演習（Ⅳ） b /Non-profit Organization (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：西出　優子/YUKO NISHIDE
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN750J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

福祉経済演習（Ⅳ） a /Welfare Economy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO762J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

福祉経済演習（Ⅳ） b /Welfare Economy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO762J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

加齢経済演習（Ⅳ） a /Aging Economy (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO764J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

加齢経済演習（Ⅳ） b /Aging Economy (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：吉田　浩/HIROSHI YOSHIDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO764J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

医療経済演習（Ⅳ） a /Health Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO766J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

医療経済演習（Ⅳ） b /Health Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO766J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財政演習（Ⅳ） a /Public Finance (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO768J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

財政演習（Ⅳ） b /Public Finance (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：佐々木　伯朗/NORIO SASAKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO768J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

地域企業論演習（Ⅳ） a /Regional Enterprises (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

地域企業論演習（Ⅳ） b /Regional Enterprises (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN760J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

地域計画演習（Ⅳ） a /Regional Plannning (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO772J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

地域計画演習（Ⅳ） b /Regional Plannning (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：増田　聡/SATORU MASUDA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO772J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

アジア経済論演習（Ⅳ） a /Asian Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO774J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

アジア経済論演習（Ⅳ） b /Asian Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：日置　史郎/SHIRO HIOKI
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO774J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

産業発展論演習（Ⅳ） a /Industrial Development (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO776J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

産業発展論演習（Ⅳ） b /Industrial Development (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO776J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

国際経済演習（Ⅳ） a /International Economics (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO778J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

国際経済演習（Ⅳ） b /International Economics (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：永易　淳/JUN NAGAYASU
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO778J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

グローバル経営史演習（Ⅳ） a /Global Business History (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

グローバル経営史演習（Ⅳ） b /Global Business History (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：菅原　歩/AYUMU SUGAWARA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN756J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

国際経営演習（Ⅳ） a /International Business (Seminar IVa)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN758J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

国際経営演習（Ⅳ） b /International Business (Seminar IVb)

担当教員/Instructor：金　熙珍/HEEJIN KIM
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN758J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
自主研究能力を向上させるとともに研究成果を公表するため、受講生は自身の進行中の研究や関連する先行研究を発表し、指導を受ける。
In order to improve the independent research skills of participating students and publish the results of their research, students are required to present their own ongoing research or related previous research and receive guidance.

２．学修の到達目標/Goal of study：
高度な研究を自律的に達成し，研究成果を公表できる能力を修得する。
To acquire the ability to independently achieve advanced research and publish research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
各演習では、主に受講生による発表とディスカッションを行う。受講生は自身の専門分野での研究の進め方について指導を受ける。
Each seminar will consist primarily of presentations and discussions by the participants. Students receive guidance on how to conduct research in their area of expertise.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習の参加状況・自主研究の進捗状況に基づいて評価する。
Students will be evaluated based on their presentations, participation in discussions, and progress in independent research.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
指導教員が担当する演習(Ⅳ)a、b を履修するためには、演習(Ⅲ)a、b の単位を修得していなければならない。なお、履修の際には指導教員、指名教員と学習計画について充分協議の上、履修することが望ましい。
In order to take Seminar (IV) a or b given by the advisor, students must have acquired the credit of Seminar (III) a and b. Students are also encouraged to discuss their plan of study with their advisor and subadvisor prior to attending this seminar.

現代経済学特別演習Ｂａ/Special Seminar on Contemporary Economics Ba

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今学期の演習では論文中間報告と教員の研究報告を行う予定である。今学期の演習参加者は、自身の論文発表の有無も含めて若林(midwak@tohoku.ac.jp)まで各自の DC メールアドレスを連絡すること。

The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Attendants must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
indicating their DC mail addresses.

なお、演習の性格上、予定変更がありうる。Google Classroom を頻繁に確認すること

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする）。この演習では現代経済学演習に所属する教員を指導教員とする 4 セメの学生は進捗研究発表をしなくてはならず、そのことも考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

現代社会・経済・企業特別演習Ｂａ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Ba

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM782J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6se7cta

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の４講時・５講時に開講します。
初回は４月 20 日の予定です。最新の情報はGoogle Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
The first meeting will be held on April 20. Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。
本年度は川端が幹事です。nozomu.kawabata.b1*（*を@に替えてください）tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ｂａ/Special Seminar on Business Management Ba

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
（1）現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
（2）地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions, and comments on the reports.

受講希望者は前期は 2003 年 4 月 20 日（木）の 5 限（16:20～17:50）、後期は 10 月 14 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に参加すること。
The students must attend the first class on April 20(in the spring semester) or October 14 (in the fall semester), 16:20-17:50.

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載するので、４月１５日（前期）または１０月１０日（後期）までに登録しておくこと。
The information on this class is shared via Google Classroom.
The students who will take the class must register for Google Classroom by April 15 (in the spring semester) or October 9 (in the fall semester).

クラスコード：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

Class code：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入）。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For

comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。

Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

【履修条件】

・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・原則、隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。
　発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 20 日/10 月 14 日）に参加すること。
　その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

Although SeminarAa and Seminar Ab (Seminar Ba and Seminar Bb) are separated, attending both seminars is recommended.
This class is held every other Thursday. (subject to change)
The students must attend the first class of each semester, on April 20 (spring semester) and Oct 14(Fall semester).
Other than students' presentations, we will have guest speakers.

【連絡先】本年度幹事・福嶋（michi@tohoku.ac.jp）
Contact: Fukushima (michi@tohoku.ac.jp)

経済史・経営史特別演習Ｂａ/Special Seminar on Economic History and Business History Ba

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史　今年度コーディネータ）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史）
酒井一輔（日本経済史）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe, the coordinator)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History)
*SAKAI, Kazuho (Japanese Economic History)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。

数理・データ科学特別演習Ｂａ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Ba

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM781J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODg2NzQy?cjc=2ae2fkb
Check the classroom for the latest information on the workshop.

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Graduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

The first class together with orientation will be at third slot on 20th of April, Thurs.
Check Google classroom for the latest information.
We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ｂａ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Ba

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：前期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，博士または修士の学位にふさわしい知識を身につけるための学習と議論の場として開講されるものである。

This workshop is an opportunity of learning and discussion that Ph.D or MA candidates acquire academic knowledge in the economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
博士または修士の学位を目指すものが身につけておくべき関連分野の質の高い研究の方法論および知識を修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

The goal of this workshop is that the student acquires high-quality research methodology and academic knowledge in their own field as a Ph.D or MA candidate and improves skills in presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。
発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルをGoogle Classroom （クラスコードは "aktqjvb"）にアップロードすること。また，発表者以外の参加者は，各発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントを提出することを必須とする。

We regularly hold a face-to-face seminar. The main presenters are the graduate students of Tohoku University and/or academic researchers from outside whose primary field is public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in the aging society.
Presenters are required to upload a presentation file to our Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop. Other participants must submit comments and questions for each presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントの内容等も考慮する。

Students must have one or more presentations and submit comments on each presentation to obtain credit. In addition, the grade is based on preparation, attendance, discussion, comments, etc

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students are required to carefully prepare for their own presentation and to improve their own research as soon as they receive comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習にも必ず履修登録し，現代経済学研究会（https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics）にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must attend this workshop.
In addition, the students must also register for other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.

現代経済学特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Comtenporary Economics Bb

担当教員/Instructor：若林　緑/MIDORI WAKABAYASHI
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習の目的は、大学院生が現代経済学（近代経済学）の最先端の研究に触れることにある。

The objective of this course is to study the current topics of contemporary economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済学の最先端の研究に触れることを通じて、参加者自身が問題意識を形成し、経済学の発展に寄与するような独自の研究ができるようになるとともに、研究成果を公的な場でアピールするためのスキルを修得する。

The goal of this course is to find a research theme and acquire the skill of clear presentation.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
今学期の演習では論文中間報告と教員の研究報告を行う予定である。今学期の演習参加者は、自身の論文発表の有無も含めて若林(midwak@tohoku.ac.jp)まで各自の DC メールアドレスを連絡すること。

The details of the seminars will be announced by the e-mails based on the mailing list of the attendants of this workshop. Attendants must send an e-mail to the chief instructor of this course (Midori Wakabayashi):
midwak@tohoku.ac.jp
indicating their DC mail addresses.

なお、演習の性格上、予定変更がありうる。Google Classroom を頻繁に確認すること

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
演習にどれだけ積極的に参加しているかを評価する。単位を取得しようとする者は、すべての研究報告に出席するように努めること（出席状況は毎回チェックする)。この演習では現代経済学演習に所属する教員を指導教員とする 4 セメの学生は進捗研究発表をしなくてはならず、そのことも考慮する。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics/

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

現代社会・経済・企業特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Modern Society, Economy, and Enterprise Bb

担当教員/Instructor：川端　望/NOZOMU KAWABATA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM782J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
Google classroom : 6se7cta

現代経済の理論・学説，経済政策，産業・企業をはじめとする諸制度に関わるテーマを，広く社会的観点から議論します。大学院生が専門的研究を深めるとともに，専門分野とアプローチの枠を超えて交流することで，より広い観点から自らの研究の位置に関する認識を深められるようにします。研究計画立案から調査・分析，考察，論文の作成に至るまでを共同で指導することにより，研究成果の向上を図ります。

In this special seminar we will discuss various topics in theories of modern economy, history of economic thought, economic policy, and industrial and corporate systems. We expect that participants of this seminar will be able to broaden their perspective by communicating with researchers of diverse fields and methods.

２．学修の到達目標/Goal of study：
・論文等の報告を通して、プレゼンテーションの技法を向上させる。
・議論を聞き、また議論に参加することによって、質疑討論の能力を高める。
・論文に関して批評を受け、論文をより良いものに仕上げる。

Participants of this special seminar will be able to:
- develop their presentation skill.
- hone their skill in the art of discussion.
- improve the paper they are currently working on.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
主として，各参加者が作成中または発表した論文について順次報告し、全員で討論します。自分が報告しない場合であっても、報告を聴き討論に参加することを通じて、論文の作成方法を学ぶことができます。また、各自の取り組むべき課題の発見や問題意識の深化に寄与することになるでしょう。また，適宜外部スピーカーを招いて報告してもらう予定です。
開講頻度・日時については，学期期間中ほぼ一か月に一回の頻度で，木曜日の 4 講時・5 講時に開講します。最新の情報は Google Classroom で確認してください

Students are required to present the paper they are currently working on. They are also required to participate in the discussion in each class. We may occasionally invite guest speakers.
Please check the Google Classroom for the latest news.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（報告は英語でしていただいても構いません。）

６．成績評価方法/Evaluation method：
平常の参加態度によります（出席状況、報告内容、討論への参加など)。

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
それぞれの研究を進めること。
報告者が事前に配布するフルペーパーを読んだ上で参加すること。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:

履修を希望する者は履修登録手続きをするとともにGoogle Classroomにも登録して初回の演習に必ず参加するようにしてください。
本年度は川端が幹事です。nozomu.kawabata.b1*（*を@に替えてください）tohoku.ac.jp

経営学特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Business Management Bb

担当教員/Instructor：福嶋　路/MICHI FUKUSHIMA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-MAN780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は
（1）現代の企業およびその他組織における経営問題の理論的解明と実践的洞察を得ること、
（2）地域政策の諸問題も含め、多様な視点を融合しながら現実の事象を分析・考察する能力を涵養すること、
を目的とする。そのために、受講生による研究報告会を定期的に開催し、成果報告と全体討論を行う。
・参加教員：藤本・増田・福嶋・西出・高浦・金・山﨑・一小路

This seminar is offered for the following purposes.
(1) obtain theoretical and practical insights into management issues in modern companies and other organizations
(2) foster the ability to analyze and consider actual phenomena including regional policy issues
To this end, research presentations will be held regularly, and students will report and discuss their research plans and results.
・Participating faculty members: Fujimoto, Masuda, Fukushima, Nishide, Takaura, Kim, Yamazaki, Ichikoji, Sakai

２．学修の到達目標/Goal of study：
現代経営・地域政策に関する理論的背景と実践的動向を理解し、自分なりの研究計画を構想でき、まとまった研究成果を報告できる段階に到達することを目標とする。

The goal is to understand the theoretical background and practical trends in modern management and regional policy, and to come up with a stage where you can design your own research plan and report a set of research results.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
研究報告会の形式による。
・受講生による研究報告、報告に対する全体での討論、個別コメント。

Holding research report sessions.
・Research reports by the students, general discussions, and comments on the reports.

受講希望者は前期は 2003 年 4 月 20 日（木）の 5 限（16:20～17:50）、後期は 10 月 14 日（木）の 5 限（16:20～17:50）に参加すること。
The students must attend the first class on April 20(in the spring semester) or October 14 (in the fall semester), 16:20-17:50.

本講義に関するお知らせは、下記の Google Classroom に掲載するので、４月１５日（前期）または１０月１０日（後期）までに登録しておくこと。
The information on this class is shared via Google Classroom.
The students who will take the class must register for Google Classroom by April 15 (in the spring semester) or October 9 (in the fall semester).

クラスコード：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

Class code：ysa6he7
https://classroom.google.com/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語（発表等については英語可）
Japanese (English is also acceptable for presentations)

６．成績評価方法/Evaluation method：
報告内容、討論への参加の程度等を基準に評価する。他の報告者へのコメントについては、開講時に指示するコメント・フォームにアクセスして記入すること（欠席時は配布資料を受領してから記入）。
教科書は特に用いない。報告資料やリーディング資料は随時、用意・指示する。

Evaluation will be based on the content of the report and the degree of participation in the discussion. For

comments to

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

https://classroom.google.com/u/0/c/NTg4ODg2NjA1OTc3

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

配布資料があれば可能な限り事前に目を通しておくこと。クラス討論の後に、自分なりのコメントをまとめ、批判的読解力を得ることが大切である。

Review any handouts in advance if possible. After class discussions, it is also important to compile your own comments and gain critical reading skills.

１０．その他/In addition：

メディア授業科目/Course of Media Class:

【履修条件】

・本特別演習 Aa・Ab を継続して履修するのが望ましいが、単独受講も可能である。
・原則、隔週の木曜日 5 講時 16:20-17:50（両学期）に開講予定。
　発表当番を決めるので各学期初回のガイダンス（4 月 20 日/10 月 14 日）に参加すること。
　その際に、コメント・フォーム等に関する情報を伝える。
・上記日程以外に、週末等に実施される学内講演会への出席を求める場合がある。
・詳しい日程等については、随時、上記エントリー後にメールにて通知する。

Although SeminarAa and Seminar Ab (Seminar Ba and Seminar Bb) are separated, attending both seminars is recommended.
This class is held every other Thursday. (subject to change)
The students must attend the first class of each semester, on April 20 (spring semester) and Oct 14(Fall semester).
Other than students' presentations, we will have guest speakers.

【連絡先】本年度幹事・福嶋（michi@tohoku.ac.jp）
Contact: Fukushima (michi@tohoku.ac.jp)

経済史・経営史特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Economic History and Business History Bb

担当教員/Instructor：川名　洋/YOH KAWANA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM780J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本演習は、近世・近現代の日本、アジア、欧米諸地域の歴史に関心を持つ研究者の交流を通じて経済史・経営史に関する幅広い知識と歴史研究に要する分析能力を身に付ける機会を提供し、各履修者の研究テーマに関する報告・討論を通じてプレゼンテーションおよび史料批判の方法について学習することを目的とする。ここでは特に論文作成に向けて直接の指導教員だけでなく他のアカデミック・スタッフからアドバイスを受けることに主眼を置くとともに、研究内容について様々な視点から吟味できるようセミナーの雰囲気づくりにも配慮したい。

To get knowledge about economic and business history by presentation of each participants' own researches and Q and A. To get advise from many faculties over the completion of M.A. and Ph.D. Thesis.

本講義の関する詳細は、Google Classroom を参照されたい。

The detail of this class is shown in the Google Classroom.

２．学修の到達目標/Goal of study：
論文の完成に向けて論理の組み立て、史料分析、文献引用を中心に、これらを厳密に行う能力を養う。

To get academic capacity necessary for completing M.A. and Ph.D. thesis.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
履修希望者はコーディネータとなる教員へｅメールを送信すること。

履修者は、詳しいレジュメをもとに各自の研究課題、リサーチの意義、独創性などに触れながら、５０～６０分程度の報告を担当する。その後、上記担当教員の指導を含め、参加者全員でディスカッションを行う。特にマスター２年目の院生は、論文提出期限までの期間を考慮し、完成度の高い研究報告を行うことが望まれる。
前期・後期初回のオリエンテーションの際に報告の順番を決定するので、履修希望者は必ず各学期最初の授業に出席し、本演習の進め方について説明を受けること。最初の授業の日時・教室等は掲示にて通知する。

Presertation of his/her own research followed by Q and A.

本演習は、経済史・経営史関係の教員と、経済史・経営史関係を専門に勉強・研究する大学院生が一堂に会して報告と質疑応答をおこなうジョイント・セミナーです。経済史・経営史関係の教員として参加を予定している教員は以下のとおりです。

小田中直樹（社会思想史）
川名洋（西欧経済史　今年度コーディネータ）
菅原歩（グローバル経営史）
結城武延（経営史）
酒井一輔（日本経済史）

This is a kind of joint seminar gathering faculties and student specializing Economic or Business history.Faculties to participate in will be as follows:
*ODANAKA,Naoki (Socio-intellectual History)
*KAWANA, Yoh (The Economic Hisotory of Western Europe, the coordinator)
*Sugawara, Ayumu (Global Business History)
*YUKI, Takenobu (Business History)
*SAKAI, Kazuho (Japanese Economic History)

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：

６．成績評価方法/Evaluation method：
研究報告による。

Presentation will be evaluated.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
各教員の指示に従う。

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
履修の条件：経済史・経営史に関心があること。
その他：関連学会の東北地区部会などについてのアナウンスも行いますので、研究の向上のためにそれらにも参加されることを希望します。

数理・データ科学特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Mathematical and Data Sciences Bb

担当教員/Instructor：松田　安昌/YASUMASA MATSUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM781J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
classroom code:
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODkyNTg4?cjc=uli4q6z
Check the classroom for the latest information on the workshop.

経済・経営分野のデータ科学に関する演習を行う。

This is a compusory subject for Data Science Program or Graduate Program in Data Science. Any students with interests in Data Science are welcome to attend. We organize a session to learn basic technique for data science in Economics.

２．学修の到達目標/Goal of study：
経済・経営分野における諸問題について自ら考え、データ科学の方法によって解決できること。

To learn a way to solve several issues in Economics by data science.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
ゲストスピーカーによる lecture を受講する

We hold a workshop eevry week by invited guest speaker or a faculty member working on data science.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
English/Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
ゲストスピーカー講演をまとめたレポートを毎回提出してもらう。内容と出席で評価する。

by a small report summarizing seminars, which we assign to submit within one week after seminars.

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：

９．授業時間外学修/Preparation and Review：

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
使用言語：英語および日本語

医療福祉政策特別演習Ｂｂ/Special Seminar on Health and Welfare Policy Bb

担当教員/Instructor：湯田　道生/MICHIO YUDA
曜日・講時/Day/Period：後期集中 その他 その他
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECO783J, 単位数/Credit(s)：1

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
本特別演習は，公共経済学や財政学，高齢社会における公共政策・財政政策・社会保障・所得分配・雇用に関する分析，福祉政策や家計の意思決定に関する経済学的分析，および健康保健分野におけるサービスの需給や効果に関する経済分析等を研究テーマとする大学院生が，博士または修士の学位にふさわしい知識を身につけるための学習と議論の場として開講されるものである。

This workshop is an opportunity of learning and discussion that Ph.D or MA candidates acquire academic knowledge in the economics of aging, public finance, public economics, welfare economy, health economics, and other important issues in aging society, such as, employment, income distribution, social security system, and public policies.

２．学修の到達目標/Goal of study：
博士または修士の学位を目指すものが身につけておくべき関連分野の質の高い研究の方法論および知識を修得することに加えて，プレゼンテーションや質疑応答に関する技術を向上させること。

The goal of this workshop is that the student acquires high-quality research methodology and academic knowledge in their own field as a Ph.D or MA candidate and improves skills in presentation and discussion.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
本特別演習は，定期的に開催される研究会形式で行う。本特別演習での主な発表者は，担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生，または演習担当者を含む本学教員および学内外の研究者・大学院生である。
発表者は，本特別演習の前日までに報告で使用する電子ファイルをGoogle Classroom （クラスコードは "aktqjvb"）にアップロードすること。また，発表者以外の参加者は，各発表に対する感想・疑問・意見等を記したコメントを提出することを必須とする。

We regularly hold a face-to-face seminar. The main presenters are the graduate students of Tohoku University and/or academic researchers from outside whose primary field is public economics, public finance, economics of aging, welfare economy, health economics, and other important issues in the aging society.
Presenters are required to upload a presentation file to our Google Classroom (the code is "aktqjvb") by the day before the workshop. Other participants must submit comments and questions for each presentation.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語または英語

English and/or Japanese

６．成績評価方法/Evaluation method：
１回以上の発表と発表時以外のコメントの提出を単位取得の条件とする。準備状況や出席状況，発言およびコメントの内容等も考慮する。

Students must have one or more presentations and submit comments on each presentation to obtain credit. In addition, the grade is based on preparation, attendance, discussion, comments, etc

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
Google Classroom: https://classroom.google.com/u/0/c/NzAyNzY4MDI3MjFa

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
報告に向けて入念に準備することと，発表時に指摘された点については，できるだけ早期に改善を図ることが重要である。

Students are required to carefully prepare for their own presentation and to improve their own research as soon as they receive comments at the workshop.

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
担当教員の大学院ゼミ（加齢経済・財政・福祉経済・医療経済）に所属する大学院生および研究生は必ず履修すること。また，現代経済特別演習にも必ず履修登録し，現代経済学研究会（https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics）にも参加すること。

The graduate students who are affiliated with the seminars of aging economy, public finance, welfare economy, and health economics must attend this workshop.
In addition, the students must also register for other Workshop a/b organized by Prof. Wakabayashi and participate in Modern Economics Seminars: https://sites.google.com/view/tohokumoderneconomics.

経済実習Ⅱ/Internship II

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM981J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroom を活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgxMDE3NTQ0?cjc=bvhwq6j

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（１）第１学期または第２学期の履修登録期間中に学生用 Web で、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は２単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（２～４単位）の科目へ登録振替を行う。

（２）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第１学期登録の場合は６月頃、第２学期登録の場合は１１月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果を Classroom に掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学 BCP レベルにも拠りますので、Classroom からのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（３）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP 及び窓口）、各社 HP, 民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（４）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（５）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（６）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（４）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記の Google Classroom の当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）

経済実習Ⅱ/Internship II

担当教員/Instructor：高浦　康有/YASUNARI TAKAURA
曜日・講時/Day/Period：
対象学年/Eligible Participants：全／ALL,
科目ナンバリング/Course Numbering：EEM-ECM981J, 単位数/Credit(s)：2

１．授業の目的と概要/Object and summary of class：
在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

２．学修の到達目標/Goal of study：
大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

３．授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：
インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。
※Google Classroom を活用します（大学院の受講生については学部のクラスと合同ですので、下記の招待リンクから生徒登録しておいてください）。
https://classroom.google.com/c/NTg4ODgwODg2NzMz?cjc=tcgg7g5

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（１）第１学期または第２学期の履修登録期間中に学生用 Web で、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は２単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（２～４単位）の科目へ登録振替を行う。

（２）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第１学期登録の場合は６月頃、第２学期登録の場合は１１月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果を Classroom に掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。
※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学 BCP レベルにも拠りますので、Classroom からのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（３）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口に提出する。
※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務掲示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP 及び窓口）、各社 HP, 民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能である。
参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」
http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（４）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（５）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。
※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（６）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口に提出する。
※週報は（４）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しは携帯端末撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記の Google Classroom の当該科目教材リストを通じて入手可能です。
その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship program.

４．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
○

５．使用言語/Language Used in Course：
日本語

６．成績評価方法/Evaluation method：
担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

７．教科書および参考書/Textbook and references：

８．関連ＵＲＬ/ＵＲＬ：
以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

（１）受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
（２）受入機関での実習時間数が「４０時間以上」であること**
（３）当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
（４）本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
（５）受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

＊　実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

９．授業時間外学修/Preparation and Review：
実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

１０．その他/In addition：
メディア授業科目/Course of Media Class:
問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係　インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp　（：●は@に要置換え）